

史料目録 第94集

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録
(その4)

平成24年3月

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館
調査収集事業部

史料目録 第94集

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録
(その4)



写真1 松代八田邸（文化庁登録有形文化財）



写真2 文部省史料館以来保管に用いられていた箱

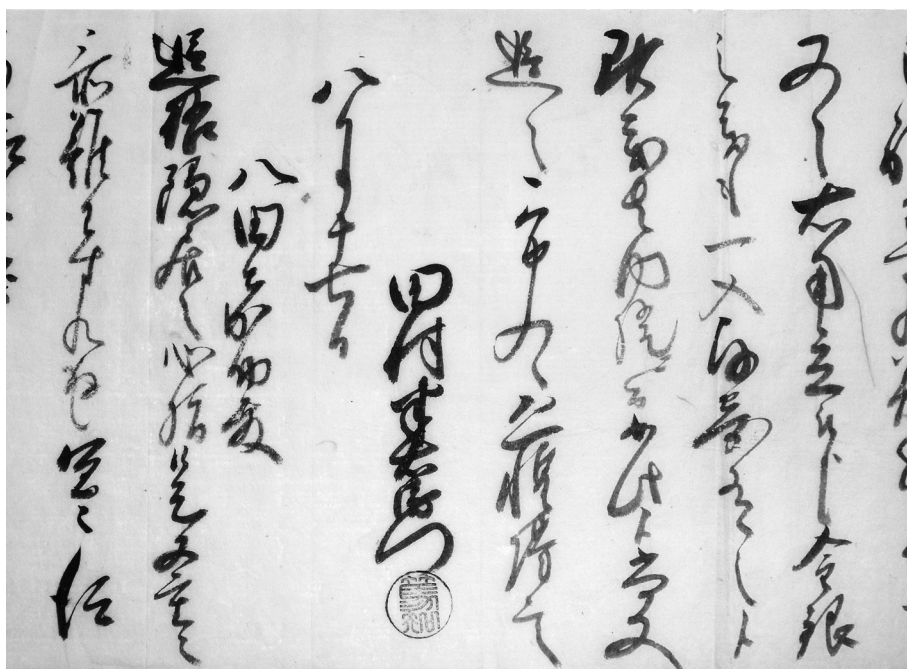


写真3 田村半右衛門書状 (No.57-8)



写真4 甘草商売鑑札綴 (No.144-1 ~ 13)

凡 例

- 本目録は『史料目録』第94集として「信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その4）」（28B）を収めた。信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書（以下、八田家文書と略す）に関しては『史料目録』第41集・第48集・第50集にも収録しており、合わせて参照頂きたい。
- 文書群の編成にあたってはISAD（G）（国際標準：記録記述の一般原則）の考え方も参考にしつつ、文書群を発生させた組織体・集団の役割や活動に留意し、文書群の持つ内的構造を復元することに努めた。ただし、これまでの八田家文書の階層構造を生かすように心掛けた。
- 解題は八田家文書全体とサブフォンドごとからなっている。サブフォンドの下部のシリーズについても特徴的なものについては解題を付けた。
- 項目中の文書の配列は原則として年代順とし、年欠文書は末尾に配列した。ただし、包紙やくり紐でまとめられた文書、綴り文書についてはそのまとまりを尊重し、原則として最も適切と考えられる項目に一括掲載した。したがって、文書1点ごとのレベルで見ると必ずしも当該項目にふさわしくない内容のものが含まれている場合がある。
- 本文記載は（1）表題、（2）作成者または差出人、（3）宛名、（4）作成年月日、（5）形態・数量、（6）整理番号の順である。一括情報は、（5）形態に続けて /（斜線）で区切った上で、これを明記した。また、紙質、文書の保存状態などの情報も同様に適宜注記した。
- 表題は原表題のあるものはそれを採り、ないものについては（ ）を付して仮表題を与えた。また、表題のみでは内容が判別できないものについても、簡単な内容摘記をおこない、同様に（ ）を付した。また、手習いの書付などについては特徴的な部分を「 」で記した。
- 作成年月日は和年号で示し、干支だけの場合はそれを採録した。推定年次については、（ ）を付した。
- 史料の形態は冊子型史料では、半（半紙縦折判）、美（美濃縦折判）、横長半（半紙横折判）、横長美（美濃横折判）、横半半折（半紙横折紙半折判）、横半列（半紙横折紙列帖装）などの略称によって原書の大概を示した。こうした表記の詳細については、『史料館所蔵史料目録』第50集の解題を参照されたい。書付型史料は、縦紙、縦折紙、縦切紙、縦継紙、横折紙、横切紙、横切継紙、小切紙、小紙などと表記した。また、綴られた文書の場合は綴としてどの番号からどの番号まで綴られているかを明記した。
- 整理番号は仮整理時で保管された状態を踏まえ今回付与した。
- 本目録は西村慎太郎がこれを担当し、調査収集事業部の種村威史・清水善仁がこれを補佐した。文書の目録データの作成にあたっては稲松朋子、上川准、北村厚介、澤村怜薫、鈴木直樹、武子裕美、武林弘恵、望月良親、以上の各氏の協力を得た。また、系図の作成は清水善仁が行ない、一部情報については八田千鶴氏（10代目当主である故八田勇氏夫人）より御教示を得た。その際、降幡浩樹氏（松代文化施設等管理事務所所属芸員）には多大な御協力を頂いた。

総 目 次

口絵

凡例

総目次

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その4）本文細目次	1
解題	5
伊勢町八田家文書の伝来と整理方法	5
八田家の歴史	6
糸会所・産物会所の歴史	8
文書群の階層構造と内容	10
参考文献	16
伊勢町八田家略年表	19
伊勢町八田家系図	20
目録本文	23
01. 内方	23
02. 店方	30
03. 町方	32
04. 産物御用掛	33
05. 糸会所	34
06. 産物会所	40
07. 松代商法社	186
08. 内方・産物会所混合文書	187
09. その他	242

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その4）本文細目次

01. 内方	23
01. 家族・奉公人	23
01. 鉄之助内室出産	23
02. 市兵衛意見書	23
03. 人名・年齢書上	23
02. 田村半右衛門書状綴	23
03. 藩への上納金・才覚金	25
04. 給人格取立	27
05. 質地証文・借用証文	27
06. 小作	28
07. 穀物差引覚	29
08. アメリカ船渡来情報収集	29
02. 店方	30
01. 酒店	30
01. 質地証文	30
02. 酒造株	30
02. 陶器方	30
03. 甘草方	30
03. 町方	32
01. 町年寄用留	32
04. 産物御用掛	33
01. 役職就任	33
05. 糸会所	34
01. 借入金・預り金・貸付金	34
02. 紬市統制	37
03. 糸元師への鑑札給付	37
04. 上州売り捌き	37
05. 糸元師不正取り締まり	37
06. 諸書類綴	38

06. 産物会所	40
01. 諸産物の統制	40
01. 蚕種・絹紬	40
01. 鑑札給付	40
02. 紬売り代金書上	49
03. 冥加金	49
04. 隠糸挽	49
02. 甘草	49
01. 鑑札給付	49
02. 取締筋	53
03. 植え付け	53
03. 杏仁	53
01. 鑑札給付	53
02. 買入れ	83
03. 惣勘定	83
04. 「杏仁御買上ニ付入用之雑書類入」	84
05. 諸書類綴	85
04. 杏仁・甘草	86
05. 楮	87
01. 鑑札給付	87
06. 天秤振	87
01. 鑑札給付	87
07. 蚊帳	119
08. 明礬	119
09. 白粉	120
10. 硫黄	120
11. 木綿	121
12. 諸品	121
13. その他	121
01. 鑑札給付	121
02. 鑑札製作	121
02. 近郷での取引	122
03. 江戸での取引	122
01. 諸品	122

02. 売り捌き代金滞り	123
03. 荷物送り状	123
04. 大坂での取引	124
01. 嘉永期杏仁・甘草大坂取引	124
02. 安政期杏仁大坂取引	128
03. 西国産諸品買い上げ	129
04. 北国への荷物運送駄賃・取引	129
05. 炭屋孫七割済金関係	129
06. 炭屋彦五郎からの預り金	129
07. 炭屋孫七関係書状など綴	131
08. 諸仕切状綴	140
09. その他	140
05. 京都での取引	140
06. 横浜での取引	140
01. 才覚金徴集	140
02. 横浜交易取扱所	140
07. 会所より貸下げ品・拝借金	141
01. 蚕種紙	141
02. 拝借金	141
03. 諸品	143
08. 藩よりの拝借金	143
09. 諸方より預り金	143
10. 会所運営・賄い領収書	144
01. 近代産物会所領収書綴	144
02. 御用米世話料	146
03. 荷物駄賃	146
04. 諸品	147
05. 通船川岸端地所売り渡し	151
11. 川船会所	152
01. 貸付金	152
02. 廻送荷物の改め	153
03. 船手の者の願書受付	154
04. 川船会所への地所売り渡し	154
05. 小作証文	154

06. その他	154
12. 藩内他地域の産物会所	154
01. 力石村	154
02. 内川村	154
03. 向八幡村	154
13. 役人任免・俸禄	154
14. 諸書類綴	155
07. 松代商法社	186
01. 貸付金の貸与	186
08. 内方・産物会所混合文書	187
01. 「有用之紙屑」	187
02. 書状・領収書ほか一括	198
09. その他	242
01. 諸書類綴	242
02. 真田家郡方当番日記	244

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その4）解題

文書群記号 28B

文書群名 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書

年代 享保 11 年（1726）～明治 3 年（1870）

数量 2973 点

伊勢町八田家文書の伝来と整理方法

伊勢町八田家文書は信濃国埴科郡松代伊勢町（現在の長野県長野市松代町）に宝永 6 年（1709）に居住して以来、今日に至っている八田家に伝来した文書群である。昭和 28 年（1953）、9 代目当主八田恭平氏（明治 33 年、1900 年生まれ。昭和 36 年、1961 年死去）によって文部省史料館（現在の国文学研究資料館）に譲渡された。

譲渡当時の整理の様相については不明だが、吉永昭氏（元福山大学学長、当時は文部省史料館臨時筆生）によってカード状の目録が作成された。その後、昭和 33 年（1958）に吉永氏が愛知教育大学へ転出してしまったため、整理作業が中断されたが、昭和 56 年（1981）頃、大藤修氏（現東北大学教授、当日は国文学研究資料館史料館助手）によって整理作業が再開された。

大藤氏の整理作業に基づいて、『史料館所蔵史料目録 第 41 集 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その 1）』（以下、『八田家文書目録』と略す）が昭和 60 年（1985）に刊行された。その解題には「総点数は書付類を含めると数万点にのぼり、一度に目録化することは不可能であるため、逐次分冊で刊行していくことにした。今回は＜その一＞として、冊子型史料の大半と、伝存形態の上で冊子と密接に関連している書付型史料若干」を収録するという整理・刊行方法が提示されている。以後、『史料館所蔵史料目録』としてその 1 からその 3 の 3 冊が刊行された。

その 1（第 41 集、1985 年） 請求番号あ 1～3411（中性紙箱 74 箱分）

その 2（第 48 集、1989 年） 請求番号い 1～1046（中性紙箱 10 箱分）

その 3（第 50 集、1990 年） 請求番号う 1～937（中性紙箱 7 箱分）

このように八田家文書は各『八田家文書目録』ごとにあ～うの整理番号が冠されることとなった。今回の『八田家文書目録』その 4 においてもこれまでの整理方法に准じ、「え」を冠することとした。但し、『八田家文書目録』その 4 以降については煩雑となるため、すべて「え」で統一することにする。

さて、今回の『八田家文書目録』その 4 刊行に向けての整理作業開始段階において、八田家文書の未整理分は衣装箱と目される黒塗りの箱 9 箱、段ボール箱 3 箱、AF ハードボード製（中性紙）箱 23 箱であった。衣装箱と目される黒塗りの箱は縦 36.7cm×横 69.4cm×高さ 33.5cm で、前面に 2 つ鍵、後ろに 2 つの蝶番が付いたものである（口絵写真）。どのような経緯で、この箱の中に文書が収納されたか不明だが、他の文書群でも使用されている場合もあり、文部省史料館へ譲渡された後に収納されたのであろう。

箱はそれぞれ番号が付与されており、これらは以前の整理段階の様相を反映している可能性があるため、今回の整理でも箱1・2から始め、箱2の途中までを『八田家文書目録』その4として収録した。今後の整理作業及び目録刊行の場合もこの原則を遵守する。それは現状を尊重するというスタンス故である。

未整理文書のほとんどが文部省史料館の酸性紙封筒に納められていたが、番号が付与されておらず、また、ひとつの封筒に複数の文書が入っていた。そこで、現状を生かしながら箱に納められている状態から取り出し、それぞれの文書に新しい番号を付与して、中性紙封筒に納めた。ただし、虫損甚大である文書が多く、保存処置になお多くの時間を費やす必要があるため、閲覧請求に十分応じられない場合があることは否めない。

文書の整理・分類編成については、『八田家文書目録』その1～その3に准じつつも、文書群の特質を追求するため、大きく変更を加えた点がある。それについては「文書群の階層構造と内容」において後述したい。

八田家の歴史

松代城下町は馬喰町・紙屋町・紺屋町（以上、上三町）、伊勢町・中町・荒神町（以上、本三町）、肴町・鍛冶町（以上、脇二町）があり、町八町と称された。他に、伊勢町の枝町として木町・鏡町があり、これらの町を統括したのが町年寄4名と検断1名であった。伊勢町八田家は松代城下町の木町に居住した八田家より分家した家である。本家である木町八田家は甲州浪人であり、近世初頭に松代に住した。初代喜兵衛宗重は呉服と酒造を営んだようである。2代目平三郎綱重は「真田隼人正様知行方元メ役」を務めた。この真田隼人正とは、真田信之の三男で2代目埴科藩主の真田信重のことであろう。真田信重は正保4年（1647）に死去し、埴科藩は断絶しているため、平三郎綱重はこの頃の人物であるものと思われる。3代目長左衛門庸重は町年寄を務めた。長左衛門庸重の二男孫左衛門重以が伊勢町八田家の初代である。なお、本家である木町八田家は給人格に遇されたり、15人扶持が給されたりしたもの、早世や出奔により、享保年間には断絶。以後、伊勢町八田家による養子が継承していった（後述）。

次に、伊勢町八田家について当主ごとの活動を主に今回の『八田家文書目録』の中心である江戸時代と明治初期に関して見ていきたい。伊勢町八田家の歴史については簡単な年表と系譜を後頁に付ける。初代孫左衛門重以は宝永4年（1707）6月に分家し、同6年6月より伊勢町に居を構え、商売を始めた。同時に町年寄にも就任している。なお、今回の『八田家文書目録』その4において、八田家の者の名前が確認できる最も古い文書は享保11年（1726）4月の「初先納金請取覚」であり（え59-1）、金60両2分を才覚金として上納している。このためであろう、同月中に御目見を許されている。当時の松代藩は江戸城普請などによる度重なる出費により財政の悪化している時期であった。

2代目嘉助芳茲は元禄10年（1697）生まれである。初代孫左衛門の弟に当たり、兄の養子となった。寛保3年（1743）7月に町年寄に就任し、初代孫左衛門の死後、養父同様に藩より30人扶持が給されている。さらに、同年12月1日には御用金の切り捨てにより、代わりに20人扶持が加増され、合計50人扶持が給されることとなった。御用金の総額は不明ながら、寛延元年12月21日の「覚」によれば、495両の貸し付けが確認できる（え59-20）。宝暦6年（1756）7月9日に病気を理由として、町年寄を退役。同月15日死去。死に先立って、息子鉄治郎（のちの3代目孫左衛門以親）への家督相続と50人扶持の給付を藩に願い出、また、養子嘉右衛門（増田徳左衛門三男。妻は嘉助女）による本家の木町八田家再興を遺言している。なお、養子嘉右衛門は本家であ

る木町八田家を相続し、その後、木町八田家には嘉助の四男喜右衛門が相続している。

3代目孫左衛門以親は寛保2年(1742)に生まれた。幼名鉄治郎。父嘉助が死去した宝暦6年(1756)はわずか15歳であったが、藩より30人扶持が給付されることとなった。当時、松代藩財政は悪化の一途を辿っており、加増分20人扶持が召し上げられたのはそれ故と思われる。元服後、同11年に町年寄に就任。寛政4年(1792)までの間、30年以上町年寄を勤めた。その間、息子の4代目嘉右衛門知義も寛政3年から町年寄を勤めており、親子で城下町の差配を行なう時期があった。寛政4年に病気で町年寄を退役したため、実際の家の経営などは4代目嘉右衛門に移ったものと思われるが、その後、300両を藩に上納し、享和2年(1802)には初代孫左衛門以来の出精が評価されて給人格御勝手御用役に取り立てられた。その直後の享和3年1月1日に62年の生涯を閉じた。なお、孫左衛門存命中、松代藩は藩主真田信弘や恩田民親によって藩政改革が推進されたが、御用金以外で八田家が藩政に深く関与していくような動向を示す文書は確認できていない。

4代目嘉右衛門知義は明和8年(1771)に生まれた。寛政3年(1791)3月22日に町年寄に就任している。享和3年(1803)に父孫左衛門が死去すると家督を相続し、藩からは30人扶持が与えられ、父同様給人格御勝手御用役に取り立てられた。さらに、城下町町人の人別からは除かれ、別帳扱いとなっている。文化年間にはたびたび御用金が課せられ、文化10年(1813)には真田家の信仰が篤い白鳥宮の普請のため100両を献上した。これらの功績が認められ、その年の10月には「年来御用向出精心懸宜相勤」めたとの理由で5人扶持が加増された。この5人扶持を弟喜兵衛に与えて分家することが認められている。なお、喜兵衛は実の弟ではなく、母方のはとこ(親同士がいとこ)である安達与左衛門の弟であり、この年に養弟となっている。のちに述べる糸会所では惣元方、産物会所では元方を勤めるなど要職を歴任した。

嘉右衛門は多くの役職を勤めている。文化13年(1816)には産物御用掛、翌14年には川船運送方御用、文政7年(1824)には社倉調役、同9年には糸会所取締役、天保4年(1833)には産物会所取締役などである。このうち、取締役は糸会所・産物会所におけるトップであり、藩の商品流通に大きく関わっていくこととなった。これらの御用によって、文政7年にはこれまでの一代取り立てではなく、給人永格となっている。

5代目嘉助知則は文化4年(1807)に生まれた。幼名鉄之助。嘉永元年(1848)12月に4代目嘉右衛門が死去すると、家督を相続した。30人扶持給付と御勝手御用役取り立ては父と同様である。しかし、同4年に45歳の若さで死去してしまった。

6代目慎蔵知道は文政12年(1829)生まれ。嘉助が亡くなると、家督を相続し、父祖同様に30人扶持が給付され、御勝手御用役に取り立てられた。産物会所の役職を勤めたものと思われ、文書では「御産物御懸り」として記されている(え2-28など)。また、産物会所における甘草荷物大坂廻送の際の松本嘉十郎(松代藩士。天保14年より御勘定役。産物会所掛り役人を勤める)からの書状が遺されているが(え82-37など)、大坂での取引は嘉永3年で停止しており、父嘉助から相続する以前より産物会所の業務を勤めていたものと思われる。明治維新後、領内の商人資本を集中し、横浜交易を展開するため、明治2年(1869)に松代商法社が設立すると、慎蔵は商法掌に任命された(商法社のトップは取締役。商法掌はナンバー2であり、9名任命)。その後、慎蔵は士族に列し、明治12年(1879)には第六十三銀行(明治11年設立。本店は稲荷山村。昭和6年に第十九銀行と合併し、現在の第八十八銀行に至る)頭取に就任。このように近代松代の発展を担っていくこととなった。

糸会所・産物会所の歴史

『八田家文書目録』その4には松代藩の産業統制を担った産物会所に関わる文書を多く収録した。松代藩産物会所の前身となるのが、糸会所であり、明治維新後、松代藩の経済を担うのが松代商法社である。後に述べるように『八田家文書目録』その4におけるこれらの組織の文書は収録総数のうちの66%に及んでいる（その1～その3までは41%）。そこで八田家文書を理解するため、その文書群の中心たる会所に関する歴史を簡単に述べてみたい（以下の歴史的な点については、参考文献の一覧を参照した）。

信濃国の養蚕業は18世紀後半から発展していく。松代藩の場合、明和6年（1769）更級郡中沢村（現在の長野市篠ノ井東福寺）の玉井市郎治が上野国より桑苗と蚕種を求めて、普及させたことに始まる。藩も養蚕を広めるべく、寛政年間に物産掛を設置。養蚕全書の刊行などを行ない、文化年間には桑苗植え付けを奨励した。さらに、製糸業の発展を受け、文化6年（1809）に糸市が開かれた。この糸市での取引の主体は、松代荒神町伝兵衛、上田藤本屋次郎兵衛、上田奈良屋治右衛門、上田綿屋半右衛門といった松代ないし松代周辺の特産商人に限られていた（紬市との相違点である）。同10年には埴科郡関屋村（現在の長野市松代町豊栄関屋）に桑苗40,000本を栽培した。

一方、製糸技術の伝播も進む。文化5年（1808）に上野国日輪寺村（現在の前橋市日輪寺町）善助と女房が松代に居住し、若い女性を集めて糸挽きを伝授した。また、上塩尻村（現在の上田市上塩尻）の藤本屋善右衛門らが上野国の糸挽きを招き、製糸技術を広めたと言われている。この時期の松代藩は川浚御手伝普請（享和2年、1802年）、上屋敷の焼失（文化8年、1811年）、日光代参（同10年）など莫大な出費により藩財政が傾いていた時期であり、養蚕・製糸業の奨励は藩財政の悪化を食い止めようとする政策であった。

文政13年（1830）、糸会所が設置された。取締役には伊勢町八田家4代目当主の嘉右衛門知義が任命された。当時は松代藩の産物御用掛を勤めていた（産物御用掛については後述）。糸会所のナンバー2である惣元方は八田喜兵衛と八田辰三郎。八田喜兵衛とは、既述のとおり、嘉右衛門の母方のはとこである安達与左衛門の弟であり、文化10年に養弟となった人物。八田辰三郎とは、文化7年（1810）2月に嘉右衛門の婿養子となった人物である。なお、糸会所の場所は八田喜兵衛の「役代」と称された惣兵衛の屋敷の一部を金8両で借りたものであり、産物会所もこの地であった。「役代」の惣兵衛も菊屋を屋号とする八田家一族。このように糸会所の運営は八田家一族によって差配されることとなった。

次に、糸会所の機能を見てみたいが、それを理解する上で重要な松代藩製糸業の様相を簡単に述べたい。まず、養蚕農家によって生産された繭は繭市・繭問屋を経て、糸元師へともたらされる。法令では禁止されていたが、養蚕農家と糸元師との直接売買も行なわれており、そのため文政7年（1824）には繭問屋が廃止されて、直接売買が認められた。同10年には繭仲買人仲間の結成が認められ、生産農家→繭仲買人仲間→繭市という集荷システムが成立した。糸元師のもとには複数の挽子があり、挽子によって作られた糸は再び糸元師へと集められて、糸市にて売り捌かれた。その糸元師は文政2年（1819）に仲間を結成して、1軒あたり銀6匁ずつの冥加金を上納している。

さて、会所は糸元師と挽子を離し、挽子を独立させる方針を推進した。当時、糸元師は大量の挽子を抱えることを目的とし、挽子は賃金の増加を目的としていたため、「糸元師・挽子之間柄双方不実之趣に而、利益を争候姿」となってしまう、結果的に「糸者下製に相成」った。その状態を開き、品質の向上を目論んだので

あった。そこで糸会所は藩からの拝借金と商人からの借入金・預り金を資金とし（糸会所の機能①）、挽子に糸挽道具の貸与と、会所が原料繭を買い付けて挽子に売ることを行なった（糸会所の機能②）。同時に、糸元師の特権を排除するため、冥加金を停止した。しかし、糸元師から自立しない挽子が多く、文政13年（1830）には所属する挽子の数に応じた冥加金を糸元師に課すこととなった（糸会所の機能③）。また、会所による貸下金も行なっている（糸会所の役割④）。なお、文政10年（1827）に繭仲買人仲間が結成され、鑑札が発行されたが、天保4年（1833）には糸元師仲間が解散となり、以後、糸に関する商売をする場合、繭仲買人鑑札の下付を受けることとなった（糸会所の機能⑤）

製糸業が盛んになるにつれて、絹織物業も行なわれるようになった。白絹・帯地・紬・斜子織などが生産されていたが、とりわけ、紬生産に関しては藩内を越えて広範に広がっており、上田藩内の仲買人などが入り込んで集荷し、上田城下における紬市で取引が成されていた。その上田紬市では、城下町商人が江戸・上方の大手店や近郷商人の買宿となり、仕入れを行なっていたようである。このような状況を受けて、天保2年（1831）に松代藩内の紬師（後の紬仲買人）は、①松代で紬市を立てる、②鑑札の発行を藩に願い出た。この願いを受けて、同年9月13日に紬市が開始された。これによって紬の集荷システムは紬生産者（織元）→紬仲買人仲間→紬市となり、紬市において松代の5軒問屋が買い付けを行なうこととなった。この5軒の問屋は有力仲買人で構成されている（若宮村伊左衛門・若宮村祖兵衛・内川村重郎治・上徳間村友吉・網掛村善右衛門）。この問屋の買い付けに対して、糸会所は資金の融通をし、独占的に集荷する機能を強化した。

紬生産の興隆に対応すべく、糸会所の拡充が必要となり、天保4年（1833）に産物会所が設置された。取締役・元方は糸会所の時と同様であり、八田家一族が運営に当たった。この産物会所の機能は、①藩からの資金調達（中借金）と問屋への貸付、②問屋からの紬買い占め、③鑑札を発行して統制し、冥加金の取り立て、④上方・江戸での売り捌きであった。とりわけ、産物会所設置当初は紬を独占的に仕入れ、江戸にて一手捌を行なうことが計画されていた。しかし、天保4年（1833）～5年にかけて凶作が起り、江戸における取引が難航。藩も久能山東照宮修復などの出費のため、中借金が消極的になり、産物会所を中心とした紬産業に問題が生じていった。そこで同8年に産物会所の仕法替が行なわれ、買い占め機能を松代城下の有力商人に委ねられることとなった。その有力商人とは、菊屋伝兵衛・菊屋孫兵衛・菊屋惣兵衛・柏屋藤吉・鍵屋伴之介である。このうち、伝兵衛は八田嘉右衛門の役代、惣兵衛は八田喜兵衛の役代、孫兵衛も八田家一族であり、八田家による会所運営の新たな展開と位置付けられよう。仕法替とともに藩の中借金が停止され、買い占め資金の調達はこれら商人が担うこととなり、彼らはその資金調達先を三井家などの大手に求めた。これにより松代城下町の有力商人は大手の買宿として機能することとなった。例えば、天保8年には柏屋藤吉が江戸大丸屋の、同9年には菊屋伝兵衛が高崎布袋屋善右衛門の、同14年には菊屋孫兵衛が三井店の、それぞれ買宿となっている。

天保8年（1837）の仕法替以降、産物会所の機能は大きな展開を見せている。そのひとつが大坂の大手店との関わりである。当初の商品取引を藩専売と同列に扱うべきかについてはいくつかの評価があるものの、弘化4年（1847）には炭屋彦五郎（大坂平野町一丁目の両替商）が松代藩御用達となった。藩側は炭屋の資金を目当てにしており、他方、産物会所としては会所機能の大坂における足場作りを表に掲げつつ、松代の商人たちの商品取引が目的であったとも評価されている。

嘉永元年（1848）8月、大坂交易の第一歩として上り荷が大坂へと廻送された。荷物は杏仁・甘草・硫黄な

どである。このうち甘草・杏仁は薬種として用いられ、松代産の大坂交易の主力となっていく。これらの薬種は炭屋を介して道修町の薬種問屋小西彦七と鍵屋彦右衛門へもたらされた。一方、下り荷のうち最も重要である塩は安芸国竹原塩の買い入れが進められた。これらの取引に産物会所は独占的に関与したが、早くも嘉永3年（1850）には頓挫してしまった。

しかし、松代産の杏仁の質がよかったため、安政2年（1855）小西彦七より松代藩御用場守津国屋友七に対して取引が申し込まれる。御用場とは蔵屋敷とほぼ同義だが、規模が小さかったものと思われ、松代藩以外で御用場を設定しているのは旗本のみであることが明らかにされている。もともとは炭屋彦五郎の手代である炭屋孫七方に設定されていたが、嘉永期の松代藩交易の失敗の責任を取って、炭屋を辞めたようであり、安政期には津国屋友七が勤めていた。津国屋友七は炭屋の出入頭と称された人物である。この杏仁取引の再開によって松代藩は炭屋より2,000両の借用に成功。安政期の大坂交易の展開に対し、藩も産物会所も積極的に推進していった。

杏仁専売も含めて、産物会所は領内の産業統制をますます展開し、鑑札制度も確立させていった。また、慶応元年（1865）には領内23ヶ所に産物改所を設置。その後も多く設置された。産物改所による改めがなくては売り捌くことが禁止されていった。

文書群の階層構造と内容

『八田家文書目録』その4では、文書群の階層構造を追求するよう努めた。これは八田家の内部組織を明らかにした上で、その組織を大項目（サブフォンド）とし、以下、機能を解明して中項目（シリーズ）・小項目を設定した。ただし、のちに述べる「内方」「店方」にしても明確な組織になっていない部分も多い。

一方で、八田家は松代藩糸会所取締役・産物会所取締役をはじめとして、代々会所役人を歴任したため、藩の出先機関である会所文書が体系的に遺されている。そこで組織として不明確である家の文書と産物会所を統一的に編成することを心掛けたが、この点、これまで刊行されている『八田家文書目録』その1～その3に准ずる編成となった。

『八田家文書目録』その4では、家部門である「内方」、営業部門である「店方」、町方に関する「町方」、藩の御用である「産物御用掛」・「糸会所」・「産物会所」・「松代商法社」、混同した文書の一括ないし綴である「内方・会所混合文書」のサブフォンドに分けた。刊行されている『八田家文書目録』では「松代藩御用」と「会所・商社」という大項目（『八田家文書目録』その4で言うところのサブフォンド）が設定されていたが、藩の御用を勤め、組織的機能的な活動が確認できるものについてはそれぞれをサブフォンドとした。なお、『八田家文書目録』その4では、多くの書状・領収書などの綴を収録した。その中には綴としてのまとまりを意図を判断しがたいものもあり、また別の機能の文書が混在している場合も数多い。そのうち、「内方」と「産物会所」のいずれにも関係する文書は別にすべきと考え、「内方・会所混合文書」というサブフォンドを立てた。

以下、サブフォンドごとに階層構造と内容を説明するが、特に注目したシリーズについては別に項目を立てて記したい。

サブフォンド「内方」

「内方」は、八田家の家政機関であり、店方の統轄をも行なった。当然、日常的な文書もこのサブフォンドに該当する。今回の『八田家文書目録』その4においては101レコード。なお、『八田家文書目録』その1～その3までに収録した「内方」文書は2421レコードである。その4では「内方」文書が断片的であった。

『八田家文書目録』その1において、「内方」にはいくつかの「掛り」があり（材木方・通船方など）、「内方」の諸機能の中で特定の機能を分担した掛りの作成したものは、それぞれその機能にかかわる該当項目に入れている」という分類方針が宣言されているが、『八田家文書目録』その4では「内方」のレコード数が少なく、「掛り」といった組織が読み取れるものはない。そこで各シリーズとも断片的に把握できる機能を生かして編成した。

シリーズ「家族・奉公人」

家族・奉公人関係としてシリーズを設定したが、最も多かったのは鉄之助内室が出産した関係の文書である。鉄之助とは5代目当主嘉助知則のこと。妻は岡野弥右衛門元礼（松代藩士。200石取り。郡奉行・町奉行などを歴任）の次女ムメ。文政12年(1829)3月に6代目当主慎蔵知道が誕生した折の書状の綴である。書状の差出・宛名に類出する中島三右衛門は川船会所に関係する借金証文の宛所としてしばしば名前が登場する人物だが、詳細は不明。なお、承応2年（1653）の「堀肥前守直輝公鉄砲御改印書」が含まれているが、その理由は不明。ただし、綴であるため、その現状を生かして「鉄之助内室出産」のサブシリーズに入れた。

シリーズ「田村半右衛門書状綴」

田村半右衛門は寛延3年（1750）6月に江戸で新規に召し抱えられ、藩主真田信安より御勝手役に任命された人物である。田村は江戸神田在住の60歳余の人物。最初に財政再建政策として、藩役人に才覚金を課した。次いで、八田競（真田信安近習。木町八田家5代目長左衛門昭重の弟。なお、競妻は伊勢町八田家初代孫左衛門重以養女で、長佐衛門妻も孫左衛門女）邸に寄宿することとなり、翌4年8月1日に松代へ到着、3日に藩内の村に年貢15%増を申し付けた。これに対し、7日には2000名余の百姓が蜂起して、代官所・奉行所へ訴状を提出した上で、伊勢町八田嘉助邸と木町八田競邸に押し寄せている。藩側は訴状を認め、新法を取り下げた。

田村半右衛門の書状綴は年代が入っていないものの、以上の点を踏まえた場合、内容から判断して寛延3年～4年のものと推測される。これは綴としてまとまっているため、「田村半右衛門書状綴」というシリーズを設定した。

シリーズ「藩への上納金・才覚金」

八田孫左衛門は享保11年（1726）より多額の御用金・才覚金を上納しており、それによって御目見えを遂げているが、享保11年からの上納に関する文書を「藩への上納金・才覚金」のシリーズに入れた。ただし、これらの上納金を受けて、享和2年（1802）に給人格に取り立てられたので、シリーズ「給人格取立」にも関係する文書が入っている。なお、え84によれば、才覚金元利金は85,016両3分余であった。

シリーズ「給人格取立」

享和2年(1802)9月17日、御蔵元メ徳嶋甚蔵より「先年御用達之趣相認為見候様」(え84)との連絡があり、同年12月25日、3代目孫左衛門以親が「祖父孫左衛門節より数十年来打続心懸宜、出精数度御用達候」を理由に給人格御勝手御用役を仰せ付けられた。それに関する文書はえ83とえ87の袋に入れられ、一括として保管されたので「給人格取立」のシリーズを設定した。袋上書きに記された「泰全様」とは3代目孫左衛門以親のことで、戒名を慧光院忠崇泰全居士と言う。

シリーズ「質地証文・借借証文」

内方として関与したと思われる文書はこのシリーズに当てはめた。ただし、「別口拝借金御通」(え95-1)は作成者として、「御内方質方」と記されているが、え167の綴の場合、袋の上書きとして「佐久・小県借附金調帳面入」とあり、10点の質地証文が入っていたものと思われるが(現在は綴として伝来)、宛所に多く見える伝兵衛は八田家の役代でありつつも、後には産物会所役人を勤めた者であることから、どの項目分類すべき文書であるかどうかの断定は困難である。したがって、合わせて、産物会所の質地証文・借金証文も閲覧することを薦める。

シリーズ「アメリカ船渡来情報収集」

え860の綴であるがもともとは860-1の袋に入っていたと思われる。袋に「嘉永七甲寅年亜墨利駕船渡来武州横浜ニ而應接有之別条品々入」と上書きされている。どの組織によって集められた文書であるかは不明だが、『八田家文書目録』その1において内方にシリーズ「見聞・風説書」が設定されており、アメリカ船渡来関係があるため、ここではサブフォンド「内方」に入れた。

サブフォンド「店方」

「店方」は、八田家の営業部門であり、『八田家文書目録』その1～その3では酒造方(酒蔵・酒店)・呉服店・油店・醤油店(松井店)・質店の存在が明らかとなっており、それら店ごとの組織を中項目として設定している。今回の『八田家文書目録』その4においては23レコード。なお、『八田家文書目録』その1～その3までに収録した「店」文書は746レコードである。『八田家文書目録』その1を除くと、「店方」文書は断片的であった。

八田家の店方は酒造業と呉服商いが中心であり、それが大正期まで続けられたと評価されてきたが、寛政～文化期に金融業へシフトしていったとの新しい見解も明らかになっている。店方の文書が断片的であることもこのあたりに関係するものと思われる。

サブフォンド「町方」

宝永6年(1709)、初代孫左衛門重以が町年寄に就任して以来、代々勤めていたため、町方に関する文書が集積された。今回の『八田家文書目録』その4においては1レコードのみであるが、その1～その3までに収録した「町方」文書159レコードである。内容は文政2年(1819)～6年までの御用留帳である。この御用留帳は安永10年(1781)以降の帳面と同様に横半列の形態である(八田家文書あ3361など)。なお、八田家文

書の中で最も古い御用留帳は貞享3年（1686）～元禄13年（1700）のものであるが（あ359）、これは本家の木町八田家3代目の長左衛門庸重（伊勢町八田家初代孫左衛門の父）による御用留帳である。

サブフォンド「産物御用掛」

『八田家文書目録』その1～その3までに収録した産物御用掛の文書も多くなく、その機能についても不明な点が多いが、藩から拝借金（中借）を行ない、それを貸し付けたり、無尽を行なっていたものと思われる。この無尽についての詳細は不明ながら、八田家は19世紀前半以降、飯山藩が企図した無尽（日光御用掛に伴う入用）に加入するなど積極的な金融活動とともに、松代藩財政の再建も担う存在であった。おそらく、産物御用掛として無尽を立てて、藩財政の健全化を目指したものと思われる。

『八田家文書目録』その2では、「会所」「商社」の中項目「産物無尽」という小項目を設定していたが、会所とは異なるものであるため、サブフォンドとして「産物御用掛」を設定した。ただし、今回の『八田家文書目録』その4では1点のみであり、文化13年（1816）5月11日に藩より産物御用掛に任じられた書付のみである。

サブフォンド「糸会所」

糸会所は文政9年（1826）に製糸業育成と統制のために設置され、取締役に4代目当主嘉右衛門知義が就任した。この糸会所は既述のとおり、産物会所の前身であり、『八田家文書目録』その1では大項目「会所・商社」の中にシリーズに、『八田家文書目録』その3では大項目として「糸会所」が設定されている。今回の『八田家文書目録』その4でも、サブフォンドとして設定したい。『八田家文書目録』その4においては86レコード。後述するサブフォンド「産物会所」「松代商法社」を含めて66%に該当する。なお、『八田家文書目録』その1～その2までに収録した「会所・商社」及び『八田家文書目録』その3に収録した「糸会所」「産物会所」「松代商法社」の文書は2421レコードである。八田家文書の中心は会所関連の文書であると指摘できる。

糸会所の機能についてはすでに述べたように、①藩からの拝借金と商人からの借入金・預り金といった資金調達、②貸下金、③挽子に糸挽道具の貸与と原料繭を買い付けて挽子に販売、④冥加金を糸元師に課す（文政13年以降）、⑤鑑札発行である。この糸会所機能を生かした編成を行なうことを目指した。

シリーズ「貸付金・預り金・貸付金」

既述の糸会所の機能でも明らかにしたように、藩からの拝借金と商人からの借入金・預り金で資金を調達し、集荷を行なう問屋に貸し付けるものの、糸会所（あるいは文書整理・保存した産物会所）における文書の保存方法としてはえ92の袋一括のように、借入金・預り金の文書と貸付金の文書と一緒に保管されていた。本来なら別の機能として分けるべきところであるが、現状を生かすため、これらをひとつのシリーズとしてまとめた。

シリーズ「諸書類綴」

八田家文書は関連する文書が綴られている場合が多く、この現状を生かすための編成を心掛けたが、綴られ

た要因が判然としない場合が多く見られる。サブフォンド「糸会所」の場合、え 846 は「卯年 糸方指引書類」と記された袋（え 846-1）に入っていた綴り一括であり、拝借金・預り金に関する文書が多いものの、詳細な内容が分からない金銭書上が見られるため、敢えてシリーズ「諸書類綴」とした。このような保管方法は糸会所の特質というより、八田家文書の全体の特質として考えられ、今後八田家による管理の様相であるか、産物会所による管理の様相であるかの課題が遺された。

サブフォンド「産物会所」

産物会所は紬生産の興隆に対応するため、糸会所の拡充として、天保 4 年（1833）に設置された。『八田家文書目録』その 1 では大項目「会所・商社」の中にシリーズに、『八田家文書目録』その 3 では大項目として「産物会所」が設定されている。今回の『八田家文書目録』その 4 でも、サブフォンドとして設定したい。『八田家文書目録』その 4 においては 1877 レコード。『八田家文書目録』その 4 までに収録した会所に関わる文書の数量はサブフォンド「糸会所」で触れた通り 66% に該当する。

産物会所の役割は、①藩からの資金調達（中借金）と問屋への貸付、②問屋による産物の集荷、③鑑札を発行して生産者や仲買人を統制し、冥加金の取り立て、④上方・江戸での売り捌きであった。『八田家文書目録』その 4 では①②に関する文書はあまり多くなく、③④が多かった。また、綴の一括のうち機能が判然としないものについては「諸書類綴」としてシリーズを分けた。このシリーズはサブフォンド「産物会所」全体項目と関わるため、こちらも参照されたい。

シリーズ「諸産物の統制」

このシリーズでは産物会所によるさまざまな産物の統制に関わる文書を編成した。それぞれ産物ごとにサブシリーズを設定した。特に多いものは鑑札の交付と冥加金に関する文書で、この文書があるサブシリーズについてはさらにもうひとつ階層を設定することにした。

サブサブシリーズ「鑑札交付」があるものはそれをサブサブシリーズの冒頭とし、その他については各文書の機能に応じて項目を立てることとした。但し、サブシリーズ「杏仁」のうち、え 838 のように袋一括で、上書きに「杏仁御買上ニ付入用之雑書類入」と記されているものはこの現状を生かして、サブサブシリーズ「杏仁御買上ニ付入用之雑書類入」を設定した。え 67 の綴は杏仁・甘草のいずれの文書も含まれているので、これは別のサブシリーズ「杏仁・甘草」を設定した。

シリーズ「近郷での取引」「江戸での取引」「大坂での取引」「京都での取引」「横浜での取引」

集荷した産物は各地で売り捌かれたがそれらに関する文書を地域ごとにシリーズとして編成した。江戸での取引については天保 4 年（1833）まで紬市を通じた一手捌を企図していたが、同 6 年までに激しく落ち込んでおり、江戸以外の地域の模索も始められた。その結果、松本の商人葉灌屋を通じて上方との取引を求め、さらには開国後、横浜での取引も企図した。なお、頓挫したものの会津藩国産会所の計画も天保 6 年になされたり、尾州犬山蔵物会所が設置されて、産物取引が行なわれたりしている。大坂での取引の文書（例えばえ 7-2）の

中に名古屋の商人井沢屋三千太郎が登場するのはこうした地域と関係する文書の可能性も考えられる。

なお、シリーズ「大坂での取引」は『八田家文書目録』その1に准じて嘉永期と安政期の杏仁・甘草取引関するシリーズを設定した。その他のシリーズは年代が判然としないものが多いため、それぞれの機能を優先してシリーズとした。大坂での取引は、松代の産物を越後今町より北廻り航路で大坂商人炭屋彦五郎に送り、炭屋は西国の塩などを領内にて売り捌くという構図であったので、この機能を生かした編成とした。また、炭屋とは既述の通り弘化4年(1847)に御用達となったので、それ以前から関係があったものと考えられるが、松代藩は産物(特に杏仁・甘草)を引当に多額の借金をするをを目指していた(佐久間象山の建策)。その機能についてもシリーズとして設定した。

シリーズ「川船会所」

千曲川の通船は近世中期以降企図されていたものの、北国街道筋の宿によって反対され、寛政2年(1790)に公認された。松代藩は流通の拡大とともに松代藩川船会所を設立したが、これは糸会所や産物会所と同様に、商品流通を統制するため、千曲川通船を統制する会所として東寺尾村(現在の長野県長野市松代町東寺尾)に設置したものである。東寺尾村は蛭川(千曲川支流)に位置し、松代河岸・寺尾河岸と称され、塩を中心とした上り荷がもたらされた。

八田家は当主嘉右衛門が文化13年(1816)5月11日に産物御用掛に任じられ、次いで翌14年3月28日に川船運送方御用を仰せ付けられている。川船運送方御用と川船会所との関係は不明であるので、川船会所の文書が八田家に伝来した所以は分からない。但し、え63は「産物方貸出金証文」と上書きされた袋に納められた文書一括(現在では袋も含めて一綴り)だが、宛所が「八田嘉右衛門様御役人衆中」・「中嶋三右衛門様」(人物不明)・「川船御会所」など区々である。袋の名称を考慮した場合、八田・中嶋・川船会所による借金証文が何らかの契機によって(借金の肩代わりなど)産物会所に伝来した可能性が高いと判断し、サブフォンド「産物会所」にシリーズ「川船会所」を設定した。

なお、これまでの『八田家文書目録』ではその1にサブフォンド「内方」のシリーズ「通船方」、その3にサブフォンド「松代藩御用」のシリーズ「川船会所」が設定されているが、上記を考慮した場合、川船運送方御用と川船会所との関係が不明瞭であり、むしろ産物会所の文書として集積されたと思われる。

シリーズ「藩内他地域の産物会所」

松代藩では幕末に領内各地で産物会所が設置されている。慶応元年(1865)には領内23ヶ村に産物会所・産物改所が置かれ、それぞれ取締役・世話役が任命された。さらに、慶応3年・明治2年(1869)にも増設されている。それらの産物会所を宛所した文書をシリーズ「藩内他地域の産物会所」に入れた。これらの文書がなぜ城下町の産物会所に遺されたかは不明である。内川村は現在の千曲市で、天保10年(1839)に藩仲買人13名、同12年に絹紬仲買人11名いた村。向八幡村・力石村も同様に現在の千曲市である。

サブフォンド「松代商法社」

松代商法社は明治2年(1869)に設立された。この時期は各藩ともに殖産興業政策を推進するために国産会

社や商法会社が設置されるが、松代商法社もそのひとつと言える。その機能は第一に商人同士の結集・団結、第二に外国との交易商人に対する資金提供、第三に産物抜荷取り締まりであった。商法社取締役は羽尾村（現在の長野県千曲市）出身の横浜交易商人である大黒屋大谷幸蔵で、八田慎蔵が商法掌を勤めた（商法掌は9名）。松代商法社は羽尾村と松代城下の伊勢町に設置されたものの、規模は圧倒的に羽尾村の方が大きく、そのため八田家文書の中に商法社に関する文書は少ない。『八田家文書目録』その4においても1点しか確認できないが、明らかに別の組織であるため、これをサブフォンドとして設定した。

サブフォンド「内方・産物会所混合文書」

糸会所・産物会所は八田喜兵衛（4代目伊勢町八田家当主の嘉右衛門養弟）の役代である菊屋惣兵衛の屋敷の一部を金8両で借りたものであり、産物会所も惣兵衛家に設置されたと言われている。そのため、何故、内方と産物会所の文書を一緒にした綴が作られたのかは不明である。組織として産物会所と未分離であったか、あるいは会所が伊勢町八田家に移転した可能性も考えられよう。ここでは混合した綴や袋一括についてサブフォンド「内方・産物会所混合文書」を設定した。なお、え245は安政3年（1856）の年記を持つ袋一括で、「有用之紙屑 猥ニ取捨へからす」と上書きされている。内容は様々な文書でどのように「有用」と判断したのかは不明ながら、このまとまりの現状を生かすべきと判断してシリーズ「有用之紙屑」を設定した。

サブフォンド「その他」

内容が判然としない文書の綴り、及び八田家文書と関係なく、なんらかの契機によって八田家文書に含まれてしまった文書を入れた。え107は真田家の郡方当番日記下書きと目される文書。同封されていた1985年1月23日付メモ書きによれば「信州八田家文書の整理中に混在していたものを除外した」とあり、混入の理由は不明とした上で、「真田家文書の郡方には同種の日記案文は現存せず、或は某家（例えば岡野家）から流出して、真田又は八田家文書の中に混入したとも推測できる」と記されている。

このような混入文書についてはこのまま八田家文書として整理をすることにした。なお、データベース上では利用者の混乱を避けるように配慮したい。

参考文献

- 荒武賢一郎「松代真田家の大坂交易と御用場」（渡辺尚志・小関悠一郎編『藩地域の政策主体と藩政 信濃国松代藩地域の研究Ⅱ』岩田書院、2008年）
- 荒武賢一郎「在坂役人の活動と蔵屋敷問題 ―幕末維新期の混乱とその特質―」（荒武賢一郎・渡辺尚志編『近世後期大名の領政機構 信濃国松代藩地域の研究Ⅲ』岩田書院、2011年）
- 大藤修「信濃国松代八田家文書の整理を担当して」（『史料館報』第53号、1990年）
- 大橋毅顕「松代藩御用商人八田家の金融 ―文化・文政期を中心に―」（荒武賢一郎・渡辺尚志編『近世後期大名の領政機構 信濃国松代藩地域の研究Ⅲ』岩田書院、2011年）
- 藤田雅子「天保期松代藩における国産紬の販売」（吉田伸之編『流通と幕藩権力』山川出版社、2004年）

古川貞雄「松代藩における非常出費時の御用金・借入金政策」(『市誌研究ながの』第5号、1998年)

望月良親「近世後期における松代八田家と松代藩財政」(渡辺尚志・小関悠一郎編『藩地域の政策主体と藩政
信濃国松代藩地域の研究Ⅱ』岩田書院、2008年)

吉永昭「松代商法会社の研究」(『社会経済史学』第23巻3号、1957年)

吉永昭「専売制度についての一考察」(『史学研究』第65号、1957年)

吉永昭「紬市の構造と産物会所の機能 - 信州松代藩の場合 -」(『歴史学研究』204号、1957年)

吉永昭「幕末期における専売制度の性格とその機能 - 信州松代藩の場合 -」(『歴史学研究』218号、1958年)

吉永昭「製糸業の発展と糸会所の機能 - 信州松代藩の場合 -」(『史学雑誌』第68編2号、1959年)

【参考】『八田家文書目録』その４に多く見られる藩役人一覧

人名	石高ないし俸禄。役職	頁数
松本嘉十郎	切米15俵粃2人扶持玄米1人扶持 公事方掛 天保14.3.21 御勘定役 弘化(年月日未詳) 寺社方留役助 安政6.4.4 寺社方留役・評定所留役兼帯 安政6.4.23 死去	293
山崎久右衛門	切米15俵玄米3人扶持 天保3.9.14 御勘定吟味方留役 天保6.閏7.15 御勘定役	343
松本源八	高160石 文政12.9.15 町奉行 天保9.6 御預所御郡奉行助兼 天保10.11.晦 職奉行宗門改兼帯 天保14.3.21 寺社奉行	289
興津権右衛門	高150石 天保3.9.5 町奉行郡奉行御勝手元ノ兼帯 天保5.8.24 職奉行郡奉行宗門改兼帯 天保6.1.29 郡奉行御免	65
石倉源五右衛門	高60石 文政7.3.16 普請奉行 文政7.8.11 職奉行 文政8.2.4 宗門奉行兼帯 天保4.2.18 産物会所掛	23
春日儀右衛門	切米30俵粃2人扶持玄米2人扶持 文政4.4.13 御勘定見習 嘉永7.7.26 御勘定所元ノ 文久3.12.28 越石御代官 慶応元.6.26 死去	79
佐竹周蔵	切米金4両粃3人扶持玄米1人扶持 文政7.1.24 御側組御徒目付 天保9.5.22 評定所留役 天保10.2.11 退役 天保10.8.25 御普請方改役 天保12.7.6 御鍵番御内玄関番兼 天保12.7.13 御普請方改役御免 天保15.5.14 御側組御徒目付 嘉永4.5.21 御預所元ノ役 明治2.11.23 一等監使 明治3.閏10.18 非役	138
堀内与右衛門	不明	不明

(役職については産物会所設置前後以降を掲載。典拠は国立史料館編『史料館叢書 8 真田家家中明細書』東京大学出版会、1986年)

伊勢町八田家略年表		
年代	人物	出来事
宝永 4.6	①孫左衛門重以	分家
宝永 6.6	①孫左衛門重以	伊勢町に居住。この年に町年寄就任
享保 11.4.6	①孫左衛門重以	御用金才覚により御目見
享保 12.12.23	①孫左衛門重以	御用金才覚により 30 人扶持
寛保 3.7	①孫左衛門重以	病気により町年寄退任
寛保 3.7	②嘉助芳茲	町年寄就任
延享 4.5.23	①孫左衛門重以	死去
延享 4.7.12	②嘉助芳茲	30 人扶持
寛延 3.12.1	②嘉助芳茲	御用金切り捨てにより 20 人扶持加増（計 50 人扶持）
宝暦 6.7.9	②嘉助芳茲	病気により町年寄退任
宝暦 6.7.15	②嘉助芳茲	死去（60）。鉄治郎（③孫左衛門以親）への相続と 50 人扶持下付を藩へ願い出る。ならびに養子嘉右衛門に本家再興を遺言
宝暦 6.9.20	③孫左衛門以親	30 人扶持
宝暦 8.11.28	③孫左衛門以親	元服して鉄治郎より孫左衛門と改める
宝暦 11.3.19	③孫左衛門以親	町年寄就任
寛政 3.3.22	④嘉右衛門知義	町年寄就任
寛政 4.2.15	③孫左衛門以親	病気により町年寄退任
寛政 10.7	③孫左衛門以親	金三百両才覚御用達
享和 2.3.25	③孫左衛門以親	300 両を藩に献上
享和 2.12.25	③孫左衛門以親	祖父以来の出精により給人格御勝手御用役
享和 3.1.1	③孫左衛門以親	死去（62）
享和 3.2.9	④嘉右衛門知義	家督相続の上、30 人扶持・給人格御勝手御用役。ならびに町の人別と別帳になる
文化 3	④嘉右衛門知義	御用金を申し付けられる
文化 4	④嘉右衛門知義	御用金を申し付けられる
文化 10.5.10	④嘉右衛門知義	白鳥宮普請のため 100 両を献上
文化 10.10.7	④嘉右衛門知義	5 人扶持加増（計 35 人扶持）。この年、加増分を義弟喜兵衛に与えて分家させる
文化 13.5.11	④嘉右衛門知義	産物御用掛就任
文化 14.3.28	④嘉右衛門知義	川船運送方御用就任
文政 7. 閏 8.11	④嘉右衛門知義	数代御用を勤めたことにより給人永格
文政 7.11.7	④嘉右衛門知義	社倉調役就任
文政 9.9.10	④嘉右衛門知義	糸会所取締役就任
天保 4	④嘉右衛門知義	産物会所取締役就任
天保 5.3	⑤嘉助知則	御勝手御用役見習就任
天保 8.12.28	④嘉右衛門知義	切米納粉 30 俵下付
嘉永元 .12.9	④嘉右衛門知義	死去（78）
嘉永 2.2	⑤嘉助知則	家督相続の上、30 人扶持・御勝手御用役本役
嘉永 4.11.23	⑤嘉助知則	死去（45）
嘉永 5.1.16	⑥慎蔵知道	家督相続の上、30 人扶持・御勝手御用役
明治 2.12.13	⑥慎蔵知道	商法掌就任
明治 3. 閏 10.11	⑥慎蔵知道	士族に列する
明治 4.8.19	⑥慎蔵知道	商法掌免職。権少属補助商法方就任
明治 12.7	⑥慎蔵知道	第六十三国立銀行頭取就任
明治 13.3	⑥慎蔵知道	第六十三国立銀行頭取退任
明治 40.10.8	⑥慎蔵知道	死去（79）

註：丸数字は当主として何代目かを示したものの。（ ）は享年。

伊勢町八田家系図

【初代】

孫左衛門・重以

延享4年5月23日没
輝光院長嶽榮久居士
●宝永4年6月、木町八田家より分家
●宝永6年6月、町年寄役被仰付(→寛保3年7月)
●享保12年12月、三十人扶持下置

テフ

屋代 柿崎市之丞基景女
享保9年8月10日没
蓮臺院華屋千間大姉

女 木町 八田長左衛門妻
女 押田 坂原兵左衛門妻
女 木町 八田嘉右衛門養女、岡野甚十郎室(享保14年)

【二代】(元禄10年)生

嘉助・芳盛 孫左衛門弟

宝暦6年7月15日没(60)
精心院好道祐善居士
●寛保3年7月、町年寄役被仰付(→宝暦6年7月)
●延享4年、家督相続、三拾人扶持被下置
●寛延3年12月、二十人扶持御加増被下置

ヘン

屋代 柿崎源左衛門景忠妹
享保15年4月20日没
妙源院桃雲仙花大姉

マツ(後妻)

樋口弥兵衛兼季女
宝暦元年5月18日没
桂心院貞屋恵松法尼

女 増田惣左衛門妻
ツタ 享保20年9月11日没
光岩隨門童女

エイ 享保15年5月22日没

囃月吟草童女

寅松 寛保2年11月10日没

玉翁瑞光居士

女 木町 八田嘉右衛門妻

キイ 享和3年6月22日没

新十郎・重則 押田 坂原兵左衛門三男

宝暦12年8月3日没

タカ 寛保2年9月18日没

隔山了河童女

孫助 寛延4年3月13日没

天真露節居士

【三代】(寛保2年)生

孫左衛門・以親 幼名鉄治郎

享和3年正月1日没(62)

慧光院忠崇泰全居士

●宝暦6年、家督相続、三十人扶持被下置

●宝暦11年3月、町年寄役被仰付(→寛政4年2月)

●享和2年12月、給人格御勝手御用役被仰付

チカ 綿内 堀内惣藏養女

文政8年5月22日没

霊明院審承井幹大姉

女 大瀬登室

喜右衛門 木町 八田嘉右衛門養子

権五郎 寛延4年3月13日没

露外修節童女

女 寛延4年5月18日没

一影幻夢童女

【六代】(文政12年)生

慎蔵・知道

明治40年10月8日没(79)
知道院齋庵子静居士
●嘉永5年正月16日、家督相続、三十人扶持被下置、御勝手御用役被仰付
●明治2年12月、商法掌
●明治3年閏10月、士族
●明治4年8月、免職、少風補助商法方
●明治12年7月～同13年3月、第六十三国立銀行頭取

ユウ

(天保3年)生、岡野元賢妹
明治29年4月4日没(65)
清亮院浄雲慧明大姉

鉄治郎・知徳

明治9年3月23日没
正倫院義観諱賢居士

シゲ 伊勢崎 竹内莊三郎妹

明治10年正月21日没

法性院遷入到安大姉

長 (天保8年)生、松木董正妻

明治17年10月31日没(48)

清操院順善岐女大姉

ハル 嘉永5年9月23日没

玉樹院實相妙心大姉

【八代】明治9年12月9日生

彦次郎・知信

昭和30年3月9日没(80)
知信院晚香子進居士

よう

(明治11年)生
下高井郡江郎村 山田莊左衛門次女
明治31年6月26日没(21)
端正院高信操要大姉

のぶ(後妻)

明治15年生
山田莊左衛門三女
昭和36年正月7日没(80)
瑞昌院徳光貞順大姉

潔

長野 藤井安治妻
(明治15年)生、長久保 竹内忠雄妻

昭和4年4月9日没(48)

竹内純刀自瑞比賣命

就 (明治18年)生、東京 内藤克二妻

大正15年4月29日没(42)

専明理法精就大姉

諒 井上 坂本重雄妻

謙三 (明治26年)生

千葉泉鎌ヶ谷町へ移ル

昭和39年1月9日没(72)

謙光院実相超心居士

茂子 上田 柳沢太郎兵衛次女

【九代】明治33年11月2日生

恭平

生母のぶ、他子も同
昭和36年12月29日没(62)
知孝院昇雲恭平居士

きよえ

松本 中田亮次女
昭和29年7月16日没(51)
琴松院観聴清音大姉

信吉

明治38年2月9日生、坂本喜久子へ養子
昭和46年5月7日没(67)
誓願院釈信兼善樂居士

恒夫

明治41年6月19日生、分家ス
天雄院忠信恒道居士

美知子 北村門之丞次女

【十代】明治44年3月17日生

清

平成12年9月15日没(89)
千鶴 大正7年9月20日生
八田謙三長女

【十一代】

慎蔵

昭和14年5月7日生

和子 昭和16年9月2日生

奈良 西川源内長女

陽子 昭和19年11月28日生

和子 昭和22年2月2日生

綱 (嘉永4年)生
明治33年11月20日没(50)
瓊芳院玉室貞樹大姉

【七代】(安政元年)生

彦次郎 上田 内藤源治郎弟

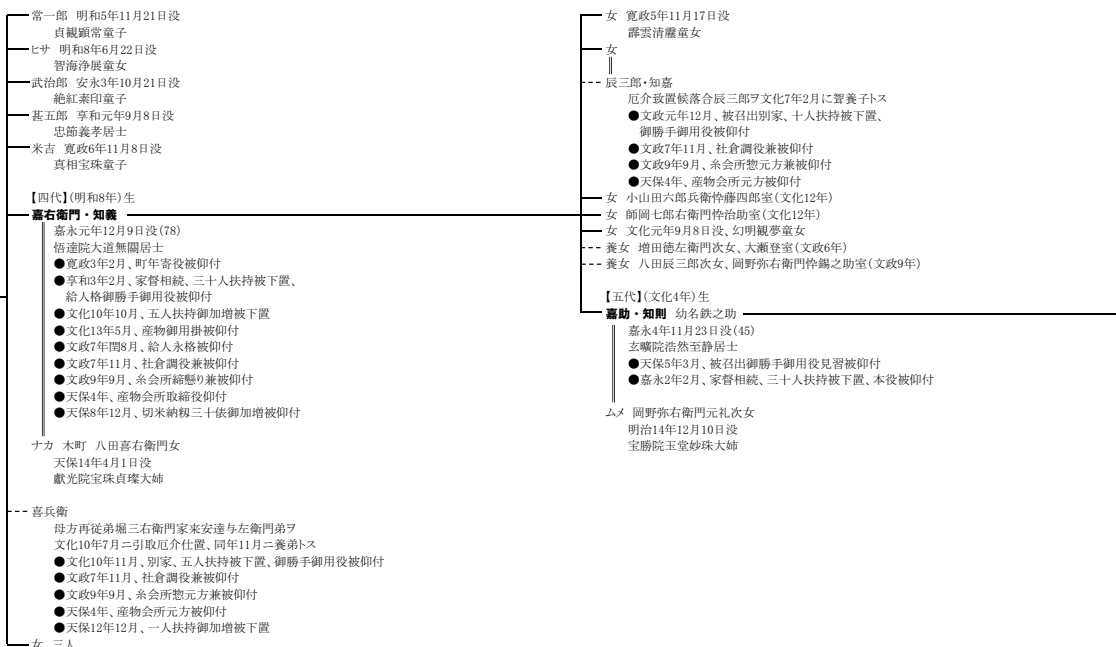
明治27年7月8日没(41)

鮮明院良光透然居士

久米 (安政2年)生

大正7年9月16日没(64)

秋岳院玉顔妙姿大姉



◎『史料館所蔵史料目録』第41集154頁～157頁に基づいて、加筆の上、作成した。

◎点線は養子、養女、養弟を示す。二重線は夫婦を示す。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

1. 内方 /1. 家族・奉公人 /1. 鉄之助内室出産

(鉄之助内室出産関係他綴)		綴/(え54-1~4は一綴)・1綴	え54
(書状、この書状お届け下さるようお願いに付)* (端裏書)「書入[](綴紐)御免可被成下候」 (八田)嘉右衛門様→(中島)三右衛門様	3月8日	切紙/(え54-1~4は一綴)・1通	え54-1
(書状、鉄之助様御内室様安産にて男子出産なされ目出度きに付) 中島三右衛門→八田嘉右衛門様・八田鉄之助様貴報	3月18日	横切紙/(え54-1~4は一綴)・1通	え54-2
堀肥前守直輝公鉄砲御改印書(中包及び印書)*写	承応2年巳正月吉日	切継紙/(え54-1~4は一綴)・1通	え54-3
(書状、鉄砲改の写し貴覧奉り、然るべきようお願い上げるに付) 樹一郎→(八田)嘉右衛門様凡右下	6月2日	横切継紙/(え54-1~4は一綴)・1通	え54-4
(書状、私儀出産仕り、御誂えの品々近日差し上げるに付) 金助代拝→八田君	3月望	横切紙・1通	え54-5
(書状、御新造様平産にて男子出生され目出たきに付他) (中島)三右衛門→(八田)嘉右衛門様	3月18日	横切継紙・1通	え54-6

1. 内方 /1. 家族・奉公人 /2. 市兵衛意見書

(包紙)* (包紙上書)「謹上 願書」		包紙/(え850-2~3は包紙一括)・1点	え850-1
乍恐以書取奉申上候(伝兵衛定役儀の件他、今般不容易手段の改革にて御家法規定は永続の心掛け見えぬ他に付) 市兵衛→謹上	天保11子年正月	堅継紙/(え850-2~3は包紙一括)・1通	え850-2
(書状、今度出府御用のところ、愚意の儀申し上げて出府差留められ、私儀暫くの間退身罷りありたきに付)* (端裏書)「謹上」 市兵衛	正月	横切継紙/(え850-2~3は包紙一括)・1通	え850-3

1. 内方 /1. 家族・奉公人 /3. 人名・年齢書上

安永十年人詰差出扣(八田孫左衛門他家内人数16名 人名年齢書上) 八田孫左衛門	安永10年丑2月	美・1冊	え848
---	----------	------	------

1. 内方 /2. 田村半右衛門書状綴

(田村半右衛門書状綴)		綴/(え57-1~21は一綴)・1綴	え57
田村半右衛門ヨリ来状入		袋/(え57-1~21は一綴)・1袋	え57-1
(書状、其の表の儀は追っ付け知れ申し、徒党の百姓死罪の後に相成り申す付) 田村半右衛門(印)→八田嘉助殿	9月10日	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-2
(書状、金500両相揃え十学様へ御渡し、御請取下されたきに付) 八田嘉助→田村半右衛門様	1月18日	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-3

1. 内方 /2. 田村半右衛門書状綴

(書状、変事にて何事も気の毒千万、田村へ申し談じ、郡奉行へも申し遣わずに付) (小松)一学→(八田)嘉助様	9月14日	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-4
(書状、御年貢御次合仰せ付けられありがたきに付他) 田村半右衛門様	10月10日	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-5
(書状、御粗米にて御渡下され、競方成るとも取り立て、御渡し下されるよう仕りたきに付) →(湯本)十学様御内衆	10月10月	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-6
(書状、其表に罷り在る節御世話忝きに付) 田村左近広武(花押)→八田嘉助殿人々中	8月25日	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-7
(書状、百姓共徒党の儀御上御腹立ち、御知行所初めての御仕置きあるに付他) 田村半右衛門(印)→八田嘉助殿	8月17日	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-8
(書状、当年初勤にて物入のため9月節句前までに5両借用申したきに付) 田村左近→八田嘉助殿	8月27日	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-9
(書状、小松一学殿へ申し談ずるにより、左様心得るべきに付) 田村半右衛門→八田嘉助殿	10月18日	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-10
(書状、御返済引き当の儀、御粗米・御蠟実仰せ付けられるよう願うに付) →小(小松)一学様御内衆	10月10日	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-11
(書状、500両御用立申さるべきに付) 田村半右衛門(印)→八田嘉助殿	正月8月	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-12
(書状、200両一学に相尋ねるところきつと相済む旨、このたび承りたきに付) 田村半右衛門→八田嘉助殿	3月15日	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-13
(書状、百姓共徒党の詮議の儀、差当たり郡奉行へ委細申し遣わずに付) 田村半右衛門(印)→八田嘉助殿	8月25日	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-14
(書状、家中浪人矢野伝五郎、上方金2万両程借り出し、殿様御用立の儀、貴殿御懸りにて相済むよう願うに付) 小菅山心休庵→八田嘉助殿	10月朔日	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-15
(書状、名物の兩種を給い、遠路忝きに付) 小松一学成庸(花押)→八田嘉助殿	9月16日	折紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-16
(書状、判鑑そこ元へ渡す訳は何事に寄らず致したく、大切の金子不埒に成らざるようの致し方に付) 田村半右衛門→八田嘉助殿	12月2日	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-17
(書状、何卒御手前様御厚恩をもって取り続き、酒仕入れも仕りたきに付)		折紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-18
(書状、利足金2割外に1割半も相済み、都合500両に相成るに付) 田村半右衛門(印)→八田嘉助殿	5月15日	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-19
(書状、御金御入用300両相調い兼ねるに付)		横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-20
(書状、左近御召し出しにて御肴代給わり、筆紙に尽くし難きも、致し方無く相心得、出精千一に存ずるに付) 田村半右衛門正勝(花押)→八田嘉助様	5月2日	横切継紙/(え57-1~21は一綴)・1通	え57-21

1. 内方 /3. 藩への上納金・才覚金

(御用金調達綴)	(享保11年3月～延享元年9月)	綴/(え59-1～21は一綴)・1綴	え59
初先納金請取覚(新金60両2分才覚上納に付) 恩田十郎兵衛・山越一之丞・大嶋太右衛門(印)・原半兵衛(印)・池村与兵衛(印)、(奥書)十河半蔵(印)、(裏書)祢津甚平(印)・恩田奎(印)→八田孫左衛門殿	享保11年4月	堅紙/(え59-1～21は一綴)・1通	え59-1
初子前金請取申事(当暮物成初前金500両に付) 真田出羽守内春原十兵衛(印)・真田出羽守内八田長左衛門(印)・請負人信州松代八田嘉右衛門(印)・同断八田孫左衛門[印]、(奥書)八田長左衛門(印)・春原十兵衛(印)、(奥書)木村甚五郎(印)・海野太右衛門(印)・赤沢七郎右衛門(印)・望月治部左衛門(印)・恩田奎(印)・祢津甚平(印)・出浦半平[印]・矢澤刑部左衛門(印)→大坂信濃屋弥左衛門殿・同袴屋市郎兵衛殿	享保11丙午年3月	堅継紙/(え59-1～21は一綴)・1通	え59-2
添証文之事(当暮物成初前金500両請け取るに付) 春原十兵衛(印)・八田長左門(印)→信濃屋弥左衛門殿・袴屋市郎兵衛殿	享保11丙午年3月	堅紙/(え59-1～21は一綴)・1通	え59-3
一札之事(去年3月中御取替の出羽守殿用金延引の所、当9月中元利返済するに付) 信州松代八田嘉右衛門(印)・八田孫左衛門[印]→大坂信濃屋弥左衛門殿・同袴屋市郎兵衛殿	享保12年未4月	堅紙/(え59-1～21は一綴)・1通	え59-4
借用申初子前金之事(新金500両初子前金として請け取るに付) 山越一之丞(印)・大嶋太右衛門(印)・原半兵衛(印)・池村与兵衛(印)、(裏書)矢沢刑部左衛門(印)・恩田奎(印)・望月治部左衛門(印)→川北押田村坂原兵左衛門殿・江戸坂原文三郎殿	享保13戌申年12月	堅紙/(え59-1～21は一綴)・1通	え59-5
初子先納金請取之事(新金300両初子先納金に付) 山越一之丞(印)・大嶋太右衛門(印)・原半兵衛(印)・池村与兵衛(印)、(裏書)矢沢刑部左衛門(印)・恩田奎(印)・望月治部左衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保13戌申年12月	堅紙/(え59-1～21は一綴)・1通	え59-6
借用申初子前金之事(新金200両初子前金として請け取るに付) 山越一之丞(印)・大嶋太右衛門(印)・原半兵衛(印)・池村与兵衛(印)、(裏書)矢沢刑部左衛門(印)・恩田奎(印)・望月治部左衛門(印)→上田原町増田八郎兵衛殿・同所布屋市郎右衛門殿	享保13戌申年12月	堅紙/(え59-1～21は一綴)・1通	え59-7
借用申金子之事(新金100両に付) 山越一之丞(印)・大嶋太右衛門(印)・原半兵衛(印)・池村与兵衛(印)、(裏書)矢沢刑部左衛門(印)・恩田奎(印)・望月治部左衛門(印)→江戸本郷坂原豊三郎殿	享保14己酉年4月	堅紙/(え59-1～21は一綴)・1通	え59-8
借用申金子之事(新金100両初子前金として請け取るに付) 八田孫左衛門[印]、(奥書)山越一之丞・大嶋太右衛門(印)・原半兵衛(印)・池村与兵衛(印)、(裏書)矢沢刑部左衛門(印)・恩田奎(印)・望月治部左衛門(印)→坂木町荒井伊助殿	享保14己酉年2月	堅紙/(え59-1～21は一綴)・1通	え59-9
証文之事(覆初96俵申の納蔵付手形借用に付) * (端裏貼紙上書)「五 享保十四西二月中野町伊右衛門」 山越一之丞・大嶋太右衛門(印)・原半兵衛(印)・池村与兵衛(印)、(裏書)矢沢刑部左衛門(印)・恩田奎(印)・望月治部左衛門(印)→中野町伊右衛門殿	享保14己酉年2月	堅紙/(え59-1～21は一綴)・1通	え59-10
覚(初726俵内真初387俵・覆初339俵申の納蔵付手形借用に付) * (端裏貼紙上書)「六 享保十四西三月八田孫左衛門」 山越一之丞(印)・大嶋太右衛門(印)・原半兵衛(印)・池村与兵衛(印)、(裏書)矢沢刑部左衛門(印)・恩田	享保14己酉年3月	堅紙/(え59-1～21は一綴)・1通	え59-11

1. 内方 /3. 藩への上納金・才覚金

奎(印)・望月治部左衛門(印)→八田孫左衛門殿			
證文之事(覆初200俵申納藏付手形借用に付) 山越一之丞・大嶋太右衛門(印)・原半兵衛(印)・池村与兵衛(印)、(裏書)矢沢刑部左衛門(印)・恩田奎(印)・望月治部左衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保14己酉年2月	豎紙/(え59-1~21は一綴)・1通	え59-12
借用申金子之事(新金100両請け取りに付) 大嶋太右衛門(印)・原半兵衛(印)・池村与兵衛(印)、(裏書)矢沢刑部左衛門(印)・恩田奎(印)・望月治部左衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保14己酉年6月	豎紙/(え59-1~21は一綴)・1通	え59-13
覚(初526俵内真初502俵・覆初24俵申の納藏付手形借用に付) 山越一之丞(印)・大嶋太右衛門(印)・原半兵衛(印)・池村与兵衛(印)、(裏書)矢沢刑部左衛門(印)・恩田奎(印)・望月治部左衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保14己酉年3月	豎紙/(え59-1~21は一綴)・1通	え59-14
覚(覆初500俵申の納藏付手形借用に付) * (端裏貼紙上書)「九 享保十四酉四月八田孫左衛門」 山越一之丞(印)・大嶋太右衛門(印)・原半兵衛(印)・池村与兵衛(印)、(裏書)矢沢刑部左衛門(印)・恩田奎(印)・望月治部左衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保14己酉年4月	豎紙/(え59-1~21は一綴)・1通	え59-15
覚(才覚上納金100両預り置くに付) 池村与兵衛(印)→八田孫左衛門殿	享保15年戌3月18日	豎紙/(え59-1~21は一綴)・1通	え59-16
借用申金子之事(金300両に付) 松城預り主八田孫左衛門[印]、(奥書)山岸文大夫(印)・湯本十学(印)・宮下伝蔵[印]、(奥書)河原舍人、(裏書)矢沢矢治摩(印)・望月治部左衛門(印)・江戸小山田平大夫・祢津甚平(印)・江戸祢津三十郎・大熊五郎左衛門(印)→勢州平尾村佐藤惣兵衛殿・勢州椿世村増田喜右衛門殿・勢州住山村若林庄兵衛殿	元文5庚申年極月	豎継紙/(え59-1~21は一綴)/(継目剥離)・1通	え59-17
借用申金子之事(金300両に付) 松城預り主八田孫左衛門[印]・加判八田惣三郎(印)、(奥書)山岸文大夫(印)・湯本十学(印)・宮下伝蔵[印]、(奥書)河原舍人、(裏書)矢沢矢治摩(印)・望月治部左衛門(印)・江戸小山田平大夫・祢津甚平(印)・江戸祢津三十郎・大熊五郎左衛門(印)→上州前橋松井樽四郎殿・上田原町増田八郎兵衛殿	元文5庚申年極月	豎継紙/(え59-1~21は一綴)・1通	え59-18
年賦證文之事(元金利金合金800両2分銀9匁を10年賦に相極めるに付) 宮下伝蔵[印]・湯本十学(印)・山崎文大夫(印)、(奥書)河原舍人(印)、(裏書)矢沢矢治摩(印)・望月治部左衛門(印)・江戸小山田平大夫・祢津甚平(印)・江戸祢津三十郎・大熊五郎左衛門(印)→八田孫左衛門殿	元文5年申12月	豎紙/(え59-1~21は一綴)・1通	え59-19
覚(合わせて金495両借用に付) 成沢新弥(印)・山岸文大夫(印)、(裏書)原小隼人(印)→八田嘉助殿	寛延元戊辰年12月21日	豎紙/(え59-1~21は一綴)・1通	え59-20
覚(合わせて金170両上納し、御納戸へ指し出すに付) 宮下伝蔵[印]・湯本十学(印)・山岸文大夫(印)、(奥書)岩崎四兵衛(印)、(裏書)矢沢矢治摩(印)・望月治部左衛門(印)・祢津甚平(印)・祢津三十郎(印)・祢津数馬(印)→八田嘉助殿	延享元子年9月	豎継紙/(え59-1~21は一綴)・1通	え59-21
覚(八田嘉右衛門借主の初先納御利足式割古金50両他ノ1916両2歩他金銭書上)	延享2年丑5月	美・1冊	え58
(袋) * (袋上書)「泰全様給人格被 仰付一件二付献金之次第従先年御用金差出趣存念之趣御尋種々内聞等有之候趣書記不評他見渡来心得ニ茂相成候間致熟談置可申事 知義」	享和2壬戌歳12月25日	袋・1点	え83
覚(才覚金利足54両1分銀11匁2分6厘受取に付) 八田辰三郎(印)・八田喜兵衛(印)、(奥書)八田嘉右衛門(印)→小林三左衛門殿・吉沢十助殿・宮沢彦左衛門殿・池田良右衛門殿・竹内藤助殿	天保4己年12月	豎継紙・1通	え849

<p>覚(宝永年中より才覚金元利金85016両3分余・御用勘 464800俵余御滞りの分他書上)＊(包紙上書)「覚 八 田孫左衛門」/(包紙貼紙上書)「享和二壬戌年九月十七日御 蔵元メ徳寫甚蔵殿より先年御用達の趣相認為見候様関田 庄助殿を以被申越候付、若斯相認差出候処、品ニより御前迄 茂入御聴候義ニ御座候得者余り過分ニ者如何敷御座候間、 前々御用立御元金相調申立候様可被申聞 別紙相認置」 八田孫左衛門</p> <p>(包紙)＊(包紙上書)「身上向取調ニ付口達書取」</p> <p>(暮方の儀心得方の次第は自己の儉約油斷無く心懸 けるべきに付)＊(端裏書)「暮方心得書取」</p> <p>(勝手繰合の義近年取り立て方差し支え、以来は暮方 規定を立てるよう心懸けるべきに付)</p> <p>(今度身上向暮方取り調べの儀、以来は規定を立て、 取り続き方專一に心懸けるべきに付)</p> <p>(包紙)＊(包紙上書)「享和二戌年十月先年御用達金相調入 御覧候様被 仰付候付左之趣相調入御覧申候」/(包紙貼紙 上書)「式通之内迄通ハ安政五午年十一月高田大蔵方へ遣し 置」</p> <p>覚(宝永年中より才覚金元利金85016両3分余・御用勘 464800俵余御滞りの分他書上) 八田孫左衛門</p> <p>(古金85015両3分余他金銭書上)</p>	<p>10月</p> <p>8月</p> <p>10月</p>	<p>横切継紙/(包 紙共)・1通</p> <p>包紙/(え85-2 ～4は包紙一 括)・1点</p> <p>横切継紙/(え 85-2～4は包紙 一括)・1通</p> <p>折紙/(え85-2 ～4は包紙一 括)/(2枚)・1通</p> <p>横切継紙/(え 85-2～4は包紙 一括)・1通</p> <p>包紙/(え86-2 ～3は包紙一 括)・1点</p> <p>横切継紙/(え 86-2～3は包紙 一括)・1通</p> <p>切紙/(え86-2 ～3は包紙一 括)・1通</p>	<p>え84</p> <p>え85-1</p> <p>え85-2</p> <p>え85-3</p> <p>え85-4</p> <p>え86-1</p> <p>え86-2</p> <p>え86-3</p>
--	---------------------------------	--	---

御尋ニ付乍恐以口上書御答奉申上候(花山院様稲荷御社金として勢州山田鈴木安兵衛相滞り、返答書仰せ付けられるに付) *下書 松代伊勢町惣右衛門・伊兵衛→御町御奉行所	安永2年巳12月	半・1冊	え91
	(袋) * (袋上書)「享和二戌十二月廿五日泰全様給人格被仰付候、右一件ニ付追御尋御答下案且諸方為御知下案 享和三亥二月十五日嘉右衛門家督被仰付候一件 御目見申上候時節万端扣 辰三郎被召出分家被 仰付候節一卷日記印置候得共別段残置候事紛乱致聞敷候」	袋/(え88～90は袋一括)・1点	え87
享和三癸亥二月十五日嘉右衛門家督御目見申上候時節扣 八田知義	享和3癸亥2月15日	半/(え88～90は袋一括)・1冊	え88
享和二戌十二月孫左衛門様給人格被仰付時節諸方為御知下案扣 八田知義	享和2戌12月(～享和3年2月)	半/(え88～90は袋一括)・1冊	え89
泰全様給人格被仰付候一條是迄御用達候趣家元之儀御尋	(享和3年)2月～4月	横長美/(え88～90は袋一括)・1冊	え90

(質地証文他各種証文関係綴)	綴/(え167-1～11は一綴)・1綴	え167
----------------	---------------------	------

1. 内方 /5. 質地証文・借用証文

佐久・小県借附金調帳面入		袋/(え167-1～11は一綴)・1袋	え167-1
質地証文之事(質地証文雛形) 御代官所何様御支配所小縣郡腰越村質置主平吉・親類六兵衛・組合金右衛門、(奥書)名主・組頭→松代町伝兵衛殿	文政11子年9月	堅紙/(え167-1～11は一綴)・1通	え167-2
借用物証文(酒造蔵1ヶ所他酒造道具借用に付) *雛形 小縣郡海野宿借用主・親類・組合・名主・組頭・長百姓→松代御城下町伝兵衛殿	文政11子年4月	堅紙/(え167-1～11は一綴)・1通	え167-3
日延書一札之事(飯沼村幸太郎他12名分の小作金に付) 依田弥五右衛門・法華堂・渡辺武左衛門→笠井和七殿・有賀平兵衛殿	文政12丑年12月	堅紙/(え167-1～11は一綴)・1通	え167-4
(当年子より辰年迄5ヶ年季質地、代金100両に付) *下書	(近世)	堅紙/(え167-1～11は一綴)・1通	え167-5
一札之事(内藤豊後守様御領分質地代金差し支え、日延べ御聞き済まし、3月迄に松代表へ熟談仕るに付) 依田弥五右衛門(印)→笠井和七殿・有賀平兵衛殿	文政12丑年12月	堅紙/(え167-1～11は一綴)・1通	え167-6
一札之事(岩村田御領内村々質地絵図面・明細帳引き渡し延引の儀、御承引下さるに付) 依田弥五右衛門(印)→松代町伝兵衛殿代有賀平兵衛殿	天保2卯年3月28日	堅紙/(え167-1～11は一綴)・1通	え167-7
日延一札之事(金163両1分永20文) 上原市郎・森永佐四郎(印)・土沢喜右衛門(印)・小松郷右衛門(印)→松代町笠井和七殿・浦野忠七殿	文政10亥年8月	堅紙/(え167-1～11は一綴)/(虫損あり)・1通	え167-8
覚(差上金300両受取に付) 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿	文政9戌年12月	堅紙/(え167-1～11は一綴)・1通	え167-9
質地証文之事(高3石2斗5升9合8勺他に付) *雛形	(近世)	堅紙/(え167-1～11は一綴)・1通	え167-11
別口拝借金御通(5月8日金30両他ノ元利分金294両2分金銭書上) 御内方質方	文政13寅年5月吉日	横美半・1冊	え95-1
質地証文之事(西木町抱屋敷代金1000両) 八田嘉助役代伊勢町借主伝兵衛(印)・同町親類市兵衛(印)・抱屋敷役代平兵衛(印)、(奥書)名主岡田供之助(印)→嶋田大蔵殿	嘉永2年西	堅紙・1通	え39
差出置地所証文之事(荒神町陶器焼立所代金500両) 八田嘉助役代伊勢町借主伝兵衛(印)・同町親類市兵衛(印)・抱屋敷役代栄左衛門(印)、(奥書)名主小出文左衛門(印)→嶋田大蔵殿	嘉永2年西	堅紙・1通	え40
差上申一札之事(挽屋に致し置く場所片付け方延引申し訳なきに付) 御借家人直八(印)・請入三左衛門(印)・御役代平兵衛(印)→八田嘉助様御役代伝兵衛様	嘉永4亥年8月	堅紙・1通	え8
覚(余儀無き要用のため金73両時借、来る卯年12月返上に付) * (端裏書)「元治元歳三月十七日還る」 八田慎蔵(印墨消)→佐久間修理殿	安政元年12月	堅紙・1通	え857

1. 内方 /6. 小作

小作証文之事(小作粉24石他に付) *雛形	(近世)	堅紙/(え167-1～11は一綴)・1通	え167-10
-----------------------	------	----------------------	---------

1. 内方 /7. 穀物差引覚

穀物指引覚		横美列/(表紙破損)/(虫損あり)・1冊	え847
-------	--	----------------------	------

1. 内方 /8. アメリカ船渡来情報収集

(アメリカ船渡来武州横浜にて応接一件綴)		綴/(え860-1～13は一綴)・1綴	え860
(袋) * (袋上書)「嘉永七甲寅年亜墨利駕船渡来武州横浜ニ而應接有之別条品々入」		封筒/(え860-1～13は一綴)・1点	え860-1
(書状、6月9日豆州沖に異国船計9艘渡来にあたり下田表へ国人数差し出す旨在所表より申し越しに付) 大久保加賀守	1月12日	切紙/(え860-1～13は一綴)・1通	え860-2
(御教書、異国船浦賀沖渡来のため17箇日一社一同丹誠勤行に付) 祭主三位判→大宮宿館	6月15日	横切紙/(え860-1～13は一綴)・1通	え860-3
(七言絶句、「誰是方今第一豪…」) 元孝拝→笑正		切紙/(え860-1～13は一綴)・1通	え860-4
(和歌、「むさしの海 さし出る月ハ 天飛や かりほるにやに のこる影かな」)		切紙/(え860-1～13は一綴)・1通	え860-5
武州横浜アメリカ人応接場略図		28.0×-(綴じてあるため計測不能)/(え860-1～13は一綴)・1枚	え860-6
①嘉永七甲寅年三月下院借写、伊勢両宮へ之御教書(異国船浦賀沖渡来のため17箇日一社一同丹誠勤行に付)、②(嘉永7年浦賀沖異国船来港に付、天下泰平他御祈一社一同丹誠を抽すべく、諏訪両宮へ攘夷祈願宣命) *ともに塩尻村原童平より借写 ①祭主三位判、②権右中辨藤長順奉→①大宮宿館、②進上右大將殿	①6月15日、②11月23日	半/(え860-1～13は一綴)/(え860-7-①・②は一紙)/(赤色罫紙12行)・1冊	え860-7
嘉永五子年荷蘭人先密抜書(異国船来港に付、合原惣蔵より聞書14箇条、飯塚久米三郎より聞書13箇条、樋田多久郎より聞書11箇条、香山栄左衛門より聞書19箇条、近藤良治より聞書10箇条)		半/(え860-1～13は一綴)・1冊	え860-8
(異国船への対応に付、表では戦の態度をとりつつ、裏では和を図るべし他の書付) 斑竹山房主人衡誌		堅/(え860-1～13は一綴)・1通	え860-9
献貢物目録	寅2月	半/(え860-1～13は一綴)・1冊	え860-10
亜人貢献見聞書取申上(明10日貢物差し上げのため林家はじめ役人方応接に付) 小林重介	2月17日	半/(え860-1～13は一綴)・1冊	え860-11
亜墨利駕人へ御饗応献立		半/(え860-1～13は一綴)・1冊	え860-12
水府老若御密書御外対之御書付(異国船来港キリスト教への警戒、武家の名目他に付)		半/(え860-1～13は一綴)/(赤色罫紙12行)・1冊	え860-13

2. 店方 /1. 酒店 /1. 質地証文

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

2. 店方 /1. 酒店 /1. 質地証文

質入申家屋敷証文之事(酒蔵・穀蔵・酒造株代金500両) * 雛形 松代伊勢町質地置主伝兵衛・組合 → → → → 杭瀬木村儀太夫殿	年 月 日	縦継紙・1通	え41
---	-------	--------	-----

2. 店方 /1. 酒店 /2. 酒造株

差上ヶ申願書之事(1本の酒株久々休株のところ先年の通り酒株2本に御立下されたきに付) 東江部村酒屋願人文六(印)・組頭弥兵衛(印)・願人利右衛門(印)、(裏書)金丸四郎兵衛代田中権左衛門(印)→中野御役所	宝永7年寅9月	縦紙・1通	え52
酒株譲り証文之事(造酒の酒株永代譲り、株高玄米20石49升2合代金2両請け取りに付) 町川田村譲り主喜六[印]・肝煎勘之丞(印)・組頭彦右衛門(印)・同断重介(印)・長百姓源介(印)→洪村小太郎殿、(貼紙)「江部村庄左衛門事」	享保10年巳11月	縦紙・1通	え51
(書状、町川田村喜六酒株並びに造高の儀、其方勝手次第致すべきところ、帳面印判は正月中我等当番の節一左右申すべきに付) 池与兵衛(印)→洪村肝煎小太郎殿	11月19日	横切紙/(包紙共)・1通	え53

2. 店方 /2. 陶器方

家屋敷借用證文之事(出張陶器おろし売り捌きに付) 荒神町喜惣治(印)・請人佐助(印)→伊勢町伝兵衛	天保8酉年2月	縦継紙・1通	え46
乍恐以書付奉歎願候(陶器焼道具など御取り上げの儀は何とも御非分、御勘察の上、相応の御勘弁下されたきに付) 荒神町喜惣治(印)→八田嘉右衛門様御内おやす衆中様	天保9戌年12月	縦継紙・1通	え45
老竈焼立之覚(金5両土製之代他、金56両3分2朱金銭書上)	(近世)	横切継紙・1通	え240

2. 店方 /3. 甘草方

借借金年賦証文之事(甘草買受代金滞り、金50両無利息10か年賦) 伊勢町伝兵衛・銭屋町伊兵衛・組合名左衛門・中町立入人左兵衛・紺屋町立入人寅右衛門→中町忠兵衛殿	嘉永4亥年12月	縦紙・1通	え858
(甘草方関係書類一括)	(嘉永5年)	(え843-2~9は袋一括)・1点	え843
(袋) * (袋上書)「子二月五日改 甘草方惣調帳」		袋/(え843-2~9は袋一括)・1点	え843-1
嘉永五年 子二月五日限り店卸帳 東店	嘉永5年	横長半/(え843-2~9は袋一括)・1冊	え843-2
嘉永五年子二月五日改 甘草畑掛り雑用調 * 朱書「イ五番」 東店	嘉永5年子2月5日改	横長半/(え843-2~9は袋一括)/(貼紙あり)・1点	え843-3

2. 店方 / 3. 甘草方

嘉永五年子二月五日 亥八月ヨリ仕入方調帳 東店	嘉永5年子2月5日	横長半/(え843-2~9は袋一括)・1冊	え843-4
嘉永五年 店方諸雑用調帳 *朱書「イ四番」 東店	嘉永5年	横長半/(え843-2~9は袋一括)・1冊	え843-5
嘉永五年子二月五日改 勝手雑用調 *朱書「イ六番」 東店	嘉永5年子2月5日改	横長半/(え843-2~9は袋一括)・1冊	え843-6
嘉永五年 子二月五日改貸方調 *朱書「イ三」 東店	嘉永5年	横長半/(え843-2~9は袋一括)・1冊	え843-7
嘉永五年子二月五日改 有代品物附立帳 *朱書「イ式」 東店	嘉永5年子2月5日改	横長半/(え843-2~9は袋一括)・1冊	え843-8
嘉永五年子二月五日改 借用返金并改借用方調 *朱書「イ壱」 東店	嘉永5年子2月5日改	横長半/(え843-2~9は袋一括)・1冊	え843-9
(甘草方関係書類一括)		(え842-2~6は袋一括)・1点	え842
(袋) * (袋上書)「寅十一月 甘草残り品調并勘定書上帳」		袋/(え842-2~6は袋一括)・1点	え842-1
覚(甘草代金と各種人足代金差引ノ金2朱銭528文金銭書上) 油店金兵衛	寅11月	横折紙/(え842-2~6は袋一括)・1通	え842-2
油店惣勘定指引調一紙	閏7月	横長半/(え842-2~6は袋一括)・1冊	え842-3
店雑用御書上帳	(安政元年)寅正月~閏7月6日迄	横長半/(え842-2~6は袋一括)・1冊	え842-4
甘草方取計書上帳(甘草仕入・売り捌き他に付)	嘉永7寅11月	横長半/(え842-2~6は袋一括)・1冊	え842-5
卯春改貸方調帳 甘草方		横長半/(え842-2~6は袋一括)・1冊	え842-6

3. 町方 /1. 町年寄用留

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

3. 町方 /1. 町年寄用留

(町年寄御用留帳)	(文政2年卯5月2日～文政6年未3月19日)	横半列/(帳はずれあり)/(虫損あり)・1冊	え861
-----------	------------------------	------------------------	------

4. 産物御用掛 /1. 役職就任

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

4. 産物御用掛 /1. 役職就任

(産物御用懸仰せつけるに付) * (端裏書)「文化十三子年 五月十一日産物御用懸被仰付候御書附写 御用番恩田鞠負 殿」 → 八田嘉右衛門	文化13子年5月11日	切紙・1通	え48
--	-------------	-------	-----

5. 糸会所 /1. 借入金・預り金・貸付金

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
5. 糸会所 /1. 借入金・預り金・貸付金			
(袋) 八田嘉助		袋/(え93~104袋一括)・1点	え92
糸会所預ヶ金請取・拝借金留記*(表紙朱書)「才薪之入用 数右衛門江渡シ之分」 八田鉄之助扣	文政13寅年2月(~12月)	横美半/(え93~104袋一括)・1冊	え93
拝借金御通(5月金90両他メ金200両) 八田鉄之助	文政13寅年5月(~7月)	横美半/(え93~104袋一括)・1冊	え94
覚(5月金90両他金銭書上)		横切継紙/(え95-1に挟みこみ)/(え93~104袋一括)・1通	え95-2
覚(寅正月金200両他元利合金924両1分銀1匁の12月迄勘定高書上)		横切紙/(え93~104袋一括)・1通	え96
(書状、お話の金子は明日様子次第で拝借人もある旨問い合わせに付) (八田)嘉兵衛→(八田)嘉助様	7月11日	切紙/(え93~104袋一括)・1通	え97
(6月6日金18両他金銭書上)		切紙/(え93~104袋一括)・1通	え98
覚(拝借元利金1111両銀5匁他金銭書上)	卯2月4日	横切紙/(え99に巻込一括)/(え93~104袋一括)・1通	え99-1
(12月200両他金銭書上)		横切継紙/(え99に巻込一括)/(え93~104袋一括)・1通	え99-2
借入金并返上通(金130両の内8月3日20両他金銭書上) 八田嘉助	天保2卯年正月改	横半半/(え93~104袋一括)・1冊	え100
指し書(御預ヶ金元利メ高金924両1分銀1匁他メ金935両1分余銀45匁5分より拝借金を指し引き金172両2分銀3匁5分6厘7毛上納込に付)	卯正月	横切継紙/(え93~104袋一括)・1通	え101
糸方より借入金覚(才印金55両他金銭書上)	(天保2卯年4月~6月)	折紙/(え93~104袋一括)・1通	え102
覚(金100両他金銭書上)		横切継紙/(え93~104袋一括)・1通	え103
預ヶ金之内請取通(2月16日金50両請取他金銭書上) 八田鉄之助(印)	文政13寅年正月(~7月)	横半半/(え93~104袋一括)・1冊	え104
(糸会所借用関係綴)	(文政9戌年12月~天保2卯年6月)	綴/(え187-1~3は一綴)・1綴	え187
御内拝借金証文之御事(金50両) 糸世話方伊勢町保平(印)・中町仁兵衛(印)・吉左衛門(印)・唯七(印)・荒神町武左衛門(印)・(奥書)吟味方善左衛門(印)・周兵衛(印)→糸御会所、(奥書)八田嘉兵衛様・八田辰三郎様	文政9戌年12月	堅継紙/(え187-1~3は一綴)/(下札あり)・1通	え187-1

5. 糸会所 /1. 借入金・預り金・貸付金

覚(新繭仕入れ時節のため金50両借用に付) 世話方伊勢町保平(印)・中町吉左衛門(印)・同唯七(印)・荒神町武左衛門(印)・同伝兵衛(印)、(奥書)中町酒井七郎太(印)・同横谷総左衛門(印)・同善左衛門(印)伊勢町周兵衛(印)・中町喜代八(印)→糸御会所御元方様	天保2卯年6月	堅継紙/(え187-1~3は一綴)/(下札あり)・1通	え187-2
覚(新繭仕入れ時節のため金50両借用に付) 世話方伊勢町保平(印)・中町吉左衛門(印)・同唯七(印)・荒神町武左衛門(印)・同伝兵衛(印)、(奥書)中町酒井七郎太(印)・同横谷総左衛門(印)・同善左衛門(印)伊勢町周兵衛(印)・中町喜代八(印)→糸御会所御元方様	天保2卯年6月	堅継紙/(え187-1~3は一綴)/(下札あり)・1通	え187-3
(糸会所預け金受取関係綴)	(近世)	綴/(え235-1~7は一綴)・1綴	え235
(前書きの通糸方へ預け金請取、来12月中元利共返済に付) *前欠 八田辰三郎(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)→徳田五百人殿	天保3辰年正月	堅継紙/(え235-1~7は一綴)・1通	え235-1
(前書きの金高会所へ受取貸下引当金の内へ差し出し、証文を以て元利渡すに付) *前欠 八田喜兵衛(印墨消)・八田辰三郎(印墨消)→田町七兵衛	(近世)	堅継紙/(え235-1~7は一綴)・1通	え235-2
(小布施村林の内惣兵衛妹よせ願により糸会所へ請取貸し引当金の内へ差し出し、証文を以て元利渡すに付) *前欠 八田辰三郎(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)→願申次菊屋伝兵衛	(近世)	堅紙/(え235-1~7は一綴)・1通	え235-3
(前書きの金高糸会所へ受取貸引当金の内へ差し出し、証文を以て元利渡すに付) *前欠 八田喜兵衛(印墨消)・八田辰三郎(印墨消)→中町相之助	(近世)	堅継紙/(え235-1~7は一綴)・1通	え235-4
(前書きの金高糸会所へ受取貸引当金の内へ差し出し、証文を以て元利渡すに付) *前欠 八田喜兵衛(印墨消)・八田辰三郎(印墨消)→伊勢町伝兵衛	(近世)	堅継紙/(え235-1~7は一綴)・1通	え235-5
(前書きの金高糸会所へ受取貸引当金の内へ差し出し、証文を以て元利渡すに付) *前欠 八田喜兵衛(印)・八田辰三郎(印)→恵明寺霊瑞長老	(近世)	堅継紙/(え235-1~7は一綴)・1通	え235-6
(前書きの金高糸会所へ受取貸引当金の内へ差し出し、証文を以て元利渡すに付) *前欠 八田喜兵衛(印墨消)・八田辰三郎(印墨消)→伊勢町伝兵衛	(近世)	堅継紙/(え235-1~7は一綴)・1通	え235-7
(前書きの金高糸方へ請取貸引当金の内へ差し出し、証文を以て元利返済に付) *前欠 八田辰三郎(印)・八田喜兵衛(印)→堀内与一右衛門殿	文政10亥年閏6月	堅継紙/(え235-1~7の綴に巻込、外→内)・1通	え235-8
(金子受取書関係綴)	(近世)	綴/(え867-1~30は一綴)・1綴	え867
(袋) * (袋上書)「預り金利息切手入」	文政13寅年12月	袋/(え867-1~30は一綴)・1点	え867-1
覚(金3両1分11匁4分預け金利分請取に付) 恵明寺弟子霊瑞[印]→八田辰三郎殿	卯12月28日	小切紙/(え867-1~30は一綴)・1通	え867-2
覚(2両1分9匁預置に付) 土浦右近(印)→八田辰三郎殿	天保2卯年12月	小切紙/(え867-1~30は一綴)・1通	え867-3
覚(金5両当寅利金請取に付) 徳田五百人(印)→八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	天保元寅年12月	小切紙/(え867-1~30は一綴)・1通	え867-4
覚(金4両利金受取に付) 土浦右近(印)→八田辰三郎殿	天保2卯年12月	小切紙/(え867-1~30は一綴)・1通	え867-5

5. 糸会所 /1. 借入金・預り金・貸付金

覚(御預金利息金1両2分と6厘請取に付) 片岡此面 (印)→八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	天保2卯年12月	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-6
覚(金8両元利受取に付) 土浦右近(印)→八田辰三郎殿	天保2卯年12月	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-7
(書状、今朝御袋様より金子たしかに受取、かつ残金 20両は明朝五ツ頃迄に御支払いくださるるか否か に付) 長谷川藤五郎→八田嘉兵衛様	12月29日	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-8
覚(金7両請取に付) 根津左盛(印)→八田喜兵衛殿	文政13寅年2月21日	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-9
覚(亥御預け元金100両卯の利分金8両他、金12両当 卯利金受取に付) 堀内与一右衛門(印)→八田喜兵衛 殿・八田辰三郎殿	天保2卯年12月	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-10
覚(金3分銀2匁1分請取に付) 五郎兵衛→八田喜兵衛殿	天保元寅年12月	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-11
覚(金12両糸会所へ差出金子150両分辰利金受取に 付) 堀内与一右衛門(印)→八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	天保3辰年12月日	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-12
覚(金2両銀5匁受取に付) 片岡此面(印)→八田喜兵衛 殿・八田辰三郎殿	文政11年子2月4日	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-13
(書状、金子10両切手差遣す御礼に付) (興津)権右衛 門→(八田)喜兵衛様	辰11月4日	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-14
覚(金10両兼ねて預かり置く金子之の内請取に付) 奥津権右衛門(印)→八田喜兵衛殿	天保3年辰閏11月4日	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-15
覚(金1両2分6厘預金利息請取に付) 片岡此面→八田喜 兵衛殿・八田辰三郎殿	天保3年辰12月	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-16
(書状、利金の内金1分2朱銭48文お廻しの分受取に 付) 高橋政右衛門→八田嘉兵衛様	12月26日	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-17
覚(算盤1丁4匁にて、銀2朱受取により、393文返金の 請取に付) (興津)権右衛門(印)→中島三右衛門様・関田 森之丞様	亥7月	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-18
覚(金1分2朱銀1匁5分小粋代金銭書上) ゐるまや兵助 →糸会衆中島様	亥7月	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-19
覚(金2両差引残金1両1分受取に付) 堀内与一右衛門 (印)→八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	天保2卯年12月	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-20
覚(金4両2分銀10匁糸方へ才覚金利息請取に付) 小 林内蔵太(印)→八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	文政12丑年3月3日	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-21
覚(金8両1分銀4匁2分預け金当卯利息受取に付) 奥 津権右衛門(印)→八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	天保2卯年12月	横切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-22
覚(金3両1分銀13匁請取に付) 奥津権右衛門(印)→八田 喜兵衛殿・八田辰三郎殿	天保元寅年12月30日	小切紙/(え 867-1~30は一 綴)・1通	え867-23

5. 糸会所 /1. 借入金・預り金・貸付金

覚(金3両1分2朱1朱(マ)銀1分5厘預け金の利金受取に付) 恵明寺内壺瑞(印)→八田辰三郎様・八田喜兵衛様	寅12月29日	小切継紙/(え867-1~30は一綴)・1通	え867-24
覚(御預金利足金1両2分と6厘請取に付) 片岡此面(印)→八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	天保元年寅12月	小切紙/(え867-1~30は一綴)・1通	え867-25
覚(金8両預け金当寅利息分受取に付) 堀内与一右衛門(印)→八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	文政13寅年12月18日	小切紙/(え867-1~30は一綴)・1通	え867-26
覚(御預金利足金1両1分5朱請取に付) 長久門藤五郎(印)→八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	文政13寅年12月	小切紙/(え867-1~30は一綴)・1通	え867-27
覚(当寅年利足金2両1分銀9厘受取に付) 相之助(印)→糸方御会所	天保元年寅12月26日	小切紙/(え867-1~30は一綴)・1通	え867-28
覚(箇店24箇分銀247貫500匁請取に付、ならびに明日荷物差出に付) 伊本三郎左衛門(印)→八田喜兵衛殿	辰正月25日	小切継紙/(え867-1~30は一綴)・1通	え867-29
(書状、先達て預け置き金子の利金切手差し出すに付) 藤左衛門→(八田)嘉兵衛様切手入	11月10日	小切継紙/(え867-1~30は一綴)・1通	え867-30

5. 糸会所 /2. 紬市統制

乍恐以書付奉申上候(絹紬の儀、市場日切りに商売なるよう仰せ付けられたきに付) 若宮村仲買行司新左衛門印・上徳間村亀三郎印・同上平村佐市・佐市病氣ニ付代内川村清重印→御町方御役所	天保3辰年9月	堅紙・1通	え195
--	---------	-------	------

5. 糸会所 /3. 糸元師への鑑札給付

乍恐以書付奉願候(中町仁兵衛糸元師商売鑑札頂戴致すところ暫く休みたきに付)*控 中町仁兵衛印・新町村五郎兵衛印・名主久右衛門・組頭源四郎印・同頭栄助印・長百姓源右衛門印・同断治右衛門印、(裏書)荒神町由右衛門・同町年番松三郎・発端世話人仁兵衛・関本村鉄左衛門判下ニ付代判伴作・名主文源治・組頭祖左衛門・長百姓喜藤太→糸御会所	天保3辰年8月	堅紙・1通	え216
--	---------	-------	------

5. 糸会所 /4. 上州売り捌き

(書状、縮紬差留、地糸捌口殊の外悪しく、御勘考下されたきに付) 上州山崎龍五郎・萩原亀吉→松代糸御世話人中様貴下	(近世)5月6日	横切継紙/(虫損あり)・1通	え221
(書状、糸相場金不景気且つ縮紬差留になり地糸捌方減少、取引願うに付)* (端裏書)「カミヤ」 山崎龍五郎・萩原亀吉→紙屋重兵衛様人々御中	(近世)5月6日	横継紙・1通	え222

5. 糸会所 /5. 糸元師不正取り締まり

(書状、松居久左衛門・小暮久兵衛糸引き受けの儀、糸会所まで差し出す議定熟覧のところで、両人手買い取り不正実故、お答え申し上げるに付)*写		罫紙(黒)/(下札あり)・1冊	え236
--	--	-----------------	------

5. 糸会所 /6. 諸書類綴

(糸会所金銭書上他綴一括)		(え846-2~3は袋一括)・1点	え846
(袋) * (袋上書)「卯年 糸方指引書類」		袋/(え846-2~3は袋一括)・1点	え846-1
(糸会所金銭書上他綴)		綴/(え846-2~3は袋一括)/(え846-2-1~12は一綴)・1綴	え846-2
(書状、忠兵衛今明日罷り帰る事相成らず御勘弁の上金子2両無心致したきに付) → 八田嘉助様	7月13日	横切継紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-2-1~12は一綴)・1通	え846-2-1
覚(金200両より拝借分差引、正金100両1分2朱銀3匁3分金銭書上)	卯7月12日	横切継紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-2-1~12は一綴)・1通	え846-2-2
覚(紙屋町名目金125両他ノ金942両銀2匁5分金銭書上)		横切継紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-2-1~12は一綴)・1通	え846-2-3
覚(寅2月16日~11月12日までの元利ノ880両銀6匁金銭書上)		横切継紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-2-1~12は一綴)・1通	え846-2-4
覚(伝兵衛御預け金3両銀12匁他金銭書上)		横切継紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-2-1~12は一綴)・1通	え846-2-5
覚(勝之助上納金50両他金銭書上)		横切継紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-2-1~12は一綴)・1通	え846-2-6
覚(金172両2分銀3匁5分6厘他ノ金250両2分銭440文金銭書上)	卯2月晦日	横切継紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-2は紙綴一括)・1通	え846-2-7
覚(障子代銀7匁6分他ノ銀40匁6分2厘金銭書上) 表具師金治		横切継紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-2-1~12は一綴)・1通	え846-2-8
覚(拝借金90両他金銭書上)		折紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-2-1~12は一綴)・1通	え846-2-9
覚(元利ノ70両2分銀5匁金銭書上)		切紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-2-1~12は一綴)・1通	え846-2-10

覚(元利ノ924兩1分銀11匁より拝借金差引、金45兩銀10匁金銭書上)		横切継紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-2-1~12は一綴)・1通	え846-2-11
①拝借金覚(拝借金元利ノ辻金880兩銀6匁他元利ノ172兩2分銀3匁5分6厘7毛金銭書上)、②糸会所差引覚(預け金元利ノ辻金924兩1分銀11匁他ノ935兩1分銀45匁5分金銭書上)		横折紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-2-1~12は一綴)/(綴穴あり)・1通	え846-2-12
(糸会所金銭書上他綴)		綴/(え846-2~3は袋一括)/(え846-3-1~8は一綴)・1綴	え846-3
覚(金50兩喜助他ノ193兩辰年拝借金高金銭書上)	辰年	横切継紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-3-1~8は一綴)・1通	え846-3-1
(書状、お悔やみ籠菓折呈上に付) 八田嘉右衛門→工藤熊兵衛様	12月15日	横切継紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-3-1~8は一綴)・1通	え846-3-2
辰年繰合分(正月~3月分ノ151兩金銭書上)		切紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-3-1~8は一綴)・1通	え846-3-3
覚(200兩拝借利金20兩金銭書上)		切紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-3-1~8は一綴)・1通	え846-3-4
(9月中拝借金20兩他金銭書上)		切紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-3-1~8は一綴)・1通	え846-3-5
覚(御金箱1卷入用代金3分11匁5分受取に付) 菊屋伝兵衛(印)→糸方御会所	天保元寅年12月	横切継紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-3-1~8は一綴)・1通	え846-3-6
覚(元金20兩分利足金ノ金3兩銀12匁受取に付) 伊勢町伝兵衛(印)→糸方御会所	天保元寅年12月	切紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-3-1~8は一綴)・1通	え846-3-7
覚(金6兩御預り、当丑12月中利2分返上に付) 八田鍬之助(印)→山越嘉膳殿	文政12年正月	切紙/(え846-2~3は袋一括)/(え846-3-1~8は一綴)・1通	え846-3-8

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /1. 蚕種・絹紬

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /1. 蚕種・絹紬			
乍恐以書付奉願候(中買・坪方共生活困苦にて、安意平住が叶うよう取り計らい願いたきに付) 絹紬中買行司定兵衛(印)・長治・新左衛門・重郎次・文治・伊兵衛(印)→御産物方御会所	弘化3年年11月7日	縦継紙・1通	え868
(買継友吉は紬売捌多分のところ、往々手放す節の評議取調に付) 産物会所懸	(近世)12月	半・1冊	え232

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /1. 蚕種・絹紬 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(繭中買商売鑑札頂戴仕りたきに付) 大岡川口村願人清重郎(印)・名主惣右衛門(印)・組頭弥藤太(印)・長百姓三左衛門(印)→御産物方御会所	天保4巳年6月	縦紙・1通	え213
乍恐以書附奉願候(蚕種売買世話役仰せ付られ、鑑札無き種屋より種留申さず様御触れ流し下されたきに付) 種引世話役惣代向八幡村庄作(印)・大塚村寅吉(印)・福嶋村庄兵衛(印)・新地村彦三郎(印)・関屋村文源治(印)・上徳間村銀右衛門(印)・二ッ柳村弥治兵衛(印)・留宮村要左衛門(印)・紺屋町和七(印)・荒神町三郎左衛門(印)・鼠宿村周助(印)→御産物方御会所	天保5年年7月	縦継紙・1通	え212
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 小松原村願人善五左衛門(印)・名主種吉(印)・組頭莊兵衛(印)・同断平五郎(印)・長百姓作治(印)・同断良左衛門(印)→御産物方御会所	嘉永元申年4月	縦紙/(え108～167は紐一括)・1通	え108
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 小嶋村弥兵衛(印)・名主梅吉(印)・組頭清助(印)・長百姓和兵衛(印)→御産物方御会所	嘉永元申年5月	縦紙/(え108～167は紐一括)/(え109～143は紙縫一括)・1通	え109
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 荒神町願人左吉(印)・請人要右衛門(印)・願人要右衛門(印)・請人佐吉(印)→御産物方御会所	嘉永元申年5月	縦紙/(え108～167は紐一括)/(え109～143は紙縫一括)・1通	え110
乍恐以書付奉願候(中之条御支配所杭瀬下村庄三郎他2名への蚕種商売鑑札頂戴願に付) 荒神町宿請人佐吉(印)・同断要右衛門(印)→御産物方御会所	嘉永元申年5月	美/(え108～167は紐一括)/(え109～143は紙縫一括)・1冊	え111
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 中沢村反右衛門(印)・名主深谷谷作(印)・組頭清右衛門(印)・長百姓市郎治(印)→御産物方御会所	嘉永元申年5月	縦紙/(え108～167は紐一括)/(え109～143は紙縫一括)・1通	え112
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 中沢村反右衛門(印)・名主権右衛門(印)・組頭廉之助(印)・長百姓富蔵(印)→御産物方御会所	嘉永2酉年4月	縦紙/(え108～167は紐一括)/(え109～143は紙縫一括)・1通	え113
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 向八幡村願人五郎(印)・同断三郎左衛門(印)・名主武之丞(印)・組頭治右衛門(印)・長百姓周三郎→御産物方御会所	嘉永3戌年2月	縦紙/(え108～167は紐一括)/(え109～143は紙縫一括)・1通	え114
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 網掛村願人十蔵(印)・同与惣右衛門(印)・名主徳左衛門(印)・組頭新八(印)・長百姓健左衛門(印)→御産物方御会所	嘉永2酉年4月	縦紙/(え108～167は紐一括)/(え109～143は紙縫一括)・1通	え115

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /1. 蚕種・絹紬 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 小舟山村願人惣四郎(印)・名主九十郎(印)・組頭莊九郎(印)・長百姓弥兵衛(印)・向八幡村願人弥蔵(印)・名主莊三郎(印)・組頭三郎左衛門(印)・長百姓平右衛門(印)→御産物方御会所	嘉永2酉年4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)・1通	え116
乍恐以書付奉願候(上塩尻村邨平他53名への蚕種商売鑑札頂戴願に付) 蚕種師世話役荒神町西沢佐吉(印)・同断三郎左衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年6月	美/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)・1冊	え117
御他領者蚕種売願(御所村六之助他67名への蚕種商売鑑札頂戴願に付) 荒神町佐吉(印)・同断三郎左衛門→御産物方御会所	嘉永4亥年正月	美/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)・1冊	え118
(蚕種商売鑑札頂戴願綴)	(安政2年卯2月)	綴/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)/(え119-1～2は一綴)・1綴	え119
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 千本柳村政吉(印)・銀三郎(印)・頭立役人代兵左衛門(印)→御産物方御会所	安政2卯年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)/(え119-1～2は一綴)・1通	え119-1
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 上徳間村願人宗作・名主孫左衛門(印)・組頭九左衛門(印)・長百姓太兵衛(印)→御産物方御会所	安政2卯年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)/(え119-1～2は一綴)・1通	え119-2
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 下小嶋田村願人政之丞(印)・名主徳右衛門(印)・組頭常作・長百姓恵左衛門(印)→御産物方御会所	嘉永3戌年4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)・1通	え120
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 三輪村願人勇右衛門・同久助・名主善蔵・組頭三郎左衛門・長百姓庄兵衛(印)→御産物方御会所	嘉永4亥年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)・1通	え121
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 小河原村願人栄三郎(印)・名主作右衛門・組頭平太夫・長百姓重助(印)→御産物方御会所	安政5午年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)・1通	え122
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 力石村丹治子要治郎代万七(印)・名主治左衛門・組頭長右衛門・長百姓丹右衛門・役人代曾右衛門(印)→御産物方御会所	安政4巳年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)・1通	え123
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 栗佐村願人清兵衛(印)・名主角右衛門(印)・組頭忠左衛門(印)・長百姓伝十郎→御産物方御会所	嘉永3戌年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)・1通	え124
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 矢崎新田村願人円蔵(印)・名主周作(印)・長百姓万弥→御産物方御会所	安政5午年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)・1通	え125-1

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /1. 蚕種・絹紬 /1. 鑑札給付

蚕種商売願書	嘉永2酉年4月ヨリ	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)/(え125-1と同番号を付していたが内容が異なる為え125-2とした)・1通	え125-2
乍恐以書付奉願候(矢澤村勘之助への蚕種商売鑑札頂戴願に付) 力石村宿御受人新右衛門・名主助右衛門(印)・組頭長右衛門・長百姓丹右衛門・頭立吉右衛門→御産物方御会所	嘉永7寅年6月	美/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)・1冊	え126
□□(虫損)以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 新地村願人文太・名主喜惣治(印)・組頭文太(印)・長百姓治郎左衛門(印)→□□□(虫損)物方御会所	嘉永6丑年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)/(虫損あり)・1通	え127
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 八幡村願人市郎左衛門(印)・名主治郎八・組頭八五郎(印)・長百姓富左衛門→御産物方御会所	安政3卯年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)・1通	え128
(蚕種商売鑑札頂戴願綴)	(嘉永7寅年5月～7月)	綴/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)/(え129-1～3は一綴)・1綴	え129
乍恐以書付奉願候(上塩尻村与左衛門他50名への蚕種商売鑑札頂戴願に付) 荒神町佐吉(印)・三郎左衛門(印)→御産物御会所	嘉永7寅年7月	美/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)/(え129-1～3は一綴)・1冊	え129-1
乍恐以書付奉願候(杭瀬下村庄三郎・上洗馬村周平への蚕種商売鑑札頂戴願に付) 荒神町宿左吉(印)・受人要右衛門(印)→御産物方御会所	嘉永7寅年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)/(え129-1～3は一綴)・1通	え129-2
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 荒神町佐吉(印)・要右衛門(印)・三郎左衛門(印)→御産物方御会所	嘉永7寅年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え109～143は紙縫一括)/(え129-1～3は一綴)・1通	え129-3
(蚕種商売鑑札頂戴願綴)		綴/(え108～167は紐一括)/ (え130-1～26は一綴)・1綴	え130
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 小嶋田下組願人政之丞(印)・同駒治(印)・名主甚左衛門(印)・組頭徳左衛門・長百姓長蔵→御産物方御会所		堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え130-1～26は一綴)・1通	え130-1
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 北河原村願人栄三郎(印)・名主藤九郎(印)・組頭茂兵衛(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え130-1～26は一綴)・1通	え130-2

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /1. 蚕種・絹紬 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(中野御支配所赤沼村安五郎蚕種商売鑑札頂戴願に付) 南堀村宿受人重兵衛(印)・名主治兵衛・組頭久之助・長百姓重兵衛(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え130-1～26は一綴)・1通	え130-3
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 中俣村願人亥作(印)・名主源谷谷作(印)・組頭吉佐衛門・長百姓留蔵→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え130-1～26は一綴)・1通	え130-4
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 東福寺村菱助(印)・名主名左衛門・組頭小林三郎右衛門・長百姓文作(印)・同彦左衛門→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え130-1～26は一綴)・1通	え130-5
乍恐以書付奉願候(近年病身のため鑑札返納願に付) 鼠宿村名主健助・組頭忠左衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え130-1～26は一綴)・1通	え130-6
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 下真嶋村治五右衛門(印)・長七(印)・名主勝三郎(印)・組頭太左衛門・同長七・長百姓安左衛門→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え130-1～26は一綴)・1通	え130-7
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 兩宮村要左衛門(印)・名主常蔵・組頭兵治郎(印)・長百姓千代松→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え130-1～26は一綴)・1通	え130-8
乍恐以書付奉願候(中之条御支配所長沼栗田町要太郎蚕種商売鑑札頂戴願に付) 小嶋村		堅紙/(え108～167は紐一括)/(え130-1～26は一綴)・1通	え130-9
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 下宇木村願人長兵衛(名主代印)・名主市郎兵衛(印)・組頭門治郎・長百姓清助→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え130-1～26は一綴)・1通	え130-10
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 向八幡村願人嘉右衛門(印)・名主権重郎・組頭重郎右衛門・長百姓喜左衛門・役人代平右衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え130-1～26は一綴)・1通	え130-11
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 小嶋田村上組願人倉崎丈右衛門・名主半蔵(印)・組頭清兵衛・長百姓多左衛門→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え130-1～26は一綴)・1通	え130-12
乍恐以書付奉願候(上田領塩尻村徳大夫・同三右衛門・同領鍛冶町茂右衛門蚕種商売鑑札頂戴願に付) 力石村徳大夫宿受人仙助・茂右衛門宿受人長作(印)・三右衛門宿受人佐兵衛・名主才助・組頭佐左衛門・長百姓塚田五左衛門・役人代長右衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え130-1～26は一綴)・1通	え130-13
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 福嶋村願人彦兵衛(印)・同利右衛門(印)・同藤治郎(印)・同太之八(印)・名主市右衛門・組頭龍八(印)・同断栄松・長百姓源治郎・同断要左衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え130-1～26は一綴)・1通	え130-14
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 力石村願人仙助・名主才助・組頭佐左衛門・長百姓塚田五左衛門・三役人代長右衛門→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え130-1～26は一綴)・1通	え130-15
乍恐以書付奉願候(上田領金剛寺村平右衛門蚕種商売鑑札頂戴願に付) 福嶋村宿世話人太之八(印)・名主市右衛門・組頭龍八・同断栄松・長百姓源治郎・同断要左衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え130-1～26は一綴)・1通	え130-16

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /1. 蚕種・絹紬 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 福門村願人磯次郎・同栄三郎・同利右衛門・同幸蔵・名主市右衛門・組頭蔵八・同栄松・長百姓源次郎・同要左衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え130-1～26は一綴)・1通	え130-17
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 鼠宿村願人権右衛門(印)・名主彦兵衛・組頭忠左衛門(印)・長百姓半左門・新地村願人助(印)・名主徳左衛門(印)・組頭倉(印)・長百姓和(印)→御産物方御会所	安政3辰年7月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え130-1～26は一綴)・1通	え130-18
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 力石村願人文吉・名主才助・組頭佐左衛門・長百姓塚田五左衛門・役人代祖右衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年7月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え130-1～26は一綴)・1通	え130-19
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 力石村願人丹治(安右衛門印)・名主後役半兵衛・組頭佐左衛門・長百姓塚田五左衛門・願主安左衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年8月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え130-1～26は一綴)・1通	え130-20
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 須坂村願人弥兵衛・名主源之助・長百姓安治・右同断与右衛門→御産物方御会所	嘉永2酉年4月20日	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え130-1～26は一綴)・1通	え130-21
乍恐以書付奉願候(木綿商売鑑札頂戴願に付) 北高田村木綿師行司願人吉左衛門(印)・名主文七(印)・組頭半右衛門・長百姓佐平太→御産物方御会所	安政3辰年8月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え130-1～26は一綴)・1通	え130-22
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 上浜田村願人亀治(組頭奥右衛門代印)・名主源左衛門・組頭奥右衛門(印)・長百姓順治→御産物方御会所	安政5午年3月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え130-1～26は一綴)・1通	え130-23
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 布野村清六子源右衛門(印)・名主金左衛門・組頭清六(印)・長百姓清右衛門(印)→御産物方御会所	万延元申年4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え130-1～26は一綴)・1通	え130-24
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 笹平村願人嘉右衛門(印)・名主米蔵(印)・組頭勝右衛門・同断儀右衛門・長百姓善右衛門・同断友右衛門→御産物方御会所	嘉永3戌年4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え130-1～26は一綴)・1通	え130-25
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 力石村塚田五左衛門手代儀左衛門・名主治左衛門・組頭長右衛門・長百姓丹右衛門・立頭役人代太右衛門(印)→御産物方御会所	安政4巳年閏5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え130-1～26は一綴)・1通	え130-26
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 福島村願人彦兵衛(印)・名主宇右衛門(印)・組頭龍八(印)・同断利右衛門(印)・長百姓彦次郎(印)・同断文八(印)→御産物方御会所	万延元申年7月	半/(え108～167は紐一括)・1冊	え131
乍恐以書付奉願候(上田領上塩尻村、同領下塩尻村他16ヶ村延べ53名御領分蚕種商売鑑札頂戴願に付) 蚕種師世話役荒神町佐吉(印)・三郎左衛門(印)→御産物方御会所	嘉永6丑年5月	半/(え108～167は紐一括)・1冊	え132
乍恐以書付奉願候(上田領上塩尻村、同領下塩尻村他17ヶ村延べ63名当御領分に蚕種商売鑑札頂戴願に付) 蚕種師世話役荒神町三郎左衛門(印)・西澤佐吉(印)→御産物方御会所	安政3辰年6月	半/(え108～167は紐一括)・1冊	え133
乍恐以書付奉願候(上田領上塩尻村、同領下塩尻村他17ヶ村延べ64名蚕種商売鑑札頂戴願に付) 蚕種師世話役荒神町西津佐吉(印)・同断三郎左衛門(印)→御産物方御会所	安政4巳年閏5月	半/(え108～167は紐一括)・1冊	え134

(蚕種商売鑑札頂戴願綴)	(嘉永7寅年5月～万延元申年6月)	綴/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1綴	え135
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 力石村願人仙助(印)・名主助右衛門・組頭長右衛門・長百姓丹右衛門・役人代才助(印)→御産物方御会所	嘉永7寅年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-1
乍恐以書付奉願上候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 下二嶋村治五右衛門(印)・名主宇忠治(印)・組頭守右衛門・同断清右衛門・長百姓伊七→御産物方御会所	嘉永7寅年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-2
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) ニッ柳村願人弥次兵衛(印)・名主清左衛門(印)・組頭吉右衛門(印)・同要之助(印)・長百姓慶左衛門(印)→御産物方御会所	嘉永7寅年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-3
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 下小嶋田村願人善作(印)・同政之丞(印)・同駒治(印)・名主久三郎(印)・組頭徳左衛門・長百姓長蔵→御産物方御会所	嘉永7寅年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-4
乍恐以書付奉願候(上田領金剛寺村幸之助蚕種商売鑑札頂戴願に付) 福嶋村宿田之八(印)・名主音八・組頭権蔵(印)・同藤兵衛・長百姓市右衛門・同瀧蔵→御産物方御会所	嘉永7寅年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-5
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 福嶋村願人彦兵衛(印)・同利右衛門(印)・同田之八(印)・名主吉八・組頭権蔵(印)・同藤兵衛(印)・長百姓市右衛門・同瀧蔵→御産物方御会所	嘉永7寅年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-6
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 笹平村願人遠作(印)・名主源右衛門・組頭勝右衛門・同断友右衛門・長百姓常蔵(印)・同断瀬兵衛→御産物方御会所	嘉永7寅年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-7
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 福嶋村願人藤治郎(印)・名主音八・組頭権蔵(印)・同藤兵衛・長百姓市右衛門・同瀧蔵→御産物方御会所	嘉永7寅年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-8
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 福嶋村願人藤治郎(印)・名主音八・組頭権蔵(印)・同藤兵衛・長百姓市右衛門・同瀧蔵→御産物方御会所	嘉永7寅年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-9
乍恐書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 長井村願人市三郎(印)・名主嘉三郎・組頭大作(印)・長百姓政吉→御産物方御会所	嘉永7寅年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-10
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 吉原村願人栄重郎(印)・名主常蔵・組頭嘉重郎(印)・長百姓甚之丞・武右衛門→御産物方御会所	嘉永7寅年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-11
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 力石村願人宇右衛門(印)・同吉兵衛・名主助右衛門・組頭長右衛門・長百姓丹右衛門・役人代宇右衛門(印)→御産物方御会所	嘉永7寅年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-12
乍恐以書付奉願候(上田領塩尻村三右衛門・清左衛門御領内蚕種商売鑑札頂戴願に付) 力石村宿御受負仙助・名主助左衛門・組頭長右衛門・長百姓丹右衛門・役人代宇右衛門(印)→御産物方御会所	嘉永7寅年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-13

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /1. 蚕種・絹紬 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 桐林村願人九郎兵衛・名主清右衛門(印)・組頭健左衛門・長百姓儀右衛門→御産物方御会所	嘉永7寅年7月	豎紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-14
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 福嶋村願人松三郎・名主音八・組頭権蔵(印)・同藤兵衛・長百姓市右衛門・同龍蔵→御産物方御会所	嘉永7寅年7月	豎紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-15
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 八幡村願人大助・名主善大夫・組頭蔵左衛門(印)・長百姓民右衛門→御産物方御会所	嘉永7寅年7月	豎紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-16
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 鼠宿村願人赤治郎(印)・名主文右衛門(印)・組頭廣八(印)・長百姓西須嘉右衛門(印)→御産物方御会所	嘉永7寅年11月	豎紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-17
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 小細山内新田村願人定右衛門(印)・休人仁左衛門	安政2卯年正月	豎紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-18
乍恐以書付奉願候(当村長作他1名病身のため鑑札返納に付) 力石村名主文蔵・組頭太郎兵衛・長百姓丹治・役人代才右衛門(印)→御産物方御会所	安政7申年2月26日	豎紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-19
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 御領所中嶋村八郎右衛門・新右衛門・新八・才吉・名主新右衛門・組頭梅蔵(印)・百姓代嘉十郎→御産物方御会所	安政7申年3月	豎紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-20
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 小森村願人恒左・名主金三郎(印)・組頭彦三郎・長百姓佐右衛門・同宇吉→御産物方御会所	万延元申年5月	豎紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-21
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 雨宮村願人要左衛門(印)・名主宗作・同常八・組頭富蔵(印)・同初蔵・長百姓喜代八・同与五右衛門→御産物方御会所	万延元申年4月	豎紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-22
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 力石村才助(印)・岩三郎(印)・名主文蔵・組頭大郎兵衛・長百姓丹治・役人代彦右衛門(印)→御産物方御会所	万延元申年6月	豎紙/(え108～167は紐一括)/ (え135-1～23は一綴)・1通	え135-23
乍恐以書付奉願候(上田領鍛冶町茂右衛門蚕種商売鑑札頂戴願に付) 力石村宿受負長助・名主助右衛門(印)・組頭長右衛門・長百姓丹右衛門・組立吉右衛門→御産物方御会所	嘉永7寅年6月	半/(え108～167は紐一括)・1冊	え136
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 力石村願人新五右衛門(印)・名主半兵衛(印)・組頭左左衛門(印)・長百姓丹治(印)→御産物方御会所	嘉永3戌年5月	豎紙/(え108～167は紐一括)・1通	え137
乍恐以書付奉願候(木綿商売鑑札頂戴願に付) 南長池村願人静治郎・名主与三郎(印)・組頭弥祖八・長百姓又右衛門・行司左衛門(印)→御産物方御会所	安政4巳年8月	豎紙/(え108～167は紐一括)・1通	え138
(蚕種・絹紬仲買関係綴)	(天保8酉年4月～万延元申年11月)	綴/(え108～167は紐一括)/ (え139-1～10は一綴)・1綴	え139
御鑑札頂戴御請印帳(蚕種商売) 蚕種商売之者	天保8酉年4月	美/(え108～167は紐一括)/ (え139-1～10は一綴)・1冊	え139-1

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /1. 蚕種・絹紬 /1. 鑑札給付

御請印帳(蚕飼繭出来・織り出し出精に付) 上平村名主吉郎右衛門(印)・組頭佐左右衛門(印)・長百姓彦左衛門(印)外・新山村・力石村・上五明村・上山田村・網懸村・千本柳村・上徳間村・内川村・鼠宿村・新地村・羽尾村本郷・岩野村・羽尾村仙石組27名	天保10亥年8月	美/(え108～167は紐一括)/(え139-1～10は一綴)・1冊	え139-2
絹助成之儀ニ付御請印帳 上徳間村名主銀右衛門(印)・組頭栄左衛門(印)外・内川村・新山村・網掛村・上五明村・鼠宿村・新地村・羽尾村・岩野村羽尾村仙石組29名	天保10亥年8月	美/(え108～167は紐一括)/(え139-1～10は一綴)・1冊	え139-3-1
乍恐以書付奉願候(藤八杏干仁商売取締行司役仰せ付けられたきに付) 久保寺村杏干仁惣代重蔵(印)・右同断喜伝治(印)→御産物方御会所	嘉永4亥年8月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え139-1～10は一綴)/(え139-3-2は表紙袋挟み込み)・1通	え139-3-2
蚕種所之儀ニ付被仰渡御請印帳 村々三役人	天保9戌年	美/(え108～167は紐一括)/(え139-1～10は一綴)・1冊	え139-4
乍恐書付を以奉願候(紬仲買仲間鑑札頂戴願に付) 紬中買行司藤重・重郎治(印)・与惣右衛門(印)・政吉(印)・戊助・安助(印)→御産物方御会所	弘化4未年9月	横継紙/(え108～167は紐一括)/(え139-1～10は一綴)・1通	え139-5
乍恐以書付奉願候(布仲買商売鑑札頂戴願に付) 清野村願人源之丞(印)・名主孫平太(印)・組頭清兵衛(印)・右同断三五郎(印)・長百姓喜平太(印)→御産物方御会所	嘉永2酉年8月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え139-1～10は一綴)・1通	え139-6
乍恐以書付奉願候(紬物仲買商売鑑札頂戴願に付) 内川村願人正吉(印)・名主三郎右衛門(印)・組頭安郎次(印)・長百姓治郎左衛門(印)→御産物方御会所	嘉永2酉年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え139-1～10は一綴)・1通	え139-7
乍恐以書付奉願候(新山村寅作絹紬仲買渡世鑑札頂戴願に付) 若宮村芝原組絹紬中買行司新左衛門(印)・内川村右同断梅七(印)・上平村右同断定兵衛(印)→御産物方御会所	万延元年10月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え139-1～10は一綴)/(え139-8～10は一綴)・1通	え139-8
乍恐以書付奉願上候(内川村三八郎子善之助絹紬仲買渡世鑑札頂戴願に付) 若宮村葉原組絹紬中買行司新左衛門(印)・上平村定兵衛(印)・内川村梅七(印)→御産物方御会所	万延元年10月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え139-1～10は一綴)/(え139-8～10は一綴)・1通	え139-9
乍恐以書付奉願候(若宮村吉左衛門絹紬渡世仕りたぐにつき鑑札頂戴願) 若宮村絹紬中買行司新左衛門(印)・内川村右同断梅七(印)・上平村右同断定兵衛(印)→御産物方御会所	万延元年11月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え139-1～10は一綴)/(え139-8～10は一綴)・1通	え139-10
(蚕種商売の者174名請印帳)	嘉永7寅年5月	美/(え108～167は紐一括)・1冊	え140
御請印帳(繭仲買商行司役) 上小嶋田村半蔵(印)・上真嶋村浅吉(印)・西寺尾村岡神明組貞治(印)	安政4巳年閏5	美/(え108～167は紐一括)・1冊	え141

6.産物会所 /1. 諸産物の統制 /1. 蚕種・絹紬 /1. 鑑札給付

(蚕種商売鑑札頂戴願綴)	(嘉永6丑年5月～安政6 末年7月)	綴/(え108～ 167は紐一括)/ (え142-1～13 は一綴)・1綴	え142
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 南堀 村願人重八(印)・名主弥兵衛(印)・組頭喜右衛門・長百姓久 之助→御産物方御会所	嘉永6丑年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括)/ (え142-1～13 は一綴)・1通	え142-1
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 笹平 村願人佐市(印)・同藤之助(印)・名主源右衛門・組頭勝右衛 門(印)・同友左右衛門・長百姓米蔵・同漸兵衛→御産物方御 会所	嘉永6丑年5月	美/(え108～ 167は紐一括)/ (え142-1～13 は一綴)・1冊	え142-2
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 東福 寺村願人源助(印)・名主庄右衛門(印)・組頭長左衛門・長百 姓藤右衛門→御産物方御会所	嘉永6丑年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括)/ (え142-1～13 は一綴)・1通	え142-3
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 雨宮 村願人要左衛門(印)・名主嘉右衛門・同駒蔵・組頭栄作・同多 惣治・長百姓惣佐・同漸兵衛(印)→御産物方御会所	嘉永6丑年4月	美/(え108～ 167は紐一括)/ (え142-1～13 は一綴)・1冊	え142-4
乍恐以書付奉願上候(種繭買取鑑札頂戴願に付) 下 真嶋村治五右衛門(印)・名主宇忠治・組頭守右衛門(印)・同 断治右衛門・長百姓伊七→御産物方御会所	嘉永6丑年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括)/ (え142-1～13 は一綴)・1通	え142-5
乍恐以書付奉願候(中之条支配杭瀬下村寅治・中之支 配赤沼村龍吉種繭買取鑑札頂戴願に付) 里村山村 寅治宿善右衛門(印)・龍吉宿小平治(印)・名主善之助(印)・ 組頭長三郎(印)・長百姓太作(印)→御産物方御会所	嘉永6丑年4月	美/(え108～ 167は紐一括)/ (え142-1～13 は一綴)・1冊	え142-6
乍恐以書奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 里村山村 衆三郎(印)・名主善之助(印)・組頭金之丞(印)・長百姓喜惣 太(印)→御産物方御会所	安政6末年7月	堅紙/(え108～ 167は紐一括)/ (え142-1～13 は一綴)・1通	え142-7
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 牛嶋 村願人倉吉・名主寅蔵・組頭又右衛門・長百姓丈右衛門(印) →御産物方御会所	安政6末年7月	堅紙/(え108～ 167は紐一括)/ (え142-1～13 は一綴)・1通	え142-8
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 上徳 間村願人左五兵衛・同断代助・同断衆吉・名主徳兵衛(印)・組 頭栄左衛門・長百姓茂三郎→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括)/ (え142-1～13 は一綴)・1通	え142-9
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 小堀 村願人彦太郎(印)・名主徳左衛門(印)・組頭七郎治(印)・長 百姓喜左衛門(印)→御産物方御会所	安政5午年8月	堅紙/(え108～ 167は紐一括)/ (え142-1～13 は一綴)・1通	え142-10
乍恐以書付奉願候(蚕種商売鑑札頂戴願に付) 八幡 村願人大杓(印)・名主三重右衛門・組頭米吉(印)・長百姓長 七→御産物方御会所	安政5午年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括)/ (え142-1～13 は一綴)・1通	え142-11
乍恐以書付奉願候(蚕種師商売鑑札頂戴願に付) 網 掛村名主願人三郎右衛門・組頭宇右衛門・長百姓健左衛門・ 役人代勘左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年3月	堅紙/(え108～ 167は紐一括)/ (え142-1～13 は一綴)・1通	え142-12
乍恐以書付奉願候(蚕種師商売鑑札頂戴願に付) 桑 根井村願人安治(印)・名主清左衛門(印)・組頭権左衛門・長 百姓駒作→御産物方御会所	安政5午年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括)/ (え142-1～13 は一綴)・1通	え142-13

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /1. 蚕種・絹紬 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(蚕種買商売仕りたくに付鑑札頂戴願) 力石村願人堅治(印)・名主源左衛門(印)・組頭勘右衛門(印)・長百姓半兵衛(印)→御産物方御会所	嘉永2酉年4月	半/(え108～167は紐一括)・1通	え143
(書状、蚕飼元より買い取りの者は中買鑑札請け取るよう仕りたきに付) *下書	(近世)	横折紙・1通	え196

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /1. 蚕種・絹紬 /2. 紬売り代金書上

臨時(友吉差し遣わし紬売代金上納金23兩2分2朱銀2匁他メ金965兩1分金銭書上)	(近世)	横長半・1冊	え211
---	------	--------	------

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /1. 蚕種・絹紬 /3. 冥加金

(繭仲買鑑札冥加銀来る25日上納に付触書) 産物方会所(印)→仁礼村菊右衛門・幸之助・小布施村友七	(近世)正月22日	横切紙・1通	え178
---	-----------	--------	------

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /1. 蚕種・絹紬 /4. 隠糸挽

乍恐以書付奉願上候(繭仲買の者隠糸挽嚴重御触下されたきに付) 馬喰町専助(印)・治助(印)・紺屋町藤兵衛(印)・安右衛門(印)・伊勢町藤左衛門(印)・房吉(印)・中町仲右衛門(印)・忠左衛門(印)・荒神町松三郎(印)・重助(印)、(奥書)糸発端人惣代保平(印)・同断仁兵衛(印)→御産物御会所	天保15辰年5月	半/(虫損あり)・1冊	え179
--	----------	-------------	------

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /2. 甘草 /1. 鑑札給付

(弘化3年甘草冥加・鑑札関係綴)	(弘化3年)	綴/(え56-1～9は一綴)・1綴	え56
甘草冥加上納申渡之儀伺写 * (附札写)「可為何之通候」岡島庄蔵・菅沼弥惣右衛門・竹村金五郎・山寺源太夫	弘化3年4月	横切継紙/(え56-1～9は一綴)・1通	え56-1
国産之品々大坂出之儀御届案扣		横切継紙/(え56-1～9は一綴)・1通	え56-2
此度申渡大意下案(三か年甘草上納金御免に付)		横切継紙/(え56-1～9は一綴)・1通	え56-3
甘草取締筋之儀伺扣(甘草作御冥加金3ヶ年御免、買取の者鑑札相渡し冥加金上納申し渡したきに付) 岡島庄蔵・竹村金五郎・磯田音門・金児丈助・片岡此面	8月	横切継紙/(え56-1～9は一綴)・1通	え56-4
廻状(甘草冥加の儀相伺いたきに付) (竹村)金吾→(岡島)庄蔵殿・(山寺)源太夫殿・(磯田)音門殿・(金児)丈助殿・(片岡)此面殿	8月10日	横切継紙/(え56-1～9は一綴)・1通	え56-5
(書状、甘草代金の儀、御下げ御書類返上に付) (水井)忠蔵→(八田)嘉助様・(八田)喜兵衛様	11月7日	横切継紙/(え56-1～9は一綴)・1通	え56-6
申渡大意写(甘草作りの儀村々へ申し渡すに付) * (端裏朱書)「弘化三年御見合」	弘化3年	横切継紙/(え56-1～9は一綴)・1通	え56-7
大坂御用場之儀付申上(書状、江府諸家様御振り合い御穿鑿仕りたきに付) * (端裏書)「写」/(端裏朱書)「発端ニ添」 八田喜兵衛	7月	横切継紙/(え56-1～9は一綴)・1通	え56-8

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /2. 甘草 /1. 鑑札給付

甘草取締之儀産物会所掛申立手続取調伺扣(中買の者どもへ鑑札を渡すに付他)	8日	横切継紙/(え56-1~9は一綴)・1通	え56-9
(甘草商売鑑札頂戴願綴)	(嘉永3戌年12月~嘉永4亥年正月)	綴/(え108~167は紐一括)/(え144~145は紙縫一括)/(え144-1~13は一綴)・1綴	え144
乍恐以書付奉願候(須坂領孫内村喜代松・清七甘草商売鑑札頂戴願に付) 紺屋町宿御受負酒井喜市(印)、(奥書)伊勢町伝兵衛→御産物方御会所	嘉永4亥年3月	美/(え108~167は紐一括)/(え144~145は紙縫一括)/(え144-1~13は一綴)・1冊	え144-1
乍恐以書付奉願候(甘草商売鑑札頂戴願に付) 小出村願人吉之丞(名主佐五右衛門代印)・名主佐五右衛門(印)・組頭新十郎・長百姓徳右衛門、(奥書)伊勢町伝兵衛→御産物方御会所	嘉永4亥年12月	堅紙/(え108~167は紐一括)/(え144~145は紙縫一括)/(え144-1~13は一綴)・1通	え144-2
乍恐以書付奉願候(甘草商売鑑札頂戴願に付) 町川田村願人五郎左衛門(印)・名主久助・組頭国蔵・同断富八(印)・長百姓健左衛門、(奥書)伊勢町伝兵衛→御産物方御会所	嘉永4亥年正月	美/(え108~167は紐一括)/(え144~145は紙縫一括)/(え144-1~13は一綴)・1冊	え144-3
乍恐以書付奉願候(須坂領綿内村6名甘草商売鑑札頂戴願に付) 紺屋町御受負酒井弥左衛門(印)、(奥書)伝兵衛→御産物方御会所	嘉永4亥年正月	美/(え108~167は紐一括)/(え144~145は紙縫一括)/(え144-1~13は一綴)・1冊	え144-4
乍恐以書付奉願候(甘草商売鑑札頂戴願に付) 牛嶋村願人仲治(印)・名主茂右衛門(印)・組頭惣兵衛・長百姓倉吉、(奥書)伊勢町伝兵衛→御産物方御会所	嘉永3戌年12月	美/(え108~167は紐一括)/(え144~145は紙縫一括)/(え144-1~13は一綴)・1冊	え144-5
乍恐以書付奉願候(甘草商売鑑札頂戴願に付) 福嶋新田村願人儀十郎(印)・名主新平・組頭彦九郎・長百姓駒之丞(印)、(奥書)伊勢町伝兵衛→御産物方御会所	嘉永3戌年12月	美/(え108~167は紐一括)/(え144~145は紙縫一括)/(え144-1~13は一綴)・1冊	え144-6
乍恐以書付奉願候(甘草商売鑑札頂戴願に付) 下平林村願人佐右衛門(印)・名主武右衛門(印)・組頭長三郎・長百姓五左衛門、(奥書)伊勢町伝兵衛→御産物方御会所	嘉永3戌年12月	美/(え108~167は紐一括)/(え144~145は紙縫一括)/(え144-1~13は一綴)・1冊	え144-7
乍恐以書付奉願候(甘草商売鑑札頂戴願に付) 福嶋新田村願人市郎治(印)・名主千左衛門・組頭市郎治・同音八(印)・長百姓治郎右衛門・同与右衛門、(奥書)伊勢町伝兵衛→御産物方御会所	嘉永3戌年12月	美/(え108~167は紐一括)/(え144~145は紙縫一括)/(え144-1~13は一綴)・1冊	え144-8

乍恐以書付奉願候(甘草商売鑑札頂戴願に付) 伊勢町小村半兵衛(印)・請人三左衛門(印)、(奥書)伊勢町伝兵衛→御産物方御会所	嘉永3戊午12月	美/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え144-1～13は一綴)・1冊	え144-9
乍恐以書付奉願候(甘草商売鑑札頂戴願に付) 後町村願人宇兵衛(印)・同安兵衛(印)・同清八(印)・名主深見六三郎・組頭利右衛門・長百姓長右衛門・役人代頭立喜十郎(印)、(奥書)伊勢町伝兵衛→御産物方御会所	嘉永3戊午12月	美/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え144-1～13は一綴)・1冊	え144-10
乍恐以書付奉願候(甘草商売鑑札頂戴願に付) 福嶋村吉八(印)・両治郎(印)・木七子萬弥(印)・喜七子園蔵(印)・利右衛門(印)・儀右衛門子佐之吉(印)・大蔵子幸蔵・名主仙左衛門・組頭市郎治・同断音八(印)・長百姓治郎右衛門・同断与右衛門、(奥書)伊勢町伝兵衛→御産物方御会所	嘉永3戊午12月	美/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え144-1～13は一綴)・1冊	え144-11
乍恐以書付奉願候(甘草商売鑑札頂戴願に付) 布野村願人忠作(印)・受人忠兵衛(印)・名主金兵衛・組頭忠兵衛(印)・長百姓彦左衛門(印)、(奥書)伊勢町伝兵衛→御産物方御会所	嘉永3戊午12月	美/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え144-1～13は一綴)・1冊	え144-12
乍恐以書付奉願候(甘草商売鑑札頂戴願に付) 風間村仁兵衛(印)・名主宇平治・組頭宇右衛門・長百姓儀左衛門(印)、(奥書)伊勢町伝兵衛→御産物方御会所	嘉永3戊午12月	美/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え144-1～13は一綴)・1冊	え144-13
(甘草商売改め綴)	(嘉永3年戊12月)	綴/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え145-1～14は一綴)・1綴	え145
乍恐以書付奉申上候(羽尾村甘草渡世の者改の節、古来草渡世の者ならびに作り候者御座なきに付) 羽尾村本郷名主小右衛門・長百姓三郎右衛門・同断平蔵・役人代金五郎(印)→御産物方御会所	嘉永3戊午12月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え145-1～14は一綴)・1通	え145-1
乍恐以書付奉申上候(鼠宿村甘草商売致す者御座なきに付) 鼠宿村名主市郎左衛門・組頭民之助(印)・仮長百姓西沢仁兵衛→御産物方御会所	嘉永3戊午12月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え145-1～14は一綴)・1通	え145-2
乍恐以書付奉申上候(小布施村甘草仲買商売致す者御座なきに付) 小布施村名主吉蔵・組頭清蔵(印)・長百姓森右衛門→御産物方御会所	嘉永3戊午12月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え145-1～14は一綴)・1通	え145-3
乍恐以書付奉申上候(本鹿谷村甘草商売致す者御座なきに付) 本萱村名主両之丞・組頭伴右衛門(印)・長百姓弥惣平→御産物方御会所	嘉永3戊午12月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え145-1～14は一綴)・1通	え145-4

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /2. 甘草 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉申上候(粟佐村甘草仲買商売致す者御座なきに付) 粟佐村名主角右衛門(印)・組頭懸左衛門・同断忠左衛門・長百姓伝十郎(印)→産物方御会所	嘉永3戌年12月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え145-1～14は一綴)・1通	え145-5
乍恐以書付奉申上候(南堀村甘草仲買商売致す者御座なきに付) 南堀村名主治兵衛・組頭平兵衛(印)・長百姓宇左衛門→御産物方御会所	嘉永3戌年12月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え145-1～14は一綴)・1通	え145-6
乍恐以書付奉申上候(新安村甘草仲買商売致す者御座なきに付) 新安村名主仁左衛門(印)・組頭平左衛門(印)・長百姓庄右衛門(印)→御産物方御会所	嘉永3戌年12月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え145-1～14は一綴)・1通	え145-7
乍恐以書付奉願候(大岡村藤助触面頂戴等閑のため蚕種商売鑑札御改め願) 大岡村川口組組頭作左衛門(印)→御産物方御会所	嘉永3戌年12月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え145-1～14は一綴)・1通	え145-8
乍恐以書付奉申上候(南俣村甘草植え付ける者ならびに仲買渡世仕る者御座なきに付) 南堀村重立長左衛門(印)→御産物方御会所	嘉永3戌年12月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え145-1～14は一綴)・1通	え145-9
乍恐以書付奉願候(坪根村甘草仲買商売致す者御座なきに付) 坪根村名主清兵衛(印)・組頭吉左衛門・長百姓安四郎→御産物方御会所	嘉永3戌年12月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え145-1～14は一綴)・1通	え145-10
乍恐以書付奉申上候(軽井沢村甘草仲買商売致す者御座なきに付) 軽井沢村名主万右衛門(印)・組頭利右衛門・長百姓長五郎→御産物方御会所	嘉永3戌年12月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え145-1～14は一綴)・1通	え145-11
乍恐以書付奉申上候(小布施村甘草仲買商売致す者御座なきに付) 小布施村名主清次郎・組頭五左衛門・長百姓吉郎兵衛・頭立出役源右衛門(印)→御産物方御会所	嘉永3戌年12月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え144～145は紙縫一括)/(え145-1～14は一綴)/(え145-11と13の間に挟み込み)・1通	え145-12
乍恐以書付奉申上候(小田原村甘草仲買商売致す者御座なきに付) 小田原村名主重兵衛・組頭権兵衛(印)→御産物方御会所	嘉永3戌年12月	堅紙/(え108～167は紐一括)・1通/(え144～145は紙縫一括)/(え145-1～14は一綴)	え145-13
乍恐以書付奉申上候(上屋村三組甘草商売致す者御座なきに付) 上屋村三組名主忠蔵(印)・組頭和忠治・名主吉左衛門・同吉郎左衛門→御産物方御会所	嘉永3戌12月	堅紙/(え108～167は紐一括)・1通/(え144～145は紙縫一括)/(え145-1～14は一綴)	え145-14

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /2. 甘草 /2. 取締筋

上ニ甘草取締筋之儀伺案	8月	半/(え72~81は袋一括)・1冊	え78
-------------	----	-------------------	-----

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /2. 甘草 /3. 植え付け

口上覚(甘草の儀、当節の高直段なら格別の国益、種代金3両請け取れば残金は妙賞金と差し出すので仰せ付けられたきに付) * (表紙朱書)「甘草見合」 栄八	弘化2年巳3月	横長美・1冊	え217
御尋ニ付書取を以申上候(東寺尾村萬法寺浦和泉屋忠兵衛所持の畑借り受け甘草植え立てに付) 栄八(印)→(菊屋)市兵衛殿・(菊屋)佐助殿	嘉永5午年閏2月	半・1冊	え859

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

杏仁商人仲間規定 御鑑札仲間 (杏干仁商売鑑札頂戴願綴)	嘉永7寅年4月	半・1冊	え66
杏干仁鑑札願書(願書綴表紙)	安政6未年5月	綴/(え108~167は紐一括)/(え161~166は紐一括)/(え161-1~71は一綴)・1綴	え161
杏干仁鑑札願書(願書綴表紙)	安政6未年5月	堅紙/(え108~167は紐一括)/(え161~166は紐一括)/(え161-1~71は一綴)・1通	え161-1
乍恐以書付奉申上候(杏干仁買い冥加銀6匁ずつ上納に付) 善光寺大門町惣代多七(印)→松代御産物方御会所	安政6未年5月	堅紙/(え108~167は紐一括)/(え161~166は紐一括)/(え161-1~71は一綴)・1通	え161-2
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 新山村願人富作・名主甚兵衛・組頭長次郎・長百姓国任・役人代頭立重兵衛(印)→御産物方御会所	安政6未年5月	堅紙/(え108~167は紐一括)/(え161~166は紐一括)/(え161-1~71は一綴)・1通	え161-3
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 八幡村願人新太郎(印)名主三郎右衛門・組頭作左衛門(印)・長百姓善七→御産物方御会所	安政6未年5月	堅紙/(え108~167は紐一括)/(え161~166は紐一括)/(え161-1~71は一綴)・1通	え161-4
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村仙名組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政6未年5月	堅紙/(え108~167は紐一括)/(え161~166は紐一括)/(え161-1~71は一綴)・1通	え161-5

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 新馬喰町ル裏願人伝右衛門(印)・肝煎茂助(印)→御産物方御会所	安政6末年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-6
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 三輪村願人与市(印)・名主三右衛門・組頭惣兵衛(印)・同元作・長百姓与兵衛・同源八→御産物方御会所	安政6末年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-7
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 三輪村願人平左衛門・名主三右衛門・組頭惣兵衛(印)・同元作・長百姓与兵衛・同源八→御産物方御会所	安政6末年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-8
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 北平林村願人六弥(印)・名主長三郎(印)・組頭儀右衛門・長百姓友三郎→御産物方御会所	安政6末年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-9
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 妻科村願人仙吉・名主徳武与市(印)・組頭庄左衛門・同熊左衛門・長百姓良右衛門→御産物方御会所	安政6末年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-10
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 肴町願人勘左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-11
差上申御請一札之事(御国産杏仁御国益に相成るよう御世話下される儀、御趣意申し聞かすに付) 肴町勘左衛門(印)、(奥印)名主米山磯左衛門(印)→御産物御会所	安政6末年	美/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1冊	え161-12
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) ニッ柳村願人吉蔵(印)・同茂平治(印)・同市郎兵衛・名主富重(印)・組頭又右衛門・同喜左衛門・長百姓喜右衛門→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-13
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 原村願人勇五郎(印)・同民右衛門(印)・同甚兵衛(印)・同平助(印)・同彦左衛門(印)・名主利平(印)・組頭六左衛門・長百姓喜左衛門→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-14
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施高田村大行司大太郎→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-15

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施高田村願人大太郎(印)・同断嘉吉(印)・同断幸吉(印)・同断岩吉(印)・同断栄之丞(印)・同断藤七(印)・同断治平(印)・同断留三郎(印)・同断嶋五郎(印)・同断与平太(印)・大行司大太郎(印)・名主亀吉(印)・組頭熊蔵(印)・長百姓慶作→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-16
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 後町村太七・卯吉・与兵衛・深美六三郎(印)・重左衛門・伊兵衛→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-17
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 市村北組願人久作(印)・名主七右衛門(印)・組頭半左衛門(印)・長百姓八左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-18
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若宮村願人勝左衛門・同善兵衛・同要右衛門・名主孫兵衛・同与惣右衛門・長百姓円三郎・同嘉右衛門・役人代大行司長兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-19
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 丹波嶋村金兵衛手代惣助・願人金兵衛(印)・名主八重三郎(印)・組頭勝之助(印)・同政治(印)・同作十郎(印)・同藤治郎(印)・長百姓重左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-20
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村本郷願人藤之助・名主新治郎(印)・長百姓熊蔵(印)・同断友蔵(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	美/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-21
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村仙石組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-22
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 吉田村長五郎・喜七・名主治左衛門(印)・組頭九十郎・長百姓利兵衛→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-23
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 東風間村願人常八(印)・名主幸右衛門(印)・組頭伊左吉(印)・長百姓栄七(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1通	え161-24
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上山田村願人彦重(印)・同断市重(印)・同断七兵衛(印)・同断倉之丞・同大行司兼九八郎(印)・名主佐治兵衛(印)・組頭勘右衛門・長百姓喜右衛門・役人代市郎左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	美/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え161-1～71は一綴)・1冊	え161-25

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 西 和田村願人忠之助・名主仁兵衛・組頭廣太(印)・同吉兵衛・長 百姓善兵衛→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-26
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 町川田村願人重左衛門(印)・名主留八(印)・組頭文右衛門 (印)・長百姓宇左衛門(印)・徳左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-27
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 岩 神村願人慶作・名主太兵衛(印)・組頭佐作・長百姓平治・石川 村中村市三郎(印)→御産物御会所	安政6末年6月10日	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-28
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 石 川村上組願人孝左衛門・願人嶋蔵・下組願人直吉・同市郎兵 衛・同新吉・名主中村市三郎(印)・長百姓藤吉・名主下組吉左 衛門・長百姓忠兵衛→御産物方御会所	安政6末年11月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-29
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 稲荷山村御徳居松林源之助→松代御産物方御会所	安政6末年6月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1冊	え161-30
口演(上田原町弥八他2名への鑑札御渡し願い上げる に付) 稲荷山村御徳居松林源之助(印)→松代御産物御会 所御役人中様	末年6月16日	横切継紙/(え 108～167は紐 一括)/(え161 ～166は紐一 括)/(え161-1 ～71は一綴)/ (え161-31袋 内)・1通	え161-31
口演(上田領稲荷山村周吉他2名への御鑑札御渡し願 い上げるに付) 稲荷山村御徳居松林源之助(印)→松代 御産物御会所御役人中様	6月19日	横切継紙/(え 108～167は紐 一括)/(え161 ～166紐一括) (え161-1～71 は一綴)(え 161-31袋内)・1 通	え161-32
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 小 松原村願人龍吉(印)・名主運右衛門・組頭助右衛門・長百姓 奥右衛門→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-33
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布 施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-34

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 力 石村願人多右衛門(印)・名主宇右衛門(印)・組頭源左衛門・ 長百姓塚田又左衛門→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-35
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 綱掛村願人重右衛門・名主三郎右衛門(印)・組頭卯右衛門 (印)・長百姓健左衛門(印)→産物御会所御役所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-36
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 山田村大行司九八郎(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-37
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 紙 屋町願人正助(印)、(奥書)名主上野要助(印)→御産物方御 会所	安政6末年6月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-38
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 山田村大行司九八郎→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-39
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 生 萱村願人五六・名主良左衛門・組頭新右衛門(印)・長百姓喜 清次→御産物方御会所	安政6末年11月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-40
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 矢 代村大行司新次郎(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-41
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 後 町村願人吉・同吉兵衛・名主深美六三郎(印)・組頭十兵衛・ 長百姓伊兵衛→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-42
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 五明村願人専四郎(印)・名主惣右衛門(印)・組頭吉左衛門 (印)・長百姓新右衛門→産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-43
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 久 保寺村願人金左衛門・同茂兵衛・同喜藤次・同熊吉・名主加藤 円右衛門(印)・同重次郎(印)・同喜太郎(印)・同儀兵衛(印) →御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-44

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) ニ ツ柳村願人安兵衛・名主富重・組頭又右衛門(印)・同断喜左 衛門・長百姓喜右衛門・石川村中村市三郎(印)→御産物方御 会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-45
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若 宮村願人与惣治・名主孫兵衛・同断与惣右衛門・長百姓円三 郎・同嘉右衛門・役人代頭立中村弥右衛門(印)→御産物方御 会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-46
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽 尾村仙石組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-47
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上山田村願人作治兵衛(印)・同断五郎兵衛・名主作治兵衛 (印)・組頭勘右衛門・長百姓喜右衛門・役人代市郎左衛門 (印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-48
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 森 村願人祖左衛門・名主富左衛門・同茂左衛門・組頭源左衛門 (印)・同新助(印)・長百姓儀八(印)・同敬之助(印)→御産物 方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-49
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 伊 勢町伝兵衛借屋宿願人唯助(印)・石川村中村市三郎(印)、 (奥書)名主嶺村栄左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1冊	え161-50
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 御 平川村願人藤太(印)・名主新左衛門(印)・組頭長四郎・同治 助・長百姓吉郎右衛門・同作太・平川村牛村市三郎(印)→御 産物方御会所	安政6末年6月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1冊	え161-51
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽 尾村仙石組願人利作(印)・同断治郎作(印)・名主角平・長百 姓弥右衛門・同断与五郎・役人代庄右衛門(印)→御産物方御 会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-52
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽 尾村仙石組宿願人大行司与五郎(印)・名主角平・長百姓弥右 衛門・同断与五郎・役人代庄右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1冊	え161-53
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村仙石組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-54

乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村仙石組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え161-1～71は一綴)・1通	え161-55
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 桑 原村宿主主関新右衛門代印究左衛門(印)・組頭平蔵・組頭栄 左衛門・長百姓弥兵衛→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え161-1～71は一綴)・1通	え161-56
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 石 川村願人藤右衛門・同万作・名主中村市三郎・同断吉左衛門・ 長百姓忠兵衛・同断藤吉・中村市三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え161-1～71は一綴)・1通	え161-57
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 小舟山村願人友四郎(印)・名主平右衛門(印)・組頭九兵衛 (印)・長百姓弥兵衛(印)・中村市三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え161-1～71は一綴)・1通	え161-58
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 妻 科村右堂組願人治兵衛(印)・名主徳武与市・組頭惣左衛門・ 同断庄左衛門・長百姓良右衛門・役人代作右衛門(印)→御産 物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え161-1～71は一綴)・1通	え161-59
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布 施五明村本郷願人紋治(印)・同断庄平(印)・同断助蔵・瀬原 田組同断才吉・同断弥兵衛(印)・名主大平(印)・組頭半四郎・ 石川村中村市三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	美/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え161-1～71は一綴)・1冊	え161-60
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 西 風間村願人才兵衛・名主庄之丞(印)・組頭安之丞(印)・長百 姓四郎兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え161-1～71は一綴)・1通	え161-61
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布 施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政6末年	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え161-1～71は一綴)・1通	え161-62
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 下 横田村願人茂左衛門(印)・名主半兵衛・組頭新右衛門(印)・ 長百姓惣作→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え161-1～71は一綴)・1通	え161-63
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 伊 勢町願人小松彦治郎(印)・(奥書)名主嶺村栄左衛門(印)→ 御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え161-1～71は一綴)・1通	え161-64

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 北 高田村願人助左衛門(印)・名主佐五兵衛(印)・組頭文之助・ 長百姓栄治→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-65
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 小 森村願人儀右衛門子友七(印)・名主甚三郎・組頭儀右衛門 (印)・長百姓友三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-66
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) つ 組十人町三西組願人嘉吉(印)・肝煎忠太(印)→御産物方御 会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-67
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 森村願人道右衛門・同銀左衛門・同祖左衛門・名主富右衛門・ 同茂左衛門・組頭源左衛門・同新助・長百姓儀八・同数之助 (印)→御産物方御会所	安政6末年6月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1冊	え161-68
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 森 村大行司栄左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-69
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 三輪村惣兵衛代印友三郎(印)・名主三右衛門・組頭惣兵衛 (印)・同元作・長百姓与兵衛・同源八→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1通	え161-70
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 小 森村願人新助(印)・同断喜助(印)・名主彦三郎・組頭莊右衛 門(印)・長百姓寅重・同断宇吉・中村市三郎(印)→御産物方 御会所	安政6末年6月	美(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 161-1～71は一 綴)・1冊	え161-71
(杏干仁商売鑑札頂戴願綴)		綴/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1綴	え162
杏干仁買鑑札願書(願書綴表紙)	安政5午年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1通	え162-1
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 新馬喰町東裏願人伝右衛門(印)・肝煎峯之助・組頭茂助(印) →御産物方御会所	安政5午年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1通	え162-2

乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村本郷願人菅之助・名主谷蔵・組頭小左衛門・同吉之丞・ 役人代友蔵(印)→御産物方御会所	安政5午年4月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1冊	え162-3
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) (羽尾村)仙石組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政5午年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1通	え162-4
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 小 堀村願人宇八(印)・名主徳左衛門(印)・組頭七郎治(印)・長 百姓喜左衛門(印)→御産物方御会所	安政5午年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1通	え162-5
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施之田村願人大太郎(印)・同断嘉吉(印)・同断治平(印)・ 同断幸吉(印)(嘉吉代印)・同断栄之丞(印)(嘉吉代印)・同断 嶋五郎(印)(大行司代印)・同断与平太(印)(大行司代印)・大 行司大太郎(印)・名主熊蔵(印)・組頭弥惣治(印)・長百姓助 右衛門→御産物方御会所	安政5午年4月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1冊	え162-6
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 紺 屋町願人新兵衛(印)・請人安右衛門(印)・名主飯嶋彦兵衛 (印)→御産物方御会所	安政5午年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1通	え162-7
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 久 保寺村願人喜藤治(印)・同断金左衛門(印)・名主文右衛門 (印)・長百姓勝左衛門(印)→御産物方御会所	安政5午年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1通	え162-8
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 石 川村願人直吉(印)・同新吉(印)・市郎兵衛(印)・名主善左衛 門(印)・長百姓茂平治→御産物方御会所	安政5午年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1通	え162-9
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 山田村行事九八郎(印)→御産物方御会所	安政5午年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1通	え162-10
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 山田村願人九八郎・同市郎左衛門・名主又兵衛・同瀬左衛門・ 同久右衛門・長百姓治左衛門(印)→御産物方御会所	安政5午年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1通	え162-11
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 山田村行司九八郎(印)→御産物方御会所	安政5午年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1通	え162-12

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 市 村小組半左衛門借家願人久作・名主八左衛門(印)・組頭良右 衛門(印)・長百姓七右衛門(印)→御産物方御会所	安政5年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1通	え162-13
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上徳間村願人留蔵(印)・萬平(印)・喜助(印)・名主伝右衛門・ 組頭新左衛門(印)・長百姓太兵衛→御産物方御会所	安政5年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1通	え162-14
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽 尾村仙石組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政5年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1通	え162-15
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付)		堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1通	え162-16
差上申御請一札之事(国産杏仁仲買仲間・為登荷商人 取締に付) 肴町願人勘左衛門(印)・同文五郎(印)、(奥 書)名主米山磯左衛門(印)→御産物御会所	安政5年4月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1冊	え162-17
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 矢 代村願人安兵衛(印)・大行司新次郎(印)・名主和二郎・同断 兵七・組頭角右衛門・同断曾右衛門(印)・同断清右衛門・同断 太右衛門・長百姓勇左衛門・同断平十郎→御産物方御会所	安政5年4月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1冊	え162-18
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若 宮村願人勝左衛門(印)・同勇右衛門(印)・名主孫兵衛(印)・ 同断弥藤治・長百姓円三郎(印)・同断嘉左衛門・大行司長兵 衛(印)→御産物方御会所	安政5年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1通	え162-19
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 稲 荷山村御産物御徳居松林源之助(印)→松代御産物御会所	安政5年5月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1冊	え162-20
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 石 川村願人幸左衛門(印)・同断大行司勝左衛門(印)・名主与惣 左衛門(印)・長百姓藤吉→御産物御会所	安政5年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 162-1～21は一 綴)・1通	え162-21
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 久 保寺村小路組長蔵・清太夫・名主喜代太郎(印)→御産物方御 会所	安政6末年6月	堅紙(え108～ 167は紐一括)/ (え161～166は 紐一括)・1通	え163

(杏干仁商売鑑札頂戴願綴)	(安政4巳年5月～安政5 午年6月)	綴/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1綴	え164
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 山田村佐次兵衛(印)・佐次兵衛代印彦重(印)・九八郎(印)・ 佐次兵衛代印七兵衛(印)・名主重吉・同善右衛門・同九郎兵 衛・長百姓弥次兵衛(印)・同勘右衛門・同瀬左衛門→御産物 方御会所	安政4巳年5月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-1
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 久保寺村西河原組源五右衛門代印願人喜藤治(印)・右同断 同熊吉(印)・名主佐兵衛・長百姓大吉・差出組願人金左衛門 (印)・名主源五右衛門(印)・長百姓惣作(印)・大門組願人治 右衛門・名主門右衛門(印)・長百姓伊惣太(印)→御産物方御 会所	安政4巳年5月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-2
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 山田村杏干仁大行司宿九八郎(印)・名主重吉・同善右衛門・ 同九郎兵衛・長百姓弥治兵衛(印)・同勘右衛門・同瀬左衛門 →御産物方御会所	安政4巳年5月	美/(え108～ 167は紐一括/ (え161～166は 紐一括)/(え 164-1～77は一 綴))・1冊	え164-3
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 徳間村宿徳兵衛(印)・名主徳兵衛(印)・組頭栄左衛門・長百 姓茂三郎→御産物方御会所	安政4巳年5月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-4
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 山田村大行司九八郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-5
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽 尾村仙石組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-6
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 松 岡新田村願人要助(印)・名主義兵衛(印)・組頭惣左衛門・長 百姓小右衛門→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-7
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布 施高田村願人大太郎(印)・同断嘉吉(印)・同断治平(印)・同 断栄之丞(印)・同断幸吉(印)・同断安重(印)・同断藤七(印)・ 大行司大太郎(印)・名主熊蔵(印)・組頭弥惣治・長百姓助右 衛門→御産物方御会所	安政4巳年5月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-8
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 風間村直右衛門(印)・常八(印)・名主宇右衛門・組頭孝右衛 門・長百姓奥右衛門→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-9

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 町川田村願人重左衛門(印)・名主久右衛門(印)・組頭国蔵・長百姓彦右衛門(印)→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-10
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上平村願人佐市(印)・同定兵衛(印)・名主彦左衛門・組頭喜兵衛・長百姓置右衛門・役人代頭立半左衛門(印)→御産物方御会所	安政4巳年5月	美/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-11
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村本郷願人藤之助(印)・名主谷蔵・長百姓吉之丞(印)・同断小右衛門→御産物方御会所	安政4巳年5月	美/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-12
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村仙石組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-13
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上徳間村願人留蔵(印)・名主徳兵衛(印)・組頭栄左衛門・長百姓茂三郎→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-14
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 大豆嶋村願人富之助(印)・名主友右衛門・組頭弥左衛門・長百姓茂左衛門・同断庄八(印)・同断周右衛門(印)・同断熊八→御産物方御会所	安政4巳年5月10日	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-15
乍恐以書付奉申上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 杏干仁売買行司善光寺大門町多七(印)→松代御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-16
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 新馬喰町東表願人伝右衛門(印)・肝煎権五郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-17
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若宮村願人慶助(印)・同勇右衛門(印)・同善兵衛(印)・名主久蔵(印)・同断弥藤治・長百姓孫兵衛(印)・同断弥平治→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-18
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若宮村大行司長兵衛(印)→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-19

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 御 平川村願人平五郎(印)・名主嘉右衛門(印)・組頭喜左衛門・ 同長四郎・長百姓新左衛門・同伊助→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-20
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布 施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-21
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 吉 田村願人長五郎(印)・同断喜七(印)・名主治左衛門・組頭与 兵衛(印)・同断九十郎・長百姓惣左衛門→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-22
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 矢 代村願人安兵衛(印)・大行司新治郎・名主兵七・同断和三部・ 組頭才治・同断新治(印)・同断清右衛門(印)・同断角右衛門・ 長百姓平治兵衛・同断勇左衛門→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-23
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 後町村願人清八(印)・同安兵衛(印)・同宇兵衛(印)・同宇吉 (印)・同太七(印)・同与兵衛(印)・同金左衛門(印)・名主深美 六三郎(印)・組頭喜重郎・長百姓伊兵衛→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-24
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 御 産物御徳居松林源之助(印)→御産物御会所	安政4辰(マ)年5月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-25
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 石 川村願人勝左衛門(印)・同直吉(印)・同幸左衛門(印)・同市 郎兵衛(印)・同新吉(印)・大行司勝左衛門(印)・名主与惣左 衛門(印)・同断吉左衛門(印)・長百姓茂平治(印)・同断藤吉 (印)→御産物方御会所	安政4巳年閏5月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-26
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽 尾村仙石組大行司宿受人与五郎(印)・名主与五郎(印)・組頭 重郎治・長百姓庄左衛門→御産物方御会所	安政4巳年閏5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-27
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽 尾村仙石組願人角之丞・同利作・大行司与五郎(印)・名主与 五郎・組頭重郎治・長百姓庄左衛門(印)→御産物方御会所	安政4巳年閏5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-28
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 生 萱村願人五郎作・同豊作・名主吟右衛門・組頭良左衛門(印)・ 長百姓平左衛門(印)→御産物方御会所	安政4巳年閏5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 164-1～77は一 綴)・1冊	え164-29

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 後町村願人作兵衛(印)・名主深美六三郎・組頭喜十郎(印)・長百姓伊兵衛→御産物方御会所	安政4巳年閏5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-30
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 大田原村願人要之助(印)・名主弥兵衛・組頭要太郎(印)・長百姓吉兵衛→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-31
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上徳間村願人喜助・同万平・名主徳兵衛(印)・組頭栄左衛門(印)・長百姓茂三郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-32
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若宮村中買大行司長兵衛(印)→産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-33
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 北平林村願人六弥(印)・名主瀬兵衛(印)・組頭友左衛門(印)・長百姓半兵衛→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-34
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村仙石組大行司与五郎(印)・当人利作・名主与五郎(印)・長百姓重郎治・同断庄左衛門(印)→土産御会所	安政5午年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-35
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村仙石組大行司与五郎(印)・右村平治郎・同雄助・名主与五郎(印)・長百姓重郎治・同断庄左衛門(印)→産物御会所	安政5午年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-36
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 御馬屋町宿受人栄蔵(印)・肝煎富之丞(印)→御産物方御会所	安政4巳年閏5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-37
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施五明村願人名主代印助蔵(印)・名主勇之助(印)・組頭大作→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-38
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 石川村大行司勝左衛門(印)→御産物御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-39

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若宮村願人吉右衛門・名主久蔵・同断弥藤治・長百姓孫兵衛・同断弥平治・頭立役人代庄助(印)・大行司長兵衛(印)→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-40
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 西和田村願人新十郎・名主吉兵衛(印)・組頭仁兵衛・同断廣太・長百姓善兵衛→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-41
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施高田村願人与平太(印)・大行司大太郎(印)・名主熊蔵(印)・組頭弥惣治(印)・長百姓助右衛門→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-42
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村仙石組宿受与五郎(印)・名主与五郎(印)・長百姓重郎治・同断庄左衛門→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-43
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 三輪村願人儀助・同和兵衛・同平左衛門・名主三右衛門・組頭惣兵衛・同断元作(印)・長百姓与兵衛・同断平右衛門→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-44
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年閏5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-45
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-46
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村仙石組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-47
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 伊勢町願人万作(印)・受人佐助(印)→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-48
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-49

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 願人吉蔵・同断市郎兵衛・名主要之助(印)・組頭健吾(印)・同断円蔵・長百姓清左衛門(印)→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-50
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 久保寺村願人金左衛門・名主円右衛門(印)・長百姓伊惣吉→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-51
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 福嶋村願人作蔵(印)・名主仙左衛門・組頭市兵衛(印)・同断文右衛門・長百姓名右衛門・同断要左衛門→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-52
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 牧嶋村願人喜左衛門・名主三左衛門(印)・組頭仙左衛門(印)・長百姓慶左衛門→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-53
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 南長池村願人新治郎・名主与三郎・組頭弥惣八(印)・長百姓又右衛門(印)→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-54
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村仙石組大行司宿受人与五郎(印)・名主与五郎(印)・組頭重郎治(印)・長百姓庄左衛門→御産物方御会所	(安政4巳年)	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-55
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 会村仙五郎(印)・喜藤治(印)・舟蔵・六右衛門・反左衛門→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-56
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 原村願人彦左衛門・名主喜左衛門(印)・組頭銀右衛門(印)・長百姓与五左衛門(印)→御産物方御会所	安政4巳年閏5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-57
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-58
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 十人町上つ組願人嘉吉(印)・伊勢町受人忠三郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年閏5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-59

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 山田村大行司九八郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え164-1～77は一綴)・1冊	え164-60
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 新 山村願主保兵衛・名主藤兵衛(印)・組頭清吉(印)・長百姓栄左衛門(印)→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え164-1～77は一綴)・1冊	え164-61
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布 施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え164-1～77は一綴)・1冊	え164-62
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 山田村大行司九八郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え164-1～77は一綴)・1冊	え164-63
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 網 掛村名主五郎右衛門(印)・組頭米右衛門(印)・同市左衛門(印)・長百姓五郎兵衛(印)・願人重右衛門・同断弥八→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え164-1～77は一綴)・1冊	え164-64
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 原村願人要五郎・名主喜左衛門(印)・組頭銀右衛門(印)・長百姓与五左衛門(印)→御産物方御会所	安政4巳年5月12日	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え164-1～77は一綴)・1冊	え164-65
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布 施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え164-1～77は一綴)・1冊	え164-66
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 平村宿受人佐市(印)・名主彦左衛門・組頭喜兵衛・頭立勇左衛門→御産物方御会所	安政4巳年閏5月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え164-1～77は一綴)・1冊	え164-67
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 御 平川村願人三郎右衛門(印)・名主嘉右衛門(印)・組頭長四郎・同喜左衛門・長百姓新左衛門・同伊助→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え164-1～77は一綴)・1冊	え164-68
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布 施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え161～166は紐一括) / (え164-1～77は一綴)・1冊	え164-69

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 三輪村願人伊助・名主三右衛門・組頭惣兵衛・同元作・長百姓与兵衛(印)・同平右衛門→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-70
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村仙石組大行司与五郎→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-71
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 妻科村願人久蔵(印)・名主良右衛門・組頭徳武与市(印)・同惣左衛門・長百姓庄左衛門→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-72
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 西和田村豊治良伯父長兵衛・名主吉兵衛(印)・組頭仁兵衛・同廣太・長百姓善兵衛→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-73
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 松岡新田村願人金作(印)・名主義兵衛(印)・組頭惣左衛門・長百姓小右衛門→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-74
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 南長池村願人戸右衛門・名主与三郎・組頭弥惣八(印)・長百姓又右衛門→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-75
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 風間村願人才兵衛(印)・名主宇右衛門(印)・組頭孝右衛門・長百姓奥右衛門・出役萬兵衛→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-76
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 石川村大行司勝左衛門(印)→御産物御会所	安政4巳年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え164-1～77は一綴)・1冊	え164-77
(杏干仁商売鑑札頂戴願綴)	(安政3辰年)	綴/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1綴	え165
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 妻科村願人喜七(印)・同久蔵(代印)・同治兵衛(印)・名主庄左衛門・組頭良右衛門・同断八右衛門・長百姓徳武与市(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-1

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 平村佐市(印)・名主園右衛門・組頭佐治右衛門・長百姓半左 衛門・右役人代頭立佐市(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～50は一 綴)・1通	え165-2
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 会 村常治弟願人千五郎(印)・名主喜藤治(印)・組頭丹藏・長百 姓藤藏・同断六右衛門→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～50は一 綴)・1通	え165-3
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布 施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政3辰年	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～51は一 綴)・1通	え165-4
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 森 村願人栄左衛門(印)・同善左衛門(印)・名主富右衛門・同宇 津太・組頭三郎左衛門(印)・同与右衛門・長百姓国治・同為作 →御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括)/ (え161～166紐 一括)(え165-1 ～51は一綴)・1 通	え165-5
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布 施高田村願人大太郎(印)・同嘉吉(印)・同幸吉(印)・同安重 (印)・同治平(印)・同栄之丞(印)・同名主代判藤七(印)・大行 司大太郎(印)・名主弥惣治(印)・組頭藤左衛門・長百姓助右 衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～50は一 綴)・1冊	え165-6
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上五明村治五右衛門(印)・名主佐兵衛(印)・組頭吉左衛門 (印)・長百姓嘉右衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～50は一 綴)・1冊	え165-7
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 山田村願人九八郎(印)・同七兵衛(印)・同彦重(印)・名主佐 治兵衛(印)・同断佐兵衛(印)・同断勘左衛門(印)→御産物方 御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～50は一 綴)・1通	え165-8
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 平村大行司佐市(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～50は一 綴)・1通	え165-9
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 町川田村重左衛門(印)・名主久右衛門(印)・組頭彦右衛門 (印)・同断久助(印)・長百姓彦右衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～50は一 綴)・1通	え165-10
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 市 村北組願人半左衛門(印)・名主良右衛門(印)・組頭茂右衛門 (印)・長百姓茂左衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～50は一 綴)・1通	え165-11

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 石川村藤右衛門(印)・直吉(印)・名主代印市郎兵衛(印)・新吉(印)・勝左衛門(印)・名主南沢源之助(印)・組頭茂助→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-12
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 石川村大行司勝左衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-13
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 石川村頼人藤右衛門・同直吉・同市郎兵衛・同新吉・名主南沢徳之助(印)・長百姓栄助(印)→御産物所御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-14
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 三輪村伝兵衛(印)・名主三右衛門・組頭惣兵衛・同元作・長百姓与兵衛(印)・同平右衛門→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-15
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村本郷頼人駒蔵(印)・名主谷蔵・長百姓吉右衛門・同善之丞・役人代友蔵(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-16
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村仙石組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-17
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 久保寺村頼人熊吉(印)・頼人金左衛門(印)・喜藤治(印)・右名主代印弥兵衛(印)・名主作右衛門(印)・長百姓多右衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-18
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村仙石組宿受人与五郎・名主十郎治・長百姓市郎兵衛・長百姓栄左衛門・役人代与五郎(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-19
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 善光寺東町磯五郎(印)→松代御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-20
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村仙石組角之丞・利作・大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-21

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 中御所村願人善治(印)・名主五右衛門(印)・組頭勝五郎・長百姓要左衛門→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-22
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 新馬喰町東表願人伝右衛門(印)・肝煎伝五郎(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-23
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 紙屋町願人清水戸左久(印)・(奥書)上野要助(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-24
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 馬喰町願人與助(印)・(奥書)名主吉郎右衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-25
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 牧嶋村願人喜左衛門(印)・名主慶左衛門(印)・組頭成右衛門(印)・長百姓安平→御産物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-26
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若宮村願人勇右衛門(印)・同断松左衛門(印)・慶助(印)・名主久蔵・同断庄助・長百姓孫兵衛・同断弥兵治・役人代長兵衛(印)→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-27
(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若宮村大行司長兵衛(印)→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-28
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 久保寺村願人慶五郎(印)・名主作右衛門(印)・長百姓多右衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-29
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施高田村願人留三郎(印)・大行司大太郎(印)・名主弥惣治(印)・組頭藤左衛門・長百姓助右衛門→御産物方御会所	安政3辰年6月13日	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-30
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 三輪村願人友三郎(印)・名主三右衛門・組頭惣兵衛(印)・同断元作・長百姓与兵衛・同断平右衛門→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-31

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 大豆嶋村願人組頭友右衛門代印富之助(印)・名主重蔵・組頭友右衛門(印)・長百姓茂左衛門・同断惣右衛門(印)・同断繁八・同断文左衛門→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-32
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施五明村願人役人代弥兵衛代印助蔵(印)・瀬原田組同断弥兵衛(印)・同断才吉(印)・名主重吉・組頭大作・役人代弥兵衛(印)・石川村大行司勝左衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-33
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 生萱村馬作(印)・名主岩右衛門(印)・組頭幸左衛門(印)・長百姓新九郎(印)→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-34
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 倉科村願人重蔵(印)・名主長兵衛(印)・同断儀藤治(印)・組頭彦佐(印)・同断新右衛門・長百姓彦三郎(印)・同断瀧重(印)→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-35
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 矢代村願人安兵衛(印)・名主平九郎・組頭要左衛門・同和三郎・長百姓富左衛門→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-36
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村仙石組矢代村新治郎病氣二付代印大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-37
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 町川田村願人喜藤太(印)・名主久右衛門(印)・組頭彦右衛門(印)・同断久助(印)・長百姓健左衛門(印)→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-38
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 風間村願人仁兵衛(印)・名主宇右衛門・組頭孝右衛門・長百姓万兵衛・役人代建吾(印)→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-39
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 風間村願人常八(印)・名主宇右衛門・組頭孝右衛門・長百姓万兵衛・役人代建吾(印)→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-40
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 御産物御徳居松林源之助(印)→御産物御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え165-1～50は一綴)・1通	え165-41

①乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付)、 ②乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) ①小松原村願人龍吉(印)・同断彦右衛門(印)名主万蔵(印)・ 組頭助右衛門(印)・同断源之助(印)・長百姓作治(印)・同 断兵右衛門(印)、②小松原村願人龍吉(印)・同断彦右衛門 (印)・布施高田村大行司大太郎(印)・小松原村名主万蔵(印) →①・②御産物方御会所	安政3辰年6月	美/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～50は一 綴)・1冊	え165-42
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 新 山村願人安兵衛(印)・名主栄左衛門・組頭吉松・長百姓金吉・ 出役九郎兵衛(印)→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～50は一 綴)・1通	え165-43
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 山田村大行司九八郎(印)→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～50は一 綴)・1通	え165-44
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 矢 代村大行司新次郎(印)→御産物方御会所	安政3丙辰年6月	堅切紙/(え 108～167は紐 一括)/(え161 ～166は紐一 括)/(え165-1 ～50は一綴)/ (え165-44と46 の間に挟み込 み)・1通	え165-45
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 矢 代村願人徳四郎・名主銀右衛門・同平九郎・組頭才治・同平治 兵衛・同勇左衛門・同嘉三郎(印)・長百姓富左衛門・同宇七→ 御産物方御会所	安政3辰年7月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～50は一 綴)・1通	え165-46
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 吉 田村願人喜七(印)・同断長五郎(印)・名主治左衛門(印)・組 頭与兵衛(印)・同断九重郎(印)・長百姓惣左衛門(印)→御産 物方御会所	安政3辰年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～50は一 綴)・1通	え165-47
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 徳間村恒右衛門別家廉蔵弟留蔵(印)・名主徳兵衛・組頭栄左 衛門・長百姓茂一郎→御産物方御会所	安政3辰年7月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～50は一 綴)・1通	え165-48
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽 尾村仙石組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政3辰年7月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～50は一 綴)・1通	え165-49
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 後町村願人宇兵衛(印)・願人清八(印)・同安兵衛(印)・太七 (印)・名主深美六三郎・組頭喜十郎・長百姓伊兵衛・役人代忠 八(印)→御産物方御会所	安政3辰年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 165-1～50は一 綴)・1通	え165-50

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

(杏干仁商売鑑札頂戴願綴)	(安政2卯年4月～7月)	綴/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1綴	え166
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施高田村願人慶左衛門(印)・同大太郎(印)・同嘉吉(印)・ 嘉吉代判同岩吉(印)・同富三郎(印)・名主代判同藤七(印)・ 嘉吉代判同栄之丞(印)・同治平(印)・久兵衛代判同長兵衛 (印)・同安丈(印)・行司大太郎(印)・名主弥惣治(印)・組頭藤 左衛門(印)・長百姓久兵衛(印)→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-1
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 会 村願人常治弟仙五郎(印)・名主藤蔵・組頭四五右衛門・長百 姓弥平太(印)・同断喜藤治→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-2
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布 施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-3
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若 宮村願人勇右衛門・同慶助・名主圓右衛門(印)・長百姓久蔵 (印)→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-4
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 御 平川村願人平五郎・名主伊助(印)・組頭与右衛門・同利左衛 門・長百姓繁治・同政右衛門→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-5
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施五明村願人柳左衛門(印)・同才吉(印)・名主惣右衛門 (印)・組頭市左衛門(印)→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-6
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布 施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-7
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 風 間村願人直右衛門(印)・名主宇右衛門(印)・組頭孝右衛門・ 長百姓万兵衛→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-8

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 善 光寺東町杏干仁行司磯五郎(印)→松代御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-9
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 紙 屋町清水戸佐久(印)、(奥書)名主上野要助(印)→御産物方 御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-10
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 石 川村願人勝左衛門(印)・同藤右衛門(印)・同直吉(印)・同新 吉(印)・同市郎兵衛(印)・大行司勝左衛門(印)・名主南沢源 之助(印)・同断庄兵衛・長百姓与惣左衛門・同断儀助(印)→ 御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-11
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 吉 田村願人喜七(印)・同断長五郎(印)・名主惣左衛門・組頭与 兵衛(印)・長百姓治左衛門→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-12
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 平村願人定兵衛(印)・同断喜市(印)・同断弥市(印)・弥市手 代喜藤治(印)・名主半左衛門・組頭半兵衛・長百姓新五郎・儀 右衛門代新左衛門(印)・大行司佐市(印)→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-13
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 久 保寺村願人喜助・同喜藤治・同慶五郎・同熊吉・同弥兵衛・同 喜伝治・同長蔵・同金左衛門・名主伊惣太(印)・長百姓栄吉 (印)→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-14
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽 尾村仙石組願人与五郎(印)・弥治右衛門子同藤重郎(印)・同 市理右衛門(印)・重蔵別家同角之丞(印)・名主重郎治・長百 姓市郎兵衛・同断栄左衛門・役人代大行司与五郎(印)→御産 物方御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-15
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若 宮村願人善兵衛・同與惣治・名主圓右衛門・同庄助・長百姓久 蔵・同徳左衛門(印)→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-16
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽 尾村仙石組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-17
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 馬 喰町与助(印)、(奥書)名主吉郎右衛門(印)→御産物方御会 所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-18

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施五明村願人助蔵(印)・名主重吉(印)・組頭大作(印)→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-19
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-20
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 下横田村願人甚之助(印)・名主藤吉(印)・組頭惣十郎・長百姓弥兵衛→御産物方御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-21
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-22
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 後町村清八(印)・安兵衛(印)・宇兵衛(印)・太七(印)・与兵衛(印)・宇吉(印)・助三郎(印)・同村名主深美六三郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-23
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 八幡村願人大助(印)・名主治郎八(印)・組頭富左衛門(印)・長百姓八五郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-24
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 矢代村大行司新治郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-25
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 矢代村願人菊次郎(印)・願人安兵衛(印)・同断徳次郎(印)・名主平九郎・組頭和三郎・長百姓要左衛門・同兵七(印)→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-26
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若宮村願人慶助(印)・同惣兵衛(印)・同勇右衛門(印)・同松左衛門(印)・名主圓右衛門(印)・同庄助・長百姓久蔵(印)・同徳左衛門→御産物御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-27
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 腰村願人亀吉(印)・名主利右衛門・組頭平右衛門(印)・同断助右衛門・長百姓柳右衛門→御産物方御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-28

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若 宮村大行司松左衛門(印)→御産物御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-29
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 森村願人栄左衛門(印)・同万五郎(印)・同善左衛門(印)・同 宅松(印)・同道右衛門(印)・名主宇源太(印)・組頭与右衛門 (印)・長百姓長七(印)→御産物方御会所	安政2卯年4月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-30
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 森 村大行司恒吉(印)→御産物方御会所	安政2卯年5月17日	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-31
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽 尾村本郷願人駒蔵(印)・名主伊左衛門・長百姓吉右衛門・同 断谷蔵(印)→御産物方御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-32
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽 尾村仙石組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-33
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若宮村願人吉右衛門(印)・同清右衛門(印)・名主圓右衛門 (印)・同庄助(印)・長百姓久蔵(印)・同徳左衛門→御産物御 会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-34
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 矢 代村大行司新次郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-35
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 北 高田村願人大助(印)・名主喜惣治・組頭伊兵衛(印)・長百姓 吉兵衛→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-36
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 矢 代村大行司宿新次郎(印)・名主平九郎・組頭和三郎・長百姓 要左衛門・同断兵七(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-37
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布 施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-38

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 三輪村願人伊吉(印)・同断友三郎(印)・名主富左衛門・組頭惣兵衛・同断元作・長百姓三右衛門(印)・同断与兵衛→御産物方御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-39
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 三輪村願人新十郎・同断幸吉・名主富左衛門・組頭惣兵衛・同断元作・長百姓三右衛門(印)・同断与兵衛→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-40
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 岩科村熊右衛門別家願人亀作(印)・名主安吉・組頭安兵衛(印)・長百姓代兵衛→御産物方御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-41
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若宮村大行司宿受松左衛門・名主圓右衛門・同断庄助・長百姓久藏・同断徳左衛門・頭立役人代与五右衛門(印)→御産物方御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-42
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若宮村大行司松左衛門(印)→御産物御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-43
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 八幡村願人嘉蔵(印)・名主治郎八・組頭八五郎(印)・長百姓富左衛門→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-44
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 大豆嶋村富之助・伝兵衛・名主善之助・長百姓己之吉(印)・同文左衛門(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-45
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽尾村仙石組右宿大行司与五郎(印)・名主重郎治・長百姓栄左衛門・同市郎兵衛・役人代角平(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	美/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-46
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 久保寺村願人今吉・同重蔵・名主大吉(印)・長百姓勘左衛門(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-47
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 久保寺村右宿大吉(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-48

6. 産物会所 / 1. 諸産物の統制 / 3. 杏仁 / 1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 小 森村願人祐作(印)・名主栄助・組頭重蔵(印)・長百姓富作・同 断伴治良→御産物方御会所	安政2卯年6月6日	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-49
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布 施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-50
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 中 御所村願人善治(印)・名主勝五郎(印)・組頭要左衛門(印)・ 長百姓五右衛門(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-51
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 久 保寺村宿御受負金左衛門(印)	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-52
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 原 村善五郎(印)・名主庄吉(印)・組頭与五左衛門・長百姓奥右 衛門→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-53
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布 施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-54
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 若 宮村願人源太・名主圓右衛門・長百姓久蔵・役人代九郎左衛 門(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-55
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽 尾村仙石組与五郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-56
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 羽 尾村仙石組大行司宿御受負与五郎(印)・名主重郎治・長百姓 栄左衛門・同断市郎兵衛(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-57
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 森 村願人八野右衛門(印)・名主宇源太・組頭与右衛門・長百姓 為作(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-58

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 森 村大行司恒吉(印)	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-59
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 久 保寺村願人友十郎・名主太右衛門(印)・長百姓新作→御産物 方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-60
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 小 松原村願人龍吉(印)・名主万蔵・組頭助右衛門・長百姓兵右 衛門(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-61
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布 施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-62
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上山田村願人九八郎(印)・同七兵衛(印)・同佐次兵衛(印)・ 同熊之助(印)・同仙弥(印)・同喜右衛門(印)・名主九郎兵衛 (印)・同断善右衛門(印)・同断五左衛門(印)→御産物方御会 所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-63
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上平村大行司佐市(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-64
乍恐以書付奉願上候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 網掛村願人重右衛門(印)・名主三郎右衛門(印)・組頭市郎右 衛門(印)・長百姓五郎兵衛(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-65
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 上 平村大行司佐市(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-66
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 矢 代村大行司新次郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-67
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 市 村北組願人半左衛門・名主良右衛門・組頭茂右衛門(印)・長 百姓茂左衛門→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～ 167は紐一括) /(え161～166 は紐一括)/(え 166-1～76は一 綴)・1通	え166-68

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /1. 鑑札給付

乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 新山村願人富作・同重蔵(印)・名主金吉・組頭重兵衛・長百姓六兵衛・役人代頭立安兵衛(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-69
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 廣田村願人團蔵(印)・名主九十郎(印)・組頭良助(印)・長百姓儀十郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-70
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 石川村願人佐源治兄良八・行司勝左衛門(印)・名主南沢源之助(印)・長百姓儀助(印)→御産物所御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-71
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 下横田村願人福蔵(印)・名主藤吉(印)・組頭惣十郎(印)・長百姓弥兵衛(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-72
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施高田村大助(印)・名主弥惣治(印)・組頭藤左衛門・長百姓久兵衛・大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-73
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 布施高田村大行司大太郎(印)→御産物方御会所	安政2卯年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-74
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 妻科村願人久蔵(印)・同喜七(印)・名主庄左衛門・組頭良右衛門(印)・同断八右衛門・長百姓徳武与市→御産物方御会所	安政2卯年7月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-75
乍恐以書付奉願候(杏干仁商売鑑札頂戴願に付) 三輪村願人和兵衛(印)・名主富左衛門・組頭惣兵衛・同断元作・長百姓三右衛門(印)・同断与兵衛→御産物方御会所	安政2卯年7月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え161～166は紐一括)/(え166-1～76は一綴)・1通	え166-76

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /2. 買入れ

覚(杏仁ノ2827貫500目買入金403両3分2朱銀3匁2分1厘金銭書上) 菊屋伝兵衛・菊屋惣兵衛→御産物方御会所	(近世)卯8月	横切紙・1通	え176
会処へ有之杏仁未十月御払ノ節改覚引付		横半半・1冊	え69

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /3. 惣勘定

(書状、杏仁一件惣勘定中買とも皆済、印形成されたきに付) (松本)嘉十郎→(水井)忠蔵様・(春日)儀左衛門	(近世)10月15日	横切継紙・1通	え231
---	------------	---------	------

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /3. 惣勘定

様・(佐竹)周蔵様・(八田)慎蔵様・(八田)喜兵衛様・(八田)義三郎様・(高野)覚之進様			
--	--	--	--

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /4. 「杏仁御買上ニ付入用之雑書類入」

(杏仁買上に付入用関係書類一括)		(え838-2~16は袋一括)・1点	え838
(袋) * (袋上書)「杏仁御買上ニ付入用之雑書類入」 産物会所	安政3丙辰年9月	袋/(え838-2~16は袋一括)・1点	え838-1
(杏干仁取締方からの杏干仁売買の産地名に関する申し立てに付) * (端裏書)「杏干仁売買取締方申立之儀ニ付何産物会所懸」 産物会所懸	3月	横切紙/(え838-2~16は袋一括)・1通	え838-2
(他領分の者とはいえ源之助を外しては国産杏仁取締支障に付) * (端裏書)「杏仁之儀ニ付斧右衛門市三郎新右衛門源之助願ニ付奉伺候産物会所懸」 産物会所懸	10月	横切紙/(え838-2~16は袋一括)・1通	え838-3
杏仁俵数人別御書帳 羽尾村仙石組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政3辰年7月	半/(え838-2~16は袋一括)・1冊	え838-4
(江戸での株仲間再興を受け松代国産品々・諸商売にも冥加金を掛ける件に付) 産物会所懸	巳10月	横長半/(え838-2~16は袋一括)・1冊	え838-5
(仙石組角之丞他4名125貫目に付)		横切紙/(え838-2~16は袋一括)・1通	え838-6
覚(70貫目に付) 上平村佐市		横切紙/(え838-2~16は袋一括)・1通	え838-7
(石川村直吉90貫目他書付)		横切紙/(え838-2~16は袋一括)・1通	え838-8
(種蘭買冥加銀5匁ずつ他諸商売冥加銀書付)		横切紙/(え838-2~16は袋一括)・1通	え838-9
(稲荷山村松林源之助杏仁17駄他人名杏仁数書付)		横切紙/(え838-2~16は袋一括)・1通	え838-10
(杏仁売買取締すべきことに付) * 下書		横切紙/(え838-2~16は袋一括)・1通	え838-11
覚(杏仁を荒山村富作より受け取るに付) 松本源之助		横切紙/(え838-2~16は袋一括)・1通	え838-12
(袋) * (袋上書)「いせ町様 寺庵」		袋/(え838-2~16は袋一括)・1通	え838-13
(「商人共他行ニ付追而詮議仕申上度奉願候 森村長百姓里治」)		切紙/(え838-2~16は袋一括)・1通	え838-14
差上申一札之事(松代御産物方御会所宛杏仁代金受取書) * 雛形 善光寺何町誰印→松代御産物方御会所		縦紙/(え838-2~16は袋一括)・1通	え838-15
奉差上候一札之事(産物方御会所宛杏仁代金受取書) * 雛形 何村名主誰印・組頭誰印・長百姓誰印→産物方御会所		縦紙/(え838-2~16は袋一括)・1通	え838-16

6. 産物会所 / 1. 諸産物の統制 / 3. 杏仁 / 5. 諸書類綴

(杏仁方関連書類綴)		綴/(え837-1～18は一綴)・1綴	え837
(袋) * (袋上書)「杏仁方書類」	安政4丁巳年閏5月	袋/(え837-1～18は一綴)・1点	え837-1
(善光寺より杏仁の義内状到来、御領一統差支え有無評議伺いに付) 産物会所元メ	7月27日	半・1冊	え837-2
乍恐以書付御答奉申上候(無鑑札にて他領で杏仁買取善光寺東町へ売渡に付) 大豆嶋村当人幸作(爪印)・名主友右衛門・組頭弥左衛門・長百姓茂左衛門・同庄八・同園右衛門・同繁八(印)→御産物御会所	安政4巳年11月	堅紙/(え837-1～18は一綴)・1通	え837-3
乍恐以書付奉願候(当人共病気のため杏仁代金御下金頂戴日延期に付) 羽尾村仙石組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年11月	堅紙/(え837-1～18は一綴)・1通	え837-4
乍恐以書付奉申上候(中買仲間行違のため金1両で杏仁10貫500匁の相場で買上代金御渡しに付) 御領分布施高田村大太郎(印)・若宮村忠兵衛(印)・羽尾村仙石組与五郎代角之丞(付箋「印形御日延奉願候」)・山田村九八郎代佐治兵衛(印)・網懸村重兵衛(付箋「印形御日延奉願候」)・河田村重左衛門(印)・矢代村安兵衛(付箋「印形御日延奉願候」)・稲荷山村惣代甚左衛門(付箋「印形御日延奉願候」)・同友作(付箋「印形御日延奉願候」)・(奥書)稲荷山村松林源之助(印)・石川村堀内斧右衛門(付箋「印形御日延奉願候」)→松代御産物方御会所	安政4巳年10月8日	堅半/(え837-1～18は一綴)・1冊	え837-5
乍恐以書付御日延奉願上候(杏仁杏干入札の相場の日延に付) * (端書)「森倉科生萱三ヶ村日延願」森村組頭与右衛門(印)・長百姓里治(印)・倉科村長百姓瀧重(印)・生萱村長百姓平左衛門(印)→御産物方御会所	安政4巳6月2日	堅紙/(え837-1～18は一綴)・1通	え837-6
乍恐以口上書奉申上候(森村杏干杏仁を商人と相对相場にて売買致したきに付) * (端書)「六月二日森倉科生萱三ヶ村書物」 森村名主富右衛門・同茂左衛門・組頭万五郎・同与右衛門(印)・長百姓里治(印)・同為作→御産物方御会所	安政4巳年6月	半/(え837-1～18は一綴)・1冊	え837-7
乍恐以書付奉願上候(倉科村杏干杏仁を木元と売人相对相場にて売買致したきに付) 倉科村名主庄太夫・同孝五郎・組頭彦作・同宇平治・長百姓彦三郎・同瀧重(印)→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え837-1～18は一綴)・1通	え837-8
乍恐以口上書奉申上候(生萱村杏仁杏干を木元と商人相对相場にて売買致したきに付) 生萱村名主吟右衛門・組頭良左衛門・長百姓平左衛門(印)→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え837-1～18は一綴)・1通	え837-9
指上申一札之事(御出役御改の杏仁メ27俵預かるに付) 羽尾村仙石組預り主大行司与五郎(印)・名主与五郎(印)・長百姓重郎治・同断庄左衛門→御産物方御会所	安政4巳年11月	堅半/(え837-1～18は一綴)・1冊	え837-10
差上申一札之事(御出役御改の杏仁2俵預かるに付) 上山田村御預り主佐次兵衛(印)・名主善右衛門・同断重吉・同断九郎兵衛・右役人代長百姓又兵衛(印)→御産物方御会所	安政4巳年11月	堅紙/(え837-1～18は一綴)・1通	え837-11
乍恐以書付奉申上候(倉科村・森村より杏仁21俵買入に付) 矢代村安兵衛(印)→御産物方御会所	安政4年巳7月	堅紙/(え837-1～18は一綴)・1通	え837-12

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /3. 杏仁 /5. 諸書類綴

乍恐以書付奉申上候(森村大行司榮左衛門より稲荷山村からつ屋へ送った杏仁荷物2段、御産物方掛り九蔵より御尋ねに付) 森村名主富右衛門・同茂左衛門・組頭万五郎・同与右衛門・長百姓里治(印)・同為作→御産物方御会所	安政4巳年6月	堅紙/(え837-1~18は一綴)・1通	え837-13
乍恐以書付御答奉申上候(無鑑札にて杏仁商売を致しお尋ねに付) 千田村金兵衛(印)、(奥書)石村(千田村)名主良左衛門(印)・組頭和助(印)・長百姓伊左衛門(印)→御産物御会所	安政4巳年11月	半/(え837-1~18は一綴)・1冊	え837-14
乍恐以書付奉御縫候(矢代村名主兵七杏仁貫目取調の触を病気にて等閑致すに付) 矢代村名主兵七・同和三郎・組頭才治・同角右衛門・同新治・同清右衛門(印)・長百姓平次兵衛・同勇左衛門→御産物方御会所	安政4巳年7月	堅紙/(え837-1~18は一綴)・1通	え837-15
乍恐以書付御訴申上候(杏仁27俵を御出役様の命令で下戸倉宿問屋へ残らず送るに付) 羽尾村仙石組大行司与五郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年11月	堅紙/(え837-1~18は一綴)・1通	え837-16
指上申一札之事(御預かりしている杏仁35貫目不正は無きに付) 羽尾村仙石組中買人角之丞(印)・大行司与五郎(印)・名主与五郎(印)・長百姓重郎治(印)・同断庄左衛門(印)→御産物方御会所御手附片桐庫之助殿	安政4巳年6月22日	堅紙/(え837-1~18は一綴)・1通	え837-17
差上申一札之事(御領所福井村雄助買取杏仁正味127貫600目・表数8俵余今度御出役改め下され御預かりに付) 上徳間村雄助宿名主徳兵衛(印)・組頭榮左衛門(印)・長百姓茂三郎(印)→御産物方御会所	安政4巳年11月8日	堅紙/(え837-1~18は一綴)・1通	え837-18

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /4. 杏仁・甘草

(杏仁・甘草関係書状綴)		綴/(え67-1~16は一綴)・1綴	え67
約定(御産物菜種類売捌の儀は向後両家に任せるに付) 松代産物付惣代菊屋伝兵衛代栄八・立合人津国屋友七→小西彦七殿・鍵屋彦右衛門殿		横切継紙/(え67-1~16は一綴)・1通	え67-1
覚(杏仁取扱は他領商人も多分御鑑札頂戴のため残らず御買上ケの御取締筋御趣意に付) 川田宿西沢又右衛門	安政2卯年6月	横切継紙/(え67-1~16は一綴)・1通	え67-2
御鑑札受他所商人へ内談伺(杏仁の儀に付)		横切継紙/(え67-1~16は一綴)・1通	え67-3
(書状、布施高田村島五郎女房ひめ音右衛門様へ欠訴一条、七印の通り一同歎願に付) * (端裏書)「廻状」豊馬→(竹村)金吾様・(山寺)源大夫様・(磯田)音門様	12月18日	横切継紙/(え67-1~16は一綴)・1通	え67-4
(前条御買上代金の儀は代金御下ケ渡し下されたきに付) * 下書		切紙/(え67-1~16は一綴)・1通	え67-5
覚(甘草86箇メ156メ目、惣貫目1千275貫目勘定に付)		横切継紙/(え67-1~16は一綴)・1通	え67-6
明屋敷御年貢(金2両1分4朱銀7分3厘請取に付) 中島渡浪(印)→八田喜兵衛殿内田村久蔵殿	安政5午年12月	切紙/(え67-1~16は一綴)・1通	え67-7
子極月限仕切覚(大之真甘草9丸代1メ343匁5分5厘勘定に付) 八箇屋弥助(印)→菊屋伝兵衛様	子極月晦日	折紙/(え67-1~16は一綴)・1通	え67-8

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /4. 杏仁・甘草

(書状、御領産杏仁御買上の儀にて伊勢町一文字屋彦治郎他2名願書差し出すに付) *下書 産物会所懸	6月5日	横切継紙/(え67-1~16は一綴)・1通	え67-9
(書状、この度の御締筋を弁え御産物御一手に取計らい出精する旨等) (関)新右衛門→(松本)嘉十郎様	6月25日	横切継紙/(え67-1~16は一綴)・1通	え67-10
(書状、杏仁は手馴れの者に潰させれば、金子御掛りの場合、煩わしくなく存ずるに付)		横切継紙/(え67-1~16は一綴)・1通	え67-11
副書(杏仁直段・往還運送賃等に付存慮内々伺)		横切継紙/(え67-1~16は一綴)・1通	え67-12
(書状、5月に忠五郎は荷物積み佐州清三郎船に便船し箱館へ下り帰帆しないが着船次第差し登らせるに付) 安達六兵衛→八田喜兵衛様	7月14日	横切継紙/(え67-1~16は一綴)・1通	え67-13
(差懸りの儀を申し上げるに付御用状) 産物方会所→東寺尾村(印)・西寺尾村(印)・小嶋田村・丹波嶋村(印)・中御所村 右村々三役人(久保寺村三役人)	6月23日	横切継紙/(え67-1~16は一綴)/(包紙共)・1通	え67-14
(書状、杏仁の位上げるようこの度申し合わせの趣意を荷出し売捌きの向々へ申談の上当会所へ差し出すべきに付) 産物方会所(印)→久保寺村杏干仁中買共	6月23日	横切継紙/(え67-1~16は一綴)・1通	え67-15
(書状、其村中買友十郎親儀介が無鑑札にて杏干売った趣の申し立てあり、儀介は会所へ罷り出るべきに付) 産物方会所(印)→久保寺村三組三役人之内惣代孝人・儀介	6月23日	横切継紙/(え67-1~16は一綴)・1通	え67-16

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /5. 楮 /1. 鑑札給付

乍恐以書付ヲ再応奉願上候(楮商売人鑑札並びに荷宿設立に付) *写 石川村荷宿願人藤右衛門・牧野嶋村同断友左衛門・吉原村商人惣代庄之助→御産物方御会所	弘化2乙巳年11月	堅継紙・1通	え173
御尋ニ付奉申上候(石川村藤左衛門・牧野嶋村友左衛門楮荷宿仕りたきに付) 吉原村楮中買惣代庄之助(印)→御産物方御会所	弘化2巳年11月	堅継紙・1通	え214
楮商人御印鑑札并荷宿之儀ニ付御尋之趣再評申上 産物会所懸	11月	切継紙・1通	え16
(書状、楮荷宿の儀に付) 産物会所懸	12月	切紙/(虫損甚大)・1通	え17
(書状、石川村藤右衛門・牧野島村友左衛門楮商人荷宿御許容下されたきに付)		折紙/(一部切断)・1通	え22

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 新馬喰町友右衛門・紙屋町治郎兵衛・同町伊右衛門・紺屋町伝吉・同町七五郎他327人→御産物方御会所	安政6未年正月	美/(え108~167は紐一括)/(え146~160は紐一括)・1冊	え146
(天秤振諸商売冥加銀上納請書綴)	(安政6年未正月)	綴/(え108~167は紐一括)/(え146~160は紐一括)/(え147-1~3は一綴)・1綴	え147

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 新河原高場組又右衛門・田町伴七・同所勝治、行司庄右衛門(印)・世話人四郎治(印)他13人→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え147-1～3は一綴)・1冊	え147-1
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) かち町祐堅・同重蔵、かち町多右衛門(印)・かち町世話人伊助(印)・かみや町鑑元久五郎(印)他15人→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え147-1～3は一綴)・1冊	え147-2
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 代官町藤右衛門・同丹二蔵、片山町大吉・代官町行司惣代惣吉(印)・鑑元久五郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え147-1～3は一綴)・1冊	え147-3
(天秤振諸商売冥加銀上納請書綴)	(安政6末年6月～10月)	綴/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え148-1～7は一綴)・1綴	え148
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 東風間村置八(印)・名主孝右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え148-1～7は一綴)・1通	え148-1
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 灰原村平組古左衛門・七郎右衛門・役人代熊吉(印)→御産物方御会所	安政6末年7月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え148-1～7は一綴)・1通	え148-2
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大豆嶋村願人茂助・名主友之助・組頭小三郎(印)・長百姓栄左衛門・同断善之助・同断重蔵・同断巳之吉→御産物方御会所	安政6末年9月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え148-1～7は一綴)・1冊	え148-3
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 肴町忠平・取締役妻蔵(印)→御産物方御会所	安政6末年9月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え148-1～7は一綴)・1通	え148-4
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 保科村仙蔵・清右衛門・平右衛門・茂吉・浅治・喜代治・すい・辰治・組頭徳左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年9月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え148-1～7は一綴)・1冊	え148-5
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 中条村月夜柵組仁三郎・長百姓彦右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年9月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え148-1～7は一綴)・1通	え148-6

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 五十平村房吉・組頭彦五郎(印)→御産物方御会所	安政6末年10月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え148-1～7は一綴)・1通	え148-7
(天秤振冥加銀日延願綴)		綴/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え149-1・3～7は一綴)・1綴	え149
差上申一札之事(冥加金2朱銀4匁5分日延御聞き済まし有りがたきに付) 新町村与惣治(印)→御鑑札御改方御会所	安政6末年2月10日	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え149-1・3～7は一綴)・1通	え149-1
口上(天秤受書日延に付) 承之助→(関田)莊助様	20日	切紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え149-1と3の間に挟み込み)・1通	え149-2
差上申御日延一札之事(天秤振諸商売鑑札残り銀日延に付) 大岡宮平組名主兵吾(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え149-1・3～7は一綴)・1通	え149-3
乍恐以書付奉願上候(冥加銀上納日延に付) 大岡宮平組名主兵吾(印)・取締役重兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月28日	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え149-1・3～7は一綴)・1通	え149-4
乍恐以書付奉願上候(冥加銀上納日延に付) 大岡宮平組名主重三郎(印)・取締役重兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月28日	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え149-1・3～7は一綴)・1通	え149-5
乍恐以書付御日延奉願候(天秤振諸商売冥加銀上納日延に付) 三輪村長百姓与兵衛(印)→御産物方御会所		堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え149-1・3～7は一綴)・1通	え149-6
乍恐以書付御日延奉願候(天秤振諸商売冥加銀上納日延に付) 三輪村長百姓与兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月26日	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え149-1・3～7は一綴)・1通	え149-7
(天秤振諸商売冥加銀上納請書綴)	(安政6末年正月～6月)	綴/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1綴	え150

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上祖山村豊治・弥惣治・儀兵衛・名主常右衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-1
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 本鹿谷村幾次・金之丞・和藤次・役人代頭立幾七(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-2
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 地京原村常膳・組頭勘兵衛(印)→御産物方御会所	安政6未年4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-3
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 追通村伝之丞・名主弥右衛門・頭立伝右衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-4
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大豆嶋村安蔵・名主友之助(印)・組頭小三郎(印)→御産物方御会所	安政6未年3月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-5
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大豆嶋村初蔵・長百姓重蔵(印)→御産物方御会所	安政6未年3月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-6
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 布施五明村瀬原田組勇七・名主大吉(印)・組頭市左衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-7
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 町川田村巳之作・役人代瀬左衛門(印)→御産物方御会所	安政6未4月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-8
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 小森村彦左衛門・長百姓卯吉(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-9
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大岡宮平組政八・名主兵吾(印)・組頭要左衛門(印)・長百姓五郎兵衛(印)・取締役十兵衛(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-10

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 入山村影山組市左衛門・金作・菊太郎・名主伊右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え150-1～29は一綴)・1通	え150-11
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 志垣村市蔵・嘉左衛門・組頭長三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え150-1～29は一綴)・1通	え150-12
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 千本柳村願人多三郎・名主彦三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年3月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え150-1～29は一綴)・1通	え150-13
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 夏和村佐右衛門・弥右衛門・名主織右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え150-1～29は一綴)・1通	え150-14
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 小鍋村千木組佐平太・名主林右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え150-1～29は一綴)・1通	え150-15
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大原村吉郎兵衛・名主太兵衛(印)・組頭幸八・長百姓所左衛門→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え150-1～29は一綴)・1通	え150-16
上(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大岡根越組多三郎・繁蔵・利兵衛・惣右衛門・量左衛門他14名→御産物方御会所	安政6末年2月	半/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え150-1～29は一綴)・1冊	え150-17
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 栃原村友治・組頭仁右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年4月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え150-1～29は一綴)・1通	え150-18
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 仲條村文吉・組頭東作(印)→御産物方御会所	安政6末年4月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え150-1～29は一綴)・1通	え150-19
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 小布施村与次右衛門・組頭倉吉(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え150-1～29は一綴)・1通	え150-20

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 腰村幸七・名主利右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-21
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 北上野村願人兵右衛門・長百姓市三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-22
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 下田町同心丁十兵衛・山下嘉兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-23
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 枋原村西条組康多・栄治郎・清作・名主清治郎(印)・組頭太市(印)・長百姓清左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-24
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大豆嶋村篠八・名主友之助(印)・長百姓栄左衛門(印)・同断重蔵(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-25
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 山平林村半平借屋願人松七・名主覚之助(印)・組頭孫左衛門(印)・長百姓実平(印)→御産物方御会所	安政6末年6月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-26
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 有旅村政吉・弥惣・義惣治・長百姓角左衛門(印)→産物御会所	安政6末年5月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-27
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 竹房村長左衛門・名主七郎右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-28
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 東寺尾村常松・取締役妻蔵(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え150-1～29は一綴)・1通	え150-29
(天秤振諸商売鑑札御返上下げ金願・冥加銀上納請書綴)	(安政6末年正月～11月)	綴/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え151-1～3は一綴)・1綴	え151

乍恐以書付奉申上候(天秤振諸商売鑑札御返上下げ金願に付) 小市村名主権右衛門・組頭春吉・長百姓清藏→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え151-1～3は一綴)・1通	え151-1
差上申一札之事(天秤振諸商売鑑札御返上下げ金請取に付) 小市村名主権右衛門(印)・組頭春吉・長百姓清藏→御産物方御会所	安政6末年11月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え151-1～3は一綴)・1通	え151-2
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 矢代村取締役倉十・新町村同与惣治・大岡村同重兵衛・小嶋村同弥平治・真嶋村同喜兵衛他8名→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え151-1～3は一綴)・1通	え151-3
(天秤振諸商売冥加銀上納請書綴)		綴/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1綴	え152
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 吉窪村長市・清藏・名主良治→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1通	え152-1
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 深沢村善左衛門・良治・長百姓文左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1通	え152-2
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 坪沢村藤兵衛・並左衛門・吉三郎・愛之助・栄左衛門・惣七・清之助・名主勝之助(印)・組頭清兵衛・長百姓善左衛門→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1通	え152-3
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 倉並村治郎作・茂兵衛・伸治・要之助・倉吉・長百姓嘉金治(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1通	え152-4
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上宮野尾村与喜右衛門・惣作・弥助・卯八・名主軍藏(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1通	え152-5
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 宮野尾村寅之助・名主午右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1通	え152-6

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 宮野尾村下組茂吉・文吉・役人代熊吉(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1通	え152-7
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 橋詰村上組八左衛門(印)・役人代兵之助(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1通	え152-8
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 橋詰村下組刀三郎・久吉・市右衛門・磯松・茂右衛門・乙三郎・吉之助・織治・助松・名主太右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1通	え152-9
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 五十平村太郎作・衆作・米蔵・吉郎左衛門・尔左衛門・久左衛門・磯左衛門・万作・栄之助・組頭彦五郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1通	え152-10
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 瀬脇村弥兵衛・吉之助・相之助・名主弥左衛門(印)→御産物方御会所		堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1通	え152-11
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 瀬脇村願人義兵衛・長百姓義兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1通	え152-12
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 笹平村徳太郎・善吉・弁吉・惣助・鉄五郎・名主友左衛門(印)・組頭勝右衛門・同善重郎・長百姓善右衛門・同部左衛門→御産物方御会所	安政6末年2月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1通	え152-13
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 山村山村吉三郎・名主代茂作(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1通	え152-14
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 山布施村新之助・名主伴右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1通	え152-15
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 有旅村逸作・新治郎・栄治郎・横松・源左衛門・長作・寅吉・名主吉兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え152-1～22は一綴)・1通	え152-16

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 安庭村金之助(印)・玉吉(印)・平左衛門受人判菊右衛門(印)・仁重郎・名主吉沢清吉・組頭栄之助(印)・長百姓嘉左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え152-1～22は一綴)・1通	え152-17
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 山平林村嘉右衛門(印)・文治(印)・藤重(印)・長百姓実平(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え152-1～22は一綴)・1通	え152-18
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 山平林村願人治兵衛(印)・同断佐平治(印)・同断安吉(印)・名主覚之助(印)・組頭弥左衛門(印)・実平(印)→御産物方御会所	安政5年正月	美/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え152-1～22は一綴)・1通	え152-19
乍恐以書付奉願上候(幸右衛門他1名今年より天秤振諸商売仕らざるよう申し懸るため、御訴えに付) 三水今泉村名主大助(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え152-1～22は一綴)・1通	え152-20
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 氷熊村常作・吉三郎・組頭文蔵(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え152-1～22は一綴)・1通	え152-21
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 赤田村惣兵衛・組頭七郎治(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え152-1～22は一綴)・1通	え152-22
(天秤振諸商売冥加銀上納請書綴)	(安政6末年正月～2月)	綴/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え153-1～15は一綴)・1綴	え153
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 田野口村甚七(印)・吉三郎(印)・久蔵(印)・弥左衛門(印)・名主文左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え153-1～15は一綴)・1通	え153-1
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 高野村万蔵・喜源太・政蔵・利惣太・源治郎・組頭勇左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え153-1～15は一綴)・1通	え153-2
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 小聖新田村又左衛門・名主磯右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え153-1～15は一綴)・1通	え153-3

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 中牧村御願人要藏・同仁治・同貞次郎・同久三郎・名主弁三郎・組頭万吉・長百姓伝左衛門→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え153-1～15は一綴)・1通	え153-4
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大岡村宮平組利代之助他17名・名主兵吾(印)・取締役重兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え153-1～15は一綴)・1冊	え153-5
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大岡村根越組嘉吉・市之丞・岩吉・福右衛門・友丈・嘉市・角左衛門・組頭忠右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え153-1～15は一綴)・1通	え153-6
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大岡村和平組弥五右衛門・竹吉・吉藏・大蔵・嘉太蔵・弥藤治・名主重三郎(印)・取締役重兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え153-1～15は一綴)・1通	え153-7
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大岡村和平組与吉・民右衛門・倉右衛門・組頭新右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え153-1～15は一綴)・1通	え153-8
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大岡川口組九右衛門・藤松・豊吉・弁吉・竹右衛門・初太郎・名主藤作(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え153-1～15は一綴)・1通	え153-9
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 和田吐唄村仲右衛門・名主清右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え153-1～15は一綴)・1通	え153-10
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 南牧村要助子清重・同音吉・藤助・安左衛門・磯吉・綱右衛門・作重・久兵衛・長百姓茂平太(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え153-1～15は一綴)・1通	え153-11
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 牧野嶋村忠作他17名・名主久弥(印)・組頭吉郎右衛門(印)・長百姓友左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え153-1～15は一綴)・1通	え153-12
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大原村忠治郎・吉左衛門・利左衛門・下市橋村重吉・竹房村塩本組吉郎治・牧野嶋村鑑元幸左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え153-1～15は一綴)・1通	え153-13

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 下市場村莊吉・弁右衛門・名主六兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え153-1～15は一綴)・1通	え153-14
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 吉原村友蔵・長蔵・重三郎・喜代松・長百姓市郎太(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え153-1～15は一綴)・1通	え153-15
(天秤振諸商売冥加銀上納請書綴)	(安政6末年正月～2月)	綴/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1綴	え154
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 水内村安用組清右衛門・三代吉・民吉・友右衛門・重作・取締役与惣治(印)・名主常蔵(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-1
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 山上条村吉弥・惣吉・名主喜惣治(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-2
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 山上条村清右衛門・孫左衛門・長左衛門・栄左衛門・八蔵・嘉藤太・直左衛門・名主喜惣治(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-3
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 新町村惣三郎他11名・組頭清八(印)・取締役与惣治(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-4
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 足沢村禄兵衛他8か村16名・新町村取締役与惣次(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-5
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 新町村平治他17名・新町村与惣治(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-6
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 日名村国郎・吉郎太・弥平・平左衛門・承治郎・栄三郎・瀬左衛門・八左衛門・弥右衛門・組頭嶋蔵(印)・取締役与惣治(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-7

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 本かや村勘左衛門・五兵衛・十左衛門・長百姓梅右衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-8
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 外鹿谷村佐右衛門・亀吉・名主吉蔵(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-9
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 下越道村喜代八(印)・善七(印)・名主栄左衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-10
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 久木村八右衛門(印)・長百姓文右衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-11
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 立屋村弥左衛門・文右衛門・幸喜・名主嘉左衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-12
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 小桝山村和惣次・源兵衛・名主嘉右衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-13
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 小根山村御願入市之丞・同断勝蔵・同断勇右衛門・同断九右衛門・名主嘉右衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年2月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-14
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 古山村彦五郎・源三郎・長百姓小右衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-15
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 古山村佐右衛門・名主半兵衛(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-16
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 瀬戸川村徳兵衛・柳吉・亀重・役人代半右衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-17

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 瀬戸川村吉右衛門・条作・名主儀右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-18
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 瀬戸川村埋牧組市左衛門・幸右衛門・名主嘉助(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-19
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 瀬戸川村馬曲村伝之丞・喜与七・五左衛門・名主重郎左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-20
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 竹生村重右衛門・兵左衛門・名主寅吉(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-21
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 花尾村佐兵衛・弁作子松吉・名主為之助(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-22
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 奈良井村治兵衛・長百姓惣五郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-23
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 青木村七右衛門・役人代多忠治(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-24
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 専納村浅右衛門・勝右衛門・名主嘉右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-25
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 長井村音松・市三郎・伝三郎・大吉・覚右衛門・組頭弥平治(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-26
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上長井村寅蔵・名主重蔵(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-27

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 五十里村要右衛門・名主勝右衛門・組頭嘉右衛門(印)・長百姓丈助→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-28
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大安寺村蔵右衛門・房蔵・藤太郎・名主蔵吉・組頭藤太・長百姓惣吉(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え154-1～29は一綴)・1通	え154-29
(天秤振諸商売冥加銀上納請書綴)		綴/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1綴	え155
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 西寺尾村左助他28名・名主代惣兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1冊	え155-1
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 西寺尾村岡神明組栄吉・利吉・清吉・栄作・名主代惣兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1通	え155-2
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 杵渕村願人正作・同断保左衛門・名主伊左衛門(印)・組頭喜佐治(印)・同断甚右衛門(印)・長百姓忠太(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1通	え155-3
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 杵渕村願人幸右衛門・長百姓忠太(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1通	え155-4
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 中沢村願人長作・名主権右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1通	え155-5
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 東福寺村嘉弥治他17名・名主長兵衛・熊蔵・長百姓亀助(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1冊	え155-6
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 会村安右衛門・長百姓嘉源治(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1通	え155-7

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 犀川村願人樽平・名主新左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1通	え155-8
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) ニッ柳村佐源治・平重郎・市郎兵衛・民八・茂平治・助左衛門・長百姓要之助(印)→御産物方御会所	安政6年末2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1通	え155-9
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 布施五明村瀬原田組金之助・小文治・留治・長左衛門・嘉長太・栄太夫・守之助・名主大吉(印)→御産物方御会所	安政6年末2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1通	え155-10
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 布施五明村佐治右衛門・八作・名主大平(印)→御産物方御会所		堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1通	え155-11
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 布施高田村安重他12名・布施高村(ママ)名主熊蔵(印)・布施五明村名主大平(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1冊	え155-12
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 布施高田村治平他15名・名主亀吉・組頭熊蔵(印)・長百姓慶作→御産物方御会所	安政6年末2月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1冊	え155-13
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 原村助治・米蔵・名主新平(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)・1通	え155-14
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 下布施村直三郎・名主新左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1通	え155-15
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 広田村藤左衛門・源五郎・喜三太・勘兵衛・元助・喜八・七右衛門・名主藤作(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1通	え155-16
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 下氷鉦村李左衛門・清左衛門・八五郎・名主庄三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1通	え155-17

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 下水鉈村左衛門・惣右衛門・名主官左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1通	え155-18
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大塚村東組喜三郎・庄三郎・鷹治・名主弥左衛門・組頭佐源治(印)・長百姓慶左衛門→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1冊	え155-19
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大塚村西組松三郎・榮治郎・丈之助・同村名主和右衛門(印)・組頭文三郎・長百姓藤吉→産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1通	え155-20
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上小嶋田村藤作他26名・名主文左衛門(印)・組頭啓助・長百姓惣左衛門→産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1冊	え155-21
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 下小嶋田村願人平蔵・喜三郎・左与吉・安左衛門・富治・兵助・惣左衛門・覺治・名主万蔵(印)・組頭梅吉・長百姓惣左衛門→産物御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1冊	え155-22
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 下小嶋田村願人房重・同断新右衛門・名主万蔵(印)・組頭梅吉・長百姓惣左衛門→産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1冊	え155-23
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上真島村庄右衛門他13名・名主米吉・組頭磯治・同断政五郎(印)・長百姓安次→産物方御会所		堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1通	え155-24
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 下真島村梅太郎(印)他22名・名主仲右衛門・組頭清作・同断与兵衛・長百姓長三郎(印)		美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1冊	え155-25
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 川合村作右衛門(印)・榮十郎(印)・弥市(印)・正之助(印)・名主佐源太・組頭喜左衛門(印)・長百姓久助→産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1冊	え155-26
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 青木嶋村治左衛門・清十郎・下水鉈村友左衛門・市兵衛・名主甚四郎(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え155-1～29は一綴)・1通	え155-27

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 丹波嶋村久左衛門・名主勝之助(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え155-1～29は一綴)・1通	え155-28
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 四ツ屋村名主惣太郎(印)・むす・水主一作→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え155-1～29は一綴)・1通	え155-29
(天秤振諸商売冥加銀上納請書綴)		綴/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1綴	え156
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 布野村通三郎・単治・助治・太兵衛・半兵衛・名主彦左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-1
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 布野村又左衛門他12名・長百姓金左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-2
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 里村山村政治郎・久之助・久左衛門・辰三郎・名主喜惣太(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-3
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 中俣村政之助・儀助・良兵衛・長兵衛・弥兵衛・喜兵衛・新助・名主寛蔵(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-4
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 中俣村彦左衛門・名主寛蔵(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-5
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 小嶋村音吉・弥曾吉・万之助・重兵衛・要之助・組頭長吉(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-6
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 小嶋村弥助・取締役弥兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-7

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 小嶋村平兵衛・弥兵衛・太三郎・桂吉・奠松・莊八・惣蔵・左太郎・取締役弥平治・長百姓金五郎(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-8
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 北堀村治助(印)・長八(印)・仁右衛門(印)・与右衛門・仁左衛門(印)・吉兵衛(印)・組頭七郎治(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-9
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 南堀村勘左衛門・組頭重兵衛(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-10
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 南堀村常吉・長百姓林左衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-11
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 石渡村源左衛門弟元左衛門・才四郎・名主三左衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-12
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 下越村願人伊兵衛・名主五左衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-13
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 中越村願人榮左衛門・名主佐平治(印)→御産物方御会所	安政6未年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-14
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 松原村久作・重右衛門・文吉・藤松・名主吉右衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-15
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 吉田村勘治郎他14名・組頭九十郎(印)・長百姓利兵衛・名主治左衛門→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-16
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 吉田村弥左衛門他9名・組頭九十郎(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-17

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 北間田村治兵衛・名主直右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-18
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 稲積村利兵衛・惣左衛門・善兵衛・弥作・名主善七(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-19
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 稲積村宇平太・梅太郎・名主善七・組頭安右衛門・長百姓茂兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-20
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 北徳間村大治郎・莊藏・莊右衛門・利右衛門・弥之助他7名→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴。21の2丁目が22と乱丁)・1冊	え156-21
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 北東条村忠七・栄作・藤三郎・衆之助・善左衛門・伝治郎・名主重左衛門(印)・組頭祐八→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-22
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 北上野村紋右衛門・三之助・源兵衛・名主銀藏(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-23
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 押鐘村友治郎・嘉兵衛・孝左衛門・三吉・源五郎・吉左衛門・名主善右衛門(印)・長百姓金藏→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-24
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 下宇木村源左衛門・利兵衛・和助・助右衛門・平八・嘉助・喜助・名主重兵衛→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-25
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上松村和兵衛子・和式郎・平藏子佐吉・良左衛門・平兵衛子・莊兵衛・名主孫右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-26
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 三輪村長右衛門他62名・長百姓与兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1冊	え156-27

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

(山里村306人分金35両2分銀9匁上納高書上)		切紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-27の丁間史料)・1通	え156-28
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 栃原村市右衛門・惣作・勘吉・莊藏・七左衛門・芳藏・久吉・治兵衛・世話人十助・世話人友作→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-27の丁間史料)・1通	え156-29
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 北平林村千代吉・久右衛門・惣作・名主友左衛門・組頭長三郎(印)・長百姓勝五郎→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-30
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 西和田村金左衛門・同仁右衛門・名主仁兵衛・組頭広太(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-31
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 東和田村藤兵衛(印)・清兵衛・逸右衛門・宇八治・名主吉左衛門(印)・組頭太郎右衛門・長百姓小左衛門→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-32
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 北長池村清八・同村寄左衛門(印)・同村定之助(印)・同村久五郎(印)・名主莊五郎(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-33
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 北長池村願入衆之助(印)・同和兵衛(印)・同瀧之助(印)・同弁之助(印)・名主庄五郎(印)→御産物方御会所	安政6未年	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-34
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 北長池村久右衛門・名主役金兵衛(印)→御産物方御会所	安政6未年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-35
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 北長池村仁右衛門・文左衛門・房右衛門・名主三郎右衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-36
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 南長池村重吉・新四郎・浅右衛門・戸右衛門(印)・左兵衛・儀兵衛・名主又右衛門(印)・組頭弥惣八・長百姓与三郎→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-37

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 西尾張部村源右衛門・長右衛門・名主喜右衛門(印)・平左衛門(印)・惣七→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-38
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 西尾張部村伊助・頭立利兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-39
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 西尾張部村願人仁右衛門(印)・名主平左衛門(印)・組頭伊兵衛(印)・長百姓喜右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-40
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上高田村治郎作弟大助(印)・助右衛門子伝吉(印)・名主大八(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-41
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上高田村吉太夫(印)・名主清太夫(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-42
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 下高田村彦弥・長百姓金右衛門(印)	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-43
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 下高田村要右衛門・和惣治・重太夫・要吉・長百姓市之丞(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-44
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 西風間村仁兵衛・徳兵衛・喜重郎・伊左衛門・忠右衛門・熊蔵・磯右衛門・名主庄之丞(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-45
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 東風間村作重郎(印)・善治郎・伝五郎・源治・惣蔵・衆吉・名主健治(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-46
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 福嶋新田村源十郎・清左衛門・常左衛門・和助・常七・軽右衛門・民之丞・民治・名主文吉(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え156-1～63は一綴)・1通	え156-47

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大豆嶋村惣之助・柳蔵・鉄蔵・兼助・和兵衛・長百姓善兵衛(印)・同断小三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-48
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大豆嶋村福五郎・金助・市郎治・富作・宇兵衛・喜平治・源吉・初太郎・長百姓巳之吉(印)・同善之助(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-49
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 松岡村三左衛門・神左衛門・栄助・仁兵衛・段蔵・名主善右衛門代栄助(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-50
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 松岡新田村清兵衛他16名・名主善右衛門(印)・組頭清右衛門(印)・長百姓幸右衛門・請人代頭立惣左衛門(印)→御掛り御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-51
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 新田川合村愛吉他12名・名主甚三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-52
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 文門村金兵衛(印)・名主良左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-53
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 南俣村太左衛門(印)・惣兵衛・嘉惣治・常八・浅右衛門・与兵衛・善七・名主市之丞(印)・組頭儀兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-54
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 市村南組弥平・善右衛門・常平・名主清太夫(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-55
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 中野御所村勇作・組頭要右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-56
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 妻科村紋三郎他23名・名主良右衛門・組頭徳武与市(印)・同断惣左衛門・長百姓庄左衛門→御産物方御会所	安政6末年2月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1冊	え156-57

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 後町村藤助他33名・右村名主深美六三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1冊	え156-58
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 鐘村平五郎他34名・名主利右衛門・組頭平右衛門(印)・同断助右衛門・長百姓藤右衛門→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1冊	え156-59
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 小柴見村惣吉・藤兵衛・文太・助太夫・左兵衛・新左衛門・源作・名主治右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-60
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 久保寺村差出組兵右衛門・西河原組佐十郎・小路村保吉・名主儀兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-61
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 久保寺村小路組市右衛門・西川原組喜惣治・大門組安右衛門・同治右衛門・差出組弥惣太・名主喜代太郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1通	え156-62
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 小市村織右衛門他9名・名主勘左衛門・組頭奎吉→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え156-1～63は一綴)・1冊	え156-63
(天秤振諸商売冥加銀上納請書綴)	(安政6末年正月)	綴/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1綴	え157
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 東寺尾村戸市・喜兵衛・儀助・受人山下嘉兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-1
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 牧嶋村与右衛門子政右衛門・名主清十郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-2
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大宝村弥左衛門・喜藤太・長治・藤十郎・代右衛門・慶治・組頭佐治助(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-3

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大宝村喜三次・取締役山下嘉兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-4
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 町川田村治郎右衛門・同藤作・同甚蔵・同定治・同栄之助・名主文右衛門・組頭新五右衛門・同断吉右衛門・長百姓久右衛門・長百姓代瀬左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-5
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 町川田村伊三郎・半三郎・みき・瀬右衛門同居よき・名主文右衛門・長百姓代瀬右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-6
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 東川口村奎之丞他13名・名主高治(印)・組頭太蔵・長百姓吉太夫→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1冊	え157-7
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 牛嶋村丈右衛門他13名・名主文蔵・組頭丈左衛門・長百姓又右衛門・同断菊五郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1冊	え157-8
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 森村吉之丞・同仁左衛門・同和惣治・同栄吉・同美右衛門・名主莊兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-9
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 小出村助五郎・長百姓平左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-10
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 赤沼同新田村名主願入藤右衛門(印)・増八・茂左衛門・久兵衛・達作・幸吉・友蔵・善太郎→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-11
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 赤野田村治右衛門他24名・名主藤右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1冊	え157-12
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 赤野田村源左衛門・名主作左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-13

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 保科村角治郎他33名・名主源兵衛・組頭重郎治・同断潤左衛門・長百姓新五右衛門・同専右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1冊	え157-14
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 保科村直右衛門・亀蔵・豊吉・彦五郎・栄吉・りつ・せん・組頭健左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-15
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 高田村市兵衛・孫左衛門・名主喜三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-16
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 仁礼村帳元栄治郎・世話人角郎・世話人草治・行司菊衛門・組頭要左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-17
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上八丁村佐吉他16名・名主常蔵(印)・上八丁村取締役源三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1冊	え157-18
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上八丁村利兵衛(印)・組頭源五郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-19
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上八丁村永蔵・取締役源三郎・組頭莊五郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-20
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 下八丁村源十郎他15名・名主源右衛門(印)・組頭弥五右衛門・長百姓草五郎→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1冊	え157-21
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 下八丁村万治郎・介左衛門・八五郎・彦兵衛・久右衛門・名主源右衛門(印)・取締役源三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-22
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 小河原村弥兵衛・佐市太郎・岩吉・源三郎・弥蔵・名主栄三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-23

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 小河原村東組文重(印)・同村七十七(印)・同村清蔵(印)・同村吉左衛門・利兵衛子伴作・名主常八(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-24
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大熊村治兵衛・名主藤兵衛(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-25
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大熊村和十郎・長百姓勝蔵(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-26
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 佐野村倉蔵・名主代長百姓嘉右衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-27
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 湯田中村孫兵衛・同村三左衛門・杓野村長吉・同村万作・湯田中村名主五郎治(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1冊	え157-28
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 福嶋村作蔵・名主半左衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-29
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 福嶋村惣左衛門・長百姓名右衛門(印)→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-30
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 福嶋村六右衛門・其吉・重右衛門・平吉・佐兵衛・七蔵・組頭龍八→御産物方御会所	安政6未年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え157-1～31は一綴)・1通	え157-31
(天秤振諸商売冥加銀上納請書綴)	(安政6未年正月～2月)	綴/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1綴	え158
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大岡宮平組祐作・友左衛門・五右衛門・良左衛門・弥右衛門・勇右衛門・新兵衛・名主兵吾(印)→御産物方御会所	安政6未年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-1

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 牧野嶋村藤藏・山和田吐唄村蔦藏・牧野嶋村世話人請人友左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-2
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 牧野嶋村世話人友左衛門(印)・取締栗木十藏→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-3
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 竹房村太十郎・亀兵衛・栄吉・清作・五郎左衛門・三郎兵衛・七郎兵衛・名主七郎右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-4
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 青木村中組藤七・民郎・新作・山吉・安兵衛・名主与惣右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-5
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 伊折村上組彦左衛門・半兵衛・吉弥・十左衛門・源右衛門・儀兵衛・名主富士吉(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-6
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 椿峯村嘉左衛門・栄之助・菊十・辰蔵・平右衛門・長百姓嘉右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-7
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 鬼無里村十助・八五郎・伝蔵・倉吉・組頭莊右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-8
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 志垣村菊太郎・六右衛門・市右衛門・廣太・名主治三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-9
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 下祖山村喜代松・栄三郎・旋重郎・寅之助・数右衛門・慶作・名主宇兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-10
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 入山村犬飼組万吉・同新山組十吉・名主孫右衛門(印)・名主伊右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-11

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 橋詰村上組辰五郎(印)・組頭良助(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-12
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 古間村金三郎・甚蔵・三津五郎・駒治・義与・長百姓磯吉(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-13
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 町川田村寅次郎・駒三郎・役人代瀬右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-14
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 北高田村奥右衛門・清三郎・栄助・平吉・名主佐五兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-15
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大豆嶋村森蔵・名主友郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-16
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 妻科村久五郎・長左衛門・兵左衛門・茂二郎・梅吉他8名→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-17
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 後町村養助・藤兵衛・取締役半三(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え158-1～18は一綴)・1通	え158-18
(天秤振諸商売冥加銀上納請書綴)	(安政6末年正月～2月)	綴/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え159-1～18は一綴)・1綴	え159
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 岩野村願人市太郎・長百姓伝内(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え159-1～18は一綴)・1通	え159-1
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 土口村平治・孫八・幸松・奎太郎・又作・長百姓九蔵(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え159-1～18は一綴)・1通	え159-2

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 雨宮村半治郎・藤太郎・米作・和藏・千代松・元吉・長百姓喜代八(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え159-1～18は一綴)・1通	え159-3
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 条科村甚作・組頭佐市(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え159-1～18は一綴)・1通	え159-4
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 森村久藏・名主与右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え159-1～18は一綴)・1通	え159-5
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 矢代村治右衛門・忠兵衛・安五郎・勘藏・龍藏他47名・組頭要左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え159-1～18は一綴)・1冊	え159-6
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 内川村孫四郎・安左衛門・組頭八重郎(印)・長百姓治郎左衛門→御産物方御役所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え159-1～18は一綴)・1通	え159-7
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 千本柳村栄之助・逸九・名主彦三郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え159-1～18は一綴)・1通	え159-8
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上徳間村梅吉・名主伝右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え159-1～18は一綴)・1通	え159-9
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上平村吉郎左衛門・重作・役人代佐兵衛(印形失念仕候二付)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え159-1～18は一綴)・1通	え159-10
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上五明村治右衛門(印)・名主忠右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え159-1～18は一綴)・1通	え159-11
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 力石村九藏・役人治右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え159-1～18は一綴)・1通	え159-12

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上山田村喜三郎・倉之丞・長左衛門・名主勘右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年2月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え159-1～18は一綴)・1通	え159-13
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 須坂村願人権八郎・友右衛門・名主重郎右衛門(印)・長百姓要三郎(印)・同断孫右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え159-1～18は一綴)・1通	え159-14
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 大池新田村林左衛門(印)・名主重左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え159-1～18は一綴)・1通	え159-15
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 八幡村平右衛門・同村直吉・同村善重・役人代八五郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え159-1～18は一綴)・1通	え159-16
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 志川村長右衛門・同村定吉・長百姓半左衛門→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え159-1～18は一綴)・1通	え159-17
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 郡村伝作・同村治右衛門・頭立新右衛門→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え159-1～18は一綴)・1通	え159-18
(天秤振諸商売冥加銀上納請書綴)	(安政6末年正月)	綴/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1綴	え160
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 岩科村惣左衛門(印)・名主源重郎・組頭長兵衛・同断勘兵衛(印)・長百姓五左衛門→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1通	え160-1
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 念仏寺村重右衛門(印)・名主幾之丞・同断民右衛門・組頭仁三郎・同断民蔵・長百姓長右衛門・役人代周兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1通	え160-2
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 念仏寺村百姓十郎右衛門(印)・弁之助(印)・喜右衛門(印)・頼八(印)・新五郎(印)・名主仁三郎→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1通	え160-3

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 地京原村上組五郎右衛門・義惣治・名主良左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え160-1～28は一綴)・1通	え160-4
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 地京原村下組安右衛門・名主政之助・政之助失念ニ付代印伊勢町藤左(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え160-1～28は一綴)・1通	え160-5
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 地京原村下組留蔵・徳蔵・半之助・清重郎・名主喜兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え160-1～28は一綴)・1通	え160-6
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 伊折村上組才太郎・名主留士吉(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え160-1～28は一綴)・1通	え160-7
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 和佐尾村常左衛門子休作・名主越右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え160-1～28は一綴)・1通	え160-8
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 和佐尾村民左衛門・宇吉・茂右衛門・軍治・綱右衛門・名主吉郎右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え160-1～28は一綴)・1通	え160-9
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 日影村作重郎・近右衛門・役人代弥次右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え160-1～28は一綴)・1通	え160-10
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 鬼無里村市左衛門・長吉・文五郎・長百姓三郎兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え160-1～28は一綴)・1通	え160-11
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 追迫村吉兵衛・吉兵衛厄介ちの・棟吉・移治・喜右衛門・名主孫右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え160-1～28は一綴)・1通	え160-12
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上祖山村三右衛門・伝兵衛・市兵衛・名主恒右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括) / (え146～160は紐一括) / (え160-1～28は一綴)・1通	え160-13

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 栃原村平組三右衛門子熊太・御預人庄作・同市蔵・同佐平太・同重右衛門子市左衛門・同三作・名主平左衛門(印)・組頭市十郎・長百姓熊吉→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1通	え160-14
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 栃原村午組熊治郎・平右衛門・寅吉・久吉・治兵衛・莊蔵・七左衛門・芳蔵・世話人十助(印)・同断友作(印)・名主友市(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1冊	え160-15
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 栃原村酉末組市郎左衛門・要左衛門・米作・名主清治郎(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1通	え160-16
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 入山犬飼組伊三郎(印)・名主孫右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1通	え160-17
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 入山犬飼組藤右衛門(印)・名主孫右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1通	え160-18
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 入山村清水組喜平太・徳松・房右衛門子重左衛門・名主沖右衛門→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1通	え160-19
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 入山村預山組作左衛門・与吉・名主伊左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1通	え160-20
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 入山村預組嘉助・名主伊左衛門→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1通	え160-21
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 廣瀬村上組森吉・組頭弥右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1通	え160-22
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 廣瀬村上組太兵衛・与吉・寅吉・名主弥右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1通	え160-23

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /6. 天秤振 /1. 鑑札給付

乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 廣瀬村上組御鑑札願人辰蔵・同断庄右衛門・同断友弥・同断仁三郎・名主弥右衛門(印)・組頭吉兵衛(印)・長百姓浅右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1冊	え160-24
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 廣瀬村元組御鑑札願人富右衛門・官九郎弟同断梅治・同断惣右衛門・右衛門子同断惣左衛門・同断愛吉・同断伊三郎・九左衛門子同断忠作・名主文治(印)・組頭新左衛門(印)・長百姓富右衛門(印)	安政6末年正月	美/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1冊	え160-25
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上ヶ屋村平組七左衛門・九郎右衛門(印)・和蔵・荒井組元吉・同重三郎・名主弥兵衛(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1通	え160-26
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 上ヶ屋村京田組要右衛門・名主喜右衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1通	え160-27
乍恐以書付御請奉申上候(天秤振諸商売冥加銀1匁5分ずつ上納に付) 茂菅村文治郎・永吉・伝右衛門・五郎吉・長百姓平左衛門(印)→御産物方御会所	安政6末年正月	堅紙/(え108～167は紐一括)/(え146～160は紐一括)/(え160-1～28は一綴)・1通	え160-28

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /7. 蚊帳

乍恐以書付奉願候(蚊屋地丈尺の御触れ取り崩し無きように付) 五十平村かや商人惣代忠左衛門(印)・岩草村同断庄五郎(印)・後町村同断与兵衛(印)→御産物方御役所	弘化3午年正月	堅紙・1通	え13
乍恐以書付奉願候(蚊帳地乱尺無きよう仰せ付けられたきに付) *山中蚊屋織出候村々御書上帳・天保15年7月御触書之写とも 五十平村商人惣代弥市・同断吉郎左衛門→御産物方御会所	嘉永2酉年3月	半・1冊	え35

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /8. 明礬

乍恐以書付奉申上候(明礬渡世売捌仕切印形お聞き済まし下されたきに付) 小松原村蓬右衛門(印「信州松代吉飯」)→御産物御会所	天保4年	堅紙/(虫損甚大)・1通	え20
御尋ニ付乍恐以書付奉申上候(明礬売り捌きの儀、江戸表差出方及び稼ご人申し上げ方に付) 小市村明礬稼人清三郎・右同断寛之助・右同断清太郎・山村山村右同断吉蔵・小松原村右同断運右衛門・同治右衛門→御産物方御会所	天保14卯年9月	半・1冊	え34
乍恐以書付奉願上候(明礬燈手広く売り捌きたくに付) 原村願人菊蔵(印)→御産物御会所	天保14卯9月	堅紙・1通	え845
乍恐以書付奉申上候(明礬直下に相成り、1駄代金10両にて売り渡し申したきに付) 小市村明礬稼人清三郎(印)・同寛之助(印)・同清太郎(印)・小松原村同運右衛門(印)・(奥書)明礬方世話役右村栄三郎(印)→御産物御会所	天保14年卯10月22日	半・1冊	え38

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /8. 明礬

乍恐以書付奉願上候(明礬の儀、清三郎5駄他ノ26駄を江戸神田鍛冶丁藤木屋要右衛門方へ売り渡したきに付) 小市村明礬稼人清三郎(印)・同寛之助(印)・同清太郎(印)・山村村同吉蔵(印)、(奥書)明礬方世話役右村栄三郎(印)→御産物御会所	天保14年卯11月	半・1冊	え47
---	-----------	------	-----

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /9. 白粉

乍恐以書付奉願上候(白粉売り込めたきに付) *写カ 北高田村願人忠左衛門、(奥書)名主文之助・組頭左五兵衛・長百姓文七	天保14卯年	縦紙・1通(2枚)	え21
---	--------	-----------	-----

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /10. 硫黄

(妙高山硫黄山稼ぎ関係綴)		綴/(え36-1~3は一綴)・1綴	え36
約定書之事(妙高山硫黄差し留めの場所山稼ぎ相成らず、後々御免に成らば貴殿方へ世話致すに付) 越州関山駅四郎右衛門(印)・同州関湯元利兵衛(印)・同州関山駅津右衛門(印)→信州松代伊勢町伝兵衛殿・同州同領志垣村弥左衛門殿	弘化4年未9月	縦紙/(え36-1~3は一綴)・1通	え36-1
差出申一札之事(御山御法度の条々相守るに付) 信州松代伊勢町代人伝兵衛・関山駅宿源八→社領村役人衆中	弘化4年未9月	縦紙紙/(え36-1~3は一綴)・1通	え36-2
(書状、弥左衛門様今日御地へ御出張の積りにて、岡本氏御取替金並びに雑用ともお返し下されたきに付) 関山山本利兵衛→松代松井栄八様貴下	10月4日	縦紙/(え36-1~3は一綴)・1通	え36-3
(妙高山硫黄山稼ぎ関係綴)		綴/(え37-1~7は一綴)・1綴	え37
拝借申硫黄荷物之事(鷹の目硫黄33貫700目他ノ44貫900目) *裏は「拝借申證文之事」として対談金5両来春上納の旨あり(年月日・差出・宛名同様) 信州松代伊勢町借用人伝兵衛・同州志垣村弥左衛門・社領宿受人四郎右衛門・関湯元同利兵衛・関山駅同津右衛門→社領御台所	弘化4年未9月	折紙/(え37-1~7は一綴)・1通	え37-1
覚(社領庄屋権左衛門様他人名書上)		切紙/(え37-1~7は一綴)・1通	え37-2
(書状、来る10日暮頃より頼母敷講にて御出で下されたきに付) 多五→(八田)嘉右衛門様	3月5日	切紙/(え37-1~7は一綴)・1通	え37-3
覚(203匁7分6厘金銭書上) 大庭伊兵衛→菊屋伝兵衛様	酉11月15日	切紙/(え37-1~7は一綴)・1通	え37-4
覚(13日分御泊り3貫266文金銭書上) 関山村岡本四郎右衛門→松井栄八様	未9月15日	折紙/(え37-1~7は一綴)・1通	え37-5
(書状、1ヶ年15両仕切にては宜しからず、何貫冥加と取り極め申すべきに付) 赤倉より亦右衛門→関山宿にて栄八様・儀左衛門様貴下	9月10日	切紙紙/(え37-1~7は一綴)・1通	え37-6
覚(鷹のめ4貫250目他ノ43貫目硫黄書上)		切紙紙/(え37-1~7は一綴)・1通	え37-7

6. 産物会所 / 1. 諸産物の統制 / 11. 木綿

御尋ニ付御答申上候(当春真綿売り渡し延引並びに仲間寄合開催の訳に付) * (端裏書)「袖方真綿配并寄合場之儀ニ付中買総代絶書」 袖仲買行司繁八・与惣右衛門・市平・左左衛門・重郎治→御産物方御会所	天保8年酉2月	縦継紙・1通	え 169
乍恐以口上書奉申上候(栗田村惣八他1名綿商い取り組み、買い返し仕りたくも承知なしに付) 西和田村綿行事長太夫→御産物御会所	天保15辰年5月3日	縦紙・1通	え 194
乍恐以書付奉願候(小布施村十八屋文右衛門産物・木綿代金197両滞り、済まし方仰せ付けられたきに付) 紺屋町藤吉煩ニ付代伴之助・伊勢町親類藤左衛門→御産物御会所	弘化3午年10月	半・1冊	え 205
乍恐以書附奉願上候(御領産木綿の儀、越後荷宿へ御取扱い御書き下げ頂戴仕りたきに付) 羽尾村千石組菊治郎・若宮村久兵衛(印)・小舟山村友四郎(印)→御産物御会所	安政6未年11月	縦継紙・1通	え 182
(書状、木綿一条善光寺町人騒立規定書差出すところ、甚十郎へ八田家より漏れてきた始末、御尋ねのところ分からず内々にお糺したきに付) 八田喜兵衛→松本源八殿	未正月18日	横切継紙・1通	え 869
口上覚(木綿一件、善光寺人氣騒立にて、甚十郎倅寿一郎処遇に付) * え 869と関連	正月	横切継紙・1通	え 870

6. 産物会所 / 1. 諸産物の統制 / 12. 諸品

乍恐以書付御内々奉申上候(山中村々御産物麻・楮紙・細布の諸品を当村へ附け運ばせ御役所にて御改めるよう歎願に付) 新町村市年番惣代衆右衛門(印)・同断実蔵(印)・同断民之助(印)・同栄重郎(印)・同善助(印)・同孫助(印)・名主八左衛門(印)・組頭久之丞(印)・同断重郎右衛門(印)・長百姓清兵衛(印)・同断源兵衛(印)→御産物御役所	嘉永3戌年11月	半・1冊	え 15
覚(当村中買手元の足数に応じ代金の内金受取に付) * 雛形 何村三役人印→御産物方御会所	安政2卯年7月12日	縦紙・1通	え 197
覚(当村中買手元の足数に応じ代金の内金受取に付) * 雛形 何村三役人印→御産物方御会所	安政2卯年7月12日	縦紙・1通	え 199
(書状、御領分産物荷の品々絵符にて差し出すよう取り極めたきに付) * 下書/表裏面に手習い 産物会所懸中村左兵衛		縦紙・1通	え 65
覚(当村中買手元の足数に応じ代金の内金受取に付) * 雛形 何村三役人印		縦紙・1通	え 198

6. 産物会所 / 1. 諸産物の統制 / 13. その他 / 1. 鑑札給付

(商売筋御印鑑札の内冥加銀上納之儀に付伺) 産物会所掛		半・1冊	え 14
-----------------------------	--	------	------

6. 産物会所 / 1. 諸産物の統制 / 13. その他 / 2. 鑑札製作

覚(御鑑札200枚代銀200匁受取に付) 建具師国治(印)	午2月朔日	横継紙・1通	え 32
-------------------------------	-------	--------	------

6. 産物会所 /1. 諸産物の統制 /13. その他 /2. 鑑札製作

→産物方御役所			
---------	--	--	--

6. 産物会所 /2. 近郷での取引

(産物代金受取証他綴)		綴/(え172-1~9は一綴)・1綴	え172
(証文3通を切手と引替に清十へ渡す亀屋清吉金銭書上)	(近世)西8月10日	横切紙/(え172-1~9は一綴)・1通	え172-1
覚(産物代金115両受取に付) 大塚孝三郎(印)・山崎久右衛門・水井忠蔵→亀屋清吉殿	(天保6年)未12月26日	横切紙/(え172-1~9は一綴)・1通	え172-2
覚(産物代金230両の内15両受取に付) 大塚孝三郎・山崎久右衛門(印)→亀屋清吉殿	天保6年未12月20日	横切紙綴/(え172-1~9は一綴)・1通	え172-3
覚(産物代金230両の内100両受取に付) 大塚孝三郎(印)・山崎久右衛門・水井忠蔵→亀屋清吉殿	(天保6年)未11月16日	横切紙綴/(え172-1~9は一綴)・1通	え172-4
覚(松代荒物屋藤吉より荷物2箇送り代金80両受取に付) 大塚孝三郎・山崎久右衛門(印)→亀屋清吉殿	(近世)申11月朔日	横切紙綴/(え172-1~9は一綴)・1通	え172-5
覚(産物代金の内60両受取に付) 山崎久右衛門(印)→亀や清吉殿	天保8年西正月元日	横切紙綴/(え172-1~9は一綴)・1通	え172-6
覚(産物代金の内50両受取に付) 山崎久右衛門(印)→亀屋清吉殿	(天保8年)西3月11日	横切紙/(え172-1~9は一綴)・1通	え172-7
覚(産物代金30両受取に付) 堀内与一右衛門・水井忠蔵(印)→亀屋清吉殿	天保8酉年7月13日	横切紙/(え172-1~9は一綴)・1通	え172-8
覚(産物代金10両受取に付) 堀内与一右衛門・水井忠蔵(印)→中条亀屋清吉殿	天保8酉年7月13日	横切紙/(え172-1~9は一綴)・1通	え172-9
(産物代金受取証綴)	(天保8酉年7月~8月)	綴/(え171-1~4は一綴)・1綴	え171
覚(産物代金100両受取に付) 堀内与一右衛門・水井忠蔵(印)→小布施十八屋虎之助殿	天保8酉年7月13日	横切紙/(え171-1~4は一綴)・1通	え171-1
覚(産物代金50両受取に付) 堀内与一右衛門・水井忠蔵(印)→十八屋虎之助殿	天保8酉年7月15日	横切紙/(え171-1~4は一綴)・1通	え171-2
覚(産物代金50両受取に付) 堀内与一右衛門・水井忠蔵(印)→十八屋虎之助殿	天保8酉年7月22日	横切紙/(え171-1~4は一綴)・1通	え171-3
覚(産物代金50両受取に付) 堀内与一右衛門・水井忠蔵(印)→十八屋虎之助殿	天保8酉年8月4日	横切紙/(え171-1~4は一綴)・1通	え171-4
覚(明礬正味40貫目代金13両1分銀5匁受け取りに付) 小市村清太郎(印)→御産物御会所	天保14卯年11月23日	堅紙・1通	え18

6. 産物会所 /3. 江戸での取引 /1. 諸品

乍恐以書付奉願上候(御領産の品江府売捌の儀、御屋鋪様御会所御引受を初め万端命ぜられたきに付) *控 小石川指谷町赤塚久右衛門→松代様御産物御会所	天保10亥年3月	堅切紙・1通	え50
---	----------	--------	-----

6. 産物会所 /3. 江戸での取引 /1. 諸品

覚(金100両産物買入代金請取に付) 江戸駿河町三井八郎兵衛代藤四郎(印墨消)・買宿菊屋伝兵衛(印墨消)、(奥書)八田嘉兵衛(印墨消)・八田嘉助(印墨消)→松代産物御会所、(奥書)徳嶋恒吉殿・大嶋家作殿・斎藤善蔵殿	嘉永2酉年9月19日	縦継紙・1通	え864
乍恐以書取奉願候(御産物品物拝借仕り、網掛村半兵衛江戸表にて商売仕りたきに付) 網掛村願人久米右衛門・本町善兵衛→御産物御会所	未10月17日	切継紙・1通	え24

6. 産物会所 /3. 江戸での取引 /2. 売り捌き代金滞り

覚(金150両三井店紬買金差し支え、為替金請取に付) 増田弥兵衛(印)→御産物方御会所	天保14卯年3月	縦紙・1通	え215
以書付御届奉申上候(手代売捌代金滞り、三井店買役文四郎取り計らい出来かね、万作出府仕りたきに付) 増田徳左衛門(印)→御産物方御会所	弘化2巳年12月	縦紙・1通	え170
拝借金証文之事(金150両請宿増田孫兵衛方へ紬代買金500両の内200両引負の処、同人病死のため返済方不行届、私引き請け残金150両に付) 信州松代伊勢町買宿菊屋伝兵衛・同町請人菊屋市兵衛・同町親類菊屋伝右衛門→三井八郎兵衛殿店御支配人衆中	弘化2巳年12月	縦紙・1通	え206
拝借金証文之事(金150両請宿増田孫兵衛方へ紬代買金500両の内200両引負の処、同人病死のため返済方不行届、私引き請け残金150両に付) * (端裏書)「弘化二巳十二月八日三井店手代文次郎方より買宿之儀段々談之上差遣候証文下案」 信州松代伊勢町買宿菊屋伝兵衛・同所請人菊屋市兵衛・同所親類菊屋伝右衛門→三井八郎兵衛殿店御支配人衆中	弘化2巳年12月	縦紙・1通	え189
拝借金証文之事(金150両請宿増田孫兵衛方へ紬代買金500両の内200両引負の処、同人病死のため返済方不行届、私引き請け残金150両に付) 信州松代何町買宿一印・一証人一印・一親類一印→三井八郎兵衛店御支配人衆中	年号月	縦紙・1通	え190

6. 産物会所 /3. 江戸での取引 /3. 荷物送り状

覚(金275両江戸大丸助七方へ送り金請取に付) 松代家中八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)、(裏書)大丸屋代助七(印墨消)→大丸喜七殿	天保6未年12月	縦紙・1通	え202
覚(金160両江府御店へ御送り金分受取、江府産物会所において引替金子請取に付) 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)、(裏書)大丸屋正右衛門(印)→大丸御店喜七殿・弥十郎殿	天保7申年12月	縦紙・1通	え203
(産物会所関係書状等一括)		(え227-2・3は包紙一括)・1点	え227
(包紙) * (包紙上書)「御内用興津権左衛門様 菅沼弥惣右衛門」 菅沼弥惣右衛門→興津権左衛門様	(近世)	包紙/(え227-1に2・3が同封)・1点	え227-1
(書状、産物荷物其表へ送返したく、別紙の通り差し出すに付) (興津)権左衛門様→(菅沼)弥惣右衛門	(近世)10月7日	切継紙/(え227-2・3は包紙一括)・1通	え227-2
午十月八日出(生縮78疋代金51両113分2厘他合金152両2分6厘9分7厘荷物出し12所へ送り返し荷差し出すに付) 江府産物会所懸	(近世)午10月7日	横切継紙/(え227-2・3は包紙一括)・1通	え227-3

6. 産物会所 /4. 大坂での取引 /1. 嘉永期杏仁・甘草大坂取引

以書付奉歎願候(甘草方取調中売買差し留め、家内の者指図の場所へ引き移るべき仰せなるも、調帳面差し上げるまでは同居仕りたきに付) 栄八(印)→(菊屋)市兵衛殿・(菊屋)佐助殿	嘉永4亥年8月11日	堅紙/(下札あり)・1通	え224
以書付申上候(甘草方お任せ以来不行き届きの大坂表始末柄、莫大の御損毛にて如何様の仰せ付けにても申し訳なきに付) 栄八(印)→(菊屋)市兵衛殿・(菊屋)佐助殿	嘉永5年子2月	堅紙・1通	え223
乍恐以書付奉歎願候(甘草他売り捌きの炭屋彦五郎の件、御重役様御上坂成し下されたきに付)*下書伊勢町伝兵衛代栄八・同人倅たれ・御預所小布施村高井三九郎弟太三郎・紙屋町宇左衛門→御産物方御会所	嘉永5子年3月	堅継紙・1通	え29
(甘草一條関係到来書状綴)		綴/(え82-1~72は一綴)・1綴	え82
(袋)*(袋上書)「甘草一條ニ付此表到来之手簡」		袋/(え82-1~72は一綴)・1点	え82-1
(書状、京都小川平左衛門の儀は諸事内談の次第により取り行いたき旨、昨日拝借の友吉よりの状を返上するに付他) 松本嘉十郎→八(八田)嘉助様御尊様	6月	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-2
(塩舟の荷物積替無く舟頭迷惑に付他)*下書		横切継紙/(え82-1~72は一綴)/(綴じ目外れ)/(虫損甚大)・1通	え82-3
(書状、例の一条はこの場にて皆止めにしたき旨にて、喜六出府面談の上皆止めか何とかすべきか引合に付他) 松本嘉十郎→八(八田)嘉助様御受上	9月26日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)/(虫損あり)・1通	え82-4
(書状、金子返上の儀は容易には御調達如何に付)(松本)嘉十郎→伊勢町様御受	3日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)/(虫損あり)・1通	え82-5
(書状、上田の一条は手間取り居るに付)(松本)嘉十郎→伊勢町様御受上	11月4日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-6
(書状、大坂和光寺へ上人様御勧化のための善光寺御普請向は入料雑費1万2千両位3ヶ年納めで十分の旨、10分1入料は私共も申受けたきに付)*下書		横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-7
(書状、甲田も雉子の鳥よう天意隠して尻隠さずの訳に付他)(松本)嘉十郎→(八田)嘉助様□(綴紐)下	11月7日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-8
(書状、源八も明後日出立の旨、この度持参の人参は源八に代料呉れるに付)(松本)嘉十郎→八嘉(八田嘉助)様申上	10月19日	横切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-9
(書状、甲田氏よりの書状差し上げる旨、大坂住友吉治郎・和泉屋源兵衛へ蕎麦粉・杏仁・硯他を堺屋蔵三郎へは真綿計を遣わしたきに付他)(松本)嘉十郎→(八田)嘉助様御請	18日	折紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-10
(書状、結構の御見事の御品頂戴御礼)(松本)嘉十郎→八田様御請	18日	横切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-11

(書状、竹山丁へ御差出の御品は御留守にても下り有無を伺うに付) (松本)嘉十郎→(八田)嘉助様御受	13日	切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-12
(書状、忠左衛門へ面会し与助宅へ呼込み理解申合いのところ、御手段50両なり70両なり御工夫されたきに付) (松本)嘉十郎→(八田)嘉助様・(八田)慎蔵様御内申上	8月4日	横切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-13
(書状、今朝源八私宅にて申聞あった旨、羽田氏連名にて書状佐久間殿へ差し上げの旨) 松本嘉十郎→八田嘉助様几下	10月20日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-14
(書状、極めて差し懸りの御内用筋あり大延引、例の先触の義は先日の通り認め差し出されたきに付) 松本嘉十郎→八(八田)嘉助様差進申上	8月24日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-15
(書状、妻科村新田組治兵衛内願申出の買次荷宿の儀は荷札・冥加に付御勘考を願う) * (端裏書)「御内願書」(松本)嘉十郎→(水井)忠蔵様・(春日)儀左衛門様・(佐竹)周蔵様・(八田)嘉助様・(八田)喜兵衛様・(八田)義三郎様・(大塚)孝三郎様	7月24日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-16
(書状、西国大凶作にて当御領分大豆小豆近年当りの様子に付早々御工夫すべきに付) * (端裏書)「極密御内願」	9月10日	切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-17
(書状、為替金の儀は御内談あり明朝御咄伺いたきに付) (水井)忠蔵→(松本)嘉十郎様	11月[] (綴紐)	横切継紙/(え82-1~72は一綴)/(虫損あり)・1通	え82-18
(書状、大坂書状差し上げるので御紙面と一同御出し下さるよう願うに付) 高井(三九郎)生拝→八田(嘉助)様貫下	5月2日	横切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-19
(書状、先荷の86箇着いたところ目方等の儀に付ご覧下されたき旨、甘草直段引き立て舟積埋まるようにすべきに付) (松本)嘉十郎→水井(忠蔵)様	11月19日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-20
(書状、大坂炭屋孫七殿の来状を松本氏より廻すのでご覧下されたきに付) (水井)忠蔵→(八田)嘉助様	11月19日	横切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-21
(書状、大坂よりの別紙を差し越すに付) 竹村金吾→八田嘉右衛門殿	11月19日	切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-22
(書状、8月7日出大坂炭孫よりの書状を開封のところ戸佐久への両封封入に付差し上げるに付) 水井忠蔵→八田嘉助様	9月6日	横切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-23
(書状、大坂炭孫並びに栄八よりの来状をご覧に入れるに付) (水井)忠蔵→(八田)嘉助様	11月19日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-24
(書状、江戸表より書状到来し御金拝借に付) (水井)忠蔵→(八田)嘉助様	11月19日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)/(虫損あり)・1通	え82-25
(書状、宇田川自筆の書付をご覧に入れるに付嘉右衛門天神社内への立会いは、8人に付) 間庭(平右衛門)→松本(嘉十郎)様	12月27日	横切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-26
(書状、今朝拝顔の御の願いはご苦勞様だが、この使い同道御光栄の程願うに付) 竹屋喜六→信州松代間庭平右衛門様尊下	12月4日	切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-27

6. 産物会所 /4. 大坂での取引 /1. 嘉永期杏仁・甘草大坂取引

(書状、竹村御奉行より御用呼び出しにて、友七が甘草日本一の名所に賞翫した件に付) * (端裏書)「御内々申上」 松嘉(松本嘉十郎)拜→伊勢町様梧下	2月20日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-28
(書状、御精々骨折の一条に付友吉は今日帰った旨、糸の儀は下直の様子にて質入無きに付友吉に聞くべきに付) 松本(嘉十郎)拜→水井(忠蔵)様	8月23日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-29
(書状、白子は先月21日に罷り出、藤戸殿は20日出立が延引になった趣を松本様へ申し上げ置きに付) 小布施塩屋太三郎→松代菊屋伝兵衛様・友吉様几下	4月1日	横切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-30
(書状、善光寺よりの書状・間庭の手状を取り込み残らず尊君様へ封を願うに付) 松嘉(松本嘉十郎)→八嘉(八田嘉助)様御受	12月27日	切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-31
(書状、小布施高井よりの件にて太三郎方へ喜六より何か遣わす様子に付) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様御受上	4月2日	横切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-32
(書状、甘草一条にて公辺御達しになり一統振り留めに付庄吉方へ御書面下され委細申し談じ差し上げるに付) 高井(三九郎)生拜→松本(嘉十郎)様貴下	11月16日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-33
(書状、来状別紙の趣に付ご覧なされたきに付) 松本嘉十郎→八(八田)嘉助様申上置	8月23日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-34
(書状、竹村御奉行等御上京の旨、この一事は御秘し置き下されたきに付) * (端裏書)「極秘密御覽後ハ御火中奉願上候」 (松本)嘉十郎→(八田)嘉助様	2月3日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-35
(書状、炭彦が喜六への縁金御返金の上は、甘草の事は商家の差引なので、内借金差引は流し荷物に取り計らうに付) →(八田)慎蔵様内密	閏朔	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-36
(書状、戸佐久大坂表へ着致し甘草荷物売代金の預け内金借りを取り計らうべきところ孫七へ一向に面会せざるに付他) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様申上	6月8日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-37
(書状、大坂に出居りの甘草の件にて、太三郎・栄八・友吉等の内談評決の取り合わせに付) 松本嘉十郎→八(八田)慎蔵様差進申上	2月29日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-38
(書状、藤戸荷物売り捌き預け内借りの件、炭彦の方一条等は少しも弁じない心中にて相違無き由に付) 松本嘉十郎→八(八田)慎蔵様御受	2月11日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-39
(書状、泉屋源八等の書状御廻し下されたき申し出は出来兼ねるに付) (松本)嘉十郎→伊勢町様御請申上	4月26日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-40
(書状、小布施より高井氏が紺屋町山田やへ着に付栄八・友吉へも知らされたきに付他) (松本)嘉十郎→いせ町様	3月5日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-41
(書状、高井氏内評は今晚に付厚き御賢慮成し下されたきに付) 松本嘉十郎→八(八田)慎蔵様御内々申上	3月6日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-42
(書状、炭彦方にて荷物廻しの分等為替の件、甘草畑運上止め買人へ御鑑札渡すに付他) (松本)嘉十郎→(八田)嘉助様几下	3月22日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-43
(書状、栄八は日雇ものだがこの場に至り諸事万事取り計らいの事にて功次第にて勘弁すべきに付) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様[] (破損)	4月8日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-44

(書状、下三ヶ村の内証の作り置きの人参を大坂泉や源兵衛手代源八に製させた件にて、帰国次第又々申し上げるに付) * (端裏書)「[] (綴紐)し候下書」/ 下書 松本嘉十郎・八田嘉助・八田忠左衛門→佐久間修理様	1月9日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-45
(書状、別紙共ご覧成し下されたきに付) (水井)忠蔵・(松本)嘉十郎→寺町様・いせ町様	25日	切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-46
(書状、栄八へ明日にも参るよう申し通しくだされたきに付) (松本)嘉十郎→伊勢町様	8月26日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-47
(書状、栄八如何の事に付、上坂手間取り居るのか待たされているに付) 松嘉(松本嘉十郎)→八田若様	3月5日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-48
(書状、大坂より早道し漸く只今帰着、栄八も明日着くに付) 松本嘉十郎→八(八田)嘉助様申上	晦日	横切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-49
(書状、申し上げ置きの写し差し上げるので御摺込に成し下さるべきに付) (松本)嘉十郎→伊勢町様	28日	切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-50
(書状、孫七申し越しの塩の儀は今町高田直下げにて見合わせ、栄八首尾能く申し談じ帰国するようお願いに付他) 松本嘉十郎→八(八田)嘉助様御差上	6月17日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-51
(書状、御内用囲金拝借の件にて貴様御登りの節200両程時借したき旨、嘉助様へ御願い下されたきに付) * (端裏書)「極内密事 松嘉」 松嘉(松本嘉十郎)→栄八様	3月7日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-52
(書状、菱徳一件の事、何とぞ御心中のみに成し下されたく別段申し上げに付) * (端裏書)「極秘御火中」 松嘉(松本嘉十郎)→八嘉(八田嘉助)様	3月29日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-53
(書状、塩積込取り計らいの様子、甘草・硫磺・小豆・くわつ石の直段に付他) * (端裏書)「御覧後御火中奉願候」 (松本)嘉十郎→(八田)嘉助様几下	3月29日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-54
(書状、為替金の儀は誠に迷惑にてとても渡し兼ねる旨御返事に付) 太三郎→友吉様	戌12月13日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-55
(書状、康楽一条にて別紙の趣申し上げるに付) (松本)嘉十郎→直蔵様御直披	7月28日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-56
覚(康楽寺一件の書類書状等は取り調べに入用にて内々御用意成し下さるべきに付)	7月28日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-57
(書状、この節を外すと品により取り返しがつかない旨別紙申し上げに付)) * (端裏書)「極内々申上」 松嘉(松本嘉十郎)	28日	切紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-58
(書状、甘草鑑札の件、戸作明後日上坂したき旨にて栄八一同出立しては双方都合よきに付) (水井)忠蔵→(八田)嘉助様・(八田)喜兵衛様	2月22日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-59
(書状、孫七よりの彼下案を見せるに付) 松嘉(松本嘉十郎)→伊勢町様書状添	8月9日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-60
(書状、栄八出立は内実は2日も延びた旨内調に付、去る文化9年諏訪宮遷宮の節の狂言他の委細伺いに付) 松本嘉十郎→御用筋八田嘉助様差懸り	7月26日	横切継紙/(え82-1~72は一綴)・1通	え82-61

6. 産物会所 /4. 大坂での取引 /1. 嘉永期杏仁・甘草大坂取引

(書状、大坂炭彦一件にて喜六よりは内状も遣わしく れず心配に付) (松本)嘉十郎→伊勢町様御受上	2月3日	横切紙/(え 82-1~72は一 綴)・1通	え82-62
(書状、大坂表よりの次第は先日より苦心罷り在り、 栄八帰国したら一寸成る共御様子お聞き下さるべ きに付) * (端裏書)「極御内密」	6月20日	横切紙/(え 82-1~72は一 綴)・1通	え82-63
(書状、甘草の儀は孫七より申し遣わしは無き旨、本 家の塩の積入高等知らなくては取り計らい難しき に付他)	6月20日	切紙/(え82-1 ~72は一綴)・1 通	え82-64
(書状、甘草の儀取り締まりにて、鑑札お渡しになり 菊屋伝兵衛へ取メ仰せ付けられ、まずこの処にて 鑑札願いはご免蒙りたきに付) 高井三九郎・太三郎 →松本嘉十郎様・八田嘉助様御報	12月13日	横切継紙/(え 82-1~72は一 綴)・1通	え82-65
(書状、先達て願い奉る金子何分お廻し下されたきに 付) 寺町→伊勢町様希内用	11月朔日	横切継紙/(え 82-1~72は一 綴)・1通	え82-66
(書状、先日の3000両お願い飛脚参るべきご様子等伺 いに付) 松本嘉十郎→八(八田)嘉助様申上置	6月18日	横切継紙/(え 82-1~72は一 綴)・1通	え82-67
(書状、藤助に話しを求め、喜六・友吉・炭彦・栄八等の 様子報告に付) (松本)嘉十郎→(八田)嘉助様御内々	6月16日	横切継紙/(え 82-1~72は一 綴)・1通	え82-68
(書状、御留守居方例の茂助よりの手紙到来したので ご覧に入れるに付、喜六義は多分13日着にて塩に ついても2000俵も積み出したかに付他) (松本)嘉 十郎→八田様	10月11日	横切継紙/(え 82-1~72は一 綴)・1通	え82-69
(書状、柄澤孝左衛門実は老耄したかの事態にて、伴 忠蔵早春の内に国元へ差し戻しその代りに尊公召 し抱えの積もり等含め置くに付) 松本嘉十郎→浅野 佐兵衛様人々御中	12月10日	横切継紙/(え 82-1~72は一 綴)・1通	え82-70
(書状、亀肴召し上がりなら有り難いが御眼病にてい ずれでもよいに付) 松本嘉十郎→伊勢町様申上	9月9日	切紙/(え82-1 ~72は一綴)・1 通	え82-71
(書状、この程より拝借の桃灯2ツ返上に付) 松本嘉十 郎→八(八田)嘉助様拝借御品返上	12月4日	切紙/(え82-1 ~72は一綴)・1 通	え82-72
覚(大甘草100箇代金500両他メ金600両のうち、金500 両大坂表にて御貸し下げ願ひに付)	5月	切継紙・1通	え43
乍恐以書付御歎願奉申上候(御領産甘草の儀、炭屋彦 五郎倉入れ300両余の分返済方に付)		堅紙/(3枚一 綴)・1通	え30

6. 産物会所 /4. 大坂での取引 /2. 安政期杏仁大坂取引

口上書一札之事(松代様御領分杏仁御取り締まり御 嚴重に成されるよう願ひに付) 道修町薬種問屋小西彦 七(印)→松代様御用場守津田屋友七殿	安政2年卯4月	堅継紙・1通	え10
(袋) * (袋上書)「安政六未年二月大坂炭屋孫七より名古屋へ 向為替金之義ニ付取調書類」	安政6年2月	袋/(え72~81 は袋一括)・1点	え71
乍恐以書付奉歎願候(大坂炭屋孫七より伝兵衛へ預 け置の金子を為替にて受け取るよう尾州名古屋井 澤屋新次郎へ頼み越す付) * (貼紙上書)「四月十九日 差出候処御取用不相成趣を以御下ヶ相成候」 伊勢町伝兵 衛印→御奉行所	安政6未年4月	半・1冊	え64

6. 産物会所 /4. 大坂での取引 /3. 西国産諸品買い上げ

御改塩仕切状之事(塩3800俵代銀合25貫380匁) 赤穂西濱柴原幾左衛門(印「濱野屋」)→信州松代菊屋伝兵衛殿	酉5月4日	堅継紙/(虫損甚大)・1通	え25
覚(大坂炭彦宛為登金手形1200両請取に付) 喜多村富兵衛(印「廻船下り塩北新堀町喜多村」)→久吉丸多蔵殿	丑ノ7月3日	切紙・1通	え42

6. 産物会所 /4. 大坂での取引 /4. 北国への荷物運送駄賃・取引

(越後今町船問屋柴山作佐衛門より杏仁荷物取引関係書類綴)		綴/(え177-1~3は一綴)・1綴	え177
口達(越後今町船問屋柴山作左衛門手代作右衛門・石塚六三郎手代太吉杏仁荷物取引に付) 松代産物方会所印→越後今町高田や源兵衛江	(近世)11月8日	横切紙/(え177-1~3は一綴)・1通	え177-1
乍恐以書付奉願候(為替金銭195両受取りに付) 越後国今町柴山作左衛門代召使作右衛門・同処石塚六三郎代召使太吉→松代御産物方御会所附片桐庫之助様	安政2年卯11月6日	堅継紙/(え177-1~3は一綴)・1通	え177-2
乍恐以書付御内願奉申上候(手代不調法至極、お詫びの上金子早々上納に付) *下書 越後今町高田や源兵衛→松代様御産物御会所	安政2年卯11月7日	半/(え177-1~3は一綴)・1通	え177-3
(書状、御運送荷物賃銭600両御下げ渡し下されたきに付) (北越魚沼郡)小下り(藤屋)与市・喜三治→松代御藩中富岡(良右衛門)様	(近世)6月10日	横切継紙/(包紙共)・1通	え168

6. 産物会所 /4. 大坂での取引 /5. 炭屋孫七割済金関係

(大坂炭屋割済金関係綴)		綴/(え6-1~5は一綴)・1綴	え6
乍恐以書付御請御日延奉願上候(大坂炭屋孫七方商い残金235両御猶予下されたきに付) 伝兵衛・音吉・北村源之助		堅紙/(え6-1~5は一綴)・1通	え6-1
天明八申年五月廿六日評定所一座より金銀出入讓請之出訴取斗方申含之趣御届之内 * (端裏書)「裁許類聚之内」	申5月	堅紙/(え6-1~5は一綴)・1通	え6-2
(大坂内平野町御用場津国屋友七印形) 大坂内平野町御用場守津国屋友七	(安政3辰年正月・安政6未年正月)	堅切紙/(え6-1~5は一綴)・1通	え6-3
諸品下代銀差引扣(合銀33貫419匁4分4厘)	丑3月	横長半/(え6-1~5は一綴)・1冊	え6-4
預り申割済金證文之事(金235両、1ヶ年金15両宛済方忝きに付) 信州松代いせ町菊屋伝兵衛(印)・同菊屋市兵衛(印)・大坂内淡路町津国屋友七(印)→大坂京町堀炭屋孫七殿	嘉永6丑年8月	堅紙/(え6-1~5は一綴)・1通	え6-5

6. 産物会所 /4. 大坂での取引 /6. 炭屋彦五郎からの預り金

乍恐以書付奉歎願候(炭屋孫七より預け置く金子の儀、勘弁仕るよう願人どもへ御利解下されたきに付) 伊勢町伝兵衛(印)→御奉行所	安政6未年4月	半/(え72~81は袋一括)・1冊	え72
--	---------	-------------------	-----

6. 産物会所 /4. 大坂での取引 /6. 炭屋彦五郎からの預り金

乍恐以書付奉願上候(炭屋孫七より預け置く金子の儀、勘弁仕るよう願人どもへ御利解下されたきに付) *下書 伊勢町伝兵衛・紙屋町戸佐久・たれ→御町御奉行処	安政6末年3月	半/(え72~81は袋一括)/(え73~77まで巻き込み、外→内)・1冊	え73
乍恐以書付奉願上候(炭屋孫七より預け置く金子の儀、勘弁仕るよう願人どもへ御利解下されたきに付) *下書		半/(え72~81は袋一括)/(え73~77まで巻き込み、外→内)/(付箋剥離有)・1冊	え74
(書状、尾州名古屋井沢屋新治郎、大坂炭屋孫七より為替引受済まし方、60両にて勘弁、または為替繰り戻しにて勘弁のところ、不承知にて御利解下されたきに付) *下書		堅紙/(え72~81は袋一括)/(え73~77まで巻き込み、外→内)/(え75-1~3まで巻き込み、外→内)・1通	え75-1
(書状、孫七義嘉永六年当所へ下り金約定仕る処、困窮し家出に付大坂炭屋彦五郎店支配人へ委細懸合に付) *下書/前欠		堅紙/(え72~81は袋一括)/(え73~77まで巻き込み、外→内)/(え75-1~3まで巻き込み、外→内)・1通	え75-2
(書状、勝手難渋に相廻手段無き旨) *下書/前後欠		堅紙/(え72~81は袋一括)/(え73~77まで巻き込み、外→内)/(え75-1~3まで巻き込み、外→内)・1通	え75-3
乍恐以書付奉歎願候(炭屋孫七より預け置く金子の儀、勘弁仕るよう願人どもへ御利解下されたきに付) *下書		半/(え72~81は袋一括)/(え73~77まで巻き込み、外→内)/(付箋剥離有)・1冊	え76
乍恐以書付奉歎願候(炭屋孫七より預け置く金子の儀、勘弁仕るよう願人どもへ御利解下されたきに付) 伊勢町伝兵衛(印)→御奉行所	安政6末年4月	半/(え72~81は袋一括)/(え73~77まで巻き込み、外→内)・1冊	え77
(書状、尾州名古屋井澤や新治郎・大坂炭や孫七よりの為替引受に付) *下書		堅紙/(え72~81は袋一括)・1通/(2枚)	え79
四月十五日在坂関新へ遣し候手前の案(書状、役代伝兵衛相手取り当方へ願い出る一条、炭屋孫七質素の済まし方望むに付)		切継紙/(え72~81は袋一括)・2通	え80
(三分太左衛門他金銭人名書上)		切紙/(え72~81は袋一括)・1通	え81
(大坂表御借り入れと御領内御用金御取り上げとの両策一言上に付)	7月	半・1冊	え70

6. 産物会所 / 4. 大坂での取引 / 7. 炭屋孫七関係書状など綴

(炭屋彦七他書状綴)		綴/(え55-1～52は一綴)・1綴	え55
(書状、御沙汰なく御取替の銀子もそのまま大いに迷惑のため御入銀なさるよう取計いを願うに付) 小西彦七→菊屋栄八様貴下	3月7日	横切継紙/(え55-1～52は一綴)・1通	え55-1
(包紙) * (包紙上書)「菊屋伝兵衛様貴下 小西彦七」 小西彦七→菊屋伝兵衛様貴下		包紙/(え55-1～52は一綴)・1点	え55-2
(書状、先年御産物御取極り一件で御店栄八様登板するも御掛合談事行き届かず今一応工夫を願うに付) 小西彦七→菊屋伝兵衛様・御子息様参人々御中	3月7日	横切継紙/(え55-1～52は一綴)・1通	え55-3
(書状、去亥年に差し出された産物代金分の為替取計の本送は重便廻しにて下さる旨承知に付) (松沢) 文右衛門→御在所御掛り様	7月3日	横切継紙/(え55-1～52は一綴)・1通	え55-4
(書状、小泉氏への為替取計らいの儀、私より懸合ようにとの御紙面の趣承知に付) (松沢) 文右衛門→(八田) 嘉兵衛様	7月3日	横切継紙/(え55-1～52は一綴)・1通	え55-5
(書状、町川田村彦左衛門このたび金3兩拝借願に付産物代送り金の内貸し渡し証文取り置くに付) (松沢) 文右衛門→御在所御掛り様	7月2日	切紙/(え55-1～52は一綴)・1通	え55-6
(書状、返礼鯉節1箱呈上の積りが御飛脚御尋ね無く書状ばかり遣わずに付)		切紙/(え55-1～52は一綴)・1通	え55-7
(書状、御産物一件種々御取締方が辛々しき事は菊屋始め外々御掛り方の御落度であるに付他) 炭屋孫七(花押)→松(松本) 嘉十郎様御取次中様	11月24日	横切継紙/(え55-1～52は一綴)・1通	え55-8
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様・松本嘉十郎様御直披 林孫七」 林孫七→八田嘉助様・松本嘉十郎様御直披	嘉永4年亥11月	包紙/(え55-1～52は一綴)・1点	え55-9
乍憚口上(銀方外々の取扱は不本意の折柄だが是迄通り御用向等命ぜられたきに付) 林孫七→八田嘉助様・松本嘉十郎様	(嘉永4年)亥11月	横切継紙/(え55-1～52は一綴)・1通	え55-10
(包紙) * (包紙上書)「御用筋興津権右衛門様 藤田為之丞」 藤田為之丞→御用筋興津権右衛門様		包紙/(え55-1～52は一綴)・1点	え55-11
(書状、白斜子5疋を御納戸方より慥かに受取るに付) (藤田) 為之丞→(興津) 権右衛門様	10月17日	横切継紙/(え55-1～52は一綴)・1通	え55-12
(書状、白斜子5匹進上の件でその方の直段分かれば仰せ進られ下さるよう願うに付) (藤田) 為之丞→(興津) 権右衛門様	10月19日	切紙/(え55-1～52は一綴)・1通	え55-13
覚(白斜子上伊九十三代金1兩2分2朱500文他ノ金8兩2分35文等直段書上)		横切継紙/(え55-1～52は一綴)・1通	え55-14
覚(白斜子江七十四代金1兩1分8匁8分2厘他ノ金6兩3分6匁1分7厘を御手元へ差出に付)	11月	横切紙/(え55-1～52は一綴)・1通	え55-15
(包紙) * (包紙上書)「於松代菊伝兵衛様御請 炭屋孫七」 炭屋孫七→於松代菊(菊屋)伝兵衛様御請	6月6日	包紙/(え55-1～52は一綴)・1点	え55-16

6. 産物会所 /4. 大坂での取引 /7. 炭屋孫七関係書状など綴

(書状、塩送方の儀は費も多く荷物も多く其御地安相場に付他) *え-55-19の追伸ヵ		横切継紙/(え55-1~52は一綴)/(虫損甚大)・1通	え55-17
御請(栄八様御上坂に付暑中御伺として熨斗添岩茸1箱他を指し出すに付) 炭屋孫七→菊(菊屋)伝兵衛様	6月6日	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-18
(書状、前々より積送り荷物追々無事入津し、御国許御産物の件も精々御懇意に纏まるに付他) 炭屋孫七→菊(菊屋)伝兵衛様	6月6日	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-19
(包紙) * (包紙上書)「八田喜兵衛様急用[](虫損) 佐竹周蔵」 佐竹周蔵→八田喜兵衛様		包紙/(え55-1~52は一綴)・1点	え55-20
(書状、十八屋より300両持参し、早速御納戸へ収め為替証文をお廻しするところ明26日受け取り差し上げるに付) (佐竹)周蔵→(八田)喜兵衛様申上	10月25日	横切紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-21
(包紙) * (包紙上書)「八田喜兵衛様・堀内与一右衛門様 佐竹周蔵・松沢文右衛門」 佐竹周蔵・松沢文右衛門→八田喜兵衛様・堀内与一右衛門様		包紙/(え55-1~52は一綴)・1点	え55-22
(書状、毎度面倒ながらこの書状お届下さるようお願いに付) 江店会所掛り→御在所御掛中様	8月21日	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-23
(包紙) * (包紙上書)「松代御家中松本嘉重郎様御報急用書より松本文字屋清八郎」 (より松本)文字屋清八郎→松代御家中松本嘉重郎様	10月3日	包紙/(え55-1~52は一綴)・1点	え55-24
(書状、このたびの一条の儀は漸々出来下され家内一統大祝の旨、大坂表より飛脚帰宅にて書面指し上げるに付他) 文字屋清八郎代正助→松本嘉重郎様上	10月3日	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-25
(包紙) * (包紙上書)「八田喜兵衛様 佐竹周蔵 子十一月十七日到来」 佐竹周蔵→八田嘉兵衛様	子11月17日到来	包紙/(え55-1~52は一綴)・1点	え55-26
(書状、増田為替金30両上納、御納戸へ収め証文等この便に差し上げるに付) 江店かゝり→御在所御掛り中様	11月11日	横切紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-27
(書状、十八屋より金150両差し出し、明12日御納戸へ収め為替証文受け取り、御便次第差し送るに付) (佐竹)周蔵→(八田)喜兵衛様	11月11日	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-28
(書状、為替金十八屋300両は上納次第手形差し上げるか追々150両差し上げるかに付他) (佐竹)周蔵→(八田)喜兵衛様	11月11日	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-29
(包紙) * (包紙上書)「信州松代八田嘉右衛門様御請用書 河村宗順」 (江戸表二面)河村宗順→信州松代八田嘉右衛門様		包紙/(え55-1~52は一綴)・1点	え55-30
(書状、先達って差し下しの御茶料金1両2分慥に落手に付) 河村宗順内武村千造→八田嘉右衛門様御請	12月6日	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-31
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 岡野陽之助」 岡野陽之助→八田嘉右衛門様		包紙/(え55-1~52は一綴)・1点	え55-32
(書状、河村への金子入御状山城屋迄届けるので受け取り書付御落手すべきに付) 岡野陽之助→(八田)嘉右衛門様申上	12月17日	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-33

(包紙) * (包紙上書)「有賀平兵衛様 松代笠井伝兵衛」 松代笠井伝兵衛(印「松代茶伝」)→有賀平兵衛様		包紙/(え55-1~52は一綴)・1点	え55-34
(書状、赤倉願人他一統必至と行き立ち難き件にて榊原様御屋敷にてお尋ね下されたきに付) 笠井伝兵衛→有賀平兵衛様人々御中	3月18日	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-35
(包紙) * (包紙上書)「八田喜兵衛様 松沢文右衛門」 松沢文右衛門→八田喜兵衛様		包紙/(え55-1~52は一綴)・1点	え55-36
(書状、去冬惣兵衛殿差し出しの白木綿代を別紙書付の通り小林平右衛門殿へ渡したので御落手下さるべきに付) (松沢)文右衛門→(八田)喜兵衛様	5月7日	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-37
覚(金3両2分4分3厘の内小泉保左衛門殿為替1両2分6匁5分差し引き、残金正金1両3分8匁9分3厘金銭書上)	5月	切紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-38
(包紙) * (包紙上書)「松代松本嘉十郎様別飛脚 竹屋喜六」 竹屋喜六→松代松本嘉十郎様	8月2日	包紙/(え55-1~52は一綴)・1点	え55-39
覚(富濱1000俵他ノ3艘入津着船に付)		切紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-40
(書状、塩一条の儀は一時も早く荷物到着するよう御手配下さるよう内々申し上げるに付) 竹屋喜六拜→松本嘉十郎様	8月2日	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-41
(包紙) * (包紙上書)「八田鉄之助様 中島三右衛門」 中島三右衛門→八田鉄之助様		包紙/(え55-1~52は一綴)・1点	え55-42
(書状、兼ねて仰せ越しの大画仙の件は思召しならば直ぐに貰い差し上げる旨問い合わせに付) (中島)三右衛門→(八田)鉄之助様	5月21日	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-43
覚(南湖先生山水10枚・文晁先生人物山水各6枚を画仙紙にてお頼み下さるよう願うに付) (八田)鉄之助→(中島)三右衛門様		横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-44
(包紙) * (包紙上書)「水忠蔵様・松嘉十郎様上 津国屋友七拜」/(下札上書)「嘉永三戌年」(従大坂)津国屋友七拜→水(水井)忠蔵様・松(松本)嘉十郎様上	嘉永3戌年4月19日	包紙/(え55-1~52は一綴)・1点	え55-45
(書状、御馳走等の御礼、八田様・栄八様御上坂の御取掛り御掛合は宜しき御取合にもならず心配の旨等) 津国屋友七→松本嘉十郎様・水井忠蔵様	(嘉永3年)戌4月19日	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-46
(包紙) * (包紙上書)「深美甚十郎様貴報 小山吉之丞」 小山吉之丞→深美甚十郎様貴報		包紙/(え55-1~52は一綴)・1点	え55-47
(書状、塩荷物運送方はこの節塩直段高下あり御引合方申し上げ難く先方御見合せ然るべき旨) 小山吉之丞→深美甚十郎様人々御中	4月2日	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-48
(包紙) * (包紙上書)「後丁深美甚十郎様 松代菊屋伝兵衛」 松代菊屋伝兵衛(印「信州菊伝」)→後丁深美甚十郎様		包紙/(え55-1~52は一綴)・1点	え55-49
(書状、越州小山氏御同伴の節塩荷物運送方は見合わせになったが今般御示談整ったので申談したきに付) 菊屋伝兵衛→深美甚十郎様	3月7日	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-50

6.産物会所 /4.大坂での取引 /7.炭屋孫七関係書状など綴

(書状、越州小山氏御同伴の節塩荷物運送方は見合わせになったが今般御示談整ったので申談したきに付) *下書/(端裏書)「三月十七日」 菊屋伝兵衛→深美甚十郎様	3月	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-51
(書状、塩御引合の儀は追々延引の所この程松代菊屋よりの別紙書状を御覧なされたきに付) * (端裏書)「添簡下書扣」 深美甚十郎→小山吉之丞様	3月24日	横切継紙/(え55-1~52は一綴)・1通	え55-52
(炭屋孫七関係綴・受取)		綴/(え27-1~55は一綴)・1綴	え27
(書状、杏仁195荷兵庫北風へ渡し、敷金195両直ちに上納のところ、船頭当国所々に貸金あり、取り立て上納致すと申すに付) * (表書)「回状」 (松本)嘉十郎→(水井)忠蔵様・(春日)儀左衛門様・(佐竹)周蔵様・(八田)慎蔵様・(八田)喜兵衛様	11月6日	横継紙/(え27-1~55は一綴)・1通	え27-1
(謂れなき他の者より冥加銀など差し出させるほか伺書及び回答)		横継紙/(え27-1~55は一綴)・1通	え27-2
(書状、昨冬少々御買い入れの甘草・杏仁御送状の通り、御積み出しの由承知に付) * (端裏朱書)「嘉永元年葉月廿日水井忠蔵様より至来」 炭屋孫七→菊(菊屋)伝兵衛様・沼大蔵様	9月5日	横継紙/(え27-1~55は一綴)・1通	え27-3
(書状、金2両遣わされ御注文の御品畏まり奉り、今日調べ、明晩差し上げるに付) (岡野)陽之助→(八田)鏡之助様	26日	横継紙/(え27-1~55は一綴)/(継紙剥離)・1通	え27-4
(書状、日本橋大問屋共残らず穿鑿仕り、何方にても高値にて3匁6分より下値の品無きに付) 甚蔵拝→八田様上	11月27日	横継紙/(え27-1~55は一綴)/(継紙剥離)・1通	え27-5
(書状、金談一件ようやく500両だけ江戸為替にて相納めるほか御工風成されたきに付) 炭屋孫七→水(水井)忠蔵様・松(松本)嘉十郎様	4月17日	横継紙/(え27-1~55は一綴)・1通	え27-6
(書状、栄八様当所成り行き申し上げたところ、御承引成し下さるほかに付) 炭屋孫七→菊(菊屋)伝兵衛様	8月19日	横継紙/(え27-1~55は一綴)・1通	え27-7
(風印金9両2分2朱他メ金184両2朱銭424文金銭書上) 近江屋惣介		横継紙/(え27-1~55は一綴)・1通	え27-8
野瀬田分(伊左衛門金38両2朱銭124文他合わせて125両3分124文のうち金125両銀5匁7分請取に付)		横継紙/(え27-1~55は一綴)・1通	え27-9
覚(白紬180匹分ほか金184両2朱銭400文御渡しに付) 近江屋惣介		横継紙/(え27-1~55は一綴)・1通	え27-10
(書状、上方表交易の塩御積み下しの事、下塩ならば御勝手にも相成り下さるべき他に付) 石渡六三郎(印「越後直江津…」(以下カスレ))→菊屋伝兵衛様貴下	正月11日	横継紙/(え27-1~55は一綴)/(10と12の間に挟み込み)・1通	え27-11
壱竈ニ付焼立覚(土代金5両ほかメ金56両3分2朱、売上惣メ63両3朱金銭書上)		折紙/(え27-1~55は一綴)・1通	え27-12
(書状、為替金の儀、御承知下さるに付)	12月20日	切紙/(え27-1~55は一綴)・1通	え27-13

(書状、御用場御入用帳面ほか慥に落手仕り、明日宮 本氏へ相廻したきに付) 善治→(松本)嘉十郎様	7月5日	横継紙/(え 27-1~55は一 綴)・1通	え27-14
杏(松代産杏仁の効能書上)		切紙/(え27-1 ~55は一綴)・1 通	え27-15
(廻状差出・宛名) (松本)嘉十郎→(佐竹)周蔵様・(八田)慎 蔵様・(八田)喜兵衛様・(八田)義三郎様・(高野)覚之進様		切紙/(え27-1 ~55は一綴)・1 通	え27-16
覚(上条村佐市195俵ほかノ939俵1斗4升俵数書上)		横継紙/(え 27-1~55は一 綴)・1通	え27-17
(書状、荷品代金渡方の儀に付) (春日)儀左衛門→(佐 竹)周蔵様・(八田)慎蔵様・(八田)喜兵衛様	6月29日	横継紙/(え 27-1~55は一 綴)/(虫損甚 大)・1通	え27-18
乍恐(石川村より荷出し金1両に付10貫500匁他書上)	6月	横継紙/(え 27-1~55は一 綴)・1通	え27-19
内意申含認取(当国杏仁の儀、世話方精々骨折り出精 下されたきに付) 稲荷山宿松屋源之助	卯7月6日	横継紙/(え 27-1~55は一 綴)・1通	え27-20
回状(相場の儀は杏仁も船入れ出立よりは高きに付) (松本)嘉十郎→(佐竹)周蔵様・(八田)慎蔵様・(八田)喜兵衛 様・(八田)義三郎様・(高野)覚之進様	7月1日	横継紙/(え 27-1~55は一 綴)・1通	え27-21
(書状、矢代村新治之助異印の事、源之助明日呼び出 しと存ずるに付) (松本)嘉十郎→水井(忠蔵)様		横継紙/(え 27-1~55は一 綴)・1通	え27-22
差上申御受一札之事(杏仁為登方手はじめに付、世話 方の仰せを蒙るに付) 松屋源之助→松代御産物方御会 所	卯7月	横継紙/(え 27-1~55は一 綴)・1通	え27-23
差上申一札之事(杏仁世話方の御内意を被りありが たきに付) 稲荷山村松屋源之助→松代御産物方御会 所	安政2卯7月6日	横継紙/(え 27-1~55は一 綴)・1通	え27-24
(書状、杏仁の儀村々相改め別紙案文の通り注文を会 所に持参し、金子受け取り、仲買へ相渡すべきに 付) *控カ 産物方右之通同村-	7月9日	横継紙/(え 27-1~55は一 綴)・1通	え27-25
(書状、川田宿又右衛門内願大豆一件、兵庫北風庄右 衛門店へ積めば大丈夫に付他) (松本)嘉十郎→善治 様・慎介様	7月5日	横継紙/(え 27-1~55は一 綴)・1通	え27-26
(付箋カ、北風は大物にて日本一と申し唱えるに付)		切紙/(え27-1 ~55は一綴)・1 通	え27-27
(書状、渡方は差し支えるか、八分に仕るべきかに付) (松本)嘉十郎→(春日)儀左衛門様	9月	横継紙/(え 27-1~55は一 綴)・1通	え27-28
覚(矢代宿より上州倉賀野宿迄1駄41匁2分5厘他金銭 書上) 矢代宿問屋源左衛門・安兵衛・安左衛門		横継紙/(え 27-1~55は一 綴)・1通	え27-29
回状(杏仁一条、別紙伺書など案文取調べ御覧に入れ るに付) 松本嘉十郎・(春日)儀左衛門→(水井)忠蔵様・ (佐竹)周蔵様・(八田)慎蔵様・(八田)喜兵衛様・藤三郎様・ (高野)覚之進様	7月2日	横継紙/(え 27-1~55は一 綴)・1通	え27-30
(書状、御用場の儀二通り懸け合いの品、丸き方かと 存ずるに付)		切紙/(え27-1 ~55は一綴)・1 通	え27-31

6. 産物会所 /4. 大坂での取引 /7. 炭屋孫七関係書状など綴

(書状、杏仁一条惣メ出代金の儀、御繰り合わせ御光来下されたきに付) (八田)嘉助→(佐竹)周蔵様・(八田)喜兵衛様・(八田)慎蔵様	12月20日	切紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-32
覚(杏仁195箇代金282兩3分他メ金326兩3分銀4匁8分8厘金銭書上) 伊勢町菊屋伝兵衛[印「八田 信州松代菊伝」]・菊屋惣兵衛[印「信州 松代木町菊惣」]→御産物方御会所	卯8月	横継紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-33
(書状、村々杏仁仲買より買い上げ石数改めの上、別紙案文の通り注文を会所に持参し、仲買へ相渡すべしに付) *え-27-25下書カ		切紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-34
(書状、御掛御手はじめの儀、御同人出精次第、追々伺い奉りたきに付) *下書カ/前欠		切紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-35
廻章(御領分杏仁の儀、御一手に大坂へ登らせば、炭彦気向きも引き立ち申すべしに付他) 八兵衛→金五郎様・九兵衛様・恒太夫様・十左衛門様・一政様	6月12日	横継紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-36
杏仁一条御内尋ニ付内許仕申上(小西彦七内願の通り、為登方御聞き済ましくだされたきに付) 産物会所掛	6月	横継紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-37
(書状、御勘弁の上、それぞれ御手配願い上げに付) (関)新右衛門拜上→(佐竹)周蔵様・(八田)喜兵衛様	6月18日	横継紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-38
申上(御他領商人へ杏仁を御会所に相当値段にて売り渡ししの対談に付) 関新右衛門	6月18日	横継紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-39
(書状、新右衛門より別紙の通り申し来るに付) 佐竹(周蔵)→松本(嘉十郎)様	6月19日	切紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-40
覚(メ3貫目代金104兩金銭書上) 菱屋与兵衛→炭屋孫七殿	6月10日	切紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-41
覚(30日5分かへ他数量書上) 錫屋卯兵衛[印]→炭孫(炭屋孫七)様	6月8日	切紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-42
覚(上玉印中輪3樽代金57兩他金銭書上) かぎや武兵衛(印)→炭屋孫七様	6月10日	横継紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-43
[](綴紐)覚(四出印小木壺丸) 日野屋伊兵衛→炭屋孫七様	戌3月16日	切紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-44
覚(6匁6分3厘他メ11匁1分4厘勘定改めに付) (印「大阪高麗橋老丁目」)→上	10月15日	切紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-45
(大洋印紺青274匁9分5厘他メ845匁9分2厘菊屋栄八店分を御尊家より御渡ししの約定に付) 鍵屋新右衛門→炭屋孫七様	西極月晦日	横継紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-46
覚(白立違酒袋100枚代金150目他手本御覧に入れるので、御注文頼み入るに付) 秋田屋栄助[印「大坂土佐堀二丁目酒造道具所秋田屋永助」]→炭屋孫七様	6月4日	横継紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-47
覚(1斗樽4丁代金10目他メ金320目金銭書上) 柏屋保兵衛(印)→炭屋太兵衛様	西6月23日	横継紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-48
覚(箱36代金28匁8分他宜しく御算用下されたきに付) かぎや重兵衛(印「大坂」)→炭屋孫七様	西6月10日	横継紙/(え27-1～55は一綴)・1通	え27-49

6. 産物会所 / 4. 大坂での取引 / 7. 炭屋孫七関係書状など綴

覚(白梅印金米糖1桶代金124匁他ノ572匁金銭書上) 松多屋吉兵衛(印)→炭屋孫七様	3月14日	横継紙/(え27-1~55は一綴)・1通	え27-50
覚(百福来10束他ノ210束数量書上) 升屋吉右衛門店→炭(炭屋)孫七様	3月19日	切紙/(え27-1~55は一綴)・1通	え27-51
覚(白梅中輪99匁他樽大ろともに御手引き下されたきに付) かぎや武兵衛→炭屋孫兵衛様	3月19日	横継紙/(え27-1~55は一綴)・1通	え27-52
覚(大俵塩1500俵積み渡しに付) 赤穂西濱柴原幾左衛門(印「濱野屋」)	6月14日	切紙/(え27-1~55は一綴)・1通	え27-53
[](綴紐)(ノ30斤他品物書上) 錫屋卯兵衛[印]→炭孫(炭屋孫七)様	3月13日	切紙/(え27-1~55は一綴)・1通	え27-54
(百福来10束代金255匁他合4貫345匁金銭書上) 升屋吉右衛門店→炭屋孫七様御店	戌4月2日	切紙/(え27-1~55は一綴)・1通	え27-55
(大坂炭屋孫七関係綴)		綴/(え7-1~49は一綴)・1綴	え7
(袋) * (袋上書)「大坂孫七一条之書類」/綴じられているため紙背内容不明		袋/(え7-1~49は一綴)・1点	え7-1
口上之覚(御城下菊屋伝兵衛去月23日離談となり、願書の儀は差控え申すべく扱入申すに付) 尾州名古屋井沢屋三千太郎	未4月	横切紙/(え7-1~49は一綴)・1通	え7-2
(金235両25年賦の歩合3分9厘8毛に相当たるに付書付)		切紙/(え7-1~49は一綴)・1通	え7-3
(書状、昨日御内命菊伝殿・藤戸一件、御扱い方御工夫下されたきに付)		切紙/(え7-1~49は一綴)・1通	え7-4
(書状、金子親類方50金出金、右の趣を以って名古屋掛金聞き入れ申すに付) * 下書カ		切紙/(え7-1~49は一綴)・1通	え7-5
(名古屋新治郎願面写ほか書状類書上)		切紙/(え7-1~49は一綴)・1通	え7-6
(書状、御取立一件、関新右衛門帰国までにゆるゆる御掛け引き下さるべきに付) 林孫七→平田三千太郎様	3月晦日	切紙/(え7-1~49は一綴)・1通	え7-7
(書状、炭屋孫七殿より手紙落手に付) 平田三千太郎	4月10日	切紙/(え7-1~49は一綴)・1通	え7-8
明和四亥年閏九月御代官江惣触(双方打ち合わせ吟味、或いは他支配の者度々呼び出し致すまじきに付)		切紙/(え7-1~49は一綴)・1通	え7-9
口上(両封早々御届け下さるべく願うに付) 関(新右衛門)→菊伝(菊屋伝兵衛)殿	4月17日	切紙/(え7-1~49は一綴)・1通	え7-10
(書状、御内用一条、未だ決着仕らず、22・3日頃帰国仕るに付) * (端裏書)「御内々申上」 (関)新右衛門	4月17日	切紙/(え7-1~49は一綴)・1通	え7-11
(書状、馬喰町様へ宜しきよう仰せ上げられたきに付)	17日	切紙/(え7-1~49は一綴)・1通	え7-12
(書状、菊伝一件、平田三千太郎懸け合い赤面の至り、尊意を得たきに付) 関新右衛門→水(水井)忠蔵様御内々申上	4月17日	切紙/(え7-1~49は一綴)・1通	え7-13

6. 産物会所 /4. 大坂での取引 /7. 炭屋孫七関係書状など綴

(書状、昨4日終日御待ち申し上げるところ、それなく、如何思し召すやに付) 長崎屋ニ而健六郎・三千太郎→菊屋伝兵衛様	3月5日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-14
覚(御在坂関新右衛門様へ御状御預かりに付) 川北屋善右衛門[印「信州善光寺平退日川喜多屋」]→八田新蔵様	未4月15日	切紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-15
(書状、御取替申す証文金の儀、この度尾州井澤新次郎殿振り向かう間、皆済下されたきに付) 炭屋孫七→菊(菊屋)伝兵衛様・同(菊屋)市兵衛様	11月晦日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-16
(金257両2分3朱銀2分2厘井澤新次郎殿へ元利とも振り向かいに付) 炭孫(炭屋孫七)→菊伝(菊屋伝兵衛)様・菊市(菊屋市兵衛)様	11月晦日	切紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-17
(書状、昨日御内命菊でん殿・藤戸一件、御扱い方御工夫下されたきに付)		切紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-18
(書状、菊伝一条、昨日炭伝方へ参り帰国まで猶予の儀申し遣わすに付) (関)新右衛門→(水井)忠蔵様御内々申上	3月晦日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-19
(書状、菊屋・藤屋両家の證文一件、津国屋友七連印の事一切存ぜざるに付) 津国屋友七(印)→松本(嘉十郎)様	未3月23日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-20
(書状、友七の印形に関わらず、菊伝・藤佐久兩人相手ばかり故安心致すべき様孫七申すに付) 津国屋友七→松本嘉十郎様	3月30日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-21
(書状、一応思し召し伺い申したきに付) 尾州井澤屋三千太郎→菊屋伝兵衛様	4月6日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-22
(書状、貴家證文連印謀判の儀、頃日中官府より御沙汰に付) 尾州井澤屋三千太郎→菊屋伝兵衛様	4月7日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-23
(書状、年賦御約定金の儀、残金御遣わし無く、大いに迷惑に付) 炭屋孫七→菊屋伝兵衛様	正月10日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-24
覚(寅年元入金5両請け取りに付) 炭屋孫七(印)	卯7月17日	切紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-25
覚(利滞の内20両請け取りに付) 炭屋孫七(印)→菊屋伝兵衛殿・同(菊屋)市兵衛殿	丁巳2月29日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-26
(書状、改年の御祝詞) 炭屋孫七→八田慎蔵様参人々御中	正月4日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-27
(書状、八荷屋より御受け置く金高御調書御送り下されたきに付) 菊屋伝兵衛→炭屋孫七様	5月28日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-28
(書状、年賦金の儀、8月末迄には差し送り候間、御承引下されたきに付) * (端裏書)「重兵衛様相渡候書面下案」→炭屋孫七殿手代	7月11日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-29
(書状、大坂表御用場普請出来、程なく御役人様も御登りに付) 津国屋友七→菊屋伝兵衛様	正月21日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-30
(書状、嘉永6年6月小子へ渡す覚書は如何なる訳があるかに付) (塩屋)太三郎→真蔵様	卯5月9日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-31

(書状、御地滞留中度々御見舞、御国産御品御送り下され忝きに付) 炭屋孫七→菊(菊屋)全兵衛様・佐助様	9月7日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-32
(書状、旧冬八荷仕切御入手、およそ3貫目ばかり請け取り方承知に付他) 炭屋孫七→菊(菊屋)伝兵衛様・全兵衛様・佐助様	寅7月26日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-33
覚(別紙證文元利ノ金257両2分3朱銀2分2厘尾州井澤新次郎殿へ振り向けに付) 炭屋孫七(印)→菊屋伝兵衛殿・同(菊屋)市兵衛殿・津国屋友七殿	戊午12月	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-34
(書状、年賦金一昨年より不納、高井氏へ利足一口も御引き渡し下されたきに付) 炭屋孫七(印)→菊(菊屋)伝兵衛様・同(菊屋)市兵衛様	6月7日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-35
(書状、御目に掛かり御談申し上げたく御光臨下されたきに付) 炭屋孫七→菊(菊屋)市兵衛様御内披	28日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-36
(書状、利足金不足のうち金6両1分2朱銀3匁9分3厘今に御渡し無く、御埒明けの程願うに付) 炭屋孫七→菊屋伝兵衛様・同(菊屋)市兵衛様	3月27日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-37
(書状、兼々御引合いの一件、何ら御返答無く、今日昼までに御答え下されたきに付) 壽之孫(壽之孫七)→菊(菊屋)市兵衛様・同(菊屋)佐助様	2月19日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-38
(書状、佐助様見込みの事、何卒御勘弁下されたきに付)		切紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-39
(書状、その御御申す一件、別紙にて差し引き済み、宜しく御承引に付)	2月24日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-40
(書状、藤戸にて百両引きほか宜しく御承引下されたきに付)		切紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-41
(書状、御肴一重・御手籠一重下されありがたきに付) 壽之孫七	2月3日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-42
(書状、一件如何御談じ候や、御様子御答え下されたきに付) 壽孫(壽之孫七)→(八田)慎蔵様玉床下		切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-43
(書状、御国産御引き起こし一件、真綿・絹糸の手本御勘弁にて早々頼むに付) 壽之孫(壽之孫七)→菊(菊屋)佐助様貴下	2月10日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-44
(書状、宿払い旅方差し支えの儀、菊さ殿荷為替御断りにて当惑致すに付) 炭屋孫七→八田慎蔵様尊下御内披	2月29日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-45
(書状、御引き合い申す一件、種々払い方多く当惑致し、早々引き払い申したきに付) 壽之孫(壽之孫七)→八田慎蔵様玉机下御内披	2月28日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-46
(書状、宿払い旅方など御勘弁下されたきに付)		切紙/(え7-1～49は一綴)/(え7-46と48の間に挟みこみ)・1通	え7-47
(書状、何卒大坂にて御店御出来遊ばされ候思し召しを以って書付の儀御承引下されたきに付) (炭屋)孫七→八田様玉机下	林鐘26日	切継紙/(え7-1～49は一綴)・1通	え7-48

6. 産物会所 /4. 大坂での取引 /7. 炭屋孫七関係書状など綴

(書状、兼々御引き合いの年賦金の分、早々滞り分御入金下されたきに付) 炭屋孫七→菊屋伝兵衛様・同(菊屋)市兵衛様	3月7日	切継紙/(え7-1~49は一綴)・1通	え7-49
--	------	---------------------	-------

6. 産物会所 /4. 大坂での取引 /8. 諸仕切状綴

(為登荷物仕切関係綴)		綴(え9-1~4は一綴)・1綴	え9
戌極月限仕切覚(ノ906匁7分2厘) 小西彦七(印)・鍵屋彦右衛門(印)→菊屋伝兵衛殿・栄八殿	戌11月1日	折紙(え9-1~4は一綴)・1通	え9-1
酉極月限仕切覚(硫黄他ノ136匁3分1厘) 小西彦七(印)・鍵屋彦右衛門(印)→菊屋伝兵衛様・栄八様	酉年11月5日	折紙(え9-1~4は一綴)・1通	え9-2
(書状、硫黄仕切ほか宜しく御入手下されたきに付) か上→栄八様	11月15日	横切紙(え9-1~4は一綴)・1通	え9-3
(竹節入参7株半4匁6分替書上) 鍵屋彦右衛門(印)・小西彦七(印)→菊屋伝兵衛様・栄八様	酉11月5日	切継紙(え9-1~4は一綴)・1通	え9-4

6. 産物会所 /4. 大坂での取引 /9. その他

覚(大坂西横堀瀬戸物町伏見屋孫兵衛・養子與市・仙洞御所御役人御勘定方御下役人牧山林八郎・元誓願寺大宮菱屋小兵衛・麴屋町三条下ル町萬屋松兵衛・寺町丸太町角増屋源七家柄書上)		横継紙/(虫損甚大)・1通	え183
---	--	---------------	------

6. 産物会所 /5. 京都での取引

覚(金50両借用、10月25日までに上州表へ相違なく差送るに付) 京都小橋屋利助・代五兵衛(印)→松代増田孫兵衛殿	天保5年午10月11日	切紙・1通	え866
一札之事(京都越後屋喜右衛門への御産物方為替金20両3朱銭142文御請取書紛失か、再応頂戴仕りたきに付) 増田徳兵衛[印「信州松代増田」]→御産物御会所	天保12年丑12	半・1冊	え193

6. 産物会所 /6. 横浜での取引 /1. 才覚金徴集

覚(産物方才覚金95両受取に付) 八田慎蔵(印)・富岡良右衛門(印)→羽尾村仙石組大谷幸蔵	明治3年午2月17日	堅紙・1通	え31
---	------------	-------	-----

6. 産物会所 /6. 横浜での取引 /2. 横浜交易取扱所

乍恐御尋ニ付以書付奉申上候(佐藤彦治郎御領産横浜交易取扱所願の儀、津久井県の者と心得、甲州の方は承知せざるに付) 菊屋伝兵衛・菊屋惣兵衛・江戸屋利兵衛・柏屋藤助→御産物方御会所	万延元申年閏3月	半・1冊	え181
乍恐以書付奉願上候(江戸通御油町大和屋三郎兵衛より松代産物横浜取引品取扱方引請たきに付) 願入江戸通油町大和屋三郎兵衛(印)→松代御産物方御役所様	万延元申年6月	堅継紙・1通	え856

6. 産物会所 /7. 会所より貸下げ品・拝借金

乍恐以書附御日延奉願候(年賦上納12月25日迄日延に付) 中町吉左衛門(印)・同所仁兵衛(印)→御産物御元方様	天保9戊11月	堅紙/(包紙共)・1通	え226
乍恐以書付奉申上候(産物紬その外品々代金上納の儀、藤吉死去により延引、上納方いづれ幾重にも出精に付)*控	(近世)	横切紙・1通	え174

6. 産物会所 /7. 会所より貸下げ品・拝借金 /1. 蚕種紙

覚(種数1110枚拝借に付) 羽尾屋仙石組大谷幸蔵(印「信州更級郡千石村大黒屋幸蔵」)→産物方御役所	明治3己8月26日	堅紙/(綴穴あり)・1通	え12
覚(蚕種半紙905枚拝借に付) 羽尾屋仙石組大谷幸蔵(印「信州更級郡千石村大黒屋幸蔵」)→御産物方御役所	明治3己年9月9日	堅紙/(綴穴あり)・1通	え11

6. 産物会所 /7. 会所より貸下げ品・拝借金 /2. 拝借金

乍恐以書付御日延奉願候(真綿代金拝借のところ滞りになり17日まで日延べに付) 上山田村御借主佐重(印)・頭立茂兵衛(印)→産物方御会所	天保6未7月	堅紙・1通	え200
(書状、貸下金拝借願人追々減る様子は繭出来方払底のため拝借願うまでも無きに付) 御用達専助・治助(印)→御産物方御会所	天保7年申6月	横切紙・1通	え191
(産物代金借用綴)		綴/(え62-1～11は一綴)・1綴	え62
覚(金75両御渡に付) 泉屋文次郎(印「信州善光寺」)→高井善兵衛殿	天保7申6月	堅紙/(え62-1～11は一綴)・1通	え62-1
乍恐以書付日延奉願候事(金32両余上納に付) 新地村願人彦三郎(印)・受人治郎左衛門→御産物方御会所	天保7申6月	堅紙/(え62-1～11は一綴)・1通	え62-2
借用申金子之事(産物代金338両に付) 高井郡小布施村十八屋虎之助[印「信州小布施十八屋」]→松代御産物方荒物屋友吉殿・柏屋藤吉殿	天保7年申9月	堅紙/(え62-1～11は一綴)・1通	え62-3
拝借證文之御事(産物の絹紬代金60両に付) 下横田村御借主次郎兵衛(印)・同断平助(印)・名主平助(印)・組頭半兵衛(印)・長百姓和十郎(印)→御産物方御会所	天保7申年11月	堅紙/(え62-1～11は一綴)・1通	え62-4
拝借證文之御事(産物の絹紬代金230両に付) 下横田村御借人平助(印)・同断次郎兵衛(印)・名主平助(印)・組頭半兵衛(印)・長百姓和十郎(印)→御産物方御会所	天保7申年8月	堅紙/(え62-1～11は一綴)・1通	え62-5
差上申一札之事(産物白紬代金285両450文上納に付) 鼠宿村(湊屋)仁右衛門(印)・買次友吉→御産物御会所	天保5年午11月	切紙/(え62-1～11は一綴)・1通	え62-6
一札之事(絹紬代金160両受取に付) 買主善光寺立町伊の屋佐兵衛(印)・引受寺領役人唐沢孝左衛門(印)→御会所附荒物屋友吉殿	天保6乙未年9月	堅紙/(え62-1～11は一綴)・1通	え62-7
拝借金證文之御事(白紬80疋代金65両に付) 竹房村御借人平之丞(印)・親類受人小兵衛(印)・組合受人佐伝治(印)・名主七郎右衛門(印)・組頭七左衛門(印)・長百姓請人吉郎右衛門(印)→御産物方御会所	天保5午年12月	堅紙/(え62-1～11は一綴)・1通	え62-8

6. 産物会所 /7. 会所より貸下げ品・拝借金 /2. 拝借金

拝借証文之御事(紬代金藤吉分100両他、169両2分に付) 下横田村拝借人平助(印)・同断次郎兵衛(印)・名主和十郎(印)・組頭勝郎治(印)・長百姓惣作(印)→御産物方御会所	天保6末年12月27日	縦継紙/(え62-1~11は一綴)・1通	え62-9
拝借証文之御事(産物の絹紬代金184両に付) 下横田村拝借人平助(印)・同断次郎兵衛(印)・同断新右衛門(印)・名主和十郎(印)・組頭勝郎治(印)・長百姓惣治(印)→御産物方御会所	天保5午年11月	縦継紙/(え62-1~11は一綴)・1通	え62-10
拝借金証文之御事(白紬200疋代金174両3分に付) 竹生村拝借人直右衛門(印)・別家親類請人寅吉(印)・名主源九郎(印)・組頭五郎右衛門(印)・同断義右衛門(印)・長百姓林右衛門(印)→御産物方御会所	天保5午年12月	縦継紙/(え62-1~11は一綴)・1通	え62-11
乍恐以書付奉願候(御拝借の産物品物代金上納の儀、不作にて金子手に入れがたく延引に付) 増田弥兵衛(印)・藤吉(印)・善兵衛(印)・伊左衛門(印)・藤吉煩引受清十(印)→御産物方御会所	天保10亥年2月	縦継紙・1通	え204
乍恐以書付御日延奉願候(去冬中会所年賦割合金上納不足金10両日延願のところ手元差支の為当月29日迄上納金差延に付) 紺屋町藤吉(印)→御産物方御会所	天保12丑年12月	縦紙・1通	え865
乍恐以書付奉歎願候(産物品代拝借金上納滞り、拝借御勘弁に付) * 難形 伊勢町伝兵衛→御産物方御会所 (甘草代金拝借綴)	弘化2巳年4月	縦継紙・1通	え233
乍恐以書付済口奉願候(中町忠兵衛・伊勢町伝兵衛甘草代金213両2朱と銀9匁8分厘滞り御吟味の儀、紺屋町定右衛門ほか立ち入り御猶予に付)		綴/(え49-1~4は一綴)・1綴	え49
覚(大甘草50箇仕入金に差し支え、拝借金100両請取に付) * (端裏書)「戌七月廿二日上納済」 伊勢町伝兵衛(印)→御産物御会所		折紙/(え49-1~4は一綴)・1通	え49-1
覚(太甘草10貫500目入り30箇他買入れのため御貸下ヶ金150両請取に付) * (端裏書)「亥七月廿二日上納済」 伊勢町伝兵衛(印)→御産物方御会所	嘉永3年戊10月	切紙/(え49-1~4は一綴)・1通	え49-2
覚(菊屋伝兵衛甘草買い方差し支え、金250両内借請取に付) * (端裏書)「亥七月廿二日上納済」 八田嘉助(印)→片桐重之助殿・高野覚之進殿	嘉永3年戊10月3日	縦継紙/(え49-1~4は一綴)・1通	え49-3
(拝借金証文綴)	嘉永3年戊11月	縦紙/(え49-1~4は一綴)・1通	え49-4
御借用金一札之事(金9両2分銀13匁5分6厘) 借主土口村幸松(印)→御産物方御出役八田礒治様		綴/(え33-1~11は一綴)・1綴	え33
拝借金子之事(金17両1分銀13匁9厘) 拝借主土口村幸松(印)→御産物方御出張役八田礒治様	明治2年巳7月	縦紙/(え33-1~11は一綴)・1通	え33-1
拝借金子証文之事(金15両3分銀9匁7分2厘) 拝借主土口村幸松(印)「信州松代土口杵幸」→御産物方御役所	明治2年巳7月	縦紙/(え33-1~11は一綴)・1通	え33-2
拝借金一札之事(金8両3分銀1匁3厘) 借主土口村幸松(印)→御産物方御出役八田礒治様御役所	明治2年巳8月6日	縦紙/(え33-1~11は一綴)・1通	え33-3
御拝借申証文之事(金13両2分銀8匁2分7厘) 矢代村啓重(印)→御産物方御役所	明治2年巳7月16日	縦紙/(え33-1~11は一綴)・1通	え33-4
	明治2巳年9月	縦紙/(え33-1~11は一綴)・1通	え33-5

6. 産物会所 /7. 会所より貸下げ品・拝借金 /2. 拝借金

御拝借證文之事(金19両銀16匁4分) 羽尾村仙石組大谷幸蔵(印「信濃更級郡千石村大黒屋幸蔵」)→御産物方御役所	11月5日	堅紙/(え33-1~11は一綴)・1通	え33-6
御借用申上一札之事(金38両2朱銀1匁9分) 矢代村繁重(印)→御産物方御出役様	明治2巳年8月5日	堅紙/(え33-1~11は一綴)・1通	え33-7
御時借一札之事(金10両) 借主土口村幸松(印)→御産物方御出役竹内藤左衛門様	明治2年巳8月11日	堅紙/(え33-1~11は一綴)・1通	え33-8
御拝借申金子之事(金2両2分銀8匁9分4厘) 矢代村駒田屋啓重(印)→御産物方御役所	明治2己巳年9月27日	堅紙/(え33-1~11は一綴)・1通	え33-9
御内借金證文之事(金10両1分) 拝借用人石坂安治郎(印)・請人松崎善代治(印)→御産物方御役所	明治2年巳7月3日	堅紙/(え33-1~11は一綴)・1通	え33-10
借用申金子證文之事(生糸158提他) 矢代村啓重(印)→御産物方御役所	明治2巳年9月5日	堅紙/(え33-1~11は一綴)・1通	え33-11
覚(産物方才覚金として金700両受け取りに付) 八田慎蔵(印墨消)・富岡良右衛門(印墨消)、(奥書)岡敬一郎(印墨消)→紺屋町安右衛門	明治3午年2月	堅紙・1通	え184

6. 産物会所 /7. 会所より貸下げ品・拝借金 /3. 諸品

乍恐以書付御日延奉願候(品物拝借のところで当年名主役勤めお情けを以て上納日延に付) * (端裏書)「亀三郎拝借金日延書」 上徳間村亀三郎(印)→御産物方御会所	天保6未年4月	堅紙・1通	え863
---	---------	-------	------

6. 産物会所 /8. 藩よりの拝借金

覚(金15両2分袖方口銭の内中借請取に付) 八田辰三郎・八田喜兵衛、(奥書)八田嘉右衛門→小林三左衛門殿・吉沢十助殿・宮沢彦左衛門殿・池田良右衛門殿・竹内藤助殿	天保6巳年4月	堅紙・1通	え201
覚(産物の品染方繰合の儀、100両請取に付) 八田嘉助(印墨消)・八田辰三郎(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)、(奥書)八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・西村源蔵殿	天保5年午12月	堅紙/(え61を巻込一括)・1通	え60
覚(産物代金の内持替金102両受取に付) 八田辰三郎(印)・八田喜兵衛(印)・八田嘉右衛門(印)→佐竹周蔵殿・松沢文右衛門殿	天保11子午10月	堅紙/(え60に巻込一括)・1通	え61
覚(金85両銭78貫500文他金銭書上)	(近世)	横切継紙・1通	え208
三月中御中借(金7013両3朱金銭書上)	(近世)	横切継紙・1通	え210

6. 産物会所 /9. 諸方より預り金

覚(金79両産物会所預金受取に付) 八田嘉助・八田喜兵衛→徳田五百人殿	天保11子午正月	堅紙・1通	え192
乍恐以書付奉願候(1ヶ年金10両宛にて10ヶ年の内御上納出精に付) 内川村重右衛門(印)・親類弥右衛門(印)→御会所御掛り様	天保14卯年8月	堅紙・1通	え23
(産物会内預ヶ金請取綴)		綴/(え3-1~8は一綴)・1綴	え3

6. 産物会所 /9. 諸方より預り金

覚(産物会所内預ケ金201両1分2朱請け取りに付) 水 井市治(印)→小野唯之進殿	明治2年巳2月17日	堅紙/(え3-1~ 8は一綴)・1通	え3-1
覚(産物会所内預ケ金17両3朱請け取りに付) 佐川又 左衛門(印)→産物会所	明治2年巳3月6日	堅紙/(え3-1~ 8は一綴)・1通	え3-2
覚(産物会所内預ケ金18両請け取りに付) 谷口左仲 (印)→産物会所	明治2年巳3月10日	堅紙/(え3-1~ 8は一綴)・1通	え3-3
覚(産物会所内預ケ金30両1分請け取りに付) 水井市 治(印)→産物会所	明治2年巳5月3日	堅紙/(え3-1~ 8は一綴)・1通	え3-4
覚(産物会所内預ケ金268両2分請け取りに付) 上村 何右衛門(印)→産物会所	明治2年巳10月6日	堅紙/(え3-1~ 8は一綴)・1通	え3-5
覚(産物会所内預ケ金66両請け取りに付) 徳嵩広馬 (印)→産物会所	明治2年巳10月20日	堅紙/(え3-1~ 8は一綴)・1通	え3-6
覚(産物会所内預ケ金68両1分請け取りに付) 水井市 治(印)→産物会所	明治2年巳11月15日	堅紙/(え3-1~ 8は一綴)・1通	え3-7
覚(産物会所内預ケ金23両請け取りに付) 谷口大角 (印)→産物会所	明治2年巳11月15日	堅紙/(え3-1~ 8は一綴)・1通	え3-8
覚(産物方覚金200両、1両あたり1ヶ月銀1匁の利息 にて受取、来る5月下旬に返済に付) 八田慎蔵(印)・ 富岡良右衛門(印)・原村小泉奥右衛門、(奥書)岡敬一郎(印)	明治3年2月	堅紙・1通	え855
覚(金8両3分1朱産物会所内預金請取に付) 産物会所	明治2巳年3月	堅紙・1通	え229
覚(金18両産物会所内預金請取に付) 産物会所	明治2巳年3月	堅紙・1通	え230

6. 産物会所 /10. 会所運営・賄い領収書 /1. 近代産物会所領収書綴

(近代産物会所請取関係綴)		綴/(え4-1~23 は一綴)・1綴	え4
差上申一札之事(米代金6両御下げくだされありがた きに付) 福嶋村長百姓音八(印)→産物御役所	明治3年午6月29日	堅紙/(え4-1~ 23は一綴)・1通	え4-1
覚(産物会所御借り入れ金30両上山田村宮原喜右衛 門ほか請け取りに付) 酒井市治(印)→小野唯之進殿	慶応4年辰4月	堅紙/(え4-1~ 23は一綴)・1通	え4-2
覚(商法局御用筆筒御出米請負金3分2朱請け取りに 付) *後半に産物や吉池与市から商法掌御中宛御入料金 請け取りの旨あり 刺物師忠治(印)、(奥書)佐藤伊与之進 (印)→上	午11月	堅紙綴/(え4-1 ~23は一綴)・1 通	え4-3
覚(玄米68駄5分運賃金31両2分銀6分ほかメ金118両 銀6匁5分3厘請け取りに付) 組頭円蔵・千代松・寅蔵・ 重治郎・善之丞・西寺尾村藤右衛門(印)→御産物御役所	明治3年庚午9月	堅紙綴/(え4-1 ~23は一綴)・1 通	え4-4
奉差上書付之事(桑皮7詰メ48匁御届に付) 福島村 名主竹内文八(印)→産物御役所	明治3年庚午6月2日	堅紙/(え4-1~ 23は一綴)・1通	え4-5
乍恐以書付奉願上候(桑皮御用の皮剥人足米代金御 下げくだされたきに付) 福島村名主竹内文八(印)・組 頭佐右衛門(印)・同断伝右衛門(印)・長百姓勘左衛門(印)・ 同断音八(印)→御産物御役所	明治3年午6月28日	堅紙/(え4-1~ 23は一綴)・1通	え4-6
差上申一札之事(夏蚕種手取50枚代金23両3分請け取 りに付) 柏屋平左衛門→御産物御役所	明治3年午8月9日	堅紙/(え4-1~ 23は一綴)・1通	え4-7
覚(焰硝2駄途賃金1両銀9匁受け取りに付) 組頭円蔵・ 千代松・寅蔵・善之丞・西寺尾村藤右衛門(印)→御産物御役 所	庚午8月6日	堅紙/(え4-1~ 23は一綴)・1通	え4-8

6. 産物会所 / 10. 会所運営・賄い領収書 / 1. 近代産物会所領収書綴

覚(活用米継送賃銭金400両請け取りに付) 越後小下り喜三治代芦崎村治右衛門→松代御藩中富岡様	明治3年午7月3日	堅紙/(え4-1~23は一綴)・1通	え4-9
御時借金證文之御事(金200両請け取りに付) 老須村岡本広太(印)→産物方御役所	明治3年午6月22日	堅紙/(え4-1~23は一綴)・1通	え4-10
覚(御買い上げ御米のため新潟へ罷り下る道中御賄代金5両受け取りに付) 野田徳左衛門(印)→富岡良右衛門様・八田慎蔵様	午6月14日	堅紙/(え4-1~23は一綴)・1通	え4-11
覚(杉原紙代金30両請け取りに付) * (端裏書)「牛越佐市」 日名村牛越佐市(印)→御産物御懸り八田慎蔵様	明治3年午4月2日	堅紙/(え4-1~23は一綴)・1通	え4-12
覚(人足1人賃銭金1両3分2朱他ノ金11両3分2朱請け取りに付) 御飛脚才領組表川左金治・野田徳左衛門(印)→青柳増太郎様・八田慎蔵様	明治3年午4月22日	堅紙/(え4-1~23は一綴)・1通	え4-13
覚(産物方御才覚金700両請け取りに付) 大田兼一郎(印墨消)・八田五十司(印墨消)・青柳増太郎(印墨消)→紺屋町安右衛門殿	明治3年午2月	堅紙/(え4-1~23は一綴)・1通	え4-14
覚(松御鑑札305枚代銀305匁請け取りに付) 善兵衛(印)→御産物方御役所	午4月10日	堅紙/(え4-1~23は一綴)・1通	え4-15
積送り申一札之事(松代様御用米170俵) 西大滝村太兵治(印「信州西大滝火屋」)・船方与助→松代様産物御会所	明治3年午4月	堅紙/(え4-1~23は一綴)・1通	え4-16
覚(茶の実2俵請け取りに付) 日名村牛越佐市(印)→御産物御役所	明治3年午4月18日	堅紙/(え4-1~23は一綴)・1通	え4-17
覚(金115両御無心請け取りに付) 新政方附弁次郎→八田慎蔵様・大里忠一郎様	明治3年午3月晦日	堅紙/(え4-1~23は一綴)・1通	え4-18
覚(才覚金500両受け取りに付) 大里忠一郎(印)・八田五十司(印)・八田慎蔵(印)・青柳増太郎・伊勢町九蔵、(奥書)岸善八(印)	明治3年午3月	堅紙/(え4-1~23は一綴)・1通	え4-19
御拝借金證文之事(金9両) 御拝借人御仲間辰三郎(印)・同断仙吉(印)・同断善兵衛(印)・御番人御請人柔兵衛(印)→富岡良右衛門様・八田慎蔵様・八田五十司様・青柳増太郎様	明治2年巳12月	堅紙/(え4-1~23は一綴)・1通	え4-20
御拝借金證文之事(金10両) * (端裏書)「紺屋町卯作」 紺屋町御拝借人卯作(印)・中町請人伊織之進(印)→御産物方御役所	明治2年巳7月	堅紙/(え4-1~23は一綴)・1通	え4-21
御内借金證文之事(金400両) * 下書カ 拝借人吉村幸松、(奥書)右村三役人→御産物御役所		堅紙/(え4-1~23は一綴)・1通	え4-22
差上申一札之事(米代為替金2両御下げに付) 福島村音八(印)→御産物御役所	明治3年午8月12日	堅切紙/(え4-1~23は一綴)・1通	え4-23
(近代産物会所請取関係綴)		綴/(え5-1~17は一綴)・1綴	え5
覚(当巳御払いの金45両請け取りに付) 南澤善右衛門(印)→富岡良右衛門様	午正月25日	切紙/(え5-1~17は一綴)・1通	え5-1
覚(奉書紙代金50両請け取りに付) 日名村牛越佐市(印)→御産物御掛り富岡良右衛門様・八田新蔵様	明治2年巳12月8日	堅紙/(え5-1~17は一綴)・1通	え5-2
覚(越前表御内用金50両請け取りに付) 古井祭之助→富岡良右衛門様	6月22日	横切紙/(え5-1~17は一綴)・1通	え5-3
覚(7月御払いの金20両請け取りに付) 南澤善右衛門→八田慎蔵様	明治2年巳7月11日	横切紙/(え5-1~17は一綴)・1通	え5-4

6. 産物会所 /10. 会所運営・賄い領収書 /1. 近代産物会所領収書綴

覚(7月御払いの金30両請け取りに付) 南澤善右衛門 (印)→富岡良右衛門様	明治2年巳7月	横切紙/(え5-1 ~17は一綴)・1 通	え5-5
覚(元金150両の利足金13両2朱請け取りに付) 坂本 寛介・坂本斎助(印)→富岡良右衛門殿	明治2年巳7月23日	横切継紙/(え 5-1~17は一 綴)・1通	え5-6
覚(産物会所御借入金150両請け取りに付) 小野唯之 進(印)→坂本斎助様・坂本寛介様	明治2年巳正月	縦紙/(え5-1~ 17は一綴)・1通	え5-7
覚(金15両拝借に付) 小野福馬→富岡良右衛門様	8月15日	横切紙/(え5-1 ~17は一綴)・1 通	え5-8
覚(金20両拝借に付) 小野福馬(印)→富岡良右衛門様	7月11日	横切紙/(え5-1 ~17は一綴)・1 通	え5-9
覚(御内用御内借金200両請け取りに付) 大里忠一郎 →富岡良軒殿	巳9月11日	横切紙/(え5-1 ~17は一綴)・1 通	え5-10
覚(三澤屋品々代金17両2分2朱銀2匁5分他メ金19両2 朱銀2匁5分請け取りに付) 八幡村和田弥左衛門(印) →富岡良右衛門様	巳8月	横切紙/(え5-1 ~17は一綴)・1 通	え5-11
覚(大蠟燭10丁代金3貫文他メ金5貫文受け取りに付) 嶋屋藤兵衛→松代御役中様和田弥太郎様	8月18日	横切紙/(え5-1 ~17は一綴)・1 通	え5-12
覚(重膳5重代金2両3分他メ金17両2朱銀2匁5分受け 取りに付) 三沢半蔵→御役人様和田小太郎様	8月18日	横切紙/(え5-1 ~17は一綴)・1 通	え5-13
覚(書物箱1つ代銀37匁5分受け取りに付) 刺物や金作 →丸山様御内	巳9月	横切紙/(え5-1 ~17は一綴)・1 通	え5-14
覚(白斜子1疋金10両他メ金77両2分受け取りに付) 菊屋伝兵衛[印「信州幾久屋伝兵衛」]→御産物方御役所	巳10月20日	横切継紙/(え 5-1~17は一 綴)・1通	え5-15
覚(御内用御入料金100両請け取りに付) 竹花道馬 (印)→富岡良右衛門殿	明治2年巳9月	縦紙/(え5-1~ 17は一綴)・1通	え5-16
覚(元金500両産物方御才覚金のうち、元金居直り利 分金30両受け取りに付) 坂本寛介・坂本斎助→富岡良 右衛門殿	明治2年巳7月23日	横切紙/(え5-1 ~17は一綴)・1 通	え5-17

6. 産物会所 /10. 会所運営・賄い領収書 /2. 御用米世話料

覚(御用米世話料御手当金1両2分受取に付) 西尾村藤 右衛門(印)→御産物御役所	明治3年午7月	縦紙・1通	え175
---	---------	-------	------

6. 産物会所 /10. 会所運営・賄い領収書 /3. 荷物駄賃

覚(賃銭3朱銭162文請取書) 御飛脚組重平(印)→御産物 方御会所	天保6末年3月8日	切紙・1通	え209
(高崎布袋屋金銭受取関係綴)		綴/(え180-1~ 3は一綴)・1綴	え180
覚(高崎布袋屋御内用荷物1箇賃銭8匁7分受取に付) 御飛脚組池田春蔵(印)→御産物御会所	(近世)午9月23日	切紙/(え180-1 ~3は一綴)・1 通	え180-1

覚(上州高崎宿布袋屋迄荷物2箇駄賃銭金1分銀25匁受取に付) 御才領組兄沢藤蔵(印)・山崎吉左衛門→御産物方御会所	(近世)午10月朔日	横切紙/(え180-1~3は一綴)・1通	え180-2
覚(高崎行き筵包2箇銀26匁6分の釣26文差し申すに付) 御飛脚林林平(印)→御会所	(近世)10月24日	切継紙/(え180-1~3は一綴)・1通	え180-3

6. 産物会所 / 10. 会所運営・賄い領収書 / 4. 諸品

覚(金1両2分7厘賄代受け取るに付) 上山田村御産物御改所宮原弁右衛門代市郎左衛門(印)→御産物方御役所	慶応4辰年2月晦日	横切紙・1通	え185
(産物方金銭書上綴)		綴/(え1-1~5は一綴)・1綴	え1
覚(はかた地他ノ金11両銭292文金銭書上) あら物や友吉→八田嘉助様御内	午極月	切継紙/(え1-1~5は一綴)・1通	え1-1
覚(はかた帯他ノ金6両3分銭17文金銭書上) あら物や友吉→八田嘉助様御内	未7月	切継紙/(え1-1~5は一綴)・1通	え1-2
覚(はかた帯他ノ金13両銭406文金銭書上) あら物や友吉→八田嘉助様御内	未12月	切継紙/(え1-1~5は一綴)・1通	え1-3
覚(斜子嶋他ノ金16両1分銭362文金銭書上) 荒物屋友吉→八田嘉助様御役所	申3月	切継紙/(え1-1~5は一綴)・1通	え1-4
覚(白袖他ノ金1両銭784文金銭書上) 重郎治→八田嘉助様御内	7月13日	切紙/(え1-1~5は一綴)・1通	え1-5
(諸品代金受取関係綴)	(近世)	綴/(え207-1~14は一綴)・1綴	え207
覚(そば代金200文他請取に付) 丸屋長兵衛→産物御会所	(近世)卯12月	切紙/(え207-1~14は一綴)・1通	え207-1
覚(正酒代金900文請取に付) 辰巳屋文源太(印「松代伊勢町辰巳屋」)→御産物御会所	(近世)卯極月	切紙/(え207-1~14は一綴)・1通	え207-2
覚(1匁他ノ6匁36分請取に付) 江戸屋佐吉→御産物御会所	(近世)卯極月	横切継紙/(え207-1~14は一綴)・1通	え207-3
覚(真綿代金15匁他ノ135匁請取に付) きく屋伝兵衛角店→御産物方御会所	(近世)卯12月	横切継紙/(え207-1~14は一綴)・1通	え207-4
覚(7匁他ノ2貫3匁8分受取に付) 井桁や玉兵衛[印「松代東小越町井桁屋」]→産物方御会所	(近世)卯12月	横切継紙/(え207-1~14は一綴)・1通	え207-5
覚(2匁1分8厘受取に付) かし町万吉→産物御会所	(近世)卯極月	切継紙/(え207-1~14は一綴)・1通	え207-6
覚(使牧治殿御状箱代金245文他受取に付) 袋屋惣兵衛→木町御役所	(近世)卯極月	切紙/(え207-1~14は一綴)・1通	え207-7
覚(140分他ノ1貫2匁76分請取に付) 丁子や喜三郎→産物御会所	(近世)卯極月	横切継紙/(え207-1~14は一綴)・1通	え207-8

6. 産物会所 / 10. 会所運営・賄い領収書 / 4. 諸品

覚(1匁5文3厘他ノ14匁83分受取に付) 菊屋惣兵衛→御産物方御会所	(近世)卯極月	横切継紙/(え207-1~14は一綴)・1通	え207-9
覚(種油代金202文請取に付) 菊屋惣兵衛→御産物方御会所	(近世)卯極月	切紙/(え207-1~14は一綴)・1通	え207-10
覚(巻紙代金24文他ノ銭1貫121文銀8匁1分請取に付) みのや喜兵衛→御産物方御会所	(近世)卯極月	横切継紙/(え207-1~14は一綴)・1通	え207-11
覚(甘鯛代金550文他ノ金2朱銭12貫510文請取に付) のとや富作→御会所様	(近世)卯極月	横切継紙/(え207-1~14は一綴)・1通	え207-12
覚(御状箱代金402文受取に付) 袋屋惣兵衛(印「信州松代袋屋」)→上	(近世)2月2日	切継紙/(え207-1~14は一綴)・1通	え207-13
覚(2匁1分5厘受取に付) かし町万吉(印「松代鍛冶町萬屋」)→産物御会所	(近世)辰2月6日	切紙/(え207-1~14は一綴)・1通	え207-14
(諸品代金受取関係綴)	(近世)	綴/(え225-1-1~12は一綴、え225-2-1~20の綴を巻込、外→内)・2綴	え225
(諸品代金受取関係綴)	(近世)	綴/(え225-1-1~12は一綴、え225-2-1~20の綴を巻込、外→内)・2綴	え225-1
覚(書物代金100文他ノ200文請取に付) 丁子屋喜三郎→産物御会所	(近世)酉7月	切紙/(え225-1-1~12は一綴、え225-2-1~20の綴を巻込、外→内)・1通	え225-1-1
覚(申年ノ358分請取に付) 松屋音松→木町会所	(近世)酉7月	切紙/(え225-1-1~12は一綴、え225-2-1~20の綴を巻込、外→内)・1通	え225-1-2
覚(炭代金257文他請取に付) 池島屋長左衛門→産物方御会所	(近世)酉7月	切継紙/(え225-1-1~12は一綴、え225-2-1~20の綴を巻込、外→内)・1通	え225-1-3
覚(申年250文請取に付) みのや左兵衛→産物御会所	(近世)酉7月	切紙/(え225-1-1~12は一綴、え225-2-1~20の綴を巻込、外→内)・1通	え225-1-4
覚(五嶋いか代115文請取に付) 江戸や重兵衛→産物御会所	(近世)酉7月	切紙/(え225-1-1~12は一綴、え225-2-1~20の綴を巻込、外→内)・1通	え225-1-5

覚(手桶代金50文他ノ150文請取に付) 桶屋太助→会所御役所	(近世)西7月	切紙/(え225-1-1~12は一綴、え225-2-1~20の綴を巻込、外→内)・1通	え225-1-6
覚(150文他請取に付) 江戸屋手代→八田嘉助様御内	(近世)西7月	切継紙/(え225-1-1~12は一綴、え225-2-1~20の綴を巻込、外→内)・1通	え225-1-7
覚(申年ノ7分5厘959文請取に付) 菊屋惣兵衛酒店→御産物方御会所	(近世)西7月	切継紙/(え225-1-1~12は一綴、え225-2-1~20の綴を巻込、外→内)・1通	え225-1-8
覚(申年ノ高2匁6分2貫142文請取に付) 菊屋伝兵衛→御産物方御役所	(近世)西7月	切継紙/(え225-1-1~12は一綴、え225-2-1~20の綴を巻込、外→内)・1通	え225-1-9
覚(生いか代金60文他ノ866文請取に付) 江戸屋佐兵衛→産物御会所	(近世)西7月	横継紙/(え225-1-1~12は一綴、え225-2-1~20の綴を巻込、外→内)・1通	え225-1-10
覚(巻紙代金24文他ノ1貫821分12匁3分請取に付) みのや喜兵衛→産物御会所	(近世)西7月	横継紙/(え225-1-1~12は一綴、え225-2-1~20の綴を巻込、外→内)・1通	え225-1-11
(合金1両2分2朱9歩4厘桶屋大助払いに付ノ高除き置くに付)	(近世)	切紙/(え225-1-1~12は一綴、え225-2-1~20の綴を巻込、外→内)・1通	え225-1-12
(諸品代金受取関係綴)	(近世)	綴/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1綴	え225-2
覚(申年ノ2匁6分2貫142文請取に付) 菊屋伝兵衛→御産物方御役所	(近世)西12月	切紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-1
覚(朱代100文他ノ2分72文受取に付) みの屋左兵衛→産物方御会所	(近世)西12月	切紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-2

6. 産物会所 / 10. 会所運営・賄い領収書 / 4. 諸品

覚(手桶代金50文請取に付) 桶屋太助→会所御役所	(近世)西12月	切紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-3
覚(五嶋いか代115文受取に付) 江戸や重兵衛→産物御会所	(近世)西12月	切紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-4
覚(炭代金440文他ノ1貫739文受取に付) 辰巳屋文源太→御産物御会所	(近世)西12月	切継紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-5
覚(数の子代金50文他ノ274文請取に付) 能登屋富作→御産物方御会所	(近世)西極月	横切紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-6
覚(六物代金100文他ノ200文受取に付) 丁子屋喜三郎→産物御会所	(近世)西12月	切紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-7
覚(358文受取に付) 松屋音松→木町御会所	(近世)西12月	切紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-8
覚(糖水代金260文他ノ1貫212文金銭書上) 菊屋惣兵衛→御産物方御会所	(近世)西12月	切継紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-9
覚(寒菊代金2匁2分他ノ8匁2分9厘959文請取に付) 菊屋惣兵衛→御産物御会所	(近世)西12月	切継紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-10
覚(ノ350文請取に付) 和泉や常吉→御会所	(近世)西12月	切継紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-11
覚(茶碗代150文他ノ264文受取に付) 江戸屋手代→御産物方御会所衆中様	(近世)戊正月	切紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-12

覚(1貫361文受取に付) 池島屋長左衛門→産物方御会所	(近世)西極月	切紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-13
覚(5合2度分代116文受取に付) 油や嘉兵衛→御産物方御役人中様	(近世)戊正月14日	切紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-14
覚(300文受取に付) 丸屋長兵衛→産物御会所	(近世)西極月	切継紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-15
覚(御鑑札700枚代2貫184分受取に付) 和左衛門(印)→御産物方御会所	(近世)西12月	切継紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-16
覚(申年ノ866文他ノ1貫66文受取に付) 江戸や佐兵衛→産物御会所	(近世)西極月	切継紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-17
覚(附木10文他ノ3貫441文18分7厘受取に付) みのや喜兵衛→産物御会所	(近世)西極月	横切継紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-18
覚(110枚代1貫文受取に付) 袋や惣兵衛(印)→上	(近世)正月	切紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-19
(銀310匁9分1厘金銭書上)	(近世)	切紙/(え225-2-1~20は一綴、え225-1-1~12の綴に巻込、外→内)・1通	え225-2-20

6. 産物会所 / 10. 会所運営・賄い領収書 / 5. 通船川岸端地所売り渡し

(通船川岸端譲渡関係綴)	(近世)	綴/(え220-1~3は一綴)・1綴	え220
(袋) * (袋上書)「通船川岸端図面入 外地所譲渡証文巻通」 池田良右衛門→八田嘉助様	(近世)	袋/(え220-1~3は一綴)・1点	え220-1
譲渡証文之事(望月主水様御方屋敷2斗1升6合他産物会所入用のため譲り渡し、代金8両銀3匁6分5厘受取に付) 西寺尾村譲主熊治(印)・御蔵元佐吉(印)・名主左仲太(印)・組頭兵左衛門(印)・長百姓左源治(印)→伊勢町伝兵衛殿	嘉永2酉年11月	堅継紙/(え220-1~3は一綴)・1通	え220-2

(絵図面 千曲川側望月主水殿分久治郎屋敷他絵図)	(近世)	28.0×57.5/(え220-1~3は一綴)・1点	え220-3
--------------------------	------	----------------------------	--------

6. 産物会所 / 11. 川船会所 / 1. 貸付金

(川船会所御用金貸出金証文綴)		綴/(え63-1~25は一綴)・1綴	え63
(袋) * (袋上書)「産物方貸出金証文」	(文化13年7月~文政3年正月)	袋/(え63-1~25は一綴)・1点	え63-1
御借入金証之事(5両に付) 東寺尾村御借主重左衛門(印)・受人八左衛門(印)、(奥書)治五右衛門(印)→八田嘉右衛門様御役人衆中様	文化13年子12月	堅継紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-2
御借入金証之事(30両に付) 東寺尾村御借主甚三郎(印)・請人吉兵衛(印)、(奥書)東寺尾村名主治五右衛門(印)→八田嘉右衛門様御役人衆中様	文化13年子7月	堅継紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-3
御借入金証文之事(10両に付) 東寺尾村御借主武左衛門(印)・藤牧村御請人嘉藤太(印)、(奥書)同村名主治五右衛門→八田嘉右衛門様御役人中様	文化13年子7月	堅継紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-4
御借入金証文之事(10両に付) 東寺尾村御借主甚三郎(印)・請人吉兵衛(印)、(奥書)東寺尾村治五右衛門(印)→八田嘉右衛門様御役人衆中様	文化13年子12月	堅継紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-5
御借入金証文之事(商売方仕入物差し詰まり5両借用に付) 御借主中村や逸八郎(印)→中嶋三右衛門様御内	文政元寅12月	堅紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-6
御内借証文之事(紙渡の種并楮道具入用不足にて20両借用に付) 丈助親類小右衛門(印)・同清蔵(印)、(奥書)中島三右衛門(印)→八田嘉右衛門様	安政元寅年11月	堅継紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-7
御内借証文之事(楮仕入5両他、8両2分に付) 渡方立合兼戸根山小右衛門(印)→中嶋三右衛門様	文政2卯年12月	堅継紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-8
御内借証文之事(楮皮仕入金6両に付) 丈助親類小右衛門(印)→中嶋三右衛門様	文政2卯年2月	堅紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-9
御内借証文之事(甲州表にて桑紙種引合為仕金12両借用に付) 渡方立合兼戸根山小右衛門(印)→中嶋三右衛門様	文政2卯年12月	堅紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-10
覚(川船方御下金の内御時貸金20両借用に付) 塗師方世話役深美甚十郎(印)、(奥書)高田孝七(印)・高野祖兵衛(印)→川船御会所	文政2卯年10月	堅継紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-11
奉拝借質地代金証文之御事(御会所御下金18両に付) 後町村御借主頭立甚之丞(印)・名主甚十郎(印)・組頭重兵衛(印)・長百姓伊左衛門(印)、(奥書)名主甚十郎(印)→川船御会所	文政2卯年12月	堅継紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-12
覚(大病相煩等のところ10両拝借に付) 高山内蔵進(印)、(奥書)中島三右衛門(印)→中嶋三右衛門殿、(奥書)八田嘉右衛門殿	文政3辰年3月	堅継紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-13
差上申質地証文之事(屋敷地1ヶ所他金2両にて質入に付) 後町村質置主恒八(印)・親類惣代長右衛門(印)・組合惣代甚之丞(印)、(奥書)右村名主甚十郎(印)・組頭平兵衛(印)・長百姓伊左衛門(印)→川船御会所	文政3辰年12月	堅継紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-14

6. 産物会所 / 11. 川船会所 / 1. 貸付金

差上申小作并店借用証文之事(屋敷他2ヶ年の間も金2両にて預けるに付) 後町村長右衛門(印)・甚之丞(印)・伊左衛門(印)・(奥書)右村名主甚十郎(印)・組頭重兵衛(印)・長百姓伊左衛門(印)→川船御会所	文政3辰年12月	堅継紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-15
御内借金証文之事(10両に付) 丹波嶋村御借主弥八郎(印)・名主弥八郎(印)・組頭多恵八(印)・同断喜三郎(印)・長百姓勘左衛門(印)→塚田恒平様	文政3辰年5月	堅継紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-16
御内借金証之御事(金2両に付) 川田宿問屋西沢又右衛門(印)→御川船御会所	文政3辰年2月	堅紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-17
覚(墨製方入用金20両借用に付) 上村何右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文政3辰年3月	堅紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-18
差上申一札之事(才薪木400棚他代金前借金62両銀24匁受け取りに付) 関川宿大石彦四郎代大石清右衛門(印)・須坂町加判惣代牧七郎右衛門→松代川船御会所	文政5午年12月	堅紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-19
覚(金181両3分銀8匁1分8厘関川宿大石清右衛門証文を以て御中借受け取りに付) 中嶋三右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文政5午年12月	堅紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-20
御借用金証文之事(金19両1分銀14匁1分8厘に付) 関川宿大石彦四郎代大石清右衛門(印)・須坂町加判惣代牧七郎右衛門→中嶋三右衛門様	文政5午年12月	堅紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-21
御借用金証文之事(金25両に付) 関川宿大石彦四郎代大石清右衛門(印)・須坂町加判惣代牧七郎右衛門→中嶋三右衛門様	文政5午年12月	堅紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-22
御借用金証文之事(金25両に付) 関川宿大石彦四郎代大石清右衛門(印)・須坂町加判惣代牧七郎右衛門→中嶋三右衛門様	文政5午年12月	堅紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-23
御借用金証文之事(金25両借用に付) 関川宿大石彦四郎代大石清右衛門(印)・須坂町加判惣代牧七郎右衛門→中嶋三右衛門様	文政5午年12月	堅紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-24
御借用金証文之事(金25両借用に付) 関川宿大石彦四郎代大石清右衛門(印)・須坂町加判惣代牧七郎右衛門→中嶋三右衛門様	文政5午年12月	堅紙/(え63-1~25は一綴)・1通	え63-25
御内借被成下金子証文之事(金30両川船会所下げ金の内内借受取に付) 町川田村名主御借主大治郎(印)・組頭宇左衛門(印)・長百姓健左衛門(印)→川船御会所	文政2卯年4月	堅紙/(綴穴あり)・1通	え244
質地証文之事(名所関崎道上上畑他、金10両に付) * (端裏貼紙)「辰正月質地代金拾両老割式分川船方会所名目中島懸 川田宿勘助」 町川田村質置主勘助(印)・親類慶左衛門(印)・組合西沢又右衛門(印)・(奥書)町川田村名主大次郎(印)・組頭宇左衛門(印)・長百姓健左衛門(印)→川船御会所	文政3辰年正月	堅継紙/(綴穴あり)・1通	え243
覚(金3両2分栄八通船借用、滞りのところ出府、帰国まで日延べ願うに付) 通船取締方平野彦兵衛(印)→船元和七殿	天保11子2月	堅紙・1通	え234

6. 産物会所 / 11. 川船会所 / 2. 廻送荷物の改め

覚(米55俵他改め送りに付) 川田宿会所出張向無印→松代川船御会所	(近世)丑5月24日	堅継紙・1通	え237
-----------------------------------	------------	--------	------

6. 産物会所 /11. 川船会所 /3. 船手の者の願書受付

乍恐以書付奉願候(西大瀧村吉左衛門・森村和七通船 商売仰せ付けられ、小売り仕りたきに付)	(近世)	縦紙・1通	え239
---	------	-------	------

6. 産物会所 /11. 川船会所 /4. 川船会所への地所売り渡し

覚(金34両3分銀6匁5分8厘市川七郎治居屋敷川船会 所へ譲渡代金受取に付) 市川友作(印)・親類勇之助 (印)・加判飯嶋久左衛門(印)→川船御会所	文政5午年4月	縦紙・1通	え241
--	---------	-------	------

6. 産物会所 /11. 川船会所 /5. 小作証文

小作証文之事(小作人7俵2斗5升、金1両銀12匁上納に 付) 町川田村御小作人勘助(印)・請人西沢又右衛門(印)、 (奥書)町川田村名主大次郎(印)・組頭宇左衛門(印)・長百姓 健左衛門(印)→川船御会所	文政3辰年正月	縦継紙/(綴穴 あり)・1通	え242
---	---------	-------------------	------

6. 産物会所 /11. 川船会所 /6. その他

通船一件(和田主馬様他善光寺御泊りの砌、御懸方後 丁へ御出張、雑用の儀甚十郎願人銘目にて村方へ 割り出し申さざるに付) 甚十郎	(近世)亥2月	横切継紙・1通	え238
---	---------	---------	------

6. 産物会所 /12. 藩内他地域の産物会所 /1. 力石村

覚(産物改算加金12両1分3朱銀4分2厘上納に付) → 力石村産物御改所	丑11月	縦紙・1通	え186
差出申一札之事(絹糸178匁他代金16両銀6匁8分宜し く願上に付) 力石村丑左衛門→御会所	辰12月16日	横切継紙・1通	え862

6. 産物会所 /12. 藩内他地域の産物会所 /2. 内川村

覚(金3両3分1匁6分7厘出役賄料下げ渡し受け取るに 付) 内川村産物御改所中村伊平次(印)→産物方御役所	慶応4辰正月20日	縦紙・1通	え228
--	-----------	-------	------

6. 産物会所 /12. 藩内他地域の産物会所 /3. 向八幡村

覚(布施高田村治兵衛他より杏仁メ俵数139俵買取に 付) 土屋茂右衛門(印「信州川中嶋稲荷山土屋茂兵衛」)→ 八幡村久五郎様	卯7月朔日	縦紙・1通	え68
--	-------	-------	-----

6. 産物会所 /13. 役人任免・俸禄

以書附御縫奉申上候(伊勢衛様へ勤の処お暇下され たが、御赦免願いに付) * (端裏書)「先年甘草方為取捨 候栄八歎願縫書」 栄八(印)→八田喜兵衛様御取次中様	安政2卯年3月	縦継紙・1通	え219
(書状、伊勢町伝兵衛産物方問屋勤格段厚き心がけ、 酒代300疋下さるるに付)	(近世)正月25日	横切継紙・1通	え218

覚(産物方御産御足輕初20俵他ノ初74俵渡すに付) 富岡良右衛門(印)、(奥書)野中直之助(印)・岡野敬一郎(印) →三井清治殿・富岡宗三郎殿・山本常馬殿	明治2巳年11月	横継紙・1通	え188
---	----------	--------	------

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

(諸金銭差引関係書類一括)		(え851-2~41は袋一括)・1点	え851
(袋) * (袋上書)「嘉永元年より諸金銭差引帳」 八田知道		袋/(え851-2~41は袋一括)・1点	え851-1
払証文之事(妹とつ・同人女子みや御支配下与四兵衛方に縁付に付) 山家村名主三右衛門(印墨消)→野田村名主新蔵殿	明和4年亥3月	切紙/(え851-2~41は袋一括)・1通	え851-2
払証文之事(源壱郎娘えり御支配下藤兵衛方に縁付に付) 山家村名主三右衛門→天童三日町名主理兵衛殿	明和4年亥2月	切紙/(え851-2~41は袋一括)・1通	え851-3
人別請証文之事(山家村三右衛門妹とつ・同人女子みや御支配下与四兵衛方に縁付に付) 野田村名主新蔵(印)→山家村御名主三右衛門殿	明和4年亥3月	切紙/(え851-2~41は袋一括)・1通	え851-4
(包紙) * (包紙上書)「水井忠蔵様証文入 八田喜兵衛」 八田喜兵衛→水井忠蔵様証文入	(近世)	包紙/(え851-2~41は袋一括)・1通	え851-5
(包紙) * 裏面に手習 八田喜兵衛・八田嘉助→水井忠蔵様証文入	(近世)	包紙/(え851-2~41は袋一括)・1通	え851-6
(書状、新規市場について御賢慮成し下されたきに付) * 下書/前欠		縦紙/(え851-2~41は袋一括)・1通	え851-7
(書状、木綿師共冥加金上納の儀聞き済み下されたく内々伺に付) * (端裏書)「冥加金之儀ニ付伺 産物会所懸」 産物会所掛り	(近世)12月	切紙/(え851-2~41は袋一括)・1通	え851-8
(会所諸入料出方は、暫く紬方御中借金の内への上納を聞き済み下されたく、御内慮伺に付) * 下書	(近世)	切紙/(え851-2~41は袋一括)・1通	え851-9
(かめ・たか他人名書上)		切紙/(え851-2~41は袋一括)・1通	え851-10
(書状、大丸店為替金200両願ひ上げに付)	11月朔日	切紙/(え851-2~41は袋一括)・1通	え851-11
(書状、紬方御中借御足金上納方の儀御内慮伺うに付) * 前欠 産物会所懸り	12月	横切継紙/(え851-2~41は袋一括)・1通	え851-12
(書状一括)		(え851-2~41は袋一括)/(え851-13-2~3は包紙一括)・1点	え851-13
(包紙)		包紙/(え851-2~41は袋一括)/(え851-13-2~3は包紙一括)・1点	え851-13-1

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

(書状、来客のため本綿夜着5つ・布の蒲団1つ拝借仕りたきに付) 本湛→(八田)喜兵衛様	大呂朔日	切紙/(え851-2 ~41は袋一括) /(え851-13-2 ~3は包紙一括)・1通	え851-13-2
(書状、拝借金上納方の儀に付) *下書		切紙/(え851-2 ~41は袋一括) /(え851-13-2 ~3は包紙一括)・1通	え851-13-3
(店宿引受に付町方伺いの儀に付)		切紙/(え851-2 ~41は袋一括) /(虫損あり)・1通	え851-14
(書状、領産取扱の者共追々勝手向難渋のところ、御賢察成し下され村々引立に付) *下書		切紙/(え851-2 ~41は袋一括)・1通	え851-15
(書状、領産取扱の者共追々勝手向難渋のところ、御賢察成し下され村々引立に付) *下書		切紙/(え851-2 ~41は袋一括)・1通	え851-16
(書状、絢方中借返上滞りにて取り調べ、会所貸し下し差し支えなく、繭商人共罷り越し仕入れるよう、当座御繰合方願うに付)	(近世)	堅紙/(え851-2 ~41は袋一括)・1通	え851-17
(産物方御入料金115両2分銀3匁7分9厘他金銭書上)	(近世)	横切継紙/(え851-2~41は袋一括)・1通	え851-18
(御手充分・内借分・呉服問屋冥加銀分他金銭書上) *前後欠		横長半/(え851-2~41は袋一括)/(帳くずれ)・2通	え851-19
可致分(元利滞共金銭書上) *後欠		折紙/(え851-2 ~41は袋一括)・1通	え851-20
覚(御産物会所品物取扱方、金400両までは品物を差し出すに付) *下書 堀田弥兵衛・加判伊せ町伝兵衛→御産物方御会所	天保11子年12月	堅紙/(え851-2 ~41は袋一括)・1通	え851-21
(売買所代金4852両2分銀11匁4分1厘等金銭書上)		折紙/(え851-2 ~41は袋一括)・1通	え851-22
覚(金1298両3分銀5匁8分5厘年賦上納成し下されたきに付) *下書 大サ		折紙/(え851-2 ~41は袋一括)・1通	え851-23
(書状、糸会所方御貸下げ金、病気の者もあり延引願いに付) 八田喜兵衛	7月26日	切紙/(え851-2 ~41は袋一括)・1通	え851-24
(書状、旧臘為替金の内御預り証文請取に付) 水井忠蔵→八田嘉助様・堀内与一右衛門様	3月19日	切紙/(え851-2 ~41は袋一括)・1通	え851-25
(書状、御城下にて御産物御引立市場迄上物取立になり、掛金なども厭わずに付) *前後欠		切紙/(え851-2 ~41は袋一括)・1通	え851-26
(1516両1分銀5分2厘他金銭書上)		横長半/(え851-2~41は袋一括)/(帳くずれ)・1通	え851-27

覚(糸方会所御取立以来御貸下げ金ノ1298両3分5匁8分□(虫損)厘に付)		堅紙/(え851-2 ~41は袋一 括)・1通	え851-28
(書状、産物御出方金差し出し、御勘定吟味相違なく返却に付) 磯田音門→産物会所中	4月22日	切継紙/(え 851-2~41は袋 一括)・1通	え851-29
乍恐以書付御廻り奉願候(御鑑札後に蘭買取仕りたく、鑑札頂戴に付) 紙屋町御願人平吉(印)・親類清水戸佐久(印)→御産物方御会所	万延元申年7月	堅紙/(え851-2 ~41は袋一 括)・1通	え851-30
(金銭書上書類一括)		(え851-2~41 は袋一括)/(え 851-31-2~4は 包紙一括)・1点	え851-31
(包紙) * (包紙上書)「辰四月 酒造方調下帳」	辰4月	包紙/(え851-2 ~41は袋一括) /(え851-31-2 ~4は包紙一 括)・1点	え851-31-1
卯春酒造勘定調三月晦日迄(白米503石3斗代金449両1分銀13匁2歩4厘他酒造関係金銭書上) 酒造方	天保14卯年4月	横長半/(え 851-2~41は袋 一括)/(え851- 31-2~4は包紙 一括)・1冊	え851-31-2
辰四月調(白米2石金2両銀2匁4分4厘他金銭書上)		横長半/(え 851-2~41は袋 一括)/(え851- 31-2~4は包紙 一括)・1冊	え851-31-3
(多助よりお手元金4両1朱他ノ金60両2分錢3貫50文金銭書上)		折紙/(え851-2 ~41は袋一括) /(え851-31-2 ~4は包紙一 括)・1通	え851-31-4
請手形之事(当村の者へ縁付に付) * 雛形 山家村名主 三右衛門→何村名主謹レ殿	明和2酉年何月	堅紙/(え851-2 ~41は袋一 括)・1通	え851-32
請証文之事(与助娘そね卯之助伴左之助方に縁付に付) * (端裏書)「卯之介伴左之助女房請証文控也」 山家村名主三右衛門→田麦野村名主忠左衛門殿	明和3戌年3月	堅切紙/(え 851-2~41は袋 一括)・1通	え851-33
(包紙) * (包紙上書)「寺弘手形 安永六酉三月中町之寺より 触替寺へ山家村与三郎女房と三太郎女房取替之宗旨」	安永6酉年3月	包紙/(え851-2 ~41は袋一括・ 1点	え851-34-1
寺弘手形之事(与三郎女房さよ当寺旦那のところ、三太郎女房と替改にて貴寺旦那になりたき願いにて以後貴寺旦那との印形に付) 天堂仲町善行寺(印)→山家村聴流寺	安永6酉年3月	堅紙/(え851-2 ~41は袋一括) /(え851-34-2 は包紙入り)・1 通	え851-34-2
(南湖画・鶏之彫他絵画彫刻書付)		横切継紙/(え 851-2~41は袋 一括)・1通	え851-35
(金銭書上書類一括)		(え851-2~41 は袋一括)/(え 851-36-2~7は 包紙一括)・1点	え851-36

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

(包紙) * (包紙上書)「嘉永二年金銀出入さし引書入」		包紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-36-2 ～7は包紙一 括)・1点	え851-36-1
(慎蔵加賀井入料金2分2朱他金銭書上)	(6月1日～20日)	切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-36-2 ～7は一綴)・1 通	え851-36-2
(常五郎衣服代金1分他金銭書上)	(6月22日～29日)	切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-36-2 ～7は一綴)・1 通	え851-36-3
(角店入金10両他金銭書上)	(7月12日～13日)	切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-36-2 ～7は一綴)・1 通	え851-36-4
(会所より時借り2両他金銭書上)	(7月23日～10月)	切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-36-2 ～7は一綴)・1通	え851-36-5
(慎蔵八幡参詣入用出金1両2朱他金銭書上)	(10月12日～13日)	切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-36-2 ～7は一綴)・1通	え851-36-6
(酒店御借金1両2分他金銭書上)	12月10日	切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-36-2 ～7は一綴)・1 通	え851-36-7
(堀田覚兵衛殿金2両2分西正月26日済他ノ金96両3分 銀7匁3分6厘金銭書上)		横長半/(え851-2 ～41は袋一括)・1冊	え851-37
(産物会所金銭受取関係綴)		綴/(え851-2～ 41は袋一括)/ (え851-38-1～ 3は一綴)・1綴	え851-38
(酒代金8両他金銭書上)	5月10日	切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-38-1 ～3は一綴)・1 通	え851-38-1
(祈祷代金2朱他金銭書上)		切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-38-1 ～3は一綴)・1 通	え851-38-2
(拝の代他市兵衛より受取の品書上) 神草→善光寺	6月5日	切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-38-1 ～3は一綴)・1 通	え851-38-3
(辰の10の冬12月巳の春の松山行へ2両他金銭書上)		切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-38-1 ～3は一綴)・1 通	え851-39

(申年御歳暮代金ノ1910両書付)		切継紙/(え851-2~41は袋一括)・1通	え851-40
(金銭書上書類一括)		(え851-2~41は袋一括)/(え851-41-1~4は紙綴一括)・1点	え851-41
(包紙) * (包紙上書)「安政三丙辰年より同四年丁巳正月日掛ヶ品々差引書入」		包紙/(え851-2~41は袋一括)/(え851-41-1~4は紙綴一括)・1点	え851-41-1
(佐久間氏分の卯年から辰年金22両金銭書上)		切紙/(え851-2~41は袋一括)/(え851-41-1~4は紙綴一括)・1通	え851-41-2
(佐久間10両他金銭書上)		切紙/(え851-2~41は袋一括)/(え851-41-1~4は紙綴一括)・1通	え851-41-3
(金銭書上綴)		綴/(え851-2~41は袋一括)/(え851-41-1~4は巻込一括)/(え851-41-4-1~14は一綴)・1綴	え851-41-4
(角店より受取銭2貫文他金銭書上)	(2月15日~3月2日)	横切継紙/(え851-2~41は袋一括)/(え851-41-1~4は巻込一括)/(え851-41-4-1~14は一綴)・1通	え851-41-4-1
(坂本行駄賃450文他金銭書上)	(正月9日~3月7日)	折紙/(え851-2~41は袋一括)/(え851-41-1~4は巻込一括)/(え851-41-4-1~14は一綴)・1通	え851-41-4-2
(角店金受取金2両他金銭書上)		切紙/(え851-2~41は袋一括)/(え851-41-1~4は巻込一括)/(え851-41-4-1~14は一綴)・1通	え851-41-4-3
(鉄砲師代金9両他金銭書上)	29日	切紙/(え851-2~41は袋一括)/(え851-41-1~4は巻込一括)/(え851-41-4-1~14は一綴)・1通	え851-41-4-4

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

(葉代金1両2分銀5匁他金銭書上)		切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-41-1 ～4は巻込一 括)/(え851- 41-4-1～14は 一綴)・1通	え851-41-4-5
(寺尾へ受取代3両2分他金銭書上)		切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-41-1 ～4は巻込一 括)/(え851- 41-4-1～14は 一綴)・1通	え851-41-4-6
(田楽火鉢代2分他金銭書上)		切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-41-1 ～4は巻込一 括)/(え851- 41-4-1～14は 一綴)・1通	え851-41-4-7
(御板之間3人300文他金銭書上)		切継紙/(え 851-2～41は袋 一括)/(え851- 41-1～4は巻込 一括)/(え851- 41-4-1～14は 一綴)・1通	え851-41-4-8
(当用掛方へ相渡金1分他金銭書上)		折紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-41-1 ～4は巻込一 括)/(え851- 41-4-1～4は一 綴)・1通	え851-41-4-9
御入無滞相済ニ付諸々江御礼(大木遣お肴代200疋他 金銭書上)		切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-41-1 ～4は巻込一 括)/(え851- 41-4-1～14は 一綴)・1通	え851-41-4- 10
(下屋敷法事入用に付金銭書上)		切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-41-1 ～4は巻込一 括)/(え851- 41-4-1～14は 一綴)・1通	え851-41-4- 11
(金3朱他金銭書上)		切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-41-1 ～4は巻込一 括)/(え851- 41-4-1～14は 一綴)・1通	え851-41-4- 12
(金5両他金銭書上)	(2月11日～11月28日)	切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-41-1 ～4は巻込一 括)/(え851- 41-4-1～14は 一綴)・1通	え851-41-4- 13


(佐竹分1分他金銭書上)		切紙/(え851-2 ～41は袋一括) /(え851-41-1 ～4は巻込一 括)/(え851- 41-4-1～14は 一綴)・1通	え851-41-4- 14
(産物会所取引関係綴)		綴/(え28-1～ 44は一綴)・1綴	え28
(書状、御内談の産物方御用の儀、委細御認め遣わされ下されたきに付) 大嶋武左衛門→八田嘉右衛門様	11月27日	切紙/(え28-1 ～44は一綴)・1 通	え28-1
(書状、御満入金21日に御渡し下されたきに付) 大嶋武左衛門・菊地孝助→八田嘉右衛門様	6月18日	横継紙/(え28-1～44は一綴)・1通	え28-2
(書状、文化14年よりの御用達金他御返済のため、明13日御勘定書まで御借入証文持参下されたきに付) 大嶋武左衛門・菊地孝助→八田嘉右衛門様	3月12日	横継紙/(え28-1～44は一綴)・1通	え28-3
(御内御用のため金50両受取に付他借金証文写し) 大嶋(武左衛門)・菊地(孝助)	11月	横継紙/(え28-1～44は一綴)・1通	え28-4
(書状、御預け金の儀とても相減ずること相成りかね、何分御才覚御差し出されたきに付) 菊地孝助→八田嘉右衛門様	12月7日	横継紙/(え28-1～44は一綴)・1通	え28-5
(書状、御手元御差引の儀、御印形並びに御持ち出しの分御持参、今日御役所まで御来駕下されたきに付) 大嶋武左衛門・菊地孝助→八田嘉右衛門様	6月27日	横継紙/(え28-1～44は一綴)・1通	え28-6
(書状、三井店弥次郎名当の証文、私共御中借証文と御引替に下されるか相伺うに付) (八田)辰三郎→(八田)嘉助様	12月8日	切紙/(え28-1 ～44は一綴)・1 通	え28-7
(一郎治金1両2分銭200文他金銭書上)		切紙/(え28-1 ～44は一綴)・1 通	え28-8
(ノ金6両銭24文他金銭書上)		切紙/(え28-1 ～44は一綴)・1 通	え28-9
(書状、御約束の大坂表葉や調書御一覧の上、御返却下されたきに付) 高井三九郎→菊屋金兵衛様人々御中	3月8日	横継紙/(え28-1～44は一綴)/(虫損甚大)・1通	え28-10
(友吉絵嶋15疋のうち5疋当人へ相渡す他品物書上)		切紙/(え28-1 ～44は一綴)・1 通	え28-11
(十郎治絵嶋22疋2反のうち15疋当人へ相渡す他品物書上)		折紙/(え28-1 ～44は一綴)・1 通	え28-12
(書状、紬代金のうち為替金200両宜しく御取扱い下さるべきに付) 江店産物掛→御在所方御掛様	9月8日	横継紙/(え28-1～44は一綴)・1通	え28-13
(書状、先達で注文の白綾2疋他たしかに届け申すに付他) 江店懸り→御在所方御掛様	9月7日	横継紙/(え28-1～44は一綴)・1通	え28-14
(書状、大丸店要助差し出しの土産の品、御落手下すべきに付) ねつ→(八田)喜兵衛様	14日	切紙/(え28-1 ～44は一綴)・1 通	え28-15

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

(書状、新潟へ差し向かいの金子差し支え、御用金のうち500両拝借仕りたきに付) 良右衛門→八田様	7月3日	横継紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-16
(書状、大丸よりの品御配り宜しく頼むに付) (八田) 喜兵衛→御会所様	3月16日	切紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-17
(書状、元利勘定成し、相残り金を彼方へ用立て遣わし下されたきに付) 三郎右衛門→(八田)嘉右衛門様	9月20日	横継紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-18
(書状、杏仁の儀、この度別段御手法御領内村々承伏致し、大阪表問屋共も大悦仕るに付) 一文字屋情八郎→堀内与一右衛門様・松本嘉十郎様	9月23日	横継紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-19
(書状、其の件一条、栄八取り計らい無事、責道具にて責付け申さざれば、行き届きまじきに付) 横田甚五左衛門→八(八田)慎蔵様急々伺	1月21日	横継紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-20
(その儀一条、万事先日御はなしの通り成されるようお願い上げほかに付)	15日	切紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-21
絹紬織元内穿鑿之節賄代之儀申上 松木孫八	9月	横継紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-22
覚(絹紬織元値段内々穿鑿の節、御賄代ノ1貫248文頂戴仕りたきに付) 御手附松本元右衛門・塚原健三郎	辰9月	横継紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-23
覚(佐藤殿代金2分銭932文他惣ノ3貫827文金銭書上)		切紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-24
覚(棚田請取金46両2分銭763文他ノ金52両と銭1貫181文の内、ノ金52両渡すに付)		横継紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-25
覚(金10両他ノ金16両金銭書上)		横継紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-26
覚(あら1本代172文他ノ金1両と銭804文金銭書上)		折紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-27
覚(金10両請取、指引金3分銭213文金銭書上)		横継紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-28
覚(郡村代金10両他ノ金30両銭400文、差し引き金21両銭872文御勘定御改め下さるべきに付)		横継紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-29
覚(上大岡村代金1両銀11匁2分5厘他ノ13両銀5匁2分5厘、差し引き金7両1分銀5匁2分5厘亥年分御勘定に付)		横継紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-30
覚(御用達金月懸御利足金10両受取に付) 八田嘉右衛門	文政5午年12月	切紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-31
(書状、若宮村新左衛門紬買い継ぎ訴訟の儀、願いの通り承る段、掛り御役人申し聞くに付) 恩田頼母→矢沢監物様	5月	横継紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-32
(書状、矢代村文左衛門種引商売のところ、御料所打沢村恵三郎へ売り渡す儀内々穿鑿申し上げるに付) 産物会所掛	6月10日	切紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-33

(若宮村新左衛門袖買継訴訟の儀、紺屋町藤吉跡役伺いの通り御聞き済ましに付御尋)		切紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-34
(書状、御国産紬絹など御城下において織り立て相弘めれば、上田表問屋え申す趣意も立ち、上裂紬も出来に付) * (端裏書)「〇二」		横継紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-35
(根元を弱らせずなど紬の元真綿御仕法に付書付)		横継紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-36
(書状、近頃上郷・下郷両袖相混じり、以来は下郷は引訳差し出すべきに付他) * 前欠		横継紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-37
(書状、御用場家賃の儀、愚意もあらば申し上げるに付) 善治→(松本)嘉十郎様	7月23日	横継紙/(え28-1~44は一綴)/(虫損甚大)・1通	え28-38
(書状、会所御寄合の儀、越前までは会所御懸りにて御弘め仕りたきに付) 善治→[] (破損) 郎様	11月18日	切紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-39
(書状、江戸出しの方も矢代へ相任せる儀、別段申し上げること無きに付) 高野→松本(嘉十郎)様	28日	切紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-40
(書状、私儀病中、他所のもの参ること御免蒙りたきに付) 寺町→松本(嘉十郎)様	18日	切紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-41
(書状、兵庫よりの金子受け取り、早速上納のところ、善光寺その他へ借りがあり、15日まで御延ばし願うに付) (松本)嘉十郎→善治様・慎助様	11月6日	横継紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-42
覚(備後市松染15枚代52匁他メ金3分2朱受取に付) 大文字屋嘉兵衛(印「日本橋通二町目大文字屋」)→岡野様	子11月26日	切紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-43
覚(賃銭1貫35文他メ金3朱銭235文金銭書上) 甚之丞		切紙/(え28-1~44は一綴)・1通	え28-44
(産物会所関係綴)		綴/(え26-1~14は一綴)・1綴	え26
(白米27升2合8勺代金6貫733文請取に付) 下高田村彦三郎(印)	5月7日	折紙/(え26-1~14は一綴)・1通	え26-1
二月朔日ヨリ卯年分払切之口(孫太郎小間物買入代100文他)		折紙/(え26-1~14は一綴)・1通	え26-2
覚(書状、産物方荷送りの品御払い代金いかが相なるや他に付) 兩人→久右衛門様	5月27日	折紙/(え26-1~14は一綴)・1通	え26-3
覚(5尺5寸桶10本代金50両ほか惣メ金160両1分酒造関係金銭書上)		折紙/(え26-1~14は一綴)・1通	え26-4
(下井尻村御所持の御地の小作米徳左衛門分1俵ほか相納めるに付) * 後欠 下井尻村御米小作人徳左衛門(印)・茂左衛門(印)	天保2卯年12月	折紙/(え26-1~14は一綴)・1通	え26-5
仕切覚(杏仁25箇代メ金44両3分銀6匁2分9厘) 伊勢屋吉兵衛→源之助殿	未11月11日	折紙/(え26-1~14は一綴)/(え26-6-1~3は一綴)・1通	え26-6-1

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

仕切覚(杏仁20箇他代ノ金63両3分銀7匁4分3厘) 小 西朝左衛門→源之助殿		折紙/(え26-1 ~14は一綴)/ (え26-6-1~3 は一綴)・1通	え26-6-2
(138箇他松本問屋より名古屋白木屋甚左衛門行き代 金286両2分銀3匁2分8厘仕切切)		折紙/(え26-1 ~14は一綴)/ (え26-6-1~3 は一綴)・1通	え26-6-3
(丹後嶋1疋他品物書上) 重郎治	正月12日	切紙/(え26-1 ~14は一綴)・1 通	え26-7
以書付御届申上候御事(亡き幸三郎借財一条、御廻立 御役人より召し出しのところで庄屋遠藤啓作・組頭 正三郎行方知れずに付) 村役人惣代組頭遠藤幸右衛 門(印)・大庄屋秋本示三郎→御奉行所	文久2戊辰年11月4日	折紙/(え26-1 ~14は一綴)・1 通	え26-8
(きぬ・木綿書上)		切紙/(え26-1 ~14は一綴)・1 通	え26-9
(10貫200匁他ノ銀125貫300匁金銭書上)		切紙/(え26-1 ~14は一綴)・1 通	え26-10
覚(真木13駄2束代26匁6分6厘他伊八様へ相渡すに 付)		切紙/(え26-1 ~14は一綴)・1 通	え26-11
(花色絹863疋代金557両3分銀8匁6分8厘他金銭書上)		横切紙/(え 26-1~14は一 綴)/(別に綴痕 あり)・1通	え26-12
(書状、田中村より中野村へ川船引き揚げ入料金子貸 し渡しに儀、入上初代金滞り、中野役所へ願入差し 出したきに付) 八田嘉右衛門	9月	横切紙/(え 26-1~14は一 綴)・1通	え26-13
(伊勢町要之助より願いの一件、別紙書面の通り、昨 日呼び出し尋ねるところ、事済みに付) *下書 産物会所掛	巳正月	横継紙/(え 26-1~14は一 綴)・1通	え26-14
(産物会所書状・領収書他綴)		綴/(え106-1~ 61は一綴)・1綴	え106
(書状、御産物品物売掛取り集めに罷り出、行方知れ ずの上山田村角弥来月には除帳願ひ申し出に付) (松本)嘉十郎→(八田)喜兵衛様	8月11日	横切継紙/(え 106-1~61は一 綴)・1通	え106-1
当時相庭(大嶋黒砂糖上棟・白砂糖天光印他) M店 →  菊屋様	7月27日	横切継紙/(え 106-1~61は一 綴)・1通	え106-2
覚(金82両並びに金42両2分の為替証文2通を夕方迄 お渡し下さるようお願いに付) (水井)忠蔵→(八田)喜 兵衛様	12月10日	横切継紙/(え 106-1~61は一 綴)・1通	え106-3
(書状、裏絹は当時この表専ら織立の風聞に付、捌口 を思し召しにて取り計らい下さるべき旨) 江府懸 り→御在所御掛様	9月13日	横切継紙/(え 106-1~61は一 綴)・1通	え106-4
(書状、別紙の通り差し上げるので御落手下されたき に付) 八田喜兵衛様→水井忠蔵様	4月20日	切紙/(え106-1 ~61は一綴)・1 通	え106-5
(書状、3月中差紙の儀は分かり兼ねるので、善左衛門 取り計らいの御貸下帳をお借し下さるようお願いに 付) (八田)辰三郎→(八田)喜兵衛様	4月29日	横切継紙/(え 106-1~61は一 綴)・1通	え106-6

(書状、金12両差し上げるのでお承知下されたき旨、並びに増田も漸く一昨9日願いの通り命じられた旨) 佐竹周蔵→(八田)喜兵衛様	12月11日	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-7
(書状、このたびお調べの売買所上納金並びに向々御払荷造帳が手元にあればお廻し下されたきに付) (八田)喜兵衛→(八田)嘉助様	20日	切紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-8
(書状、廻談のところ別紙の通り異存なきに付、即刻買出し出来るよう仲買行司へ申し渡されたき旨) 松本源八→八田喜兵衛様	5月26日	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-9
覚(残糸310本13ヶ月御札金8匁1分2厘他、銀24匁3分7厘金銭書上) 御会所御用達→松源(松本源八)様	戌12月	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-10
(書状、近日調べ上げ仕りたく、御才覚申し上げるに付) ■■■儀右衛門→八田嘉助様	2月21日	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-11
(エトヲ判12本代27匁6分他金銭書上) 山田安次郎→山崎久右衛門様	8月23日	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-12
(書状、売買所より差出の荷送帳は間違いにてこの程引き合いのところ、為替金等取り計らいのため増田が早々出府するよう願うに付) (佐竹)周蔵→(八田)喜兵衛様	8月18日	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-13
おほへ(白紬7丈・斜子2丈2尺1寸他書上) 藤吉→御[] (綴紐)	午8月	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-14
覚(御時拝借金17両2分受取に付) 増田孫兵衛(印「信州松代本町増田」)→八田嘉助様	戌5月16日	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-15
(書状、紬は盆前の内に出荷したき御約束のところ相場も立ち兼ね私共も心配なので、捌方直合の沙汰なさらぬよう願うに付)		横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-16
覚(古木代金3分受取に付) 平林村弥忠治・代判佐竹周蔵(印)→御産物方御会所	子4月25日	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-17
覚(粉薬代2匁4分5厘他、43匁3分銭300文金銭書上)	(3月晦日~5月9日)	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-18
(金165両2分2朱銭184貫50文金銭書上)		切紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-19
(金8両1分銭17貫600文金銭書上)		横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-20
(金131両の内絹紬代113両2分他金銭書上)		切紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-21
(金114両銭111貫750文他金銭書上)		横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-22
(金43両3分2朱銭58他貫300文他、192両3朱銭766文金銭書上)		横切紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-23
(書状、例年の通り挽拔蕎麦下された御礼) *下書 八田嘉右衛門知義(花押)→七沢喜右衛門様・若林武太夫様		横切紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-24

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

(書状、桐油包1ツ江府表御会所へお届けに付) 山田 宗古	8月7日	切紙/(え106-1 ～61は一綴)・1 通	え106-25
(書状、寺領木綿並びに布中買の者共到着、例の通り 取り計らうべきに付) 山寺源太夫→産物会所掛中	8月5日	横切紙/(え 106-1～61は一 綴)・1通	え106-26
(書状、愛之助袖売の儀は、当所へ出て鑑札を受け、中 野へ袖持参することなきよう申し渡すに付) (堀 内)与一右衛門→御会所様	9月3日	切紙/(え106-1 ～61は一綴)・1 通	え106-27
(書状、御預所長沼村愛之助が袖中買商売始めたきに 付、当御城下町市へ差し出してよかに付)		横切継紙/(え 106-1～61は一 綴)・1通	え106-28
(書状、荷造り入料増しの趣取扱方を江府大店向へ尋 ねるに付他) *下書		横切継紙/(え 106-1～61は一 綴)・1通	え106-29
覚(縮緬浅黄無地代9匁6分他ノ309匁1分金銭書上) 大黒屋甚兵衛(印)→増田孫兵衛様	午5月19日	折紙/(え106-1 ～61は一綴)・1 通	え106-30
覚(横麻上下代48匁の内代金2歩受け取り、残り銀18 匁銭8文金銭書上) 白木屋(印「日本橋南一丁目白木屋 彦太郎かけねなし」)又七・由兵衛→岡野陽之助様	11月15日	横切紙/(え 106-1～61は一 綴)・1通	え106-31
(書状、御上納金受取印書並びに御納戸戻しの1朱金 差し上げるに付) (水井)忠蔵→(八田)喜兵衛様印書并 銀子入	2月7日	横切継紙/(え 106-1～61は一 綴)・1通	え106-32
(文左衛門へ21貫185匁他ノ124貫408匁金銭書上)		横切継紙/(え 106-1～61は一 綴)・1通	え106-33
口上覚(私娘病気のところ養生叶わず死去、当月26日 迄忌中に付) 中町善左衛門→御元方様	正月17日	切紙/(え106-1 ～61は一綴)・1 通	え106-34
(書状、同心町斎藤円七へ送り金為替願いを受け取っ たので、私よりの手形引き替えに正金6両お渡し下 されたきに付) (佐竹)周蔵→(水井)忠蔵様	12月18日	横切継紙/(え 106-1～61は一 綴)・1通	え106-35
(書状、別封の通り佐竹氏より為替金6両申し来ると ころ、私手には為替の金子無きに付、御手の方にて 繰り合ひ下されたきに付) 水井忠蔵→八田喜兵衛様	12月27日	横切継紙/(え 106-1～61は一 綴)・1通	え106-36
覚(横麻御上下差し上げるので御入手されたきに付) 白木屋又七・由兵衛→岡野陽之助様	極月朔日	横切紙/(え 106-1～61は一 綴)・1通	え106-37
覚(琉文9枚代20匁7分他ノ76匁8厘銭1貫94文お払い 願い上げるに付) 大黒や徳兵衛→御産物方御会所	西8月	横切継紙/(え 106-1～61は一 綴)・1通	え106-38
覚(友吉上納分金50両他ノ金130両1分金銭書上)		切紙/(え106-1 ～61は一綴)・1 通	え106-39
(払元金114両銭111貫750文他ノ金192両1分1分2朱銭 212文金銭書上)		切紙/(え106-1 ～61は一綴)・1 通	え106-40
(書状、御領産懸札御許容下されたき旨願いに付、 往々他売買所の差し支えになるか伺い) *下書/前 欠		横切継紙/(え 106-1～61は一 綴)・1通	え106-41
(書状、布袋屋手代莊五郎へ下される御目六その他両 人への同道はお聞き済みのため取り計らうべきに 付) 松木源八→八田喜兵衛殿	3月30日	横切継紙/(え 106-1～61は一 綴)・1通	え106-42

覚(御納戸縮緬2丈代40匁他ノ140匁8分9厘金銭書上) 唯吉→長崎源吾様	申極月	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-43
覚(御扶持の内金3分御中預り請け取りに付) * (端裏書)「治左衛門渡金之内三分御番人江相渡ス」 治左衛門→御会所御役人中様	天保6年未之3月23日	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-44
覚(御内用銭100文金銭書上) 御番人庫之助	午11月	小切紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-45
覚(筵包3並御駄賃金2分3朱受取に付) 御飛却林平(印)→御会所	午11月29日	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-46
覚(紬切4尺代2匁5分6厘他ノ26匁7分2厘金銭書上) 御産物方善兵衛→松木(源八)様	未12月	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-47
(書状、紬方滞の儀は、取り調べの上御上納なさるべき旨仰せのところ、今以て沙汰も無きに付) 拝借掛→(八田)喜兵衛様・(八田)辰三郎様・(八田)嘉助様	8月29日	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-48
(坂本氏為替金20兩他ノ金50兩より、別段紬代の内孫兵衛へ渡し分18兩2分他を差し引き102兩2分不足に付)	9月20日改	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-49
覚(御貸下金90兩並びに礼金3兩受取に付) 八田喜兵衛(印墨消)→内川村柳八	天保7申年9月29日	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-50
(産物会所御仕法替に付願いの通り命じるので、以来御締筋嚴重に心掛けるべきに付) →増田孫兵衛	12月	切紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-51
(紺屋町和七・同豊吉当辰年番に付) →糸御会所	天保3辰年12月	切紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-52
(書状、印鑑の儀は文字5ツの内、初めの方が見やすくして然るべきなので、彫刻出来の上差し出すよう仰せに付) 松本源八→産物会所懸中	10月7日	横切紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-53
(書状、差し懸かり入用なので紬方上納金拝借したきに付) (八田)喜兵衛→(八田)嘉助様	12月26日	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-54
覚(5兩の内真木代1兩他差し引きノ残金3兩2分1朱銀2匁2分1厘差し上げに付) (佐竹)周蔵	12月29日	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-55
覚(江府御産物代金拝借の分金4兩上納、請け取りに付) 八田嘉助→才領組弥平殿	天保6未年6月	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-56
覚(天保6年12月拝借金30兩の内代金御取替の分他差し引き残金25兩3分銭33文、御改入帳下さるべきに付) (八田)嘉助	6月	横切紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-57
(松居庄右衛門友吉引受金41兩3分銭212文他金銭書上)		折紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-58
(卯年納の内白絹18匹・うね織1匹他書上)	(辰)10月5日	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-59
(書状、伊勢屋市郎兵衛より金1兩1分銭72文を添えて書状到来のためお届けに付) (大塚)孝三郎→(八田)嘉助様	4月7日	横切継紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-60

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

覚(曾代絹4疋代金4両銀11匁5分8厘宜しきよう頼みに付)	11月4日	折紙/(え106-1~61は一綴)・1通	え106-61
(産物会所書状・領収書他綴)		綴/(え105-1~82は一綴)・1綴	え105
(書状、去暮御中借30両御印書差し上げるので兵庫殿へお渡しになり30両の証文と引き替えるべきに付) 大嶋武左衛門・斎藤善九郎→八田嘉右衛門様証文入		横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-1
(書状、小川一条はこのたびは引き詰めも致し兼ねるので、別帳はご覧になり今日中に差し出し下さるようお願いに付) 隠居→寺町様差上申候	23日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-2
覚(武鑑代3匁7分5厘他メ金17両銀4匁9分勘定承知に付) (佐竹)周蔵→(八田)喜兵衛様	11月	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-3
(書状、会所土蔵釣棚の儀は承知の旨、並びに先日の12通留差し戻すに付) 松本源八→松本嘉十郎様	9月21日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-4
覚(碌球包板メ1箇代14貫300文他請け取りに付) 会所	12月20日	切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-5
(御内用に付上州高崎辺までも罷り越したき旨並びに小判20両他メ142両金銭書上)		横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-6
(書状、越後より御領分へ入る塩直段高直のため水内郡古間宿与右衛門申し立て通りに成し下されたきに付) (堀内)与一右衛門→(八田)喜兵衛様	4月28日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-7
(書状、9月30日出の御荷物違いは10匁に付、荷送帳の写しを別紙の通りお目に懸けるに付他) 山崎久右衛門→八田喜兵衛様	10月10日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-8
九月晦日出之内(染縮緬金メ13両3分銀2匁8分5厘荷送帳丸写し他内々貴意を得るに付) (山崎)久右衛門→(八田)喜兵衛様	10月10日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-9
(書状、中町近江屋作右衛門手代仕入物に上京の節差し登せたき件、品代金差し支えの趣も聞かないので登せたき旨内評に付) *下書		横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-10
(書状、江府へ差し出し置いた古紬捌き兼ね入札に罷り成る件、古紬は見得悪しく引金になるので、粘打直し取り計らいたきに付) *下書		横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-11
(書状、三井店より坂田孫兵衛への送り金360両為替上納に付、樋口一平殿請け取り証文1通・御郡方への御用状を送るに付) 江戸店掛り→御在所御掛り様	10月晦日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-12
(渡し高メ金71両3分他無尽掛金書上)		横切継紙/(え105-1~82は一綴)/(継目剥離し3枚綴)・1通	え105-13
(書状、産物会所普請出来にて明15日開きの儀、御勝手方へ申し立ては承り済みに付) 石倉源左衛門・松本源八→会所懸中	6月14日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-14
(申11月3日金120両他西正月6日出の便り送り分金銭書上)		切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-15

(書状、産物会所納めの品々は木町売買所にて捌きのところ、買継商人増しこれまでの通り本町6軒に店張らせたきに付) * (端裏書)「産物売買所之儀奉伺候書面」 産物会所掛	9月	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-16
白紬(高井へ3分1匁150文他、12疋他金銭書上)		折紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-17
(金157両1分2朱余他金銭書上)		折紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-18
(上糸・中糸・下糸代金、2両2朱銀2匁3分7厘受け取りに付) 為印	(天保4年)巳5月3日	折紙/(え105-1~82は一綴)/(虫損あり)・1通	え105-19
覚(御代官上納金6両3朱銭867文他、金37両3分3朱銭867文去年の振り合い凡金高書上)	12月8日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-20
(書状、数右衛門へ申し置き、の無尽御懸金頂戴したきに付) (八田)競→(八田)嘉助様	12月29日	切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-21
(書状、小林氏より預り金返済の儀、返金しなくては私方の繰り合い悪しきに付差し出さるべきに付) * 下書 (八田)嘉助→藤吉様	極月21日	切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-22
覚(御掛金、13両2分3朱銀1匁6分1厘願ひ上げに付) (中島)渡浪		切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-23
(書状、去暮延引取の件今朝差し上げたので御落手成されたきに付他) (大嶋)磯右衛門→(八田)嘉助様	正月5日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-24
覚(家賃地年貢取集高金90両2分1朱銀3匁5分他、129両1分1朱銀1匁8分4厘の内、金110両は上納に付、残金19両1分1朱銀1匁8分4厘寄金書上) (長崎)源吾	酉2月	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-25
(書状、小林量吉跡夫助金御預けの分御下げ金の件、当節まで取り集め分の金5両上納に付) 藤吉→(八田)嘉助様金子添	12月22日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-26
書取を以申上候(当月下旬には雪も降る土地にて雪囲の手充等あるに付、一日も早く代り合の者差し遣わされたきに付)	8月[](綴紐)	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-27
(書状、買継藤吉上納方取り調べに付、麻代金は済み、残り上納は7月中旬までは出来兼ねるに付) 松本源八→八田喜兵衛殿	7月8日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-28
縮緬上納辻(ちりめん13疋元利とも25両2分2朱他、金25両3分銭376文差引き、金15両銭376文金銭書上)	10月26日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-29
(書状、会所御番人茂右衛門代には徳治組吉郎右衛門御用弁宜しきに付、右の者に仰せ渡されたきに付) * (端裏書)「会所御番人之儀付御内々申上」	12月28日	切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-30
(書状、産物会所の儀至って御用多く万端の手数悉く増し当惑に付、早速御増人下されたく願うに付) 八田喜兵衛・松本嘉十郎・山崎久右衛門	9月朔日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-31
(書状、別紙の通り御用紙を先達で中差し上げたので、代金をこの者にお渡しくださるべきに付) 御用紙方→八田喜兵衛様	7月12日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-32

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

覚(下端切紙8束代金1両銀6匁4分他代金1両1分銀5分 金銭書上)		横切継紙/(え 105-1~82は一 綴)・1通	え105-33
(書状、大丸屋次郎兵衛・嘉助より柏屋藤吉への送り 金為替願立の儀、大嶋富治殿為替証文並びに御勘 定吟味御役方よりの御状は仰せ越しの通り取り計 らうに付)		横切継紙/(え 105-1~82は一 綴)・1通	え105-34
(書状、去月下旬大丸屋次郎兵衛・嘉助より柏屋藤吉 への送り金願の儀、為替証文・御勘定御吟味御役方 より御郡方への御懸合状を藤吉へお渡し下された かに付) 江府兩人→御在所御懸り様	7月17日	横切継紙/(え 105-1~82は一 綴)・1通	え105-35
覚(卯メ金547両2分銭555文より辰メ金453両銭6貫 527文差し引き金93両2分銭428文金銭書上)		切紙/(え105-1 ~82は一綴)・1 通	え105-36
(若宮村新左衛門・紺屋町藤吉兩人願の趣承り済みに 付) 松本源八→会所掛中	5月18日	横切継紙/(え 105-1~82は一 綴)・1通	え105-37
覚(6箇受け取りに付) 池田春蔵(印)→御産物御会所	未2月7日	横切継紙/(え 105-1~82は一 綴)・1通	え105-38
(書状、嘉助様御在府中御取替分金83両1分他メ金100 両1分銀4匁9分内100両為替証文お廻し下されたき に付他) (佐竹)周蔵→(八田)喜兵衛様	12月29日	横切継紙/(え 105-1~82は一 綴)・1通	え105-39
(書状、産物品々引請代金の儀、捌き次第・為替金取り 計らい方次第のため産物荷造帳写をこの方へお廻 し下されたきに付) (佐竹)周蔵→(八田)喜兵衛様	8月19日	横切継紙/(え 105-1~82は一 綴)・1通	え105-40
(書状、扇荷代金の内300両十八屋虎之助より差し出 す儀、為替証文1通並びに御郡方への御用状共差し 上げるので取り計らい下されたきに付) 江府掛り →御在所御掛中様	10月晦日	横切継紙/(え 105-1~82は一 綴)・1通	え105-41
(書状、昨日申上げた江府為替金の儀、御金出の節 は江府御納戸へ廻すとの内談なので、御便次第仰 せ越し下されたき旨) 水井忠蔵→八田喜兵衛様	11月7日	横切継紙/(え 105-1~82は一 綴)・1通	え105-42
(書状、裏絹は繭糸直段も下落の様子、この場を凌げ ば直も引き下がるや、何とぞ織方御相談お付け下 されたきに付) 孫右衛門→(八田)喜兵衛様当用	3月2日	横切継紙/(え 105-1~82は一 綴)・1通	え105-43
覚(竹原塩133俵他合わせて金63両1分銀4匁2分7厘 運賃掛もの金銭書上) 石崎六三郎(印「越後直江津石崎 六三郎」)→藤屋戸左久殿	閏4月	横切継紙/(え 105-1~82は一 綴)・1通	え105-44
紬荷物差出方伺(大丸手代伝八注文の京登せ紬は新 古の内より選び出して有金の分荷造りし、先頃一 同に差し出したかに付) 産物会所懸	9月18日	横切紙/(え 105-1~82は一 綴)・1通	え105-45
(書状、会所一件の儀、別紙御書付を以って仰せ付け られありがたきに付) 増田孫兵衛→八田喜兵衛様	12月11日	横切継紙/(え 105-1~82は一 綴)・1通	え105-46
(書状、別紙穿鑿に付内宅へ召し呼び申し述べたき儀 もあるので、近々の内に大店向も罷り出るべきに 付他) 矢沢一蔵→松本源八殿	10月22日	横切継紙/(え 105-1~82は一 綴)・1通	え105-47
(書状、先達て仰せの金子は今日まで取り集めの分17 両差し上げるので、良右衛門へお渡し下さるよう 願うに付) 藤吉→(八田)嘉助様金子添	12月28日	横切継紙/(え 105-1~82は一 綴)・1通	え105-48

差引一紙(友吉より小売方へ上納の分直に彼方へ廻す金高74両他差引181両1分2朱銀3匁5分2厘御中借に立つに付)		横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-49
(書状、縮緬綿並びに改方等の儀、別紙の通り孫兵衛より願立のところ、兎角織元一和せず、願いの通り御改方取扱させたまに付) *下書		横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-50
御答(上田表穿鑿はいかにも高直の旨他、別紙草稿を差し戻すに付)	(巳)9月23日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-51
紙之儀御内慮伺下案(御産物御改め御締りにて漣元村々難洪の趣に付、是迄の善光寺稲荷山上田越後等よりの引き合いを、向後市場取引になされたき旨) 産物会所懸	11月	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-52
(上5升代75匁他、511匁9分5厘の金銭書上) いせや弥吉→御産物方御会所	午7月	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-53
覚(筵18枚代690文他、842文請け取書) 御飛脚組池田春蔵(印)→御産物御会所	未2月7日	切紙/(え105-1~82は一綴)/(虫損あり)・1通	え105-54
覚(金10両他、金30両御預かりに付) 会所(印)→酒御店	申7月13日	切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-55
覚(天水桶1本代650文他金銭書上) 太助→会所		切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-56
覚(天水桶代1朱他金銭書上) 中町清兵衛	6月18日	切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-57
(天水桶・飾桶を太助へ見せ、別紙の通り代付差し出すに付) *後欠		切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-58
(下境村名主永右衛門・利左衛門渡し金80両他金銭書上)		切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-59
(書状、去冬中惣兵衛差し出しの白布代金は、荷造書穿鑿すべき旨会所御元帳御書抜一分相違、引き替え下されたきに付) (松沢)文右衛門→(八田)喜兵衛様	8月21日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-60
(書状、増田孫兵衛願いの趣は名代を以てお請け申し上げるべきか御差図下されたきに付) 江府懸り→御在所御懸り中様	12月9日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-61
(書状、2月より10月迄御勘定のところ、10月晦日の分を御本送り成し下されなくては御勘定差し支えるに付) 江府懸り→御在所御懸り様	12月25日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-62
急廻章(このたびの御触は謂われなき冥加との趣に付極内々御問合わせされたく願うに付) (八田)喜兵衛・(松本)嘉十郎→(中島)三右衛門様・(水井)忠蔵様・(堀内)与一右衛門様	11月15日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-63
(書状、増田為替上納願いにて金100両受け取り御納戸へ収め、証文並びに御郡方への御用状差し遣わす御差図下されたきに付) 江府掛り→御在所御掛り様	12月晦日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-64

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

(書状、松本嘉十郎より内懸合の件、三井店平七中野表旅宿へ嘉十郎を差し遣わし、表向き示談の詮議に付) *下書		横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-65
(書状、大丸三井店方の者越年に付嘉儀下され方申し立ての件、宜しく御取り計らいたきに付) 磯田音門→産物会所中	12月29日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-66
(酉2月18日伊勢町様へ上納金129両2分1朱銭166文他金銭書上)		横切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-67
(紺屋町藤吉金79両他金銭書上)	10月13日~23日	切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-68
(書状、宮沢氏へ御才覚金御受けの御差紙同人様へ渡しお引き替えの儀取り計らうべきに付) 良右衛門→(八田)喜兵衛様	3月23日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-69
(書状、江府へお廻しの為替証文慥かに落手に付) 御金掛→(八田)喜兵衛様・(八田)嘉助様	4月18日	切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-70
(書状、お渡し下された御相談書の儀は一同得と相談してお答えしたきに付他) 拘沢・山野拜→松本(嘉十郎)様	7月20日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)/(虫損あり)・1通	え105-71
(多賀坊帰り伝馬1疋に付) 伊勢町巳之作	未12月8日	切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-72
(御役荷物江戸表へ御出しの節、伝馬6疋の内1疋に付) 伊勢町小八	未7月3日	切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-73
(諏訪宮擬祝名代帰り伝馬1疋に付) 伊勢町小八	未12月9日	切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-74
(紬織元真綿繰合方須坂村坂田清右衛門他2名、紬中買共織元へ下直に売り渡し、真綿仕入れ手配するに付) *下書		折紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-75
(伊達新十郎書ノ5ツ1両2分他書付)		切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-76
(書状、冥加金御調書お廻しの御礼、並びに紬方御中借金に付別紙調書廻すに付) (水井)忠蔵→(八田)喜兵衛様	6月10日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-77
(書状、去巳年御預役所御出来の節非人共へ下され物の御問合に付) 山下勇作→堀内与一右衛門様貴報	17日	横切継紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-78
覚(綿内大小注文書入料積立御頼みに付)	8月	折紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-79
(紬19疋代15両3分銭18貫50文他金銭書上)		切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-80
(書状、内川村重兵衛へ別紙両通と金4両銭240文お渡し下されたきに付) (中島)三右衛門→(八田)喜兵衛様・(八田)辰三郎様	29日	切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-81
(藤吉へ紬代金100両借用他金銭書上)	(午11月~亥9月)	横切紙/(え105-1~82は一綴)・1通	え105-82

(産物取引関係書類綴)		綴/(旧封筒一括だが、整理作業時に2点であることが判明したため、枝番号え841-1と841-2とする)・2綴	え841
(産物取引に関する約定書他綴)		綴/(え841-1-1～8は一綴)・1綴	え841-1
約定一札(松代・大坂間の産物取引に付) *端裏貼紙に約定書受取証文付き 大坂炭屋孫七(印)→松代様御産物附菊屋伝兵衛殿・塩屋三郎殿・藤屋戸佐久殿	嘉永2己酉年4月	堅継紙/(え841-1-1～8は一綴)・1通	え841-1-1
乍恐以書付奉申上候(領内産物を越後より船積みで大坂に送るに付他) *下書		堅継紙/(え841-1-1～8は一綴)/(貼紙あり)・1通	え841-1-2
乍恐以書付御聴置奉願候(麻布尺幅不足是正のため議定取り決めに付) 新町村市場行司惣代喜右衛門(印)・伴右衛門(印)、(奥書)右村(新町村)名主音吉・組頭源右衛門・同断源兵衛・長百姓市之丞→御産物御会所	天保15辰年10月	半/(え841-1-1～8は一綴)・1冊	え841-1-3
乍恐以書付奉歎願候(金2両受取のところが紛失にて不埒故友吉様・庫之助様へお詫びに付) 山布施村元菊次郎事清三郎(印)、(奥書)右村(山布施村)名主清三郎(印)・組頭倉吉(印)・長百姓吉郎兵衛(印)→御産物方御会所	天保15辰年正月	半/(え841-1-1～8は一綴)・1冊	え841-1-4
(細美布尺幅他議定に付) 新町村市場行司惣代喜右衛門・伴右衛門(印)→御産物御会所	天保15辰年11月	半/(え841-1-1～8は一綴)/(虫損甚大)・1冊	え841-1-5
一札(松代産物の大坂売り捌き方議定に付) 小西彦七・鍵屋彦右衛門、(奥書)松代御産物附菊屋伝兵衛代栄八→炭屋孫七殿	嘉永2酉年6月	堅継紙/(え841-1-1～8は一綴)・1通	え841-1-6
御請一札之事(大坂へ登らせ甘草の儀値段引き下がり売り捌き勘定差し引きの儀出来かね心配にて、炭屋土蔵へ入れ置き荷品虫食いにて損耗の儀もあり、申し談じ片付けるべく上坂に付) (菊屋)伝兵衛・太三郎・戸佐久→水井忠蔵様・松本嘉十郎様	嘉永6丑年4月	堅紙/(え841-1-1～8は一綴)・1通	え841-1-7
乍恐以書付奉願上候(荷物出荷の際の改判を致したきに付) 伊勢町伝兵衛・木町惣兵衛・紙屋町戸作・御預り所小布施村三郎・妻科村喜兵衛伴佐太郎→御産物御会所		堅継紙/(え841-1-1～8は一綴)・1通	え841-1-8
(産物取引に関する議定書等綴)		綴/(え841-2-1～13は一綴)・1綴	え841-2
一札(松代産物葉種類の大坂売り捌き方に関する議定書) 炭屋孫七→鍵屋彦右衛門殿・小西彦七殿	嘉永(2)酉年6月	堅継紙/(え841-2-1～13は一綴)・1通	え841-2-1
(包紙) * (包紙上書)「上 市場世話役惣代仁兵衛・弥十郎」市場世話役惣代仁兵衛・弥十郎→上		包紙/(え841-2-1～13は一綴)・1点	え841-2-2
以書付奉歎願候(上田海野町糸買奈良屋治左衛門、惣八郎30年来定宿のところが当秋欠落仕り御冥加金・宿料等も払わず共数十年来の糸買にて当年は取り延ばし下さりたきに付) 市場世話役惣代仁兵衛(印)・弥十郎(印)→御産物御会所	天保15辰年12月	堅継紙/(え841-2-1～13は一綴)・1通	え841-2-3

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

(包紙) * (包紙上書)「上 紬中買」 紬中買→上		包紙/(え841-2-1~13は一綴)・1点	え841-2-4
乍恐書付奉願候(若宮村笹吉仲間加入の義不服にて表申し上げ、段々ご理解恐れ入り、上様の御意次第毛頭違省致さずに付) 紬仲買行司久蔵(印)・文吾・新五右衛門(爪印)・熊蔵(印)・文右衛門(印)→御産物方御会所	天保15辰年11月	堅紙/(え841-2-1~13は一綴)・1通	え841-2-5
(包紙) * (包紙上書)「上」 →上		包紙/(え841-2-1~13は一綴)・1点	え841-2-6
乍恐内々以上上奉伺上候(産物明礬江戸輸送方、私近親浦野宿助九郎へ任せ下さる様に付) 中町新三郎→御産物御役所	天保15辰年8月	堅紙綴/(え841-2-1~13は一綴)・1通	え841-2-7
(包紙) * (包紙上書)「上 田野口村良右衛門」 田野口村良右衛門→上		包紙/(え841-2-1~13は一綴)・1点	え841-2-8
乍恐以書付御縫奉願候(田野口村良右衛門の蘭仲買御鑑札返上仕るべくところ病氣などにて忘却恐れ入り、御情けを以て御鑑札返納聞き済み成下されたきに付) 田野口村名主文左衛門(印)・組頭嘉十郎(印)・長百姓恒右衛門(印)→御産物方御会所	天保15辰年4月	堅紙/(え841-2-1~13は一綴)・1通	え841-2-9
乍恐以書付御内々奉願上候(御国産甘草商売御鑑札渡し、町方において買継問屋3・4ヶ所に仰せ付け、それぞれ各問屋へ積金大坂へ遣わし、都合を以て取り計らいに付) 御町方商人惣代馬喰町虎吉→御産物方御会所御役人中様	嘉永3戌年12月	堅紙綴/(え841-2-1~13は一綴)・1通	え841-2-10
乍恐以書付奉願上候(国産甘草輸送中難風にて取り成し下さりたきに付) 伊勢町伝兵衛→御産物方御会所	嘉永3戌年10月	堅紙/(え841-2-1~13は一綴)・1通	え841-2-11
乍恐以書付奉願候(甘草商売渡世の御鑑札頂戴、仲間規定相守り冥加金上納に付) * 下書 上田御領→御産物方御会所	嘉永3戌年12月	堅紙/(え841-2-1~13は一綴)・1冊	え841-2-12
奉差上一札之事(御領産甘草御鑑札頂戴並びに出荷の際の取り決めに付)		堅紙/(え841-2-1~13は一綴)・1通	え841-2-13
(産物会所御内慮伺他綴)		綴(え854-1~28は一綴)・1綴	え854
(袋) * (袋上書)「雑書類」	万延元年申年6月	袋/(え854-1~28は一綴)・1点	え854-1
以書付申上候(稲荷山村源之丞に預ける旨新右衛門へ仰せ渡されたきに付) 世話役関新右衛門・堀内斧右衛門・中村市三郎→御産物方御会所	正月24日	切紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-2
(書状、冥加巳午兩年滞り分上納御免伺うに付) 宮下主頭→産物会所惣中	閏3月3日	横切紙綴/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-3
(書状、売買所をもって仰せ渡された儀、江戸においても御沙汰はあるものと思うが、いずれも申し上げた通りで宜しきかに付) * 慎蔵から喜兵衛に宛てた書状に、喜兵衛が直接返書を認めている (八田)喜兵衛→(八田)慎蔵様	20日	切紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-4
(書状、彦次郎願書一件は不容易に付) 勘左衛門→(八田)慎蔵様	閏4月20日	切紙綴/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-5

御預所村々諸鑑札渡御領内同様之願ニ付伺 産物掛	2月	切継紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-6
(書状、別紙の伺承り済みに付) 河原舎人→高田幾太殿	2月13日	切紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-7
(書状、他領産物方諸御印鑑札他に付) 産物会処懸	2月	切継紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-8
(書状、善光寺杏干仁鑑札別帳に受けるに付) 磯田音門→産物会所掛中	4月8日	切紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-9
(書状、御本丸普請用途莫大のため、御国恩冥加金上納有志の者取調べるに付) 中之条御役所→埴科郡中之条村更級郡今里村迄右村々役人	申年2月20日	切紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-10
(書状、当村御国恩冥加金上納に付御仲間御取り極め他に付)	2月27日	切継紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-11
(書状、御国恩金上納に付兩人へ別紙にて申し立てるに付) (八田)喜兵衛・(八田)慎蔵→(水井)忠蔵様・(春日)儀左衛門様	2月21日	横切継紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-12
(書状、別紙の旨承知成らるべきに付) 重郎兵衛→八田慎蔵殿	6月17日	切紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-13
(書状、昨日の近小(近江屋小兵衛)為替金一条に付、別紙伺を差出すべきか、またその場合差出先は御町方か御郡方か、御内慮伺いたきに付) (八田)喜兵衛・(八田)慎蔵→(水井)忠蔵様・(春日)儀左衛門様	2月27日	切継紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-14
(書状、馴れ合い規定致し他国に入れ込み売買に付) (春日)儀左衛門	2月21日	切継紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-15
(書状、善光寺領の者木綿布仲買鑑札願別帳の通り、申出取り計らいに付) 磯田音門→産物会所懸中	8月5日	切継紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-16
(書状、書面をもって為替金渡すに付) (八田)慎蔵・(八田)喜兵衛→(水井)忠蔵様・(春日)儀左衛門様	2月25日	切継紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-17
(今夕ご都合次第寄合願に付)	26日	切紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-18
(書状、源之助願惣兵衛返前書御廻しに付)	2月26日	切紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-19
(書状、杏仁村々御触等書き入れ伺い、差図の由承知くださるべきに付) (八田)慎蔵・(八田)喜兵衛→(水井)忠蔵様・(春日)儀左衛門様	6月4日	切紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-20
(書状、冥加金上納罷り成るに付) (水井)忠蔵・(春日)儀左衛門→(八田)慎蔵様・(八田)喜兵衛様	6月朔日	切継紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-21
(書状、別紙の通り心得なさるべきに付) 宮下兵馬→八田慎蔵殿	6月4日	切紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-22
相州津久井縣彦治郎願之儀ニ付御内慮伺(横浜小売店の分は1軒御領産取扱所の名目に仕りたきに付) 産物会所懸	閏3月	横切継紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-23

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

杏仁商売方御取締之儀ニ付伺(御領産杏仁商売渡世の内、心得違いの者、無鑑札にて杏仁商売仕らざる旨、別帳杏仁場村々に御触成し下されたきに付) 産物会所懸	6月	横切継紙/(え854-1~28は一綴)/(貼紙あり)・1通	え854-24
(書状、杏仁取締方別紙の通り会所懸下げ札に付) * (端裏書)「回章」(宮下)兵馬→(山寺)源大夫様・(磯田)音門様・(斎藤)友衛様・(徳田)重於様・勘左衛門様	6月4日	切継紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-25
(書状、別紙伺の通り承り済み、案文の通り申し越さるべきに付) 小山田壱岐→高田幾太殿	閏3月晦日	切紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-26
蚕種致共冥加金上納之分ニ付伺(蚕種致す共冥加金上納、中之条長に別紙案の通り遣わされたきに付) 高田幾太	閏3月29日	切紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-27
津久井県彦次郎住所違御尋ニ付申上(佐藤彦次郎住所不明に付) 産物会所懸	閏3月	切継紙/(え854-1~28は一綴)・1通	え854-28
(書状綴)		綴/(え844-1~55は一綴)・1綴	え844
(袋) * (袋上書)「来状入」		袋/(え844-1~55は一綴)・1点	え844-1
(書状、今日会所へ出役致したいが昨夜より風気にて平臥し熱が強いので出役できない旨宜く御執成し願いたきに付) 市治→清右衛門様・(関田)莊助様	7月朔日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-2
(書状、今日出勤日のところ平臥にて御繰り合わせかた願ひ且つ持参御印鑑7つ他差し上げ落手方成されたきに付) 潤蔵→(八田)慎蔵様	7月17日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-3
(書状、生糸へ用いる紙元結厚太の品捌き方にも宜しからずにて御触示されたく、御鑑札引揚げの序でに仰せ渡されるよう別紙認め書差出すので御印鑑成くだされたきに付) 調役	7月19日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-4
(書状、領内生糸御改めの触の徹底方法伺いに付) 産物方御役所		切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-5
(書状、産物会所御普請入札の儀尋ねたく、明19日八田慎蔵役宅まで罷り出べきに付) 産物方御役所→御安口 市兵衛		切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-6
(書状、生糸貫目改元帳並びに冥加関連帳面雛形、腹蔵無く評議を願うに付) * (端裏書)「六月廿九日 御内評」 会所掛→会所掛様	6月29日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)/(貼紙あり)・1通	え844-7
(書状、帳面并印鑑箱入差上げ落手方に付) 清右衛門→(丸山)保次様	6月27日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-8
当番割(7月11日~14日までの当番割書上)		横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-9
(書状、杏干荷物輸送60駄余にすべき願い他に付) 斎助→御掛り様		横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-10
(書状、蚕種集荷遅れの催促に付) 富岡良右衛門→青柳増五郎様	3月19日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-11

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

(書状、1000両証文の内500両分引き替えの為証文書き換え願いに付) 清右衛門→市治様	5月20日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-12
(書状、別紙の通り触を廻すべきに付) 草(草間)一路(印)→町外当年番い組(印)他36組右組々役人	7月6日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-13
(書状、改印無き縮緬・白紬他は商売御鑑札所持者以外へ売り渡し禁止に付)		横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-14
(書状、紬の丈尺他規定を定めるべきに付) 丸山保次・関田莊助→八田慎蔵様	7月17日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-15
(書状、蚕種見込御鑑札願人取調に付) (富岡)良右衛門→善四郎様	3月29日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-16
(書状、今日御引き替え仰せ渡されるに付) 庶務掌→商法掌御中	8月望日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-17
(書状、私親類下布施村山崎寛左衛門官札200両借入、その節商法札200両御下げに相成るところ、この度用立返金御規則替えとなり迷惑に付) 斎助→(富岡)良右衛門様・(八田)慎蔵様	8月15日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-18
(書状、宜しくお取りはからい下されたきに付) 潤蔵→(八田)慎蔵様	5月11日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)/(虫損あり)・1通	え844-19
(書状、糸蚕種鑑札の件で罷り出のところ、今日は休日の趣にて、鑑札は宿清三郎へ預置に付) 潤蔵→(八田)慎蔵様	5月11日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-20
(書状、蚕種のため御下金願に付) 潤蔵→(八田)慎蔵様	5月15日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-21
覚(江戸御総督府よりの飛脚賃2両248文受取に付) 御飛脚取次石倉周左衛門→検断所	辰5月5日	横切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-22
(徳間村庄右衛門他人名書付)		横切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-23
(書状、為替金60両お渡し願いに付) (丸山)保次→(小野)唯之進様・清右衛門様	7月19日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-24
覚(糸繭買鑑札冥加金1両他金銭書上)		横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-25
覚(10月中取立上納金メ4両2分2朱に付) (青柳)増太郎	(明治3年)庚午閏10月11日	横切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-26
(書状、蚕まゆ買入商人へ松代御産物御役所より御鑑札御下げ渡し願いたきに付) 兵左衛門→幅場御旦那様	5月10日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-27
蚕種取締(綱掛村卯右衛門他取締役9名書上)		横折紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-28
覚(蚕種300枚御改め済みに付) 山岡栄治(印)・伊勢や徳右衛門→御産物方御会所	慶応元丑年7月	横切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-29

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

産物会所御番人之儀ニ付申上(肴町綱右衛門らを番人にすべき他に付) *下書 産物会所掛		横切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-30
なつご種の事(夏種を改良し外国に売り出すべきに付) *下書		横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-31
(書状、天秤の儀、御状拝見秤座へ罷越し相誂え御便り次第第送上すべきに付) 五一郎・常左衛門・柔兵衛・案之助→丈左衛門様・(佐竹)周蔵様・龍助様・権右衛門様・(八田)慎蔵様・清右衛門様・(小野)唯之進様・潤蔵様	6月9日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-32
(書状、木綿商売の者別紙の名前のとおり鑑札返却落手致すに付) *下書		横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-33
(書状、生糸提巻紙他を厚紙から薄紙に替えるべきに付) *下書		横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-34
鑑札渡(里方他鑑札配布日時に付)		切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-35
(能登屋富作譲り渡し間口9間2尺余の地代金532両に付) *下書		横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-36
(書状、修善院重日来る8日に当たり匁夕差し上げた、同日8ツ時より御光来下されたきに付) 栄作→(丸山)保次様	7月6日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-37
(書状、品々御見込御加筆成し下され有り難く、篤と拝見の上調べかへ申立仕たきに付) 藤右衛門→栄助様	7月10日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-38
(書状、諸品受取落手されたきに付) 清右衛門→(丸山)保次様・(関田)莊助様	7月3日	切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-39
(書状、下布施村寛右衛門願の官札と商社手形差引に付) *え844-18と関連 斎助→御当番様	8月18日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-40
(佐竹周蔵他人名書上)		切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-41
(書状、木綿商売のもの共別紙名前の通り御鑑札返納に付) *え844-33と関連 山極主馬・今井磯左衛門→磯田音門様・成沢勘左衛門様・斎藤友衛様・草間一路様・根津繁人様	8月11日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-42
(別紙伺いの通り取りはからうべきに付) 岸善八		横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-43
(書状、商社為替手形引換方心得並びに手続きに関する評議結果伺いに付) *(端裏書)「商社手形引換等之儀ニ付伺」 引換掛	5月	横切継紙/(え844-1~55は一綴)/(附札あり)・1通	え844-44
(書状、今般商社御改正のため、商社積立金規則を制定し、しかと仰せ渡されたきに付) *(端裏書)「商社積立金御規則等之儀ニ付別紙相添申上」 清右衛門	11月6日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-45
口上(産物荷物5駄ほど新潟へ差し下したく、着札25枚この者へ渡されたきに付) 大忠→青柳(増太郎)様・池田良右衛門様	11月8日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-46

商社規則書 * (端裏書)「商社規則書」	11月6日	横切継紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-47
(八田慎蔵100両他ノ600両積立金書上)		切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-48
(八田慎蔵50両他ノ150両官札献金書上)		切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-49
(朱印「信州松代産物会所」)		切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-50
(「市村北組勝右衛門」)		切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-51
(印「産物方」)		切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-52
(朱印「信州松代産物会所」、「無類別織」、「取締方」、「産物方改印」、印「産物会所」)		切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-53
(八田慎蔵50両他ノ150両官札献金書上)		切紙/(え844-1~55は一綴)・1通	え844-54
蚕種取締(綱懸村卯右衛門他取締役書上)		横長半/(え844-1~55は一綴)・1冊	え844-55
(産物会所関係書類および書状綴)		綴/(え853-1~58は一綴)・1綴	え853
(袋) * (袋上書)「雑書」 八田知衛	慶応元年8月	袋/(え853-1~58は一綴)・1点	え853-1
(書状、若宮村産物取締役中村弥右衛門病死のため、代わって同村中村与惣治に産物改所申し渡すに付) * (端裏書)「若宮村産物役所之義申上」	8月21日	横切継紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-2
(鬼無里村・日影村人名書付)		横切紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-3
(書状、会所方の上納金、今日集め、明日差し出したきに付) 龍助→(八田)慎蔵様	11月13日	横切紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-4
覚(細麻2箇の駄賃2朱200文受取に付) 三水(村)伊助→御役所	11月13日	切紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-5
覚(金2朱200文受取に付) 田野口村広右衛門→御産物御役所		切紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-6
(田野口村広右衛門馬へ調美2箇の賃銭金2朱銭200文御下げ渡しに付) 新町村馬七(印)→御産物方御役所	11月12日	切紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-7
(三水村伊助馬へ調美2箇の賃銭金2朱銭200文御下げ渡しに付書上) 新町村馬七(印)→御産物方御役所	11月12日	横切継紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-8
覚(8月26日など3回にわたり御鑑札ノ1000枚納めるに付) 金児与助→御産物所	11月17日	切紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-9

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

覚(茶碗土瓶他代金ノ125匁9分受取に付) かしわや藤助→上	11月29日	横切紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-10
覚(油絞2口分冥加金1両2分受取に付) 産物方御役所(印)→力石村	慶応元年12月13日	切紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-11
(糸繭買・繭中買・夏蚕種・蚕種商売ノ金14両上納に付書上) 笹平村名主友左衛門	丑9月5日	横切継紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-12
(木綿鑑札冥加他ノ金30両1分3朱銀2分5厘金銭書付)		切紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-13
(冥加糸代金として金31両2分銀9匁3分5厘)		切紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-14
(銭5貫867文他ノ銭17貫964文書付)		切紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-15
(孝九郎鑑札願等閑その上御産物方改印無く蚕種紙商売仕り、村役人名代と偽り御手附に申し立て別紙名面帳者共の売渡吟味願うに付) 小市村当人(孝九郎)・同人伴孝太郎・三役人→御産物方御役所		横折紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-16
(日影村上平組・申組・西京組麻商売人名書上)		横折紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-17
覚(寅6月27日迄口糸代金1両に付銀40匁直し他小布施村の口糸代金の取立値段書上)	寅9月朔日	切紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-18
覚(生糸金21両1分2朱銀6分4厘他ノ金23両2分銭54文上納に付) 原村取締役小泉久五郎・同断小泉奥右衛門(印)・同断高野儀右衛門→御産物方御役所	慶応2寅年9月10日	横切継紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-19
(書状、蚕種商売の御産物御改印がなく、田野口村安蔵方に蚕種買取置く旨承知下されたきに付) 池田屋惣左衛門→笹屋恒治	6月6日	切紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-20
(外国行分の生糸改時の口糸取立方では、以後最初の改所にて銀30匁取立に付) * (端裏書)「生糸改ニ付口糸取立方再評ニ而取極候事」	6月14日	横切継紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-21
(笹原村郡平・名主友右衛門名前書上)	6月19日	切紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-22
差上申御請一札之事(蚕種商売の者、蚕紙改願いたく御領主様・御料御代官所へ御領分・御他領の者当宿通行の折に口銭受け取らざるに付) 何宿問屋たれ印・三役人印→御産物御役所		横切継紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-23
(稲荷山人別・当村三役他書付)		切紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-24
(村方三役人名書付) * 前欠カ		切紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-25
覚(3~4月ノ銀156匁7分1厘上納に付) 原村取締役小泉奥右衛門・同高野儀右衛門→御産物方御役所	寅年6月21日	横切継紙/(え853-1~58は一綴)・1通	え853-26

(生糸改印御渡し村名書上)		切紙/(え853-1 ～58は一綴)・1 通	え853-27
(書状、紙買継義作他中買・麻買継・麻中買人鑑札頂戴 日延べに付)		横折紙/(え 853-1～58は一 綴)・1通	え853-28
(書状、紙中買・麻中買仲右衛門外14名鑑札頂戴願に 付)		横切紙/(え 853-1～58は一 綴)・1通	え853-29
(書状、太織糸1駄36貫目のなか通り相場両に銀250匁 位に付)		切紙/(え853-1 ～58は一綴)・1 通	え853-30
(書状、中之条支配所広田村兩人御油仲買鑑札願ひ候 に付) *下書		切紙/(え853-1 ～58は一綴)・1 通	え853-31
口上覚(生糸の改方法の伺いに付) 市場世話役善右衛 門	8月9日	横切継紙/(え 853-1～58は一 綴)・1通	え853-32
覚(白紬1疋金2両2分錢700文他ノ金86両1分權10匁5 分錢64文受取に付) きく屋伝兵衛・佐助→御産物方御 役所	丑年8月17日	横切継紙/(え 853-1～58は一 綴)・1通	え853-33
(春夏・巢売り1駄あたりの相場書上)		切紙/(え853-1 ～58は一綴)・1 通	え853-34
(8月16日七子1疋他書上)	(9月16日～10月13日)	切紙/(え853-1 ～58は一綴)・1 通	え853-35
(千本柳村半蔵白紬72疋・白斜子7疋1反他調えに付書 上) * (端裏書)「千本柳村半蔵調」	9月16日	横切継紙/(え 853-1～58は一 綴)・1通	え853-36
(白紬白斜子他品目書付)		切紙/(え853-1 ～58は一綴)・1 通	え853-37
(書状、即刻罷り越すに付) 柔兵衛→(八田)慎蔵様	11月17日	横切継紙/(え 853-1～58は一 綴)・1通	え853-38
(書状、今日当番罷り出ずべくのところ差掛り取調物 出来、もし過刻なれば繰り合わせ下されたきに付) 源之丞→(八田)慎蔵様・潤蔵様	11月2日	横切継紙/(え 853-1～58は一 綴)・1通	え853-39
(書状、昨日お願いした材木代付帳に付、大工寅蔵へ も印形差出させるよう取り計らい願いたく、かつ 昨日の産物御趣意大意書御廻し願いたきに付) 丈 右衛門→(八田)慎蔵様	10月29日	横切継紙/(え 853-1～58は一 綴)・1通	え853-40
(書状、是迄注文した残り1組数9つ早速出来願ひに 付) 産物方役所		横切継紙/(え 853-1～58は一 綴)・1通	え853-41
(書状、私共兩人本日寄合に出席つかまつるべきとこ ろ、差掛り取調物御下げに付出席かなわぬので、御 一統様へよろしく御取繕くだされたくに付) 佐十 郎・斧平→(八田)慎蔵様・(八田)五十司様	10月21日	横切継紙/(え 853-1～58は一 綴)・1通	え853-42
覚(唐津煎茶碗30個代金22両銀5分に付) 島津屋宇兵 衛→御産物御会所	丑霜月29日	横切継紙/(え 853-1～58は一 綴)・1通	え853-43
(書状、明17日暮方迄に福嶋村へ御出張の折同道仕る に付) 六左衛門→近藤御旦那様	11月16日	横切継紙/(え 853-1～58は一 綴)・1通	え853-44

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

(書状、麻荷付送り別紙持参議定受け取りたきに付) (小野)唯之進→(八田)慎蔵様	10月29日	切紙/(え853-1 ~58は一綴)・1 通	え853-45
(書状、安田村新之丞舅の事後見同様に罷り越し楮商 売仕るに付) 小野唯之進→八田慎蔵様	11月7日	横切継紙/(え 853-1~58は一 綴)・1通	え853-46
(榎実値段・いせ町大津屋他書付)		切紙/(え853-1 ~58は一綴)・1 通	え853-47
覚(糸植油箔他代メ銀93匁5分受取に付) 大木伊左衛 門	10月	切紙/(え853-1 ~58は一綴)・1 通	え853-48
覚(糸新規糸煉直し代各々100目あたり銀120匁受取 に付) 大木伊左衛門	10月	切紙/(え853-1 ~58は一綴)・1 通	え853-49
(糸繭買他冥加金上納商売書上)		横切継紙/(え 853-1~58は一 綴)・1通	え853-50
(繰綿1貫に付銀2歩7厘72他金銭書上)		切紙/(え853-1 ~58は一綴)・1 通	え853-51
定(諸産物の改めは時刻を厭わず遅滞なく品物を吟 味すべしその他諸定めに付)	丑8月	横切紙/(え 853-1~58は一 綴)・1通	え853-52
定(生糸1駄に付御改冥加金5両他諸品目の冥加金額 の定めに付)	丑8月	横切継紙/(え 853-1~58は一 綴)・1通	え853-53
(金30両1分3朱と銀2分5厘の内、水野氏に金13両相渡 し残金17両1分3朱と銀2分5厘の書付)		切紙/(え853-1 ~58は一綴)・1 通	え853-54
(書状、清野村迄持参に付) (興津)権右衛門→(八田)慎 蔵様差懸り御用筋	11月13日	横切継紙/(え 853-1~58は一 綴)/(虫損あ り)・1通	え853-55
(書状、池田氏上納方より貸付の証文が戻らず大延引 の儀に付) (青柳)増太郎→(八田)慎蔵様	4月14日	横切継紙/(え 853-1~58は一 綴)・1通	え853-56
(英数字書上一覧)		印刷物/(え 853-1~58は一 綴)・1通	え853-57
産物改印鑑(生糸・蚕種紙・絹布類・外国行蚕種紙・玉 繭荷作用)		横切継紙/(え 853-1~58は一 綴)・1通	え853-58
(産物会所受取書類一括)		(え852-1~25 は紙縫一括)・1 点	え852
(各種金銭書付一括)		(え852-1~25 は紙縫一括)/ (え852-1-1~4 は紙縫一括)・1 点	え852-1
(10月9日20両坂本斎助殿へ他10件金子書上に付)	(8月19日~12月28日)	横切紙/(え 852-1~25は紙 縫一括)/(え 852-1-1~4は 紙縫一括)・1通	え852-1-1

(7月9日金20両他13件ノ金628両1分2匁5分書上に付)	(7月9日～12月29日)	横切継紙/(え852-1～25は紙縫一括)/(え852-1-1～4は紙縫一括)・1通	え852-1-2
(5月分金168両1分2朱4匁他8件ノ818両11匁6分8厘差引113両13匁1分8厘に付)	(5月～閏12月)	横切継紙/(え852-1～25は紙縫一括)/(え852-1-1～4は紙縫一括)・1通	え852-1-3
覚(5月分金168両1分2朱4匁他4件ノ金734両3分3匁7分7厘差引残金312両1分3匁7分7厘御預り辻差上に付)	11月	横切継紙/(え852-1～25は紙縫一括)/(え852-1-1～4は紙縫一括)・1通	え852-1-4
乍恐書取以奉申上候(桑皮取扱人足5人差出、差図に付) 竹房村孫右衛門(印「信州竹房畦坪」)→御産物御会所	午5月17日	横切紙/(え852-1～25は紙縫一括)・1通	え852-2
(東京への飛脚代に付書類一括)		(え852-1～25は紙縫一括)/(え852-3-1・2は巻込一括)1点	え852-3
覚(金2分東京への1人飛脚代受取、才領組藤次郎へ相渡すに付) 荒井伝助(印)→八田慎蔵殿	午5月12日	切継紙/(え852-1～25は紙縫一括)/(え852-3-1・2は巻込一括)・1通	え852-3-1
覚(御用状一封東京小野善四郎殿へ御届けに付) 才領組神山藤次郎(印)→産物御役所	(明治3年)庚午5月12日	切継紙/(え852-1～25は紙縫一括)/(え852-3は巻込一括)・1通	え852-3-2
(玄米100俵代金400両程飛脚で送るべきに付書付) →岡本広太		切継紙/(え852-1～25は紙縫一括)・1通	え852-4
(中町儀作生糸商売去已年多分の損金返済方手段無く家出、3日尋ね7日尋ね仰せ渡さるに付願書)*下書 儀作親類中町吉兵衛・同人組合助左衛門→御産物御役所		横切継紙/(え852-1～25は紙縫一括)・1通	え852-5
(書状、暑気のため御用米腐気増し用立に関わるに付) (佐竹)周蔵→青柳様・八田様	5月8日	切継紙/(え852-1～25は紙縫一括)・1通	え852-6
覚(餅米小豆他代金ノ3両7匁5分受取に付) つたや久兵衛→御産物御会所	4月	切紙/(え852-1～25は紙縫一括)・1通	え852-7
覚(金45両の内17両中島新左衛門より差し上げに付)		切継紙/(え852-1～25は紙縫一括)・1通	え852-8
覚(9人宿代148匁5分受取に付) 北野屋居→日名村牛越佐市様	未6月	切紙/(え852-1～25は紙縫一括)・1通	え852-9
覚(人足代金他ノ9両2匁受取に付) 日名村牛越佐市→八田様	午6月6日	切紙/(え852-1～25は紙縫一括)・1通	え852-10
覚(桑皮取人足賄入用の内御下げ金10両頂戴に付) 大豆島村小三郎(印)→八田慎蔵様	5月29日	切紙/(え852-1～25は紙縫一括)・1通	え852-11

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

(坂本扇助殿へ返金他金銭差引残金168両2分1朱銀3匁6分7厘に付)		切継紙/(え852-1~25は紙縫一括)・1通	え852-12
(金2両拝借に付) 日名村専重郎	5月18日	切紙/(え852-1~25は紙縫一括)・1通	え852-13
覚(杉原紙2駄他入用金ノ銀55匁に付) 案兵衛・亀之助 →青柳増太郎様・八田慎蔵様	5月5日	切継紙/(え852-1~25は紙縫一括)・1通	え852-14
(着荷にて人足19人に付)		切継紙/(え852-1~25は紙縫一括)・1通	え852-15
覚(金100両借用に付) 土口村幸松代類儀(印「信州松代土口村奉」)→八田(慎蔵)様・富岡(良右衛門)様	明治3年6月1日	堅紙/(え852-1~25は紙縫一括)・1通	え852-16
覚(奉書代金の内御下げ金35両受取に付) 日名村牛越佐市(印)→御産物御掛り八田慎蔵様	明治3年5月8日	切紙/(え852-1~25は紙縫一括)・1通	え852-17
(上納仕送りに付金400両他金銭書上)		切紙/(え852-1~25は紙縫一括)・1通	え852-18
口上覚(妻科村石堂組由兵衛、後町村清助・金作妻科村新田組紋吉蚕種5000枚程新規御鑑札願に付)		切紙/(え852-1~25は紙縫一括)・1通	え852-19
差上申一札之事(目秤御下げ金3両1分3朱受取に付) 竹房村吉弥・庄弥・大作・由弥・八右衛門→産物御役所	明治3年5月27日	堅紙/(え852-1~25は紙縫一括)・1通	え852-20
乍恐以書付奉申上候(桑皮人足人数不足、当方は伺いかなわぬため専重郎に御用向きを仰せつけられたきに付) 日名村牛越佐市(印)→(御産物御役所)八田慎蔵様	午年5月17日	折紙/(え852-1~25は紙縫一括)・1通	え852-21
(卯～辰年蚕種1ヶ年平均93430枚書付)		切紙/(え852-1~25は紙縫一括)・1通	え852-22
覚(越後に御用米運送のため御賄代金の内御中借金5両受取に付) 計政高附弁次郎(印)→富岡良右衛門様・八田慎蔵様	明治3年5月21日	切紙/(え852-1~25は紙縫一括)・1通	え852-23
覚(地借金17両、当4日まで返上に付) 平野屋彦兵衛→八田(慎蔵)様	5月2日	切紙/(え852-1~25は紙縫一括)・1通	え852-24
覚(藤右衛門に渡す他差引残金74両3分銀10匁3分に付)	午年6月3日	切継紙/(え852-1~25は紙縫一括)・1通	え852-25
(産物会所関係書状綴)		綴/(え840-1~7は一綴)・1綴	え840
(水井忠蔵他7名産物会所懸かり実名・花押書上) * (端裏書)「産物会所懸り 実名花押」		横切継紙/(え840-1~7は一綴)・1通	え840-1
(書状、今般の利分不行き届きに付) 佐久間→栄八殿当用		切紙/(え840-1~7は一綴)・1通	え840-2
(書状、上田町3人の者の甘草御鑑札願い上げ、書面差し出しの件申し上げに付) (八田)喜兵衛・(八田)嘉助→(水井)忠蔵様・紀右衛門様	12月18日	横切継紙/(え840-1~7は一綴)・1通	え840-3

6. 産物会所 / 14. 諸書類綴

(書状、大野村四良右衛門よりの受取証文失念仕り、 貴公様御出の節私方より持参に付) 瀧沢彦太夫→ 赤池忠右衛門様	8月24日	横切継紙/(え 840-1~7は一 綴)・1通	え840-4
(書状、北高田村忠左衛門へ白粉製渡世御印鑑札を与 えるべきか否かに付) *下書	4月	横切継紙/(え 840-1~7は一 綴)・1通	え840-5
(御手付廻村向きへ紬中買共申立て箇条の内市場開 場時間七時半迄猶予すべく評議に付御検察下され たきに付) *(端裏書)「市場刻限之儀ニ付評議申上」 産 物会所懸	11月	横切継紙/(え 840-1~7は一 綴)・1通	え840-6
(書状、昨夕7ツ頃小布施村高井様より書状、拝見のと ころ甘草御地会所にて12日・15日両日の内に甘草 御鑑札頂戴仕りたく、受け渡し名代にて宜しきや に付) 土屋仁輔→八田嘉右衛門様貴下	極月15日	横切継紙/(え 840-1~7は一 綴)・1通	え840-7

7. 松代商法社 /1. 貸付金の貸与

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

7. 松代商法社 /1. 貸付金の貸与

(商法社御貸付金取扱方之義申上)	6月	切継紙・1通	え19
------------------	----	--------	-----

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
8. 内方・産物会所混合文書 /1. 「有用之紙屑」			
(内方ならびに産物会所関係書類一括)		(え245-2～201は袋一括)・1点	え245
(袋)＊(袋上書)「有用之紙屑 猥ニ取捨へからす」	安政3丙辰年	袋/(え245-2～201は袋一括)/(括り紐共)・1点	え245-1
(麻紐)		紐/(え245-2～201は袋一括)・1点	え245-2
覚(羽子板駒2つ代32文他ノ銀4匁4分と銭424文金銭書上) ミノや与兵衛→上	(近世)	横切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-3
(白紙)		切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-4
(「俸禄」ほか手習)		切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-5
(書状、玄米5人扶持にて御医師仰せ付けられありがたきに付) 阿藤俊卓→八田慎蔵様	(安政3年)10月28日	切紙/(え245-2～201は袋一括)/(破損あり)・1通	え245-6
(茜色の絹布)		絹布/(え245-2～201は袋一括)・1点	え245-7
(書状、玄米2人扶持御増し下され表御番医仰せ付けられありがたきに付) 柳町立卓→八田慎蔵様	(安政3年)10月26日	切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-8
(書状、御目付役など仰せ付けられありがたきに付) 竹内金左衛門→八田慎蔵様	(近世)10月25日	切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-9
(八田喜兵衛ほか病氣・急腹痛人名書上)		切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-10
(「箱ゐり」)		札/(え245-2～201は袋一括)・1点	え245-11
(「丙辰下屋敷一条之書類」)		札/(え245-2～201は袋一括)/(破損あり)・1点	え245-12
(「土屋坊」ほか手習)		切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-13
(「福寿」ほか手習)		切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-14
(書状、先日御約束成し下される儀に付)＊下書		切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-15
(書状、追々御順快在らされるや伺い奉るに付)		切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-16

8. 内方・産物会所混合文書 / 1. 「有用之紙屑」

(420文油代払いほか金銭書上)	(近世)	横切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-17
(竹こより)		竹/(え245-2~201は袋一括)/(劣化甚大)・1点	え245-18
(こより)		こより/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-19
(包紙) 木町重太郎→八田慎蔵様御取次中様		包紙/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-20
口上覚(父金兵衛死去に付) 木町重太郎→八田慎蔵様御取次中様	10月26日	切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-21
(書状、御目付役など仰せ付けらるるに付) *下書	(近世)	切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-22
覚(卯年金6兩銀14匁4分3厘ほかメ金14兩1分銀2匁3分5厘津田無尽御取り不足に付)	(近世)	切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-23
(こより)		こより/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-24
(書状、拝借仕る御書返上に付)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-25
(封筒) →重蔵殿		封筒/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-26
(「本号開張姑蘇・」漢籍の跋文) 日本文斎廉思文謹識	道光25年	切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-27
(小林唯蔵ほか人名書上)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-28
(「神溪」ほか手習)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-29
(書状、先日は態々貴書下されるに付) *下書		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-30
(「銅」手習)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-31
(書状、何分御買計を以返済相成るに付) *下書		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-32
(「中庸」「章句」など手習) (八田)慎蔵→(松本)嘉十郎様		封筒/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-33
(金15兩ほか金銭書上)	(近世) 12月25日	切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-34

8. 内方・産物会所混合文書 /1. 「有用之紙屑」

(銀2匁5分錢272文ほか金銭書上)	(近世)	切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-35
(「何かと御用多」書付)		切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-36
(書状、私儀跡式御礼首尾よく申し上げるに付御知らせ) 南沢甚之助	(近世)11月朔日	切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-37
(袋)* (袋上書)「信州松代八田慎蔵様要贈 上州坂本宿金井鉄次郎」 上州坂本宿金井鉄次郎→信州松代八田慎蔵様要贈	(近世)10月28日	袋/(え245-2~ 201は袋一括)・ 1点	え245-38
(袋)* (反古)「乍恐以宿繼御注進奉申上候」	(近世)	袋/(え245-2~ 201は袋一括)・ 1点	え245-39
(書状、私儀一代給人格仰せ付けらるるに付御知らせ)	(近世)11月28日	切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-40
(書状、誠に珍しき御道具にて初めて相見るに付)* 下書		横切継紙/(え 245-2~201は 袋一括)・1通	え245-41
(「道具」「鉄砲」書付)		札/(え245-2~ 201は袋一括)・ 1点	え245-42
(「昨日御内ニ御願候」書付)		切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-43
(書状、杏仁2831貫目相見え、段々御厚配成し下さるに付)	(近世)	切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-44
(差出宛所切り抜き) (岡野)陽之助→(八田)慎蔵様要用		切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-45
(「意」「榮」ほか手習)		横切継紙/(え 245-2~201は 袋一括)・1通	え245-46
(「物外祖心善女」書付)		札/(え245-2~ 201は袋一括)・ 1点	え245-47
(「近藤六左衛門」「八田慎蔵」ほか手習)		切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-48
(本文3分御礼金付30年賦願うに付)	(近世)	札/(え245-2~ 201は袋一括)・ 1点	え245-49
(「年賦金御下ヶ之書類」ほか書付)		札/(え245-2~ 201は袋一括)・ 1点	え245-50
(書状下書、今晚兩人御内々登館に付)		切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-51
(「夜分如何ニも心懸」書付)		横切継紙/(え 245-2~201は 袋一括)・1通	え245-52
兵要録卷之十(漢文書き抜き) 胆斎長沼氏宗隆著		切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-53

8. 内方・産物会所混合文書 / 1. 「有用之紙屑」

(書状、私儀槍術孝投の趣意にて御切米金5両下されるに付御知らせ)	(近世)	切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-54
(書状、昨夜深更より降り出し、今朝霽4寸程降り申すに付)		切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-55
(「新婦物外祖心善女」書付)	安政3年辰10月	切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-56
(施行銭12文ほか金銭書上)	(近世)	切紙/(え245-2～201は袋一括)/(綴穴あり)・1通	え245-57
(書状、この度能社の御使いとして栄八御遣わしに付) * 下書/前後欠		切紙/(え245-2～201は袋一括)/(破れのため2枚に剥離)・1通	え245-58
(「宝永年中より御町年寄相勤罷在候」書付)	(近世)	札/(え245-2～201は袋一括)・1点	え245-59
(拝借金6000両余りの残金3496両取り調べるに付書上) * (端裏書)「不用」	(近世)	横切継紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-60
(「御答在中」書付)		札/(え245-2～201は袋一括)・1点	え245-61
(書状、清水屋栄左衛門兄この程東木町へ引っ越し、役代引替宜しきやに付) (八田)慎蔵→孫兵衛様当内用	10月20日	横切継紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-62
(冥加受取金7両金銭書上)	(近世)	切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-63
(銭1貫636文内1貫50文引金銭書上)	(近世)	切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-64
(金8両2分内2両荒神町ほか金銭書上)	(近世)	切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-65
(封筒) * (封筒上書)「松代八田母上さま御内披 坂本金井鉄治郎」 坂本金井鉄治郎→松代八田御母上さま御内披		封筒/(え245-2～201は袋一括)・1点	え245-66
(書状、私儀永医師・表御番医仰せ付けらるるに付御知らせ) 倉田左高→八田慎蔵様	(安政3年)10月23日	切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-67
(封筒) * (封筒上書)「忠治様 慎蔵」 (八田)慎蔵→忠治様		封筒/(え245-2～201は袋一括)・1点	え245-68
(金3261両銀9匁内100両引金銭書上)	(近世)	切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-69
(書状、時候の御尋ねとして御蕎麦有りがたきに付)	念一日	切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-70
(風揚げ他の図)		折紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-71

8. 内方・産物会所混合文書 /1. 「有用之紙屑」

(書状、慎蔵方取り復しの手段なく、家名亡うと歎息 罷り在り、歎願仕りたきに付) *下書		横切継紙/(え 245-2~201は 袋一括)/(3枚 に剥離)・1通	え245-72
(包紙) * (包紙上書)「十両」	(近世)	包紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1点	え245-73
(川浚御手伝いの節御用途献金300両ほか、金3000両 金銭書上)	文化10酉年	切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-74
差出申一札之事(杏仁代金受取雛形) 善光寺→松代御 産物方御会所		切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-75
(「いせ町様御帰入物」ほか書付)		札/(え245-2~ 201は袋一括)/ (こより付)・1 点	え245-76
(書状、厚き御配慮の一条、竹村へ参り取調帳の趣き 御賢慮下されたきに付)		切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-77
覚(御家中長滞府のため金11両2分拝借に付) 伊東栄 治→関山平治殿・三村大之助殿	安政3辰年12月25日	切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-78
(久保平村分98貫目ほど金10両3分銀8匁3分3厘金銭 書上)	(近世)	横切継紙/(え 245-2~201は 袋一括)/(綴穴 あり)・1通	え245-79
(善光寺分180貫目金20両金銭書上)	(近世)	切紙/(綴穴あ り)・1通	え245-80
(町川田村分38貫目金4両銀13匁3分3厘金銭書上)	(近世)	切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)/(綴穴あ り)・1通	え245-81
(封筒) * (封筒上書)「杜徴」ほか		封筒/(え245-2 ~201は袋一 括)・1点	え245-82
覚(杏仁買い上げ代金受取雛型)		横切継紙/(え 245-2~201は 袋一括)・1通	え245-83
(書状、徳田五百人倅重尾縁組のお知らせに付) 斎藤 増喜→八田慎蔵様	(近世)11月15日	切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-84
(書状、御労煩成され、御深情ありがたきに付) 七助		切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-85
(書状、杏仁一条段々御配慮ありがたく、よろしきよ う願いたきに付) (八田)慎蔵→(松本)嘉十郎様	12月20日	横切継紙/(え 245-2~201は 袋一括)・1通	え245-86
(書状、昨年度中御用にて差し出した鉄銚子御繕いの 上、御下げくだされたきに付) 長崎源吾→御台所御 家具御次衆中様	7月12日	横切継紙/(え 245-2~201は 袋一括)・1通	え245-87
(書状、御多用の中貴下御繰り合わせくだされありが たきに付) (八田)慎蔵→三郎左衛門様几下	7月23日	横切紙/(え 245-2~201は 袋一括)・1通	え245-88
(重筆子2棹ほか品物書上)		横切継紙/(え 245-2~201は 袋一括)・1通	え245-89

8. 内方・産物会所混合文書 / 1. 「有用之紙屑」

(七言絶句、「瓶榼夜不卸…」) 日本橋宝町二三丁目之内 福井青蓮子		横切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-90
(表通り掃除の事他心得書上)		横切継紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-91
(竹村の事・佐久間の事他書上)		横切継紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-92
(先々月までの取り調べ今以って差し出さざる事い かがの儀か他心得書上)		横切継紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-93
(並酒1石3斗5合代10貫455文他金銭書上)	(近世)	折紙/(え245-2~201は袋一括)/(綴穴あり)・1通	え245-94
覚(七分三1石2斗代21貫500文他金銭書上)	(近世)(4月18日~21日)	折紙/(え245-2~201は袋一括)/(綴穴あり)・1通	え245-95
(瀬戸の事他書上)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-96
差出申一札之事(当組伝右衛門町内御祭礼繰廻金30 両を11月20日限り返済致すに付)	(近世)	横切継紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-97
覚(かみかけ20筋代176文他金2朱銭800文金銭書上)	(近世)	切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-98
(書状、別帳取調拝借上納を40年賦御割合に成された きに付)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-99
(拝借金6000両のうち返納残金3512両金銭書上)	(近世)	横切継紙/(え245-2~201は袋一括)/(え245-199・200巻込)・1通	え245-100
(「奉拝見候」書付)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-101
(「宝永六丑年同苗長左衛門、当時喜兵衛家より分家 仕事候」書付)		札/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-102
(「證文振相認候一帳」書付)		横切継紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-103
(「雲雀山中将姫打擲の段」他謡曲書上)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-104
(「日本壺番の高調子」他書付) * え245-104と関連カ		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-105
(「漢筵軍報」他書付)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-106
(包紙) * (包紙上書)「相梅園香墨」/「慮」他手習あり		包紙/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-107

8. 内方・産物会所混合文書 /1. 「有用之紙屑」

(「西洋兵制可否」「佐久間啓謹并序」他手習)		横切継紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-108
(書状下書、妻病気お知らせに付)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-109
(書状、御廻状御落手下されたきに付)	12月4日	切紙/(え245-2~201は袋一括)/(破損あり)・1通	え245-110
覚(金7両2分金銭書上) 八田慎蔵(印)→関田慶左衛門殿	(近世)丑2月9日	切紙/(え245-2~201は袋一括)/(破損により2枚に欠損)・1通	え245-111
(「酒店」・「油店」他書付)		札/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-112
(書状、例の一条御才覚恐れ入るに付) *前後欠		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-113
(「肩」他手習)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-114
寛保元酉年御年貢次被仰付候御書付(八田嘉助御立て金子、同人所持田地年貢に差し継ぐに付)	(近世)9月22日	切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-115
(書状、御配慮成し下されたきに付) *前後欠		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-116
(「弥三郎」書付) *包紙として利用カ		折紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-117
(「厳明鮮白」他手習)		切継紙/(え245-2~201は袋一括)/(破損により2枚に欠損)・1通	え245-118
(「八匁三分」書付)	(近世)	札/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-119
(書状、少々御内話申し上げる願い、何とも恐れ入るに付)	12月4日	横切継紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-120
偶成(七言絶句「道義門開道義新…」) *え245-122・127 と関係 神□(虫損、溪カ)草	丁卯仲夏	切紙/(え245-2~201は袋一括)/(虫損甚大)・1通	え245-121
偶成(七言絶句「沈潜有歳莫間言…」) *え245-121・127 と関係 神□(虫損、溪カ)稿	丁卯夏	切紙/(え245-2~201は袋一括)/(虫損甚大)・1通	え245-122
(「芸州」他手習)		切紙/(え245-2~201は袋一括)/(破損甚大)・1通	え245-123

8. 内方・産物会所混合文書 / 1. 「有用之紙屑」

(「様」他手習)		札/(え245-2～201は袋一括)・1点	え245-124
(差出宛所切り抜き) 松本嘉十郎→八(八田)慎蔵様御内々申上		札/(え245-2～201は袋一括)・1点	え245-125
(書状未開封) * (端裏書)「要用別紙入」		横切継紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-126
(書状、別紙の儀、何分希み奉るに付) * え245-121・122と関係 神溪拝→八田君足下	7月9日	切紙/(え245-2～201は袋一括)/(虫損甚大)・1通	え245-127
(稲荷山杏仁1653貫目代金のうち金80両渡すに付)	(近世)	切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-128
(封筒) * (封筒上書)「莊助様内用 慎蔵」 (八田)慎蔵→(関田)莊助様内用		封筒/(え245-2～201は袋一括)・1点	え245-129
(煎薬328服代10貫500文品物金銭書上)	(近世)	折紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-130
口上(松本への2包御面倒ながらお願いに付)	12月8日	横切継紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-131
(「分金三百拾九兩貳分三匁三分」書付)	(近世)	横切継紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-132
(土地図カ)		切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-133
(包紙)		包紙/(え245-2～201は袋一括)/(え245-135～137入)・1点	え245-134
(差出宛所切り抜き) (八田)慎蔵→(水井)忠蔵様		札/(え245-2～201は袋一括)・1点	え245-135
(「乍憚」他手習)		横切継紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-136
(「御前」他手習)		札/(え245-2～201は袋一括)・1点	え245-137
(書状、妻死去に付お知らせ)	12月12日	切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-138
(「焉」「師」他手習)		縦切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-139
(「類」「史」他手習)		横切継紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-140
(書状、私妹恩田十郎縁女、来る10日引越し婚姻に付お知らせ) 井上五郎左衛門→八田慎蔵様	12月8日	切紙/(え245-2～201は袋一括)・1通	え245-141

8. 内方・産物会所混合文書 /1. 「有用之紙屑」

(書状、例の段最早何も申すべきは無きに付) *下書		切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-142
(書状、一昨年より全快に付、及び「西洋兵制可否」他 手習) *下書		横切継紙/(え 245-2~201は 袋一括)・1通	え245-143
(書状、昨夜御書の御賢慮を伺うに付) *下書		横切継紙/(え 245-2~201は 袋一括)/(え 245-144~146 巻込)・1通	え245-144
(書状、今朝は存外の走戒に付) *下書		切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-145
(書状、昨夜は長々御待たせ下され、恐れ入るに付)		切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-146
(「用人」「側」他手習)		横切継紙/(え 245-2~201は 袋一括)・1通	え245-147
(書状、眼病人御療治の御薬頂戴有りがたきに付)	26日	切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-148
(書状、今朝は如何にも烈寒に付) *後欠		切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-149
(書状、差紙入用受け取り、有りがたきに付) *前後欠		切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-150
覚(杏仁38貫余代金4両のうち金2両受け取りに付) 印→御産物方御会所	(近世)	切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-151
(「四百三文八田様」)	(近世)	札/(え245-2~ 201は袋一括)/ (こより付)・1 点	え245-152
(書状、預り金50両の證文の宛名は如何の儀かに付) * (端裏書)「要用」	(近世)	切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)・1通	え245-153
(書状、先日は御懇ろの御返答有りがたきに付) *後欠		切紙/(え245-2 ~201は袋一 括)/(え245- 154~156巻 込)・1通	え245-154
(「拾八両壹分式朱」)	(近世)	札/(え245-2~ 201は袋一括)/ (え245-154~ 156巻込)・1点	え245-155
(「六両貳分壹朱」「四両壹分」)	(近世)	札/(え245-2~ 201は袋一括)/ (え245-154~ 156巻込)・1点	え245-156
(金8両2分の内荒神町2両ほか残金2両2分金銭書上)	(近世)	横切継紙/(え 245-2~201は 袋一括)・1通	え245-157
(「卷之十」他手習) 伊セ町→重蔵との		封筒/(え245-2 ~201は袋一 括)・1点	え245-158

8. 内方・産物会所混合文書 / 1. 「有用之紙屑」

(「除地」「軍役」他書付)		横切継紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-159
(「拝見仕候、何より以」書付)		切継紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-160
(書状、上納方早速金子出来難く、御猶予下されたきに付) 春日儀左衛門	(近世)12月21日	横切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-161
(書状、3分御礼金は10ヶ年、5分御礼金は15ヶ年にて聞き済ましに付)	(近世)	札/(え245-2~201は袋一括)/(え245-162~164は巻込一括)・1点	え245-162
(書状、3分御礼金は10ヶ年、5分御礼金は15ヶ年に付)	(近世)	札/(え245-2~201は袋一括)/(え245-162~164は巻込一括)・1点	え245-163
(「本文之通奉願候所難被成下」書付)		札/(え245-2~201は袋一括)/(え245-162~164は巻込一括)・1点	え245-164
(「安達伊久馬」他手習)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-165
(「慮」「處」他手習)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-166
(書状、杏仁御買い上げ代金29日相渡すので、貫目納書・村役人印書持参致すべきに付) 八田慎蔵・松本嘉十郎→町川田村重左衛門(印)	(近世)12月27日	横切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-167
(書状、昨年6・7月頃広幅の大絹地は何尺にて代価何程かに付)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-168
(書状、妻死去に付お知らせ)	12月12日	切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-169
(書状、板戸・障子など願い出るも伝兵衛御證文の通り受け取れば不用に付)		横切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-170
(書状、2升入りくらい暫時拝借願いたきに付) (八田)喜兵衛→(八田)慎蔵様	27日	横切紙/(え245-2~201は袋一括)/(破損あり)・1通	え245-171
(「杏仁御買上」書付)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-172
(差出宛所切り抜き) 重太夫→(八田)慎蔵様		札/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-173
(差出宛所切り抜き) (八田)慎蔵→恪二郎様		札/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-174
(「部屋」他手習)		札/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-175

8. 内方・産物会所混合文書 /1. 「有用之紙屑」

(書状、稲荷山の杏仁の儀会所まへ附け寄らせる方がよきに付他) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様申上	19日	横切継紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-176
(「千百八十六両壱分」他書付)	(近世)	切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-177
(「梅田屋弥五郎殿」他手習)		札/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-178
(書状、御薬頂戴の段深く恐れ入るに付)	15日	切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-179
(「金井三郎左衛門」他手習)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-180
(書状、善光寺薬種屋代人へ杏仁代10両相渡すよう仰せの儀伺いたきに付)	(近世)11月4日	横切継紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-181
(「大竹様」書付)		札/(え245-2~201は袋一括)・2点	え245-182
(「兵数」他手習)		袋/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-183
(「五百七拾五両三分余」書付)	(近世)	札/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-184
(封筒) * (封筒上書)「嘉十郎様 慎蔵」 (八田)慎蔵→(松本)嘉十郎様		封筒/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-185
(「献上御配金」書付)		札/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-186
(家督御礼金1分銭133文金銭書上)	(近世)	札/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-187
(献上御配金1朱金銭書上)	(近世)	札/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-188
(書状、朔日10卷大慶に付) * 下書/前後欠		横切継紙/(え245-2~201は袋一括)/(前後欠)・1通	え245-189
(書状、去月22日御女子御出産、早速三郎左衛門城より御吹聴に付) * 下書/後欠		切紙/(え245-2~201は袋一括)/(後欠)・1通	え245-190
(「先刻之御答被成候」書付)		札/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-191
(献上100疋他金銭書上)	(近世)	横切継紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-192
(書状、私跡式格式御役の御礼首尾よく申し上げるに付お知らせ)	(近世)11月朔日	切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-193

8. 内方・産物会所混合文書 /1. 「有用之紙屑」

覚(私抱地の建屋金2両3分2朱にて譲り渡すに付)	(近世)	横切継紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-194
覚(私抱地の建屋金2両3分2朱にて譲り渡すに付)	(近世)	切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-195
(「敬」他手習)		切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-196
(差出宛所切り抜き) (八田)慎蔵→(関田)莊助様内用		札/(え245-2~201は袋一括)・1点	え245-197
(同年11月喜兵衛に5人扶持下され別家奉公願いの通り仰せ付けられるに付)	(近世)	切紙/(え245-2~201は袋一括)・1通	え245-198
(書状、精々御馳走相成り有りがたきに付)	念三日	切紙/(え245-2~201は袋一括)/(え245-100に巻込)・1通	え245-199
御見合(川浚御手伝の節御用途の内金300両献金に付)	文化10酉年	横切継紙/(え245-2~201は袋一括)/(え245-100に巻込)・1通	え245-200
(白紙・水引など一括)		一括/(え245-2~201は袋一括)・1括	え245-201

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(書状、山城様より2両金御預かるに付)	天保4年巳正月	切紙・1通	え248
(書状、翌16日出勤に付) *前欠 八田嘉右衛門	亥正月	切紙・1通	え251
(御内上様扇子・御母公様扇子他贈答品書上) 落合辰三郎	2月大吉日	縦継紙/(虫損甚大)・1通	え831
(書状、面白き物見当たり次第献上に付) 角店清十拝→八田鉄治郎様	夏初月12日	切紙・1通	え274
(書状、「武経開宗」など大節の書物13冊借用のところで返却に付) 喬華楼拝→鹿霜庵主	10月	横切紙/(虫損あり)・1通	え321
(書状、昨日御加恩頂戴目出たき御儀、御肴1折呈上仕るに付) (八田)嘉右衛門・嘉助→(水井)忠蔵様	11月28日	横切継紙・1通	え305
(書状、この一曲呈上仕りたきに付) (竹村)熊三郎→(八田)嘉助様	12月17日	横切継紙・1通	え310
(書状、会所方少々調物仕り、書中を以て願い奉るに付) 中嶋(三右衛門)→(八田)嘉助様申上	12月26日	横切紙/(白紙共)・1通	え317
(書状、年尾ご祝儀として金1両2朱呈上に付)	12月27日	切紙・1通	え290
(書状、年尾のご祝儀申しあげるに付) (八田)嘉助→(片桐)重之助様	(近世)12月28日	横切紙・1通	え281
(書状、年末のご祝儀綿1折・肴1折進上に付)	12月28日	横切紙・1通	え311
(書状、金子借用に出張いたし矢代村松崎の方にて待ち居り候に付) 八田嘉助→小出祐之助様要用	[](虫損)月24日	横切継紙/(虫損あり)・1通	え309

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(金10両2分銀12匁5分5厘他金銭書上)	(近世)	切紙・1通	え247
(助七36貫文亥年中申談の場合支払い他金銭書上)	(近世)	切紙・1通	え249
(差出宛名切り抜き) 八田喜兵衛様・八田嘉助様→水井忠 歳・春日儀左衛門	(近世)	札・1点	え252
(包紙) 坂本常左衛門→八田嘉助様	(近世)	包紙/(虫損あり)・1点	え279
(封筒) 竹村熊三郎→八田嘉助様	(近世)	封筒・1点	え280
(書状、先刻は御尋ね下され有りがたきに付) *後欠		切紙・1通	え246
(白紙)		横切紙・1通	え250
(上白2斗4升3合他数量書上)		切紙・1通	え253
(書状、道中御障り無く着府、守景画1幅高村様お手続きを以て清川様ご吟味願うに付)		切紙・1通	え254
(書状、当3日申し聞くに付)		切紙/(255-1に255-2巻込)/ (虫損甚大)・1通	え255-1
(金10両他金銭書上)		切紙/(白紙1点同封)/(255-1に255-2巻込)/ (虫損甚大)・1通	え255-2
(「向暑之節御座候処」手習)		切紙・1通	え256
(2分他金銭書上)		切紙・1通	え257
(戌4月より亥4月29日まで金銭受払に付)		切紙・1通	え258
小作家賃滞帳(書付)		切紙・1通	え259
(金2分銀4匁9分5厘去春中鹿野様遣わさる分に付)		切紙・1通	え260
(書状、政之進様打込に付)		切紙・1通	え261
(戊正月元日より同10月13日まで1帳他期間書上)		切紙・1通	え262
(7月15日赤飯他品名・金銭書上)		切紙・1通	え263
(当4月29日迄勘定ノ帳)		切紙・1通	え264
(書状、9日の御答書お届け有難きに付)		切紙・1通	え265
(書状、安復奉賀に付)		切紙・1通	え266
(銀26匁5分3厘他金銭書上)		切紙・1通	え267
(書状、青木屋惣兵衛より今夜受取上納金子八田嘉助へ預けるに付)	(近世)	切紙・1通	え268
(酉年分金1両3分2朱銭813文他金銭書上)		切紙・1通	え269
(三ツ身小立羽おり2つ他品物書上)		切紙・1通	え270
(書状、拝借才金上納方追々延引に付)		切紙・1通	え271
(5斗3升他数量書上)		切紙・1通	え272

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(「進上御一品」唐澤彦左衛門様」他手習)		切紙・1通	え273
(書状、昨日下午置き書取入用にて返すべきに付)		切継紙・1通	え275
(書状、伺い申し上げかね、嘉介罷出申し上げるに付)	(近世)	切紙/(虫損あり)・1通	え276
(1両1分銀9匁1分1厘15銭金銭書上)		切紙・1通	え277
(袋) * (袋上書)「富貴漬」善光寺上西町ふの屋清吉		袋/(青色木版印刷)・1点	え278
(書状、御用多きに付) * 冒頭のみ		切継紙・1通	え282
(書状、年末のご祝儀に付) * 冒頭のみ		切継紙・1通	え283
(書状、年尾のご祝儀に付) * 冒頭のみ		切継紙・1通	え284
(「道々」他手習)		切紙・1通	え285
(書状、いよいよ重御儀存じ奉りに付) * 冒頭のみ		切紙・1通	え286
(書状、いよいよ重御儀存じ奉りに付) * 冒頭のみ		切紙・1通	え287
(鏡餅・魚図)		切紙・1通	え288
覚(布袋屋繰合11月中拝借金200両他金銭書上)		横切紙・1通	え289
(「以手紙啓上仕候」他手習)		切継紙・1通	え291
(1両2分1口真他口数書上)		切紙・1通	え292
(袋) * (袋上書)「坂原・矢野参候分」		袋/(白紙1点同封)・1点	え293
(金55両3分1朱銭15貫39文他、金86両1朱銭34貫612文金銭書上)		切継紙・1通	え294
(金7両2分掛方金5両1分他金銭書上)		切継紙・1通	え295
(かきや伴之助・おとき等人名書上) * 裏に「進上 風呂敷」の書付		切紙・1通	え296
此払(金35両重野丈助殿より借用利息返済金他金銭書上)		切継紙・1通	え297
おくすり(目ぐすり他書上)		切紙・1通	え298
覚(金100両利金12両内2両2分喜兵衛方へ差し遣わす旨他内訳残金書上)		切継紙・1通	え299
(書状、寒中見舞い) * 冒頭のみ		切紙・1通	え300
(書状、寒中見舞い) * 冒頭のみ/後欠		横切継紙・1通	え301
(書状、昨夜は御出くだされ御内咄しに付) * 冒頭のみ/後欠		横切紙・1通	え302
(書状、竹花氏17金余の分に付) * 冒頭のみ/後欠		横切紙・1通	え303
(書状、昨夜は御出来くださる処御内々に付) * 冒頭のみ/後欠		横切継紙・1通	え304
(書状、大切の品さっそく返し申すべきに付)		横切継紙・1通	え306

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(書状、虫損のため判読不能) 八田嘉右衛門様・八田嘉助様→[](虫損)	切紙/(307-1と2は虫損のため固着していたが、個別の史料であるため剥離させた)/(虫損甚大)・1通	え307-1
(同おのおの殿他人名書上)	切紙/(307-1と2は虫損のため固着していたが、個別の史料であるため剥離させた)/(虫損甚大)1通	え307-2
(書状、もみの方はごいんかん成し下され、地所の方は何分御もらいたく只今5両差し上げに付) 松山丁→御返事様人々	横切紙・1通	え308
(175両、残り75両1分金銭書上)	横切紙・1通	え312
(俳句、「近付の増て帰りし花見哉」他)	横切紙/(虫損あり)・1通	え313
(「遠山の見らる」他手習)	横切紙・1通	え314
(「喬華楼」他手習)	横切紙/(虫損あり)・1通	え315
(「新茶五月」他手習)	横切紙/(虫損あり)・1通	え316
(「喬華楼」手習)	横切紙・1通	え318
(和歌、冬木梅)	縦切紙・1通	え319
口演(大節の掛物美画等永く恩借、貴公所持の書画便覧借用致したきに付) 喬華楼拜→玉井大助	横切紙/(虫損あり)・1通	え320
(書状、過日差し上げ置く品何卒只今お返し下されたきに付) 知光拜→重芳君	横切紙/(虫損あり)・1通	え322
(「砂唱和別笑」他手習)	横切紙/(虫損あり)・1通	え323
(地口歌・俳諧詩・詩歌下書)	横切紙・1通	え324
(書状、何五百題ただ今在所へ借置くにて、萬題集にては御用に相立つやに付) *後欠	横切紙/(虫損あり)・1通	え325
賄方調(御上七方様ほか1ヶ月入料白米・割麦書上)	横切紙/(虫損あり)・1通	え326
(「松永大介」他手習)	横切紙・1通	え327
(漢字手習、包紙カ)	切紙・1通	え328
(書状、何五百題唯今在所の旨) *冒頭のみ	切紙・1通	え329
(封筒) * (封筒上書)「重芳先生机下 紫都雄拜」 紫都雄拜→重芳先生机下	封筒・1点	え330
(封筒) * (封筒上書)「紫都雄尊大人玉机下 つ十三拜」 つ十三拜→紫都雄尊大人玉机下	封筒・1点	え331
(袋) * (袋上書)「嘉永貳酉年中 金銭請払取調帳 惣差引御書上一紙添 戊正月 御茶間会所」	袋・1点	え332

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(「玄武摺纏」手習)		縦紙/(虫損甚大)・1通	え830
(手習)		縦紙/(虫損甚大)・5通	え832
(手習)		縦紙/(虫損甚大)・3通	え833
二月十三日御祝儀御献立		縦継紙/(虫損)・1通	え834
(袋) * (袋上書)「丑正月□□(虫損)衛門縁組為□□(虫損)覚」		袋/(帳くずれ)/(虫損甚大)・1点	え835-1
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様桐油包添 松沢文右衛門」 松沢文右衛門→八田嘉助様桐油包添		包紙/(虫損甚大)・1点	え835-2
(信濃儀兵衛様・原郷左衛門様・前嶋七郎左衛門様他人名書上)		横折紙/(帳くずれ)/(虫損甚大)・1通	え835-3
(元金1000両の利息として相渡し、この度御下げ金他受取に付) * 雛形		横切紙/(え333～337は巻込一括、外→内)・1通	え333
(「替」手習)		横切紙/(え333～337は巻込一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え334
(書状、娘儀藤井浅右衛門に縁組仕りたき旨、願いの通り仰せ付けられ有り難き仕合わせに付) 井上伝右衛門→八田慎蔵様	(嘉永5年)閏2月29日	横切紙/(え333～337は巻込一括、外→内)・1通	え335
(「藤」「霊」他手習)		横切紙/(え333～337は巻込一括、外→内)・1通	え336
(「欲」他手習)		横切継紙/(え333～337は巻込一括、外→内)・1通	え337
(書状、仰せの通り5000両の御約定、金高多少に関わらず、御請けの申し上げの儀、まず見合わせ置くに付他) * 下書カ/裏面は手習/前欠カ		横切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え338
(書状、御持参申し上げたところ、昨夜中かく乱の様子、今朝御来駕の頃までには宜しくもなく、今日は御延引されたきに付) * 後欠	10月	横切継紙/(え338～421は巻込一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え339
(書状、全松院七回忌、来る未9月より願行寺において法事施行、御苦勞ながら両日とも御家内様御出で御焼成らるべきに付) * 後欠		横切継紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え340
(書状、賢慮も有るべきに付) * 前後欠		横切継紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え341

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

覚(大門添東條両組分他350両口ノ6カ所書上)		横切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)/ (虫損あり)・1 通	え342
(書状、珍重の御儀に付) *冒頭のみ/後欠		横切継紙/(え 338～421は巻 込一括、外→ 内)/(虫損あ り)・1通	え343
(書状、炭屋方へ御人遣わし、私手にて呈上遣わすに 付) *紙背に「光禄」などの手習有り (八田)嘉助・(八田) 慎蔵→(水井)忠蔵様持答		横切継紙/(え 338～421は巻 込一括、外→ 内)/(虫損甚 大)・1通	え344
(書状、昨夜中申し甚難渋に付) *冒頭のみ/後欠		横切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)/ (虫損甚大)・1 通	え345
(書状、出掛け御立寄成し下されたきに付) *後欠		横切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)/ (虫損甚大)・1 通	え346
(書状、御発起御無尽〇印20両の方に面倒ながら書き 入れ願上げたきに付) (八田)慎蔵→表柴町様	6月5日	横切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)/ (虫損甚大)・1 通	え347
(書状、御発起御無尽2口20両の方、10両の方今年相済 みむや、ご面倒ながら書き入れ願上げたきに付) (八田)慎蔵→表柴町様	6月4日	横切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)/ (虫損甚大)・1 通	え348
(書状、当人も病気にて少々延引いたし受取書も内々 外人より差出し未だ出勤の様子なき故此方より遣 わすに付) *後欠		横切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)/ (虫損甚大)・1 通	え349
(書状、なお画帖・画譜御返し成し下され落手に付) * 前欠/え349の後部 (八田)慎蔵→御請申上		横切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)/ (虫損甚大)・1 通	え350
(常田鐵大夫・高柳茂・寺内多聞他人名書上)		横切継紙/(え 338～421は巻 込一括、外→ 内)/(虫損甚 大)・1通	え351
(「青緑之山水密画」表具よろしい他書上) *裏面は手 習い		横切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)/ (虫損甚大)・1 通	え352
(書状、産物仕入れの金子貸付になり、産物買入大坂 表へ送り、諸入料は荷物売り捌き代にて支払に付)		横切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)・1 通	え353

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(書状、娘儀松木衛伴源太郎へ縁組願いたきに付) * (端裏書)「綿」	11月23日	切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え354
(「益々御安泰」他手習)		切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え355
(「魁」「侶」他手習)		切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え356
御参上為御知箇所(矢沢猪之助殿・真田志摩殿他人名書上)		切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え357
(包紙カ) * 包紙上書「御参上為御知箇所附候」		切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え358
(書状、娘儀松木衛伴源太郎へ縁組願いたきに付) * (端裏書)「弥々御出候」	11月23日	切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え359
(書状、娘儀松木衛伴源太郎縁組へ願いたきに付)	11月23日	切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え360
(矢沢猪之助・真田志摩・真田図書・鎌原石見他人名書付)		小切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え361
(入金20両八田店他金銭書上) * 墨消		横切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え362
(「松木衛」他手習)		小切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え363
(書状、娘儀松木衛伴源太郎へ縁組、願の通り仰せ付けられ有り難きに付)	11月23日	小切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え364
(趙子昂、雪舟、陸淪他人名書上)		小切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え365
(書状、娘儀松平伊賀守様御家来伊藤源右衛門摘流源七へ縁組仕りたきに付他) * 下書		小切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え366
(「松代」「山寺久道」他手習)		小切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え367
(「娘儀松平伊賀守様御家来川上」他手習)		小切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え368

(「青銅五匹」「八田慎蔵」他手習)		小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)・1 通	え369
(「慶」「源」他手習)		小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)/ (虫損あり)・1 通	え370
(「空中作海応手水消」他手習)		小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)・1 通	え371
(「佐久間平啓大星子明」他手習)		小切継紙/(え 338～421は巻 込一括、外→ 内)/(虫損あ り)・1通	え372
(「空中造」他手習)		小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)/ (虫損あり)・1 通	え373
(店掛りの者食事など茶の間へ罷り在るべきに付他家訓書) *墨消	8月11日	小切継紙/(え 338～421は巻 込一括、外→ 内)/(虫損あ り)・1通	え374
(書状、今般甘草方はもちろん店惣調べ申し渡し、早速取り調べ差し出すべきに付) *墨消	8月18日	小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)/ (虫損あり)・1 通	え375
(書状、娘儀松木衛伴源太郎へ縁組仕り、願の通り仰せ付けられ有り難きに付) (八田嘉助)→桜井利左衛門	11月23日	小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)・1 通	え376
(「西洋兵製」他手習)		小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)・1 通	え377
(「娘松木」他手習)		小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)・1 通	え378
(清須丁石倉加太夫他人名書上)		小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)・1 通	え379
口上覚(私娘儀松木衛伴源太郎へ縁組、願の通り仰せ付けられ御知らせに付) 八田嘉助→小山田采女様		小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)・1 通	え380
(書状、娘儀松平伊賀守様御家来伊藤源右衛門摘流源七へ縁組、願の通り仰せ付けられ御知らせに付) * 下書/(端裏書)「松平伊賀守様御家来」		小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)・1 通	え381

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

会席(汁・飯・椀・燈もの・吸もの・酒肴他書上)		小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)/ (虫損あり)・1 通	え382
(書状、娘子松木衛様永子源太郎へ縁組、願の通り仰 せ付けられるに付) *下書 病氣八田嘉助・名代八田喜 兵衛		小切継紙/(え 338～421は巻 込一括、外→ 内)・1通	え383
(白紙)		小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)・1 通	え384
(御家老様・御中老様・大目付様他銀高書上)		小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)・1 通	え385
(銀44匁5分金銭書上)	(近世)	小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)・1 通	え386
(書状、金350両抛なく要用に付忠藏殿へ借用仕りた きに付)	(近世)	小切継紙/(え 338～421は巻 込一括、外→ 内)・1通	え387
(望月此面他人名書上) *墨消		小切継紙/(え 338～421は巻 込一括、外→ 内)/(虫損あ り)・1通	え388
□(虫損)山紬 一端 *包紙カ		小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)/ (虫損あり)・1 点	え389
(墨を拭いた紙カ)		小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)・1 通	え390
以書取申上候(舅栄八勝手難渋、御当所へ罷越すところ、 同人娘縁組仕り、私別居致したきに付) *下書		横切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)/ (虫損あり)・1 通	え391
以書取申上候(これまで舅栄八と同居のところ、この たび同人鍛冶町へ転宅、別居仕りたきに付) *下書		横切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)/ (虫損甚大)・1 通	え392
(借用証文) *前欠・差出・宛名・奥書のみ []伊助(印墨 消)、(奥書)八田嘉助→水井忠藏様・片桐重之助様(印墨消)		縦紙/(え338～ 421は巻込一 括、外→内)/ (虫損あり)・1 通	え393
(八田嘉助・宮本慎助・色部儀大夫他人名口数書上)		小切紙/(え338 ～421は巻込一 括、外→内)/ (虫損あり)・1 通	え394

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(書状、昨夜願った甘草の始末方の儀他に付)		小切継紙/(え338~421は巻込一括、外→内)・1通	え395
(書状、昨夜申し上げた通り甘草始末方の儀、段々精進、松木氏にも前条の通り願い申し上げるに付)		小切継紙/(え338~421は巻込一括、外→内)・1通	え396
(「佐久間修理様」他手習)		小切継紙/(え338~421は巻込一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え397
口演(この度大瀧の産まれと申しあげるに付) 阿弥より→(八田)慎蔵様急用		小切継紙/(え338~421は巻込一括、外→内)・1通	え398
(書状、宜しき品を此者へ願い上げ奉るに付) *下書カ		小切紙/(え338~421は巻込一括、外→内)・1通	え399
(書状、出来の書類、昨日喜兵衛拝見に付)		小切紙/(え338~421は巻込一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え400
(冥加金貸付金額人名他書付)	(近世)	小切紙/(え338~421は巻込一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え401
(戌年暮割取金7両1分頂戴に付) *表裏面とも手習いに使用	(近世)	小切紙/(え338~421は巻込一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え402
(友吉より金11両請取他金銭書上) *墨消	(近世)	小切紙/(え338~421は巻込一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え403
(書状、願いの品、この者へ下すよう願うに付)	5日	小切紙/(え338~421は巻込一括、外→内)・1通	え404
(味噌1合・焼酎1合他諸品代金書上)		小切紙/(え338~421は巻込一括、外→内)・1通	え405
(私役代伝兵衛手代栄八御領産甘草商売の儀、佐久間脩理殿へ申し談し、御同人よりも当時甘草は諸国に無く、北海廻りにて積み登りの儀、御聞き済ましに付) *写/後欠カ		小切紙/(え338~421は巻込一括、外→内)・1通	え406
(和作550匁2分9厘他金銭書上)	(近世)	横折紙/(え338~421は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え407

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(書状、只今までの姿にては如何にも取り計らいかねる様子に付) *下書 八田慎蔵→佐久間脩理様		小切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え408
(「片桐石見守」他手習)		小切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え409
(書状、萬頭和尚彫刻出来、萬頭和尚へは別段何も申さざるに付)		小切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え410
(書状、御普請先頃出来、猶借財多分に相成り三千人講発起致したきに付) *後欠		横切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え411
(「禍」「縁」他手習)		横切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え412
(「久保田助太郎他」他手習)		切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え413
(書状、御縁金1000両をもって手代栄八取計にて甘草荷大坂道修町問屋へ入置、炭屋へ相渡すに付) *裏面は漢字手習/前後欠		横切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え414
(「脩」「間」手習)		切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え415
(「清」「風」手習)		切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え416
(書状、和尚一向承知なく無尽のに付) *前後欠		横切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え417
(書状、大坂表へ諸家様の御産物御蔵屋敷積入、何品によらず目に入れ、高札へ売捌く事が定法に付)		横切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え418
(書状、娘儀松木衛伴源太郎へ縁組願いたきに付) * (端裏書)「宮下」	11月23日	切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え419
(書状、娘儀松木衛伴源太郎へ縁組願いたきに付) * (端裏書)「宮本慎助様 八田嘉助」 八田嘉助→宮本慎助様	11月22日	切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え420
(「南」「逾」他手習)		切紙/(え338～421は巻込一括、外→内)・1通	え421

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

覚(未年中御内用荷駄4貫代金5両1分銭5貫373文他ノ金6両2分銭209文請求に付) 御荷物会所	11月	横切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)/(紙片同封)・1通	え422
覚(紅粉錫入10個代金500文金銭書上) 宇野屋甚五郎(印)→上	11月24日	切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え423
(書状、御新造様仰せ下さる御きせる出来にて、御落手下されたきに付) (佐竹)周蔵→(八田)嘉助様申上	8月(24日)	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え424
①御請一札之事(当年違作米穀差支え、融通米世話元の八町名主並びに穀屋行司心切りに取り計らい仰せ付けられ承知に付) *写、②御請申一札之事(御用の外酒商売蔵売・店売御差し留めのところ、今日御免仰せ出だされありがたきに付) *写 ①伝兵衛、(奥書)名主、②いせ町伝兵衛、(奥書)名主奥印→①・②御奉行所		横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え425
覚(御的矢など計58本念入り差上に付) 鳩三郎左衛門→上	6月21日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え426
覚(生酒9本代金225両他ノ400両金銭書上)		切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え427
(書状、大坂一条お手数恐れ入り、宜しく願い奉るに付) (中島)三右衛門→(八田)嘉助様御受	12月5日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え428
(書状、小川弥八郎先生より塩の儀、近来値段高直にて取り計らいでき兼ねるに付)		切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え429
口上覚(大坂伏見屋孫兵衛俵与市・家来1人・小川弥八郎都合3人昨夜罷越し、中町梅田屋栄作方へ止宿、逗留御届けは栄佐より申上に付) 高井善右衛門→御産物方御会所	寅11月18日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え430
(書状、塩の儀今少し御力を入れては如何、引き船にて運送は相ならざるやに付) (堀内)与一右衛門→(八田)嘉助様	3月8日	切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え431
覚(御状1枚・菓子2箱預かるに付) 田中求達→八田様御内要之助様	8月15日	切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え432
覚(花色織具足他品物書上)		横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え433
覚(江戸において佐竹周蔵様へ御預けの為替金1000両受取に付) *墨消 高井郡中野村伊賀屋太郎兵衛→松代御産物方御掛り様	天保14卯年2月13日	横切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え434

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(書状、荒神町書面の儀、諸事御届けの処、7月済にて取り計らい差し支えなく、いずれ若君様へ内談仕り、書面差し出しの上は追って会所にて取り計らいのに付)		横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え435
(書状、御機嫌快いに付) *冒頭のみ		切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え436
覚(金2分銭426文他メ金1両3分2朱銭375文金銭書上) →八田嘉助様御内	午7月13日	切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え437
(書状、昨夕江府より書状到来につき、この度金子送るに付) * (端裏書)「乍矢張御書入奉願候」	4月21日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え438
(「太平志願」他手習)		切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え439
覚(品々調物代金2分1朱68文他メ金3分3朱3貫336文請求のところ、和七金5両拝借のため、差引金3両3分1朱360文預りに付金銭書上) 和七→上	寅3月	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え440
(書状、かねて願上げの拝借金上納は大延引のところ、32両上納するに付) * (端裏書)「忠蔵様金32両添嘉助」 (八田)嘉助→(水井)忠蔵様金三十拾式両添	9月5日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え441
(書状、返納申し召し次第にていずれ江府問い合わせの上返済に付) * (端裏書)「伊勢町様内事 竹山丁」 竹山丁→伊勢町様内事	11月5日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え442
(書状、上田様御城方取引は御在所役人も参る趣にて、このうえ公迎へも聞き届けが済めば、増田も大安心大悦に付) * (端裏書)「八月廿日大町より至来」 (佐竹)周蔵→(八田)嘉助様	8月15日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え443
覚(金4両喜三郎他男女給金メ金19両1分2朱銀6匁御下げ金願いに付)	3月2日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え444
(書状、堀内氏より別紙の通り上納の儀昨年手元へ取り置き、且つ受け払いのところ早速勘定取り極め願いたきに付) * (端裏書)「嘉助様 喜兵衛」 (八田)喜兵衛→(八田)嘉助様	3日	切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え445
覚(去る戌年中御朱印改の節江戸表にて大塚孝作殿より銀6匁を借用、今般慥かに受取に付) 浄福寺(印)→八田嘉助殿	丑7月	横切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え446
(書状、明日四つ時頃より罷り出たき趣を榮八へ仰せ渡されたきに付) 春日儀左衛門→八田嘉助様	9月11日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え447
(書状、今日両村共御調の段、度々別紙手続書面にて御尋ねがあるに付) *後欠カ		横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え448

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(佐野山20両他ノ210両金銭書上)		切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え449
(書状、岩城500両上納手形の内200両の申し受けは、5月10日迄返納に罷り越すので、御内含み願いに付) *下書		横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え450
(書状、家作は只今の段にては入増等ないが、なおもお調べ申し上げたく内慮伺いに付) *前欠カ	西12月4日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え451
(書状、金子御廻しの儀、慥かに落手し上納取り計らい、別紙の通り預かり置くに付) (水井)忠蔵→(八田)嘉助様印書添	10月6日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え452
(書状、いせ町様よりおやい方へお遣わしの金1両2分慥かに預かるに付) 定右衛門→木町様	(近世)7日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え453
覚(金5両仁科甚十郎殿他金銭書上)		切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え454
覚(ねり羊羹代銀8匁8分他ノ18匁8分請取に付) 越後屋播磨(印)→上	(近世)11月24日	縦紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)/(木版)・1通	え455
覚(箱代銀8匁他ノ銀15匁3分5厘金銭書上) さのや又五郎→八田様	(近世)	横切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え456
(元利ノ金4両1分[])(虫損)4厘亥暮済切金書上)	(近世)	横切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え457
(書状、この帳面を御手の方に差し上げるので落手されたきに付)	3日	切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え458
増七義外出仕不罷帰ニ付御尋申上候草文(八幡宮へ参ったまま翌日になっても帰らざるに付) *下書		切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え459
(赤間石硯他諸品書上) *前後欠		横折紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え460
(書状、少し買入物があるので、両3日の内金30両拝借願うに付) (八田)嘉助→寺町様要用御書入奉願上候	4月8日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え461

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(包紙)* (包紙上書)「八田嘉助様内用書 佐竹周蔵」 佐竹周蔵→八田嘉助様		包紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1点	え462
(「寅十月六日金100両大丸屋為替」書付)	(近世)寅10月6日	折紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え463
差引一紙(二筆ノ6月元金100両他元金ノ153両3分2朱銀5匁金銭書上)*墨消	(近世)9月4日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え464
差引一紙(6月元2口ノ金100両他元金ノ153両2朱銀5匁受取に付)	(近世)8月4日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え465
(書状、冥加金御本送帳の儀、外同役御願ひにて今日私へ廻り、慥かに落手に付) 太一郎→(八田)喜兵衛様	(近世)11月3日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え466
(書状、今晚召し呼ばれるところ、ご不幸故御挨拶申し上げるに付) (片桐)重之助→(八田)嘉助様申上置	正月20日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え467
(塗鞍2口他1箱入りを落手願うに付)	5日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え468
(金1両2分の内、金1両1分銀5匁5分4厘切手1通を差し上げ、残金2朱銀221文返上に付金銭書上)	(近世)	切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え469
(包紙)* (包紙上書)「嘉助様 周蔵」 (佐竹)周蔵→(八田)嘉助様		包紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1点	え470
(源吾へ渡し金他ノ金11両3朱銀308文金銭書上)	(近世)	切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え471
(煩八田嘉右衛門他人名書上)		切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え472
(「差引一紙」手習)		切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え473
(嘉助出分金2両2朱銀2分8厘他金銭書上)	(近世)	切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え474
(拝借返上済み、年限中家内扶助差支無きよう取続方申し談じ、親戚共世話仕るに付一札控)		切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え475
(書状、先月中勘治への貸金20両に10両を取り入れ30両に付)	(近世)4日	切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え476

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(酒1とっくり・干瓢2巻書上)		切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え477
(「兵者国之大事也」他手習)		切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え478
(望月公御手重の品頂戴にて、嘉右衛門より私を以て厚礼申し上げるに付書付)		切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え479
(書状、増七へ金子の儀、先月勘治に貸した金20両に10両入れて、30両で繰合したきに付)	(近世)5日	切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え480
(要之助帰りの節の手配他に付書付)		切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)/(白紙切端共)・1通	え481
(20文代金受取書) こしの[印]→上	(近世)8月23日	切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え482
(書状、金300両落手にて夕刻引取に付) 友治→(八田)嘉助様	(近世)10月22日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え483
(書状、金50両御廻しなされたきに付) (八田)辰三郎→(八田)嘉助様	(近世)11月晦日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え484
(書状、御拝借金は一兩日にて1ヶ月の利分を差し出すのは難渋に付) (片桐)重之助→(八田)嘉助様	10月25日	切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え485
覚(金100両を一兩日間拝借に付) 清十	(近世)寅9月6日	切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え486
(書状、紬仕入れに御城町へ罷り出た節、泉屋政吉申立あり、掛り評議の上委細申し上げたきに付)*下書 産物会所掛り→三井店買役	9月26日	切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え487
(書状、益々ご機嫌よく有らせられるに付)*下書		切紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え488
(書状、木綿行司の行違にて、評所への罷り越しが夜中になり失敬の段、ご高免下されたきに付) いせ町→上柴丁様御直覧可成下候差置	9月29日	横切継紙/(え422～526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え489

8. 内方・産物会所混合文書 / 2. 書状・領収書ほか一括

(書状、御内命の上納金の儀、今日上納すべきか、水井公迄願ひ出るべきか伺いに付) 上 (八田)嘉助→下吉町様御受奉願上候	9月30日	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え490
覚(金200両差引に付) 与三左衛門	(近世)	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え491
(書状、27回忌相当にて来る26,7日に執行のところ、少々余儀なく要用あるに付)	20日認	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え492
(書状、120両為替証文差し上げるべきところ持病宜しからず、引替証文差し上げるので落入下されたきに付)	(近世)[]月28日	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え493
(書状、当時流行物の儀は、呉服色は鼠の様子にて、無地紋付は先ず無く小紋の類多い等委細書取に付) *(端裏書)「お梅様御内注文書取 代金壹両也但紙代とも」		横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え494
(書状、領内要地の場への琉球植は、出来方手入等不届場もあり、御内見分成し下されたきに付)	(近世)	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え495
(書状、領内地所の儀、明日12日琉球林方見分にて作場所へ出戻り致すべきに付) □(虫損)町寅五郎・下田町弥兵衛・肴町弥十郎・東寺尾村磯之丞・七郎右衛門・□□(虫損)村三太夫・甚平	(近世)	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え496
(御会席献立書上)		横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え497
(書状、内談の趣片桐へ申し遣わすところ返書来ず、直談の積もりにてても御願今朝御断りの由、何分一筆遣わし下さりたきに付) (八田)喜兵衛→(八田)嘉助様	10月25日	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え498
(書状、原隼之進殿御組へ御番入に付) 友野俊蔵→八田嘉右衛門様・八田嘉助様	10月18日	切紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え499
(書状、寸法・彫り方他注文、仰せを蒙りたきに付) → (八田)嘉助様	4月	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え500
(書状、弥八郎より書面にて申立の上、町よりその願申し上げるに付) (松本)嘉十郎→(八田)嘉助様申上置	(近世)11月	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え501

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(書状、回章拝見仕るところ条々御一統様計りにて外様存念も如何や評議下されたくに付) *下書 三井店文四郎	(近世)	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え502
(書状、十八屋為替金200両1通・300両1通当23日産物方出前の折仕掛為替証文廻す様仰せを蒙る他に付) *506の後部 (佐竹)周蔵→(八田)嘉助様申上	(近世)[](虫損)月6日	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(前欠)/(虫損甚大)・1通	え503
(書状、一朱銀300両は御納戸預けに取り計らい、金子手段は水野が罷り越すので委細相談されたきに付) * (端裏書)「三百両手紙入」 (水井)忠蔵→(八田)嘉助様申上	(近世)10月12日	横切紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え504
覚(紬14反他代金68両1分2朱銭780文他メ金275両1分銭2貫613文金銭差引書付)	(近世)2月14日~5月17日	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(後欠)/(虫損あり)・1通	え505
(書状、十八屋為替金200両1通・300両1通当23日産物方出前の折仕掛為替証文廻す様仰せを蒙る他に付) *503の前部 (佐竹)周蔵→(八田)嘉助	(近世)	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(後欠)/(虫損あり)・1通	え506
(書状、忠兵衛方祝儀は用立次第出府に付) (金児)丈助→(八田)嘉助様	4月24日	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え507
(書状、先月28日母死去に付) 九沢栄入→高梨増七様	(近世)4月朔日	切紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え508
(書状、裏座敷にて隠居のところ、所々見物に参るに付) →(御祖父様)	(近世)7月27日	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え509
(大神宮御門戸ひら板寸法書付)	(近世)	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え510
極御内々奉伺候(私儀是迄取り計らい向き不行届のため追々大借罷り成るに付) * (端裏書)「極御内々御内慮奉伺候以上」 *後欠	(近世)	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え511
覚(十八屋紋右衛門より菊屋伝兵衛分送り金200両為替受取に付) (佐竹)周蔵→(八田)喜兵衛様・(八田)嘉助様	(近世)4月6日	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え512
(書状、嘉助様より御返事到来、一刻も早く御挨拶仕るべきに付) 徳田五百人→八田辰三郎様略義御免被下候	(近世)4月5日	横切紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え513

8. 内方・産物会所混合文書 / 2. 書状・領収書ほか一括

覚(花月盃額盆他代金メ銀49匁銭5文受取に付) 清の 屋三右衛門(印)→上	(近世)11月18日	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え514
(メ金103両2分銀4匁6分金銭書上)	(近世)	横切紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え515
(書状、運送道中、京都あたりにて墨を売る伏見屋損毛の儀に付) (八田)嘉右衛門→(八田)喜兵衛様・(八田)嘉助様	(近世)3日	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え516
覚(大台・肴・酒代他メ金1両1分1朱銭300文受取に付) 松坂屋→上	(近世)11月9日	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え517
覚(御秤台代金2分銀3匁8分受取に付) 平清(印「深川玉橋@平清」)→御客様	(近世)11月15日	切紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え518
覚(小立他代金1両2朱銀4匁5分受取に付) 船過御(印「深川新地□□□(印影不鮮明)」)→御客様い勢本様	(近世)霜月16日	切紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え519
(書状、兼ねて申し上げの通り明朝の件を願いに付) (八田)喜兵衛→(八田)嘉助様	(近世)4月14日	切紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え520
(10月22日ハツ時嶋屋忠三郎他人名書上)		横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え521
(書状、増田より金子催促、万作遣わしお渡ししたきに付) (八田)辰三郎→(八田)嘉助様	(近世)晦日	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え522
覚(御掛硯他入用銀28匁5分受取に付) 藤木代利兵衛(印「日本橋南二町目藤木」)→上	11月24日	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)・1通	え523
(書状、増七八幡宮・大神宮へ参詣のところ帰らず、お尋ねに付) *下書		横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え524
(書状、売上書面にて代料のところ有り合わせの下銀までしたきに付) (佐竹)周蔵→(八田)嘉助様	(近世)8月8日	横切継紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え525
乍恐以書付奉願上候(酒造商売仰せ付けのところ運送滞りに付) *下書		横切紙/(え422~526は巻込、紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え526
(包紙) * (包紙上書)「御覧」 御寺町宝間寺→上		包紙/(え527~579は巻込一括、外→内)/(礼紙有)・1点	え527

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(包紙) * (包紙上書)「まふ 二」		包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (白紙共)・1点	え528
進上 八田孫太郎		札/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (白紙共)・1点	え529
進上 八田鉄次郎		札/(え527～579は巻込一括、外→内)・1点	え530
進上 八田喜兵衛	(近世)	札/(え527～579は巻込一括、外→内)・1点	え531
進上 八田辰三郎	(近世)	札/(え527～579は巻込一括、外→内)・1点	え532
進上 八田嘉右衛門	(近世)	札/(え527～579は巻込一括、外→内)・1点	え533
進上 八田嘉助	(近世)	札/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (白紙共)・1点	え534
(書状、山中筋諸商人共売切代金滞り難渋、石川村藤左衛門・牧野嶋村友左衛門より荷宿の儀鑑札頂戴し冥加上納したく惣代吉原村庄之助を以て願うに付) * 後欠		横切紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (白紙共)・1通	え535
(館崎弥市・宮崎小弥太他人名書上)		切紙/(え527～579は巻込一括、外→内)・1通	え536
堀井とら(印)		切紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (白紙共)・1通	え537
覚(お葉84服立田平兵衛様分他金銭受取書上)	巳12月26日8ツ半時相改	横切紙/(え527～579は巻込一括、外→内)・1通	え538
(袋) * (袋上書)「極上白檀拾五匁」		袋/(え527～579は巻込一括、外→内)・1点	え539
(包紙) * (包紙上書)「本渡大官香代銀三匁五分一把」		包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (白紙共)・1点	え540
(包紙) * (包紙上書)「御用 現金安売本生掛御蠟燭所 信州松代木町丁子屋喜三郎」 [印「御用現金安売本生掛御蠟燭所信州松代木町丁子屋喜三郎」]		包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (白紙共)・1点	え541

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(印) * かすれ		堅紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (白紙共)・1通	え542
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様桐油包添 佐竹周蔵」 佐竹周蔵→八田嘉助様桐油包添		包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)・1点	え543
(包紙) * (包紙上書)「午八月廿六日出ス 上 吉田村・布野村」 吉田村・布野村→上	午8月26日出ス	包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (白紙共)・1点	え544
(「胡蝶ふかき」手習)		堅紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (白紙共)・1通	え545
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様御取次中様」 →八田嘉右衛門様御取次中様		包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (虫損甚大)・1点	え546
(包紙) * (包紙上書)「しん上御年賀」		包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (虫損甚大)・1点	え547
(包紙) * (包紙上書)「御山杉御菓子盆」		包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (虫損甚大)・1点	え548
(包紙) * (包紙上書)「御紙のり」		包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (虫損あり)・1点	え549
(包紙) * (包紙上書)「上」 →上		包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (虫損甚大)・1点	え550
(四ツ屋茂右衛門一重他そうめん、白玉12件書上)	(近世)	横切継紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (虫損甚大)・1通	え551
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様御道行中様 内田屋甚右衛門」 内田屋甚左衛門→八田嘉助様御道行中様	(近世)	包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)・1点	え552
進上(御肴代20匹) 岡野陽之助	(近世)	堅紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (札紙あり)/ (虫損甚大)・1通	え553
しん上(真綿) * 覚(金30両無心)の反故の紙背	(近世)	堅紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/ (虫損あり)・1通	え554

8. 内方・産物会所混合文書 / 2. 書状・領収書ほか一括

覚(初穂200匹他神納に付) 皆神山納所(印)→八田嘉右衛門様・八田嘉兵衛様御使中	(近世)辰年8月28日	堅紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え555
(書状、新春御吉慶目出たきに付) 桑名御定宿銭屋又左衛門→八田嘉右衛門様貴下	(近世)正月2日	横折紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/(白紙共)/(虫損あり)・1通	え556
(包紙) * (包紙上書)「麤品」	(近世)	包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/(白紙共)/(虫損あり)・1点	え557
(包紙) * (包紙上書)「風流御团扇」	(近世)	包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/(青色印刷)/(白紙共)/(虫損あり)・1点	え558
(包紙) * (包紙上書)「進上 御煙草」	(近世)	包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)・1点	え559
(包紙) * (包紙上書)「固分」	(近世)	包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/(白紙共)・1点	え560
(包紙) * (包紙上書)「進上 小魚 一 八田嘉助様 柄松与兵衛」 柄松与兵衛→八田嘉助様	(近世)	包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/(白紙共)・1点	え561
(51文茂七殿他金銭人名書上断簡)	(近世)	横折紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/(白紙共)・1点	え562
(包紙) * (包紙上書)「薄色筑前紋」	(近世)	包紙/(え527～579は巻込一括、外→内)・1点	え563
(断簡)	(近世)	断簡/(え527～579は巻込一括、外→内)・1点	え564
白木之天子術惣剣 * (裏面)「大貌利大泥亜大貌利大泥亜」	(近世)	横切継紙/(え527～579は巻込一括、外→内)/(白紙共)・1通	え565
(「病気八田嘉右衛門・名代八田孫兵衛」)	(近世)	札/(え527～579は巻込一括、外→内)・1点	え566
(書状、残暑厳しきに付) →落合本之進様	(近世)	横切紙/(え527～579は巻込一括、外→内)・1通	え567

8. 内方・産物会所混合文書 / 2. 書状・領収書ほか一括

(和歌短冊下書)	(近世)	/(え527～579 は巻込一括、外 →内)・1点	え568
燕石雑誌 瀧菊名亀作	(近世)	切紙/(え527～ 579は巻込一 括、外→内)・1 通	え569
(書状、差出・宛名のみ) (八田)孫太郎拜→友喜様	(近世)	札/(え527～ 579は巻込一 括、外→内)・1 点	え570
(「八田嘉右衛門知義」)	(近世)	切紙/(え527～ 579は巻込一 括、外→内)/ (白紙共)・1通	え571
(封筒、「嶺」「山」他手習)	(近世)	封筒/(え527～ 579は巻込一 括、外→内)・1 点	え572
(断簡)	(近世)	断簡/(え527～ 579は巻込一 括、外→内)・1 点	え573
(書状、倅又吉前髪剃りたき願いのところ、仰せつけ られ有り難きに付) 病氣八田嘉右衛門・名代八田孫太 郎→岩瀬藤兵衛様	(近世)	切紙/(え527～ 579は巻込一 括、外→内)・1 通	え574
(書状、先達中拝借の神輿周蔵を以て遣わずに付) * 下書	(近世)	切紙/(え527～ 579は巻込一 括、外→内)・1 通	え575
深山礼喜歩	(近世)	切紙/(え527～ 579は巻込一 括、外→内)/ (白紙共)/(虫 損あり)・1通	え576
(「飯人」手習)	(近世)	断簡/(え527～ 579は巻込一 括、外→内)・1 点	え577
Grammatiei	(近世)	切紙/(え527～ 579は巻込一 括、外→内)・1 通	え578
(「病氣八田嘉右衛門・名代八田孫太郎」)	(近世)	札/(え527～ 579は巻込一 括、外→内)・1 点	え579
(印「上州桐生新宿絹重」)	(近世)	包紙/(え580～ 584は巻込一 括、外→内)・1 点	え580
(包紙) * (包紙上書)「干瓢」	(近世)	包紙/(え580～ 584は巻込一 括、外→内)/ (白紙共)・1点	え581
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様 佐竹周蔵」 佐竹周蔵→ 八田嘉助様	(近世)	包紙/(え580～ 584は巻込一 括、外→内)・1 点	え582

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

覚(箱入2間18掛御琴糸1丁17匁5分受取に付) 松葉屋 久兵衛(印、㊤京橋二丁目松久)→上	(近世)8月5日	切紙/(え580～ 584は巻込一 括、外→内)・1 通	え583
(袋)＊(袋上書)「八田嘉助様 佐竹周蔵 佐竹周蔵→八田 嘉助様	(近世)	袋/(え580～ 584は巻込一 括、外→内)・1 点	え584
(宅まで河原左兵衛様・藤田外記様・池田大内蔵様、寺 まで塩野熊之助様、親類にてお礼の事書上覚)	(近世)	横切紙/(え585 ～601は紙縫一 括、外→内)/ (白紙共)/(紙 縫共)/(虫損甚 大)・1通	え585
(硯蓋他諸品書上)	(近世)	横折紙/(え585 ～601は紙縫一 括、外→内)/ (白紙共)/(虫 損甚大)・1通	え586
(包紙)＊(包紙上書)「[](破損、以下同)坂[]原木坂[]内 屯人」 →[](破損、以下同)坂[]原木坂[]内屯人	(近世)	包紙/(え585～ 601は紙縫一 括、外→内)/ (白紙共)/(虫 損甚大)・1点	え587
(「長命盛気煉」効能書)＊裏に木版「清気煉」説明 配剤済 容館賢修謹製(印)	(近世)	堅紙/(え585 ～601は紙縫一 括、外→内) /(木版印刷)/ (虫損甚大)・1 点	え588
(書状、御席の節暑中伺いに付)＊下書 菊屋伝兵衛→炭 (炭屋)孫七様几下	(近世)6月朔日	横折紙/(え585 ～601は紙縫一 括、外→内)/ (虫損甚大)・1 通	え589
(「栗二寸五□(分)角 長六尺五寸」)	(近世)	札/(え585～ 601は紙縫一 括、外→内)/ (虫損あり)・1 点	え590
(包紙断簡)＊(包紙上書)「信州松代御家中八田嘉助様要用 [](破損、以下同) 摂州大[]御城内[]」 摂州大[](破 損、以下同) 御城内[]→信州松代御家中八田嘉助様要用[](破損)	(近世)	包紙/(え585～ 601は紙縫一 括、外→内)/ (虫損あり)・1 点	え591
進上(龜酒一樽・鰯二把)＊八田嘉助書状紙背文書／後欠 小村唯蔵・八田嘉助・八田喜兵衛・伊藤一学・小出秋之助・小 村与右衛門・柳沢一郎・八田義三郎他	(近世)	堅紙/(え585～ 601は紙縫一 括、外→内)/ (白紙共)/(虫 損あり)・1通	え592
(金50両他金銭書上)	(近世)	横切紙/(え585 ～601は紙縫一 括、外→内)/ (虫損あり)・1 通	え593
(うしろ7他寸法書上)	(近世)	横折紙/(え585 ～601は紙縫一 括、外→内)/ (虫損甚大)・1 通	え594

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(書状、超年恐悦至極に付) 酒屋市郎右衛門→八田旦那様尊下	(近世)正月2日	横折紙/(え585～601は紙縫一括、外→内)/(白紙共)/(虫損甚大)・1通	え595
(書状、即刻お成り願いに付) キヤノ拜上→伊勢[] (虫損)申上	(近世)2月17日	横折紙/(え585～601は紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え596
(包紙)* (包紙上書)「松代伊勢町八田鎮治助様尊下 野沢湯本酒屋市郎右衛門」 野沢湯本酒屋市郎右衛門→松代伊勢町八田鎮治郎様尊下	(近世)	包紙/(え585～601は紙縫一括、外→内)/(白紙共)/(虫損甚大)・1点	え597
(書状、甚だ酷酈失敬書中を以てお詫び申し上げるにて又々の御光来お願い且つ麓末の品呈上お笑留め下されたきに付)	(近世)9月24日	横切紙/(え585～601は紙縫一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え598
(「しろにて」手習断簡)*後欠	(近世)	横切紙/(え585～601は紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1点	え599
(包紙)* (包紙上書)「雲州侯御筆」	(近世)	包紙/(え585～601は紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1点	え600
(「花」「上」他手習)	(近世)	縦紙/(え585～601は紙縫一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え601
(伝右衛門小作地初3俵1斗9升9合他初数書上)	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)/(虫損あり)・1通	え602
(東條村南組名所腰豊田地初10俵他初数書上)*え602と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)/(虫損あり)・1通	え603
(河原新田名所荒神町裏畑初4斗1升8合他初数書上) *え602と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)/(虫損あり)・1通	え604
(名所堀切新田初4斗1升3合他初数書上)*え602と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)/(虫損あり)・1通	え605

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(東寺尾村名所道嶋畑粉23俵2升9勺他物数書上) *え602と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内) /(綴穴あり)/ (虫損あり)・1 通	え606
(東福寺村名所堀切川向西河原沖畑粉1俵2斗9升7合5勺他物数書上) *え602と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内) /(綴穴あり)/ (虫損あり)・1 通	え607
持地田畑小作高改元帳 *え602と関連カ	天保8酉年	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内) /(綴穴あり)/ (虫損あり)・1 通	え608
年賦金請取覚 八田嘉右衛門(印)	文政12丑年	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え609
(巳12月22日巳年分請取金1両銀1分5厘他金銭書上) *え609と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え610
(亥12月23日亥年分請取金1両1分銀5匁他金銭書上) *え609と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え611
(上納金差引金3両4分銭487文不足他金銭書上) *え609と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え612
(東原村北組畑高当年分金3両2朱銭755文上納金他金銭書上) *え609と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え613
(荒町村分畑高共入込金4両1分銀6分6厘上納金他金銭書上) *え609と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え614
(寅年平林村分上納金2分銀6分5厘他金銭書上) *え609と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え615
御持山年々出高上納並びに小作年貢大凡取調覚(天保12丑年平林村分上納金2分銭2貫2分5厘他金銭書上) *え609と関連カ/朱墨消	(天保12丑年)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え616

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

丑年より辰年迄之年貢取調覚	弘化元辰年12月	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え617
天保十二丑手扣(角兵衛殿金70両他金銭書上)	(天保12丑)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え618
(御届掛金200両他金銭書上) * え618と関連カ	(近世)8月	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え619
預り金並無尽懸出掛戻向丑年迄取調之内払物代金 年々入箇金指引調帳	(近世)丑9月20日調	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え620
丑利金七百五拾真吉方領(右元利金8265両余内訳書 上) * え620と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え621
(亥年分入金高金384両他金銭書上) * え620と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え622
(申利金676両2分余他金銭書上) * え620と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え623
(卯利金534両3分他金銭書上) * え620と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え624
(金500両他金銭書上) * え620と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え625
(但し酉年久助へ取替置き、この度病死に付御助成他 金銭書上)	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え626
貸店惣勘定取調帳 市兵衛	(近世)丑6月	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え627
(閏4月調残り金176両2朱銭287文他金銭書上) * え620 と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え628

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

暮方入料凡積り帳	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え629
暮方入用積り(金8両味噌入料他金銭書上) * え629と 関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え630
(暮方凡積り取調べ、宜しく願ひ上げに付) * え629と 関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え631
(家賃金90両3分銀7匁7分9厘他金銭書上) * え629と関 連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え632
(納借並に預金4500両他金銭書上)	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え633
請金并手充金調帳 * 巳年分引き残金1両3分2朱銀5分4厘金 銭書上紙背文書	天保12年丑正月	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え634
(金2両久米吉他金銭書上) * 師岡様御隠居様分金銭書上 紙背文書/え634と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え635
(金3分ふじ他金銭書上) * 小山田藤四郎様分金銭書上紙 背文書/え634と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え636
(八丁寄吉殿分金銭書上) * 墨消/え634と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え637
(東川田村金三郎殿分銭691文他金銭書上) * え634と 関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え638
(寅御下げ金分金720両内訳書上) * え634と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え639
(物成年賦師岡弥治郎殿金23両2分他金銭書上) * え 634と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え640

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(寅元1割拝借懸り金32両2分他金銭書上) * え634と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え641
預り金借入金調帳	天保13年寅12月	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え642
(寅元1割岡野弥太郎殿金15両他金銭書上) * え642と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え643
預り金並皆之懸出懸戻向丑年迄取調之内払内代金 年々入箇金指引調下案 * 白木や益助殿分金銭書上紙背文書/え642と関連カ	(近世) 丑9月20日	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え644
(丑9月20日調預り金惣高金4480両他金銭書上) * 本屋平八殿分金銭書上紙背文書/え642と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通 / (え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)	え645
(卯年懸出分金193両2分余他金銭書上) * 桜田屋東治殿分金銭書上紙背文書/え642と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え646
(西利607両2分内訳他金銭書上) * 内2朱受取他金銭書上紙背文書/え642と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え647
(残金6216両2分内訳金銭書上) * 高野与作様分金銭書上紙背文書/え642と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え648
(栄蔵殿分金銭書上) * 墨消/え642と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え649
(鉄砲屋幸左衛門殿分金銭書上) * 墨消/え642と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え650
(小野や文蔵殿分金銭書上) * 墨消/え642と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え651

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(酌屋忠左衛門殿分金銭書上) * 墨消/え642と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え652
(権九郎殿分金銭書上) * 墨消/え642と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え653
(柳右衛門殿分金銭書上) * 墨消/え642と関連カ	(近世)	横折紙・1通/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)	え654
(松前や末吉殿分金銭書上) * 墨消/え642と関連カ	(近世)	横折紙・1通/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)	え655
(宮尾勘兵衛様分他金銭書上) * 墨消/え642と関連カ	(近世)	横折紙・1通/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)	え656
(山屋三郎太殿分金銭書上) * 墨消/え642と関連カ	(近世)	横折紙・1通/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)	え657
金受払(普請金15両他金銭書上) * え663と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え658
(雇人足料金102両他金銭書上) * え663と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え659
(定人数35人積り1人1日3文他金銭書上) * え663と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え660
(油1石7斗4合5夕代金8両40文他金銭書上) * え663と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え662
酉年普方調帳	(近世)(西)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え663
(飯米83石8斗3升代金83両3分銭560文他金銭書上) * え663と関連カ	(近世)	横折紙/(え602～677は巻込一括、外→内)/(綴穴あり)・1通	え664

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

寅暮金銭請払帳	(近世)(寅)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内) /(綴穴あり)/ (白紙共)・1通	え665-1
覚(入箇物・入料他書上)	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え665-2
(残金458両2分銀13匁9分7厘積金書上) *え665-1と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え666
(金37両1分銀2匁7分8厘他金銭書上) *え665-1と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え667
(残金917両1分銀6匁1厘他金銭書上) *え665-1と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え668
(御内借方天保12丑年12月御元金1614両1分銀3匁2分8厘他金銭書上) *え665-1と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え669
(佐竹周蔵卯元1割金54両利分金5両1分銀9匁他金銭書上) *え665-1と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え670
(小根山村孝吉分金20両利分金1両銀4匁8厘他金銭書上) *え665-1と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え671
(師岡敬治郎殿分助成年賦分金11両3分他金銭書上) *え665-1と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え672
(金13両2分銀11匁2分5厘他金銭書上) *え665-1と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え673
(金323両2分銀16匁5分6厘他金銭書上)	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え674
(金50両酒店当卯出方引当金他金銭書上) *え665-1と関連カ	(近世)	横折紙/(え602 ～677は巻込 一括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え675

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(「天保十五辰年九月十五日調」)	天保15年辰9月15日	横折紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・1 通	え676
天保十五辰年九月十五日調(酒造方・呉服方利金を以 て是迄拝借並びに預かり金返済済済に付) *え676 と関連カ	天保15年辰9月15日	横切紙/(え602 ～677は巻込一 括、外→内)/ (綴穴あり)・2 通	え677
(和歌 「鰯のいる瀬の波ゆれる舟底枕かな」) 素禪	(近世)	切紙/(え678～ 744は巻込一 括、外→内)・1 通	え678
(包紙) * (包紙上書)「御目葉」	(近世)	包紙/(え678～ 744は巻込一 括、外→内)・1 点	え679
(包紙) * (包紙上書)「御内用筋 八田嘉助様 松本嘉十郎 別封吉村よりの書状喜六へ御下ヶ可被成候」 松本嘉十郎 →御内用筋八田嘉助様	(近世)	包紙/(え678～ 744は巻込一 括、外→内)・1 点	え680
(包紙) * (包紙印)「御銘酒札」	(近世)	包紙/(え678～ 744は巻込一 括、外→内)/ (印)・1点	え681
天雷无妄 本卦(全て身なり成ることは私の欲に付 占い) 雞山	(近世) 辛亥7月日	横折紙/(え678 ～744は巻込一 括、外→内)/ (虫損あり)・1 通	え682
(包紙) * (包紙上書)「上 三卦 断書」	(近世)	包紙/(え678～ 744は巻込一 括、外→内)・1 点	え683
(包紙) * (包紙上書)「松城松本嘉十郎様要用書 柄沢孝左衛 門・吉村隼人」 柄沢孝左衛門・吉村隼人→松城松本嘉十郎 様要用書	(近世)	包紙/(え678～ 744は巻込一 括、外→内)/ (貼紙あり)・1 点	え684
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様申上 相之助」 相之助→ 八田嘉助様申上	(近世)	包紙/(え678～ 744は巻込一 括、外→内)・1 点	え685
(包紙) * (包紙上書)「松本嘉十郎様・八田嘉助様 山杉源右 衛門」 山杉源右衛門→松本嘉十郎様・八田嘉助様	(近世)	包紙/(え678～ 744は巻込一 括、外→内)・1 点	え686
(包紙) * (包紙上書)「松本嘉十郎様 柄沢孝左衛門」 柄沢 孝左衛門→松本嘉十郎様	(近世)	包紙/(え678～ 744は巻込一 括、外→内)・1 点	え687
(謡、越後なまりいけ好かなく大嫌いに付)	(近世)	切紙/(え678～ 744は巻込一 括、外→内)・1 通	え688
(硯箱他諸品書上)	(近世)	横折紙/(え678 ～744は巻込一 括、外→内)・1 通	え689

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

風天小畜 本卦(雨いまだふり西の郊とは西は陰のかたなりに付占い)	(近世)辛亥7月日	横折紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え690
覚(詰番出府仰せ付けらるに付銀8匁4分請取書) 松本源太郎→安藤右膳殿・関山平治殿・湯本十学殿	嘉永4亥年11月	縦紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え691
口上(昨日松木様へ打合せのところ早朝より尊館へ出張故差支にて、御家来衆へ面会取り計らい願い、何れ御覧応願いに付)	(近世)20日	切紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(虫損あり)・1通	え692
(書状、おち殿御病気のところ養生かなえなさらず死去の義承りに付) さいとうつね→はつた(八田)おむめ殿	(近世)	横折紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え693
御菓子 一品(先般嘉左衛門死去、青物下され有り難くお礼に付) 近藤茂左衛門→上	(近世)2月朔日	横折紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え694
(包紙) * (包紙上書)「上」 →上	(近世)	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(虫損あり)・1点	え695
(「伊」「伝」他手習)	(近世)	縦紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え696
(「手春」「西」他手習)	(近世)	縦紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え697
(包紙) * (包紙上書)「進上 堂上方西瀬八素 色紙」/手習い断簡共	(近世)	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(断簡共)/(虫損甚大)・1点	え698
(秋津島・銀鞠・花車・高砂他浄瑠璃名書上)	嘉永元年	縦紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え699
(包紙)		包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(虫損甚大)・1点	え700
(書状、月番にて色々取込み居りてお悔やみ遅くなり恐れ入り、三左衛門も皆々様へお悔やみよろしく申し上げならびに此品御仏前へお供え下されたくに付)	(近世)12月20日	横折紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(虫損甚大)・1通	え701

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(包紙) * (包紙上書)「□□□(虫損)百膳入」	(近世)	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/ (虫損甚大)・1点	え702
(「君」「命」他手習)	(近世)	縦紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/ (虫損あり)・1通	え703
(包紙) * (包紙上書)「御香奠十四 上 友吉」 友吉→上	(近世)	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/ (虫損あり)・1点	え704
(書状、ご様子伺いのところ、隼人昨夜中不快のため伺えず、松本へ仰せに付) 柄沢孝左衛門→八(八田)嘉助様	(近世)7月19日	縦紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/ (虫損あり)・1通	え705
(書状、嘉右衛門殿養生相叶わずお悔やみ参るべきところ遠路故御免下されお見舞いよろしく申し上げたきに付) ちさより→(八田)おむめ殿人々中へ	(近世)12月10日	横折紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/ (虫損あり)・1通	え706
(書状、人々へ御礼申し上げるに付) さいとうつね→(八田)おむめ殿	(近世)	横折紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/ (虫損あり)・1通	え708
(包紙) * (包紙上書)「忠」書状断簡共	(近世)	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/ (断簡共)/(虫損あり)・1点	え709
覚(大坂御用達之事他事柄書上に付) * 後欠	(近世)	横折紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/ (虫損あり)・1通	え710
日延書之事(八田辰三郎金50両借用の所返済日延べ願うに付) * (端裏朱書)「嘉永元年四月十二日藤吉殿へ渡ス」/下書/後欠 →藤吉殿	嘉永元年4月12日	縦紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/ (虫損甚大)・1通	え711
覚(勢州代参帰国に付、銭548文銘々より御初穂到来封じ置くに付) * 後欠 会所	嘉永3庚戌歳正月25日	縦紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/ (虫損甚大)・1通	え712
覚(金5両払い内訳に付) * 下書/後欠	(近世)	横折紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/ (虫損甚大)・1通	え713
覚(未・申年勢州代参帰国に付、銭1貫200文銘々より到来銭封じ置くに付) * 後欠 会所→上	嘉永3庚戌歳正月28日	縦紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/ (虫損甚大)・1通	え714

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(包紙) * (包紙上書)「呈上録香 五 八田辰三郎」 八田辰三郎	(近世)	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(虫損あり)・1点	え715
(包紙) * 虫損にて判読不能	(近世)	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(虫損あり)・1点	え716
(包紙) * (包紙上書)「粒甲丹 半錠 長良彦門」	(近世)	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(虫損あり)/(木版)・1点	え717
(「何」「知」他手習)	(近世)	縦紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1通	え718
乍恐(半左衛門出入りの義この度親類へ仰せつけられ年々12俵外に家賃など助ける様仰付けられ何とも恐れ入り迷惑至極、諸親類寄合惣調べ仕り内談今晚仕るなど内々御聞済み下されたくに付) * 後欠	(近世)	縦継紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1通	え719
(和歌、「節儉によりすまゐ移すとて」) * 後欠	(近世)	縦紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1通	え720
(書状) * 下書/冒頭のみ/後欠	(近世)	縦紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1通	え721
覚(金2分銀5匁、餌取町栄八殿望向5会分に付) * 後欠	(近世)	縦紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1通	え722
(包紙) * (包紙上書)「卯十月七日受取」	(近世)卯年10月7日	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(欠損あり)・1点	え723
(包紙) * (包紙上書)「二十五 上 南堀村」 南堀村	(近世)	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(欠損あり)・1点	え724
(包紙) * (包紙上書)「金五両壱分入 政吉」 政吉	(近世)	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(欠損あり)・1点	え725
(絵図断簡)	(近世)	縦紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(欠損あり)・1通	え726
(包紙) * (包紙上書)「線香 松木束」/銀三匁他金銭書付紙背文書 松木束	(近世)	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(欠損あり)・1点	え727

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

口上覚(質商売出店のところ暫く休業、質物東木町市兵衛方へ差配したく内談に付) *後欠 伊勢町伝兵衛(印)・東木町市兵衛(印)→名主岡田伴之助殿	嘉永元申年5月	縦紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1通	え728
(飯鉢他お揃い7兩位にて調えたく書上覚) *後欠	(近世)	横折紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1通	え729
(中老・大目付衆軒数書付他)	(近世)	縦紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(欠損あり)・1通	え730
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助殿無別要用事 同嘉右衛門」 同(八田)嘉右衛門→八田嘉助殿無別要用事	(近世)	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1点	え731
(包紙) * (包紙上書)「御用 鈴木藤太・岩草村 八月十二日 念仏而村より出」 鈴木藤太・岩草村	(近世)8月12日	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1点	え732
(包紙) * (包紙上書)「伊勢町八田旦那様番附 君ヶ嶽助三郎 十一月十七日 從江戸」 君ヶ嶽助三郎→伊勢町八田旦那様番附	(近世)10月17日	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1点	え733
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様尊下 小林唯藏」 小林唯藏→八田嘉右衛門様尊下	(近世)	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)/(欠損あり)・1点	え734
(力石村左内番に付) 廣田村勘十郎	(近世)申5月5日	切紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1通	え735
(「金貳分四百七拾七文」) *包紙カ	(近世)	切紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1通	え736
(25両の内7両2分荒神町多吉他へ渡すに付) *控	(近世)	切紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1通	え737
(包紙) * (包紙上書)「金貳両貳分入 冥加金」	(近世)	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1点	え738
(包紙) * (包紙上書)「金貳分二朱五百四十八文 冥加金 八月六日」	(近世)8月6日	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1点	え739
(包紙) * (包紙上書)「金壹両貳分也 冥加金 未八月十一日」	(近世)未8月11日	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1点	え740
(包紙) * (包紙上書)「九月廿五日 金拾兩入 御預ヶ金」	(近世)9月25日	包紙/(え678～744は巻込一括、外→内)・1点	え741

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(包紙) * (包紙上書)「未八月二十五日 菱井良作 金式分 八百廿四文」 荒井良作	(近世) 未8月25日	包紙/(え678～ 744は巻込一 括、外→内)/ (白紙共)・1点	え742
(書状、御内性様近年ご多病、去月21日願の通り隠居、 家督仰せつけられ目出たきに付) 八田嘉助知則(花 押)→近藤淳輔様参人々御中	(近世) 6月15日	横折紙美/(え 678～744は巻 込一括、外→ 内)/(虫損甚 大)・1通	え743
覚(金1両1口として3年満会とし、当たり圖に応じて 金子渡すに付) 皆神山執事(印「皆神山執事」)	(近世) 亥3月	堅紙/(え678 ～744は巻込 一括、外→内) /(貼紙あり)/ (虫損あり)/ (木版)・1通	え744
(袋) * (袋上書)「辰三郎婚姻相整候節到来目録一卷四通 文 化七午二月廿七日」	文化7午2月27日	袋/(虫損甚 大)・1点	え745
(書状、開披不能にて内容不明)	(近世)	(括り紐一括)・	え746
(包紙) * (包紙上書)「御内用筋 印書入」 大塚孝三郎→八 田嘉助様	(近世)	包紙/(え747～ 829は巻込一 括)/(虫損あ り)・1点	え747
(包紙) * (包紙上書)「信州善光寺後町 御詔向 はしきハ 足袋屋甚七」	(近世)	堅紙/(え747～ 829は巻込一 括)/(木版)/ (虫損あり)・1 通	え748
(包紙) * (包紙上書)「内御用申上候 他見無用事 越中泊村 より」 殿村洗心→信州松代八田嘉右衛門様	(近世)	包紙/(え747～ 829は巻込一 括)/(虫損甚 大)・1点	え749
(包紙) * (包紙上書)「坂本常左衛門様要用 八田嘉助」 八 田嘉助→坂本常左衛門様要用	(近世)	包紙/(え747～ 829は巻込一 括)/(虫損甚 大)・1点	え750
霊方万金丹(霊方万金丹効能書) 勅許調合所 勢州朝 熊岳野朋因幡椽		堅紙/(え747～ 829は巻込一 括)/(木版)/ (虫損あり)・1 通	え751
霊方万金丹(霊方万金丹効能書) 勅許調合所 勢州朝 熊岳野朋因幡椽		堅紙/(え747～ 829は巻込一 括)/(木版)/ (虫損あり)・1 通	え752
(「曉風残月入華清」手習)		堅紙/(え747～ 829は巻込一 括)/(虫損あ り)・1通	え753
(包紙) * (包紙上書)「壱両貳歩壹朱 内壱両貳分十二月廿六 日金治へ相渡ス」	(近世)	包紙/(え747～ 829は巻込一 括)/(虫損あ り)・1点	え754
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様 松沢文右衛門」 松沢文 右衛門→八田嘉助様		包紙/(え747～ 829は巻込一 括)/(虫損甚 大)・1点	え755

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様 深美寿一郎」 深美寿一郎→八田嘉助様		包紙/(え747～829は巻込一括)/(虫損甚大)・1点	え756
(白紙)		縦紙/(え747～829は巻込一括)/(虫損甚大)・1通	え757
(雑石堤代金10両他金銭書上)	(近世)	横折紙/(え747～829は巻込一括)/(綴穴あり)/(虫損あり)・1通	え758
(包紙) * (包紙上書)「□(虫損)物・同重・水□(師カ)」		包紙/(え747～829は巻込一括)/(虫損あり)・1通	え759
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様 松沢文右衛門」 松沢文右衛門→八田嘉助様		包紙/(え747～829は巻込一括)/(虫損あり)・1点	え760
(包紙) * (包紙上書)「信州松代稲葉信斎様不別条 江戸下谷二丁町[](虫損)五郎」 江戸下谷二丁町[](虫損)五郎→信州松代稲葉信斎様不別条	(近世)	包紙/(え747～829は巻込一括)/(虫損あり)・1点	え761
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様用事 坂本常左衛門」 坂本常左衛門→八田嘉助様用事		包紙/(え747～829は巻込一括)/(虫損あり)・1点	え762
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様参人々御中 坂井直太郎」 坂井直太郎→八田嘉右衛門様参人々御中		包紙/(え747～829は巻込一括)/(虫損あり)・1点	え763
御借入金証文之事(金15両) * 下書 何村御借主たれ・同村御受合加判 だれ・だれ・三役人→岡野陽之助様御内樋村勇助殿	天保8酉年3月	縦紙/(え747～829は巻込一括)/(貼紙あり)/(虫損あり)・1通	え764
覚(大蛤貝158代675文他ノ1貫400文受取に付) 大嶋町萬五郎→上	(近世)11月21日	縦紙/(え747～829は巻込一括)/(虫損あり)・1通	え765
覚(献上物代金1貫200文受取に付) 伊勢町角献上屋清次郎(爪印)→沖八様	(近世)11月19日	縦紙/(え747～829は巻込一括)/(虫損あり)・1通	え766
(書状、御両しん様初皆々様ご機嫌伺いに付) しけより→(八田)嘉助さま	10月21日	横折紙/(え747～829は巻込一括)/(虫損甚大)・1通	え767
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様貴下 坂井直太郎」 坂井直太郎→八田嘉右衛門様貴下		包紙/(え747～829は巻込一括)・1点	え768
口上(お礼返事を申し上げる筈が、この方本店に出産あり、お礼遅くなるに付) みの→旦那様		切紙/(え747～829は巻込一括)/(虫損甚大)・1通	え769

8. 内方・産物会所混合文書 / 2. 書状・領収書ほか一括

(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様 竹村熊三郎」/「竹村熊三郎様 八田嘉助」の包紙を再利用 竹村熊三郎→八田嘉助様		包紙/(え747～829は巻込一括)・1点	え770
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様・八田嘉助様 坂本常左衛門」 坂本常左衛門→八田嘉右衛門様・八田嘉助様		包紙/(え747～829は巻込一括)・1点	え771
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様 松澤文右衛門」 松澤文右衛門→八田嘉助様		包紙/(え747～829は巻込一括)・1点	え772
(「世話人堺町芝居長谷川勘兵衛 江戸四ッ谷てつほう坂下中野八幡出張」)		切紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え773
(「銀良兵衛」)		切紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え774
(書状、甚五郎は借用方返済のため家屋敷迄も売り渡す仕合に付)		切紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え775
(「御覧之上芳三郎様へ御使奉願候」)		切紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え776
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様 松林太泉」 松林太泉→八田嘉助様		包紙/(え747～829は巻込一括)・1点	え777
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様 師岡源兵衛」 師岡源兵衛→八田嘉助様		包紙/(え747～829は巻込一括)・1点	え778
(書状、下布施村賢治、麻荷一件並びに小川源八郎へ関わりの儀に付、掛り一同評議の上申し上げるに付)		切紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え779
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様 津田転」 津田転→八田嘉助様	2月13日	/ (え747～829は巻込一括)・1点	え780
不取人別(1朱源八他金銭人名書上)	(近世)	折紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え781
(包紙) * (包紙上書)「壹分銀貳拾五両」 和田長吉(印)	(近世)寅12月9日	包紙/(え747～829は巻込一括)・1点	え782
(書状、差し支えにて願いの件を内談のところ、130両1朱銀引当に預かるに付)	(近世)	切紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え783
添書之事(金10両1割利息にて借用のところ、年利分滞り利息御免有難きに付) 中町百兵衛後家もせ・伊勢町惣八郎→八田嘉右衛門様御内	天保6末年12月	堅紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え784
口上(委細の趣承知、50匁は先頃水井氏よりお渡しに付) 友作→(八田)嘉助様	(近世)9日	横切紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え785
(包紙) * (包紙上書)「上ハツ様・・」		包紙/(え747～829は巻込一括)・1点	え786
(包紙) * (包紙上書)「信州松代ニ而八田嘉右衛門様貴下 新乗物町伊勢屋市郎兵衛 江戸より」 新乗物町伊勢屋市郎兵衛→信州松代ニ而八田嘉右衛門様貴下	16日	包紙/(え747～829は巻込一括)/(虫損甚大)・1点	え787

8. 内方・産物会所混合文書 / 2. 書状・領収書ほか一括

(干鯛・若かめ他献立書上)		横折紙/(え747～829は巻込一括)/(綴穴あり)/(虫損あり)・1通	え788
天保十三寅年七月四日町内江預り金相下候ニ付繰廻いたし候ニ付(献立他書上)	天保13寅年7月4日	横折紙/(え747～829は巻込一括)/(鼠損甚大)・1通	え789
(包紙) * (包紙上書)「壹朱銀貳拾五両也八田喜兵衛封印」	(近世)	包紙/(え747～829は巻込一括)/(虫損甚大)・1点	え790
(銀6匁7分嘉右衛門他金銭人名書上)	(近世)	横折紙/(え747～829は巻込一括)/(綴穴あり)/(虫損甚大)・1通	え791
(包紙) * (包紙上書)「御用 宮原莊左衛門・野中八太夫・茂菅村」	(近世)11月27日	包紙/(え747～829は巻込一括)・1点	え792
(24俵4斗1升5合1勺米山嘉兵衛他俵数人名書上)	(近世)	横折紙/(え747～829は巻込一括)/(綴穴あり)/(虫損甚大)・1通	え793
①(月割金49両2朱請取書)、②(月割金83両2分受取書) ①野村雄蔵(印)、(奥書)奥津藤左衛門(印)、②菅沼政之進(印)、(奥書)奥津藤左衛門(印)→①・②山田兵次殿	①・②天保6末年8月、①21日、②26日	堅紙/(え747～829は巻込一括)/(綴穴あり)・1通	え794
(包紙) * (包紙上書)「御用白井平左衛門殿 大嶋富作・樋口一角」 大嶋富作・樋口一角→白井平左衛門殿	(近世)	包紙/(え747～829は巻込一括)・1点	え795
(書状、杏仁上納の節お手元へ申し上げの儀あるに付) 倉科村亀吉・生萱村八郎右衛門→寺沼松三郎様	(近世)	切紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え796
御常用惣御入用粉金受払帳 * 飯米受払書付紙背	(近世)8月11日	横折紙/(え747～829は巻込一括)/(虫損あり)・1通	え797
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様 深美寿一郎」 深美寿一郎→八田嘉助様		包紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え798
差上申御受一札之事(当戌の在所飯米春納として飯米1駄2俵を差上に付)	(近世)	堅切紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え799
(書状、山田巳之助殿今度訴訟は、ご様子も決まり兼ねるので、お越し下されたきに付)	(近世)	横折紙/(え747～829は巻込一括)/(綴穴あり)・1通	え800
御暮方積り書(玄米30俵代金7両2分他値段書上) * 一部欠		横折紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え801
覚(金80両要用のため請取に付) * 後欠		堅紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え802
(書状、秋冷罷成候) * 冒頭のみ/後欠		横切紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え803

8. 内方・産物会所混合文書 / 2. 書状・領収書ほか一括

(包紙) * (包紙上書) ①「老朱銀五両 印封八田嘉助」、②「一朱銀五両 菊屋伝兵衛」		包紙/(え747～829は巻込一括)・1点	え804
(書状、御障り御座無きに付) * 下書/冒頭のみ		横切紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え805
(書状、御障御座なく候哉) * 下書/冒頭のみ		横切紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え806
(書状、同人申し出は度々弥八郎より申立などあり間違いの旨、平兵衛へ尋ねるに付) * 下書		横切紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え807
(11月18日八田嘉助様他人名書上) * 前欠	2月18日	横折紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え808
(金1両銭3貫723文他残油請取金銭書上) * 一部欠		横折紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え809
(包紙) * (包紙上書)「5両1分3朱金銭書上」		包紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え810
(包紙) * (包紙上書)「菊勝印」		包紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え811
(高辻水帳引き合わせ相違無く且つ変地致すべく場所なきに付) 何郡何村借主誰印・同村受人誰印・同村親類誰印・同村組合誰印、(奥書)右村三役人→埴科郡杭瀬下村儀太夫殿	天保10亥年11月	縦紙/(え747～829は巻込一括)/(虫損あり)・1通	え812
(東寺尾村出生小金太当子26才、江府にて勤めたきところ在所不勝手、取次願いたきに付) * 下書	2月日	縦紙/(え747～829は巻込一括)/(虫損あり)・1通	え813
(包紙) * (包紙上書)「金四両壹分一朱 八月十三日改」	8月13日	包紙/(え747～829は巻込一括)・1点	え814
(50両外15両上ミせ賄代他金銭書上)		切紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え815
(包紙) * (包紙上書)「金拾七両」「長国寺分五両貳分銀貳匁」「御用九両壹朱廿四日」/(包紙裏書)「上」「青木嶋村三右衛門」		包紙/(え747～829は巻込一括)・1点	え816
(包紙) * (包紙上書)「四兩三分貳朱甚三郎」「貳百」「七拾貳分分七百匁七分八厘」/(包紙裏書)「金三拾五両」		包紙/(え747～829は巻込一括)・1点	え817
(包紙) * (包紙上書)「金拾両」		包紙/(え747～829は巻込一括)・1点	え818
(書状、拙者出府、御厚情下され有難きに付) * 下書/覚(金九両壹分壹余朱拾四匁貳分産物代金為替金受紙書)の紙背文書		横折紙/(え747～829は巻込一括)・1通	え820
(書状、先月26日宰領藤治郎出立の節170両古屋寅之助より菊屋惣兵衛へ送り金) * 下書/覚(要用にて金銭書上下書)の紙背文書/後欠		横折紙/(え747～829は巻込一括)/(付箋あり)・1通	え821

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(丑元1割2分金50両恩田杢殿他金銭書上)		横折紙/(え747 ～829は巻込一 括)/(虫損あ り)・1通	え822
(3月6日より29日迄ノ4石2斗6升酒内訳書上)		横折紙/(え747 ～829は巻込一 括)/(虫損あ り)・1通	え823
(4月15日諸1石7斗他酒諸品書上) (印「菊屋」)		横折紙/(え747 ～829は巻込一 括)/(虫損あ り)・1通	え824
差上申御請証文之事(初44俵代金10両受取、子正月下旬まで上納御請に付) 布施高田村名主弥兵衛(印)・組頭八郎治(印)・長百姓久兵衛(印)・受人栄作(印)→八田嘉右衛門様御内長崎源吾様	天保10亥年12月	縦紙/(え747～ 829は巻込一 括)・1通	え825
(包紙) * (包紙上書)「金六両也内壱朱判五両、壱分判壱両」		包紙/(え747～ 829は巻込一 括)・1点	え826
(10俵西寺尾村他俵数書上)		横折紙/(え747 ～829は巻込一 括)/(綴穴あ り)/(虫損あ り)・1通	え827
(7月20日金2朱銭100文彦兵衛他金銭書上)	7月20日	横折紙/(え747 ～829は巻込一 括)/(綴穴あ り)/(虫損あ り)・1通	え828
(3月2日銭27貫100文丸屋庄兵衛古糸場25品他金銭書上)		横折紙/(え747 ～829は巻込一 括)/(綴穴あ り)/(虫損甚 大)・1通	え829
(松木代金10両他金銭書上)		横折紙/(え 836-1～8は巻 込一括、外→ 内)/(虫損甚 大)・1通	え836-1
覚(金13両産物代為替金受取に付) * 下書		縦紙/(え836-1 ～8は巻込一 括、外→内)/ (虫損甚大)・1 通	え836-2
(四角の図書付)		縦紙/(え836-1 ～8は巻込一 括、外→内)/ (虫損甚大)・1 通	え836-3
(和歌、「書鳩君の菅見給ふを」)		縦紙/(え836-1 ～8は巻込一 括、外→内)/ (虫損甚大)・1 通	え836-4
(包紙) * (包紙上書)「利足ノ式両三分五匁、戌七月和吉より利足上金式両壱分式朱一条有金」		包紙/(え836-1 ～8は巻込一 括、外→内)/ (虫損あり)・1 点	え836-5

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(包紙) * (包紙上書)「のし」		包紙/(え836-1 ～8は巻込一 括、外→内)/ (虫損あり)・1 点	え836-6
(封筒) * (封筒上書)「八田嘉助様 竹村熊三郎」 竹村熊三 郎→八田嘉助様		封筒/(え836-1 ～8は巻込一 括、外→内)/ (虫損あり)・1 点	え836-7
(金150両金銭書上)	申12月末	札/(え836-1～ 8は巻込一括、 外→内)/(虫損 あり)・1点	え836-8
(イ17番184匁他金銭書上帳面断簡) * え839-2と関 連カ		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-1
(口96番182匁他金銭書上帳面断簡) * え839-1と関 連カ		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-2
(白縮緬29疋代金47両1分銀11匁5分金銭書上断簡)		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-3
(紬等各種布代金103両銀1匁5分金銭書上断簡) * え 839-5と関連カ		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-4
(白斜子等各種布代金136両銀6匁5分銭115貫600文金 銭書上断簡) * え839-4と関連カ		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-5
覚(白縮緬117疋代銀14匁750匁5分金銭書上断簡)		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-6
(金21両1分銀2匁金銭書上帳面断簡)		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-7
(三井32両1分33貫50文他金銭書上帳面断簡)		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-8
覚(三井店紬仕入代金差し支えのため400両借用に 付) 八田嘉助(印墨消)・八田辰三郎(印墨消)・八田喜兵衛 (印墨消)、(奥書)八田嘉右衛門(印墨消)→片桐重之助殿	天保7申年11月	堅紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)・1通	え839-9
(紬30疋代金29両2分10匁4分他各種布代金書上断簡)		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-10
(帯地22筋代金5両1分2朱銭5貫750文他各種布代金書 上断簡)		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-11

8. 内方・産物会所混合文書 /2. 書状・領収書ほか一括

(銀20匁他金銭書上断簡)		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-12
(斜子縞3疋代金4両2分1貫750文他各種布金銭書上断簡)		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-13
(白紬3疋1反代金2両1分銭2貫450文他各種布代金書付断簡)		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-14
(金19両1分2朱銭400文重郎治他人名・金銭書上断簡)		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-15
(白紬10疋代金6両3分銀9匁4分他ノ43両3分銀13匁7分9厘金銭書上)		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-16
(「右者御産物紬代金御中借槌請取申候」他手習)		堅紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)・1通	え839-17
(作成・受取・年代書付) 久保寺村惣代長蔵・熊吉→御産物方御会所	安政2年卯6月16日	折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-18
(作成・受取書付) 長百姓柳右衛門→御産物御会所		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-19
(652番銀45匁5分他金銭書上断簡)		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)/(帳くず れ)・1通	え839-20
(会所御番人相沢藤吾他人名書上)		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)・1通	え839-21
(金197両1分銀3匁金銭書上)		折紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)・1通	え839-22
覚(御産物紬代金50両借用金受取に付) 八田嘉助・八田辰三郎・八田喜兵衛→小林三左衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿・宮沢彦左衛門殿・竹田藤助殿		堅紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)・1通	え839-23
以書付奉申上候(善光寺領杏干仁人数8人の者鑑札請取、掟ならびに領分同商売の割合向等寺領役場へお達しに付) 鼠屋磯五郎(印)・柏屋嘉吉(印)→松代御産物方御会所	天保15辰年4月	堅紙/(え839-1 ～24は巻込一 括)・1通	え839-24

9. その他 /1. 諸書類綴

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
9. その他 /1. 諸書類綴			
(借用関係書上綴)		綴/(え2-1~50 は一綴)・1綴	え2
覚(清助無尽賄金他ノ7両2分銭1貫233文金銭書上)		切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-1
口上覚(中野へ参る節金子50両紛失に付) 徳兵衛(印) →太助殿・太七殿	元文3年午正月	切継紙/(え2-1 ~50は一綴)・1 通	え2-2
(文政13年11月貸出元利ノ金1両2分銭8文金銭書上)		切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-3
(元利ノ金4両2朱銭5文金銭書上)	天保9戊12月	切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-4
(書状、仰せの儀、金子にて御取り申し、書面にて申し 上げるに付) □(綴紐)草伊十郎→太助様・[](綴紐)	正月26日	切継紙/(え2-1 ~50は一綴)・1 通	え2-5
覚(金322両2分元利受け取りに付) 市村作左衛門[印] →八田嘉右衛門殿	明和9年辰2月	切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-6
覚(金3両借用に付) 長岡助右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保4巳年2月	切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-7
(孫娘養女に致し、徳田多膳倅へ縁組仰せ付けに 付) →八田嘉右衛門	文政5午年9月6日	切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-8
覚(金2分借用に付) 大瀬兵吉(印)→平林縫殿進殿	寛政10年午12月17日	切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-9
(ノ金24122両2分銀2匁1分8厘金銭書上)		切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-10
覚(金22両預け置くに付) 吉兵衛(印)→伝兵衛殿	文化5辰年12月	切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-11
覚(金1両借用に付) 昌仙(印)→(八田)嘉右衛門様	申7月14日	切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-12
覚(金3両借用に付) 田村昌仙(印)	未12月10日	切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-13
覚(金3両借用に付) 田村昌仙(印)→八田嘉右衛門様	未2月14日	切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-14
御借用證文之事(25両) 越後新発田吉の屋作十郎[印「越 後新発田吉作」]→松代町松井嘉助殿	文政3辰11月16日	切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-15
(4,5日の内御借り申したきに付) →(八田)嘉右衛門様	3月28日	切紙・1通/(え 2-1~50は一 綴)	え2-16
覚(吉野屋作十郎借用金の儀御承知下さり忝きに付) 森木喟(印)→八田嘉右衛門殿	辰11月	切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-17
覚(金1両2分借用に付) 高野覚之丞(印)→八田嘉助殿	申12月10日	切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-18
才覚金年中壱割半(かり主吉次郎他人名書上)	寛延2年巳2月	切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-19
(御奉公跡式相続の祝詞) 池村八太夫→寅之助殿	3月8日	切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-20
(御拝借金30両別紙一札加判致し遣わずに付)	安永7戊2月21日	切紙/(え2-1~ 50は一綴)・1通	え2-21

9. その他 /1. 諸書類綴

売渡申田地證文之事(畑高8斗3升2合、代金4兩) 伝兵衛・牧内村名主喜兵衛・同組頭武右衛門・同長百姓儀右衛門・東条村立会善藏→牧内村新五左衛門殿	安永7戊閏7月	切紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-22
売渡申田地證文之事(畑高8斗3升2合、代金4兩)		切紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-23
覚(小沼長蔵組入れ他組替書上)	天明5己2月～同酉年2月22日	切紙/(え2-1～50は一綴)/(虫損あり)・1通	え2-24
覚(米100俵他代金書上)		切紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-25
覚(金3兩借用に付) 里見武右衛門(印)→八田孫左衛門殿	寛政3年亥10月10日	切紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-26
覚(伊勢屋治助金85兩3分銀1匁3分他ノ金124兩1分銀6匁3分金銭書上) 訪諏(ママ)亀屋半兵衛・甲州屋善兵衛→御世話人中様	9月28日	横折紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-27-1
覚(山屋千助金77兩3分2朱他ノ金196兩2分銀6匁金銭書上) 諏訪亀屋半兵衛・甲州屋善兵衛→御世話人中様	9月4日	横折紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-27-2
覚(杉原紙代金70兩請け取りに付) 日名村牛越佐市(印)→御産物御懸り八田慎蔵様	明治3年午4月11日	切紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-28
覚(金20兩預け置くに付) 八田嘉助(印)→小祢山村孝吉	天保9戌年4月	切紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-29
(300兩御酒入証文他印形の分を遣わされたきに付)		切紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-30
覚(妹引越し代金4兩3分借用に付) 八田慶助(印)→八田嘉右衛門殿	天保8酉年4月4日	切紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-31
覚(金10兩借用に付) 岡野陽之助(印)→八田嘉助殿	天保7年申10月16日	切紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-32
覚(金50兩借用に付) 八田嘉右衛門(印)→堀内与一右衛門殿	天保11子年12月26日	切継紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-33
覚(金50兩借用に付) 八田嘉右衛門(印墨消)→堀内与一右衛門殿	天保11子年12月	切継紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-34
覚(仁徳人形香合他代金42兩2分8月下旬までに差し上げるに付) 八田嘉助(印)→殿村洗心殿	天保12丑年7月3日	切紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-35
覚(金20兩借用に付) 竹房村孫右衛門(印)→八田嘉右衛門様内菊屋伝兵衛様	天保15年10月10日	切紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-36
覚(金34兩無心に付) 八田嘉助→紺屋町政吉殿	嘉永2酉年12月晦日	切紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-37
覚(御上へ御用達金26兩ほか金銭書上)	天保12丑年閏正月	切継紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-38
(ノ金6兩2分・949文・銀6匁貸し高書上)	安永9年子11月29日	切継紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-39
覚(寺町小林七郎左衛門御肴1折・御樽ほか品物書上)		切紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-40
覚(金5兩3分請け取りに付) 大澤久也(印)→八田嘉右衛門殿	文政元年寅12月	切紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-41
覚(金25兩借用に付) 八田嘉助(印墨消)→小山田重太夫殿	弘化元年12月30日	切紙/(え2-1～50は一綴)・1通	え2-42

9. その他 /1. 諸書類綴

(小布施栗1箱進上仕るに付) →津田覚之助様人々御中	9月	切継紙/(え2-1 ～50は一綴)・1 通	え2-43
覚(粃ノ2俵5升2合8勺書上) 平林村名主九平治→八田伝 兵衛様	辰2月	切紙/(え2-1～ 50は一綴)・1通	え2-44
覚(東条村又右衛門殿金2両ほか小作入地所書上)	(寛政5年12月～寛政6 年12月)	切継紙/(え2-1 ～50は一綴)・1 通	え2-45
口上覚(先達て三郎左衛門帰住願に付) 兩人	9月27日	切継紙/(え2-1 ～50は一綴)/ (虫損甚大)・1 通	え2-46
(三郎左衛門殿家屋敷鏡屋町藤吉方より相調い、今日 披露に付) 八田嘉右衛門→清水吉郎治様	4月9日	切紙/(え2-1～ 50は一綴)・1通	え2-47
覚(金3両預かり申すに付) 倉田藤兵衛(印)→きくや長 兵衛殿	元文4年末12月27日	切紙/(え2-1～ 50は一綴)・1通	え2-48
覚(金1両1分受け取り明日種相渡すに付) 春原三郎左 衛門→菊屋手代衆こんや町取次善兵衛殿	亥5月27日	切紙/(え2-1～ 50は一綴)・1通	え2-49
(金2分借りたく頼み入るに付) 山崎吉郎左衛門→菊や 長兵衛様	正10日	切継紙/(え2-1 ～50は一綴)・1 通	え2-50

9. その他 /2. 真田家郡方当番日記

日記(真田家郡方当番日記、天保6年正月～11月) *真 田家・その他の家からの混入文書と推測されている	天保6乙未年正月～11 月	美・1冊	え107
--	------------------	------	------

史料目録 第94集

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その4）

印刷発行 平成24年3月31日

発行者 人間文化研究機構 国文学研究資料館

編集 調査収集事業部

〒190-0014

東京都立川市緑町10-3

電話番号 050-5533-2900（代）

印刷 三鈴印刷株式会社

© 人間文化研究機構 禁無断複写

（本目録は国文学研究資料館史料館の『史料館所蔵史料目録』（第78集まで発行）を継続しています。）

（本文用紙は中性紙を使用しています。）

978-4-87592-158-5